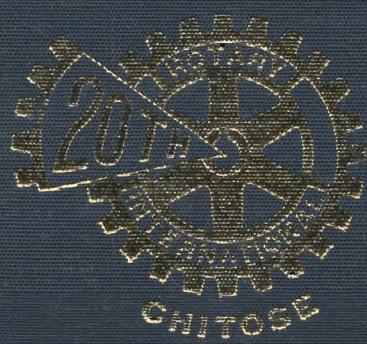
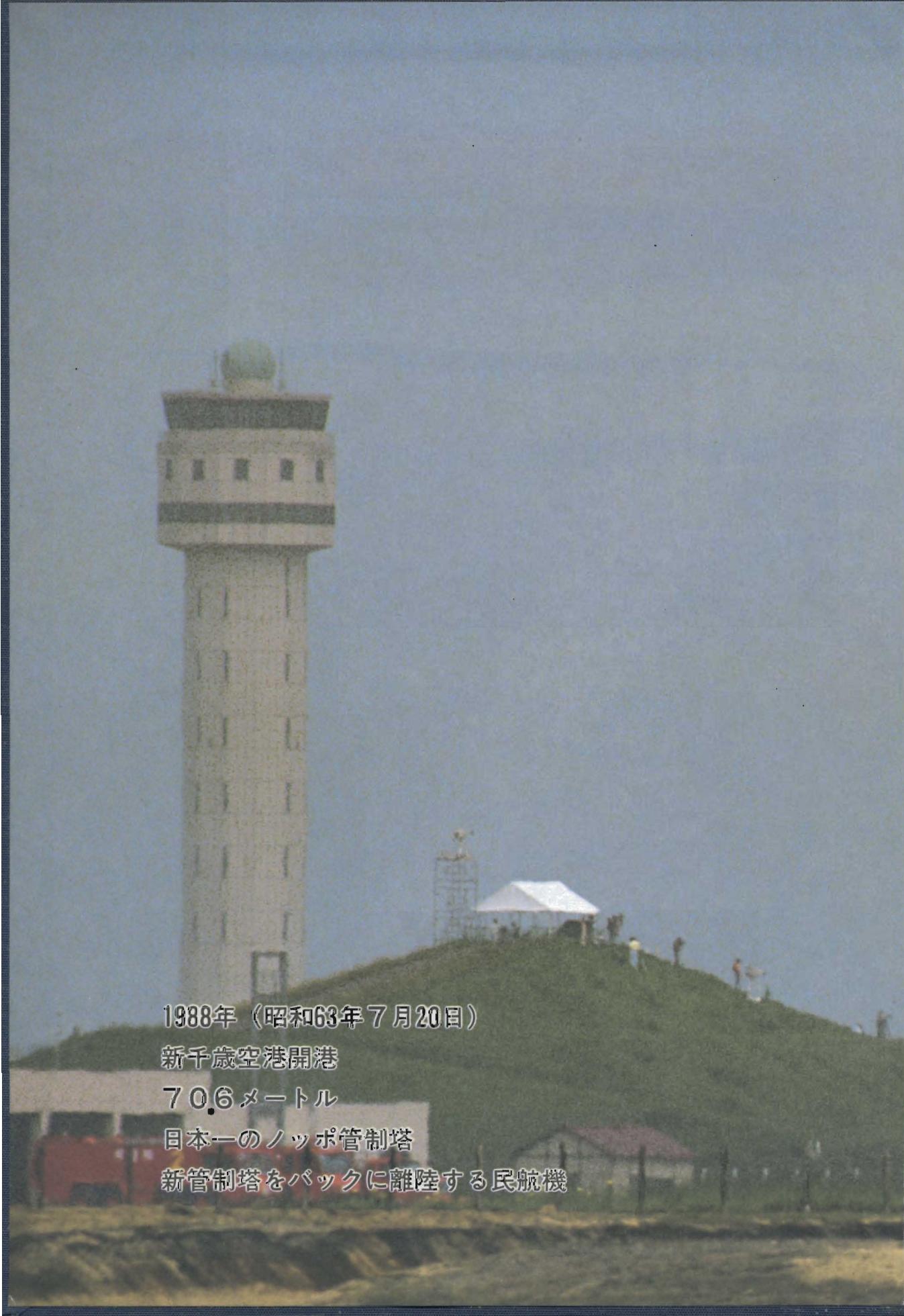


20年のおゆみ



千歳ロータリーフラブ



1988年（昭和63年7月20日）

新千歳空港開港

706メートル

日本一のノッポ管制塔

新管制塔をバックに離陸する民航機

創立20周年を迎えて



国際ロータリー加盟認証状

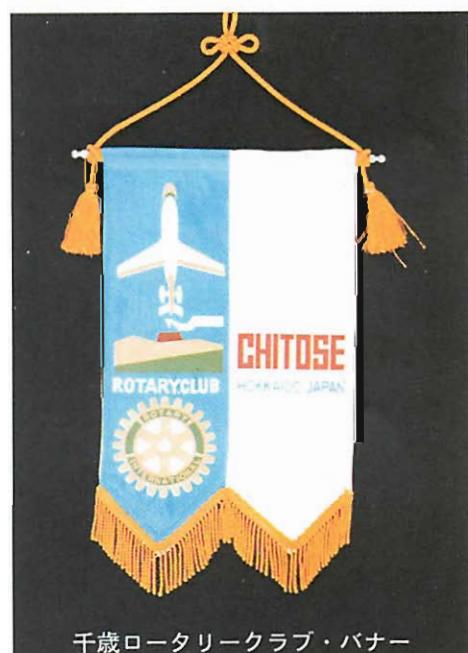


1968年（昭和43年）6月20日承認

国際ロータリー会長
ルーサー・H. ホッジス

国際ロータリー事務総長
ジョージ・R. ミーンズ

第350地区ガバナー
小畠信愛



千歳ロータリークラブ・バナー

詩 千歳の春夏秋冬

近づく春

苗別川のさわやかな水の唄が
心にしみる
湧出する水は
300年前の水だという
すると、この源流には
悠久なる時の流れと
生命の原形が宿り
また、そこは、黄泉への
入口であったに違いない

夏

恵庭岳登山の季節
風は涼しく、湖は鏡となり
清流が歌う
あの水質や水温にうるさいチップが
生息する、支笏湖の水は
きっと花たちの栄養源なのだろう
おだやかな自然に、はしゃぐ様に
花たちも乱舞する

秋

様々な色模様の木々たち
インデアン水車の響きとともに
大自然の中へと、こだまする
わが想いよ
咲き、乱れ、散り
どこまでも
舞い上がり

冬

湖水に雪が散る
美しく冷たく、幕が下りる
森は凍ったまま
深い眠りの中に入る
白樺 並木にも シンシンと雪が舞う
人々は、幸せを抱き
悲しみを秘め
家路に急ぐ

めぐる春 それは
新しく生命の誕生の季節
世界に伸びゆく 北のメインゲート
国際都市として
今 千歳は新しい翼を広げる

目 次

国際ロータリー加盟認証状

千歳ロータリークラブバナー

千歳の春夏秋冬 詩 近づく春

記念式典祝賀会プログラム 5

会長挨拶 8

御来賓、御招待客御芳名 9

御来賓祝辞 15

名誉会員千歳市長祝辞 16

20周年記念実行委員長挨拶 21

20周年記念感謝状贈呈者 22

式典の記録 24

祝賀会の記録 25

千歳ロータリークラブ創立の経過 26

千歳ロータリークラブ年表 27

20年のあゆみ 67

歴代会長20年間の思い出とクラブへの提言 78

記念事業、5年、10年、15年、20年 89

奉仕活動

I 社会奉仕 99

II 国際奉仕 105

III 職業奉仕 115

I G F 121

地区協議会 137

ローターアクトクラブの結成 145

ロータリー財団 151

会員数推移図表 152

歴代役員、委員長、一覧表 153

名誉会員 155

事務員、食事晤 156

物故会員 157

歴代会員名簿 159

現在会員名簿、写真入 169

20周年記念誌編集を終って 185



1988年(昭和63年4月17日) 千歳ロータリークラブ創立20周年記念式典 千歳市千歳市民文化センター

		千歳ロータリークラブ						
		創立20周年記念式典次第						

1988年（昭和63年）4月17日（日）

総合司会 山口 幸太郎

会 場 千歳市民文化センター

佐々木 金治郎

石塚 美紀子

登録開始（12:00）

点鐘（13:00）（通算999回）例会

国歌・ロータリーソング「奉仕の理想」齊唱

ソングリーダー 齊藤 弘

演奏 第七音楽隊

（隊長・二等陸尉 佐藤政紀）

開会のことば

式典委員長 中浦忠男

会長挨拶

武石忠俊

ご来賓・参加クラブ及び千歳ローターアクトクラブ設立準備会紹介

物故会員ースライド上映

物故会員追悼

スポンサークラブ 記念品贈呈

ステンドグラス制作者 表彰

記念事業委員長 谷本和夫

歴代会長へ感謝状並に記念品贈呈

会長 武石忠俊

記念事業発表及び目録贈呈

実行委員長 村上正治

ご来賓祝辞

251地区ガバナー 坂本忠殿

千歳市長 梅沢健三殿

スポンサークラブ札幌RC会長 西條正博殿

姉妹クラブアンカレジRC代表 J.T. Nishimura殿

祝電披露

20年のあゆみースライド上映

閉会のことば

会長エレクト 田中達昭

点鐘

諸事お知らせ（14:50）

S. A. A 上井昭一







20年輪を後に
前途の向上奉仕

記念祝賀会

ホテル日航千歳

司会長 横 覚

前 座

千歳少女太鼓

開 会

開会のことば

千歳RC副会長 伊藤常正

ロータリーソング「我等の生業」齊唱

ソングリーダー 佐々木 昭

20周年実行委員長挨拶

村上正治

ご来賓挨拶

251地区ガバナー・ミニ 大橋康次殿

祝 杯

千歳商工会議所会頭 山崎武殿

祝 宴

余 興

吟詠と剣詩舞 歌謡ショウ

アンカレジ州歌、7分区対抗カラオケ大会

謝 辞

千歳RC会長 武石忠俊

ロータリーソング「手に手つないで」齊唱

万 才 三 唱

第7分区代理 坂田義和殿

閉会のことば

祝賀委員長 丹治秀一

創立20周年を迎えて

千歳ロータリークラブ

会長 武石忠俊



北國の人々にとって最も待ちどおしいのは、春であります。その春がやって来ました。

千歳川の水も春の太陽をいっぱいに受けて輝いています。この良き季節に千歳ロータリークラブは、創立20周年を迎えることができました。創立以来、何かとご指導、ご鞭撻をいただきました皆様に千歳ロータリークラブ創立20周年記念式典並びに祝賀のご案内を申し上げましたところ、時節柄誠にご多忙にも拘らずかくも多数のご臨席を賜りました。

そして、このように創立20周年記念式典を盛大に挙行できることは誠に光栄に存じますと共にご来席いただきました皆様のご芳情に会員一同心より感謝申し上げる次第であります。

千歳市は、アラスカ州アンカレジ市と姉妹提携の関係にあります。その縁で16年前にアンカレジ・ロータリークラブ様と千歳ロータリークラブと姉妹提携の調印をいたしました。

このたび、この式典のご案内を申し上げましたところ、早速アンカレジロータリークラブ代表として4名の方が遠路はるばるアラスカの地よりご臨席をいただきました。この厚き友情に大いなる感激を覚えますと共に深甚なる敬意を表したいと思う次第であります。

昭和43年4月26日、特別代表秋山康之進様のご尽力によりまして会員22名の構成で創立させていただきました。以来20年、多くの試練を乗り越えて現在120名を擁するクラブに成長させていただきました。

私ども現会員は、先輩会員のご苦労に敬意を払いますと共に今までご指導、ご支援をいただ

きました多くの地区内外のロータリアンの皆様、そして千歳市民の皆様には特段の敬意と感謝を申し上げる次第であります。

今年度R I 会長チャールズ・C・ケラー氏はロータリアン！ 奉仕に結束、平和に献身との命題をロータリアンに下されました。

千歳ロータリークラブは、第251地区ガバナー坂本忠様のご指導を仰ぎながらこの命題のもと、懸命に努力いたしました。

ポリオ・プラス計画では、会員自ら街頭に立ち募金のお願いをしました。又ポスターを1,000枚公共施設、企業の要所に掲示の協力もいただきました。なお「ポリオ・プラスの夕べ」と題しポリオの権威である河邨文一郎パストガバナー様のご講演を中心としたチャリティーパーティを開催し所期の目標を達成することができました。

ローターアクトクラブ設立の推進につきましては、地区ローターアクト委員長宮沢正様のご指導をいただきながら、今日キーメンバーを紹介できるところまで進めて参りました。又、全ての職業を網羅することを目標とし会員増強をはかり、20%増の目標を達成することができました。

千歳ロータリークラブは、創立以来多くの方々よりのご支援をいただきましたがそのご芳情に感謝をこめて、創立20周年の記念事業として本年2月に新設になりました千歳市立図書館の開館を機に、次代を担う青少年に「夢と希望の宇宙・新しい世界」をテーマとしたドーム面の大ステンドグラスを寄贈させていただきました。

以上、千歳ロータリークラブの活動の近況の一部を報告させていただきました。

先程来道されましたR I 会長チャールズ・C・ケラー氏は、ロータリークラブが1905年に創立して以来現在が最も充実し繁栄している時だと位置づけされました。私共千歳ロータリークラブも一日も早くその域に達することができますよう会員一同研鑽努力することを皆様にお誓い申し上げ、誠に簡単粗辞ではありますが心よりご歓迎とお礼の言葉とさせていただきます。

誠に有難うございました。

ロータリークラブご来賓ご芳名

第 251 地区ガバナー	バナ一	坂本忠
" ガバナー ノミニー		大橋康次
" パストガバナー第7分区代理		坂田義和
" パストガバナー		竹山涼一
" "		河邨文一郎
" "		三浦祐昌
" 札幌ロータリークラブ会長		西条正博
創立特別代表夫人		秋山喜代
第 250 地区ローター アクト委員長		井倉啓孔
第 251 地区委員長		宮沢正
" 委員		小林弘明
" 地区代表		常盤美恵子
アンカレジロータリークラブ		J. H. Howard
"		A. L. Howard
"		J. T. Nishimura
"		Gloria Kron

物故会員ご家族

岩北	崎岡	レイ
毛内	フジノ	
伊藤	百合子	
仲村	昌子	
今井	紀雄	
蔵谷	章夫	
小池	惠洋	

ご来賓ご芳名

千歳市長 梅沢健三 紫明女子学院院長 大西和正
千歳商工会議所会頭 山崎武 千歳郵便局局長 岡本吉人
北海道議会議員 奥野文藏 千歳体育協会会长 伊藤弘二
千歳警察署署長 喜多成治 千歳市文団協会会长 中里和夫
千歳市教育委員会委員長 島倉充平 千歳観光連盟会長 渡部茂
" 教育長 宮沢一成 千歳料飲業組合連合会会长 高橋昭二
社会福祉協議会会长 中島千勝 千歳商店街振興組合連合会会长 森本吉雄
千歳市町連協会会长 正森辰蔵 千歳医師会会长 遠藤昭治
千歳ライオンズクラブ会長 平形勝 千歳民報社支社長 畑山剛
" 幹事 古谷章 苫小牧民報社取締役 掛田信夫
" 会計 亀谷光一 北海道新聞社千歳支局支局長 草壁政一
千歳中央ライオンズクラブ会長 荒井拓也 北海タイムス千歳支局支局長 長谷川直紀
千歳青年会議所理事長 佐々木俊英 ポーラスカウト団長 高塚興正
国際ソロプロチミスト千歳会長 神谷妙子 ガールスカウト団長 石村キヌヨ
東千歳駐屯地司令 横山貢 札幌職業安定所所長 大浦敦
第1特科団团长 君嶋信 ホテル日航千歳社長 益田邦彦
第1高射特科団团长 渡辺滋 ステンドグラス製作代表 高橋泰
第11普通科連隊連隊長 新井宏 " 三上裕子
第2航空団司令 朝倉範夫 " 上野憲男
北海少年院院長 森戸俊夫 千歳・アンカレジ友好協会副会長 真鍋辰夫

ご来訪ロータリアン

えりも R C (2名)

木村 龍夫 山科 幸一

小樽南 R C (2名)

駒木 番成 濑 桜男

滝川 R C (2名)

熊本 博一 菅原 剛太郎

岩見沢東 R C (2名)

竹山 俊男 林崎 弘吉

芦別 R C (4名)

小西 修身 日下部 克己 吉岡 浩 古川 敏一

札幌幌南 R C (1名)

岩本 貢

白老 R C (30名)

阿部 正春	伊東 稔	加藤 信雄	河合 浩司	川上 一
川田 清毛	笠置 勇夫	木下 助五郎	熊谷 昂	壬生 竜之介
向 守村	上和義	岡部 節三	表良	大島 信也
大道 寒	大浦 岩藏	佐々木 須一	庄子	杉村 孝
鈴木 琢磨	梅津喬	玉井 昭一	山川	丸山 武雄
田辺 真一	大澤 敏一	山本 平雄	松岡 力	山林 武治

北広島 R C (25名)

坂田 義和	井藤 俊信	竹内 実	加々見 盛幸	福田 志朗
加藤 寛治	伊藤 義一	山根 勸	宮崎 真	大橋 潔
金子 勇	鈴木 政夫	杉山 重義	工藤 学	斎藤 利
豊下 寿弘	沢田 操	田嶋 稔	佐藤 寛太郎	江畠 安雄
雀地 修司	西盛 宏	武田 武	安宅 昌彦	田鋼 紀

恵庭 R C (49名)

愛甲 哲雄	新井 皎	阿部 功	青木 定雄	伊藤 進
今井 宣史	植田 俊三	小原 健	大川 健一	野野田 良夫
垣原 鉄司	川端 義一	木下 幸	日下健	大久保 等道
上田 壽治	佐藤 喜吉	清水 進	清水 明	柴早道男
高橋 健	堤由正	中野 誠	野堀 昭男	宮下總一郎
丸山 公一	弘中 正利	藤井 哲夫	上利 営	下仁忠
三上 春吉	水野 清昭	野野道 一勇	濱雄 侑	杉屋 憲
山岸 貢	山田 邦昭	横石 裕	原村 實	四嘉 哲
能地 家喜	張本 文彰	沢辰美	山哲	
中山 富雄	中里 邦治			

三石 R C (5名)

池田 実 佐々木 初之助 秋田 仙四郎 富永 信 出口 弘史

様似 R C (5名)

工藤 正 武岡 春雄 盛 外茂治 伊藤 繁樹 本郷 栄一

札幌手稻 R C (1名)

辻 與一

砂川 R C (1名)

二橋 邦一

長万部 R C (1名)

赤塚 繁夫

羽幌 R C (1名)

佐藤 猛

浦河 R C (11名)

砂原 銀 中井 正幸 種本 一志 塚田 吉隆 田中 久雄

谷 守 雄 川越 清行 古田 円祥 斎藤 末雄 網谷 敏夫

前田 紘陽

静内 R C (10名)

二本柳 重典 見上 条松 武岡 大佑 在田 瑞昌 佐藤 隆司

四ツ屋 義一 落合 敏博 細川 好弘 中島 滋 小坂 政成

苫小牧 R C (31名)

安藤 芳男 岩倉 賢周 板谷 剛 尾野 信夫 川田 憲秀

加藤 悟 北上 尊司 国本 時夫 近藤 重明 小山 藤市郎

小西 武彦 下村 辰治 高松 謙 高瀬 勉 森 春明

永井 高明 藤澤 正昭 斑田 広行 保利 恒男 松井 義一

宮崎 善夫 水永 与士夫 宮田 昭一 三ツ井 徳保 宮本 行夫

山口 光一 吉村 善晴 吉鶴 松生 横田 稔 若林 道彦

脇本 徹哉

苫小牧北 R C (31名)

阿部 光一 石田 貢 池田 作哉 小栗 淳 小野 多七

大杉 忠門 脇 清 加藤 修一 菊地 彦 佐藤 豊明

坂井 芳一 杉浦 英城 鈴木 隆 関寺 恭朗 田辺 信夫

高木 一男 谷沢 鉄也 武田 邦雄 寺田 雅生 賀千芳

西村 昭吾 藤田 信一 広瀬 信平 藤田 健夫

宮本 哲夫 森岡 永吾 山崎 正寿 山田 正喜

丹治 一三

千歳 R C

浅利作造	足立勝二郎	安達洋	伊藤常暉	正久市郎	井上雄	正八郎
五十嵐実	岩切三郎	五十嵐宏	伊岩井	暉欣三郎	伊原久市郎	正裕
井原紀元	生駒昇	岩橋博	大尾川	透沼川	原本小奥	武仁皓
小川岩雄	大宮勇	小川英	谷沼川	京三郎	藤多武清	裕清彦
小田喜一	大岡田勝	小笠原良	下尾川	通城	内藤加喜	公樹
萱場幸太郎	上井昭一也	金山晚	戸川城	直後	倉齊坂佐	是孝
木村照男	木村勝也	菊池精四郎	藤藤城	護雄	末丹高	一治
熊谷良雄	久山晃	藤重治	後榎佐	雄武	長高	覺陽
斎藤弘	佐藤秀	後藤治郎	佐藤紳	満正	坂本丹	孝秀
佐藤嘉彦	佐々木昭	佐藤学	佐藤木	正達	末丹高	義義
渋田晃	島田実	須藤文	中田鈴	義昭	廣治	一治
住吉宏志	谷本和繁	高田昭	武田武塚	治勲	橋嶺本	覺陽
武石忠俊	高慶博	田正宗	塚中村	勲清太郎	山間田	三太郎
竹川勝雄	千葉正	近川正	新川村	太郎徳	平本南	弘義
中浦忠男	中村堅	長澤邦	羽藤中	藏真	本山口	光雄
長島義明	鳴海堅	新沼雄	藤溝新	敏哲	山田口	男郎
野村昌弘	早坂音	坂東人	山本口	人雄	山下若	弘信
藤川昭三	藤田治	文治	口山八	一人敦	藤田敦	弘
細見正美	前橋秀	崎富	山杉若	克敏	谷渡藤	利
村上正治	上村光	松克	松安	正敏	丹丹藤	菊枝
八杉一博	山本茂	幸太郎	藤崎正		利川	枝
吉本俊春	吉田俊	義弘	藤崎正		丹藤	愛子
渡辺聰	鶴本正義	保治				
渡辺英雄	日向祥一	治				

千歳 R C 会員夫人

浅利ユリ	小川艶子	川下豊子	木村邦子	熊谷利枝
斎藤恭子	佐藤ルリ子	須藤ナツ子	田中徳子	丹丹治
武石悦子	千葉美代子	中浦君子	中本日出香	藤川愛子
藤本喜美子	山田恵美子	山口美紀		

創立20周年記念実行委員会

(◎長 ○副)

会長	武石 忠俊
副会長	伊藤 常正
幹事	山田 瞳雄
会長エレクト	田中 達昭
会計	坂東 昇
S. A. A.	◎上井 昭一 ○井原 紀元 岡山 博保 生駒 昇 小川 英雄 村山 哲雄 岩崎 晴久
記念実行委員会	◎村上 正治 ○斎藤 公彦
総務委員会	◎八杉 一博 ○坂井 是樹 井上 正雄 五十嵐 宏 岩橋 博 若松 克人 菊池精四郎 武士 義治 佐藤 学 後藤 譲 岡田 勝 久山 晃 塚本 獢 山家 敏保 鶴本 正義 安田 敦 ○榎原 武雄 木村 照男 南口 忠光 小原 正男 佐藤 進 高慶 繁博 足立 勝二 奥本 裕 近川 宗信 金山 曜 川下京三郎 末広 孝 吉田 英俊 渋田 晃 八杉 新一
式典委員会	◎中浦 忠男 ○長沢 邦雄 山口幸太郎 村松 克重 佐々木金治郎 安達 洋 木村 勝也 住吉 宏志 須藤 文夫 熊谷 良雄 前橋 秀雄 喜多 清皓 佐藤 秀雄 大沼 三郎 長島 義明 尾谷 透 ○横田 義弘 大宮 勇蔵 中村 堅次 高橋 義治 小田 喜一 ○加藤 武仁 藤川 昭三 浅利 作造 竹川 勝雄 渡辺 聰
祝賀委員会	◎丹治 秀一 ○早坂 義人 伊藤 八郎 山本 茂 溝口 真人 谷川 勝巳 佐藤 嘉彦 佐々木 昭 本田 次義 村上 光輝 藤田 義治 佐藤 満雄 小笠原 良 細見 正美 鳴海 音松 新川 真徳 ○小川 岩雄 島田 実 田村 正男 中本 陽三 吉本 俊春 ○沼山佐太郎 山下 武男 千葉 正 長嶺 覚 五十嵐 実
記念事業委員会	◎谷本 和夫 ○須藤 文夫 新沼 武雄 山口幸太郎 高慶 繁博 加藤 武仁
登録受付委員会	◎長沢 邦雄 ○佐々木金治郎 熊谷 良雄 藤本 敏広 羽山 昇蔵 久山 昇 塚本 獢 山家 敏保 鶴本 正義 安田 敦 藤谷 信弘 藤崎 正敏 田代 恵治 日向 祥一 渡辺 英雄
接待委員会	◎早坂 義人 ○村上 チエ 浅利 ユリ 小川 艶子 川下 豊子 木村 邦子 熊谷 和枝 斎藤 恒子 佐藤ルリ子 須藤ナツ子 田中 徳子 丹治 菊枝 武石 悅子 千葉美代子 中浦 君子 中本日出香 藤川 愛子 藤本喜美子 山田恵美子 山口 美紀 村上 テル
記念誌編纂委員会	◎倉内 清 ○高田 昭治 浅利 作造 近川 宗信 谷本 和夫 三崎 富重 沼山佐太郎 文屋 文稔
記録委員会	◎岩切 三郎 ○三崎 富重 中村清太郎 後藤 重治 平間 和弘
写真委員会	◎文屋 文稔 ○渡部 淑郎 萱場幸太郎 田代 恵治
ビデオ委員会	◎鈴木 正義 ○城戸 通直 野村 昌弘
ステンドグラス見学 図書館ご案内	◎谷本 和夫 ○高田 昭治 ○須藤 文夫
教護委員会	◎斎藤 弘 ○尾谷 透 ○井川 欣一

地 域 と 共 に

第251地区ガバナー

坂 本 忠 氏



この度、千歳ロータリークラブにおかれましては、創立20周年をめでたくお迎えするにあたり、記念式典にお招きいただき誠に有難うございました。

ご案内状にあります昭和43年頃、当時特別代表の札幌ロータリークラブ秋山様と私は何度も千歳へお伺いしたことを想い出されました。

20年後の今日、賛クラブが会員120名を擁するクラブ、そして行動するクラブに大發展なさいましたことは誠に慶賀の至りでございます。賛クラブ誕生10余年前、千歳飛行場より60人乗りのプロペラ機が東京へ飛び立ちました。3時間かかりました。当時の国鉄では札幌～東京間24時間かかりました。又、その頃テレビも放映されるようになりました。この2つの件で北海道が革命されたように私には思えてなりません。過日公式訪問でお伺いいたしました時、私の第1印象はすごく燃えているクラブであるということをございました。増強委員会は期前100名が現在120名という素晴らしいご活動、20周年記念事業委員会のアディショナルクラブ創立、ローターアクトクラブ創立、市民へのご

奉仕等、旺盛なご活動でございました。特にローターアクトクラブの創成は当251地区といたしましては10年振りの壮舉でございます。又、国際奉仕ではアンカレジロータリークラブと姉妹提携、ポリオプラスへの協力、熱心な職業奉仕活動等目を見張るものがあります。

ここ両3年世界に対する日本の責務というようなことで政治的、経済的に世界が変ってまいりました。日本も変ってまいりました。

北海道の空の玄関口として、否日本の空の玄関口として国際空港としての千歳市の使命は大変重いと思われます。日本に残された只一つの広大な北海道、そして世界の北海道として皆様の街、千歳市の前途は洋々たるものがあります。“地域と共に”をモットーとしております私は千歳ロータリークラブの前途は洋々であります。千歳クラブの更に更にご発展されることをご祈念いたしまして私の祝辞といたします。

本当におめでとうございます。

お祝い申し上げます

順調な発展を遂げて

札幌ロータリークラブ

会長 西条正博氏



千歳ロータリークラブは昭和63年4月26日をもってめでたく創立20周年を迎えることとなり、本日盛大に記念式典・祝賀会を開催されますことは誠に慶賀に堪えません。

スポンサー札幌ロータリークラブを代表して心からお祝い申し上げます。

22名の創立会員によって発足した千歳ロータリークラブも20年の歳月を経て今や120名の会員を擁する大クラブに発展致しました。

ここに至るまでの会員各位のなみなみならぬご努力に深く敬意を表する次第です。

4名が語り合って1905年に誕生した国際ロータリー自体も83年後の今は161ヶ国23,324クラブ、会員数1,045,974名に達し全世界の子供をボリオから救うために1億2,000万ドルを拠金する等奉仕に結束し平和に献身しております。

その一翼を千歳ロータリークラブの日頃の奉仕活動もまた目覚しいものがあります。

御地、千歳市は北海道の空の玄関として国際的にも益々その存在の重要性を増しております。

20年の歳月をかけて、素晴らしい伝統を築き上げられた千歳ロータリークラブが奉仕の理想に徹して地域の発展に更に指導的役割を果たされることをご期待申し上げ、併せて一層のご発展をご祈念申し上げて晴の式典に臨み一言祝辞といたします。

千歳市長 梅沢健三氏



千歳ロータリークラブの創立20周年を心からお祝い申し上げます。本ロータリークラブは、昭和43年4月に仮クラブを創立し、同年6月国際ロータリー加盟承認を受けてから早や20年の歳月を経ております。

この間極めて順調な発展を遂げられ、奉仕の理念に基づいて各界の連係を保ちながら社会生活を通じて奉仕と徳義の交わりを結び、さらに国際間の親善を深められ、現在では120名を超える会員を擁し、当市において確固たる基盤を築かれ、着実に実践活動を続けておられますことに対し心から敬意と感謝を申し上げます。

本市は、現在人口76,000人を超えて四季折々に美しい自然環境に恵まれ、北海道の空陸交通の拠点都市として国際的にも大きな飛躍が期待されております。

また本年は市制施行30周年を迎えており、7月20日には本道の未来を大きく切り開く新千歳空港がオープンし、道央テクノポリスの指定をはじめ国際エアーカーゴ基地、リニアモーター車建設などの実現に向け市民の皆様の参加と協力により「大いなる千歳の時代」の船出の年にしたいと念願しております。

ここに謹んで20周年をお祝いし、心からお喜び申し上げますとともに、今後なお一層のご活躍を祈念し、本市の経済・文化の発展にご貢献くださいますようお願い申し上げます。

終りに、会員各位のご健勝とご多幸をお祈りしてお祝いのことばといたします。

千歳ロータリークラブ会長
武石忠俊殿

1988年4月7日

バップスナイダー
501地区ガバナー

拝啓 千歳ロータリークラブの20周年記念祝賀にあたり衷心よりお祝い申し上げます。誠に残念ですがアラスカのポイントバーロウの新しいロータリークラブの発会に認証状贈呈のため貴地の盛大な祝賀会に出席できません。

貴クラブとの姉妹クラブ関係が正式に提携された折のことをよく覚えております。東京におけるロータリー国際大会の折でホテルニューオータニで姉妹クラブ盟約書に署名をしました。それが私の日本への旅行のハイライトでした。

1981年私がクラブの会長をしておりました時

貴クラブの方が何人もご訪問下さり大変愉快な一時を過しました。只今その時来られた方々のお名前は思い出せませんがその方々はきっと思い出されることでしょう。

本書の肩書でお解りと存じますが私は501地区ガバナーとして努めており、地区ガバナーとして日本のクラブと姉妹クラブ関係にあることをこのうえなく喜んでいます。

今後とも末永く貴クラブとのロータリー友好関係を続けることを念じております。

敬具

April 7, 1988

Mr. Tadatoshi Takeishi
Chitose Rotary President
Chitose, Japan

Dear Mr. Takeishi,

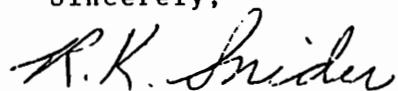
Congratulations on the occasion of the 20th anniversary of the Chitose Rotary Club. I am sorry that I cannot be there for this great celebration but I must be in Pt. Barrow Alaska to present the Charter to our newest Rotary Club.

I can well remember when this sister club relationship was officially consummated. It was during the International Rotary convention in Tokyo. We met in the New Otani Hotel and signed the sister club proclamation. It was one of the high lights of my trip to Japan.

It was in 1981 when I was President of my club that some of your people visited us and we had a great time. I can't recall their names at this time but I am sure they will remember the occasion.

As you can see by the stationary I am presently the District governor for District 501. As District Governor I would like to say that we are extremely pleased to have sister club relationships with Japan. We are looking forward to many years of Rotary fellowship with you.

Sincerely,


Bob Snider
District Governor

千歳ロータリークラブ会長
武石忠俊殿

1988年4月17日

リチャード・L・ナーランド
アンカレジロータリークラブ会長

拝啓 アンカレジロータリークラブを代表し、
貴クラブの創立20周年記念祝賀会に当り衷心より
お祝い申し上げます。

その盛大な祝賀会に出席できないことを遺憾
に存じます。記念祝賀会へのご招待誠にありがとうございます。
当クラブは下記の会員を代表として出席させます。

西村利男 シニアアクティヴ 前クラシフィ
ケーション 輸出入業
ジェームズ・ジム・ハワード シニアアクティ
ブ 前職 燃料卸売 クラブ理事

アニー・ローリー・ハワード
ジム・ハワードの夫人
グローリア・クロン夫人
アンカレジロータリークラブ
主席書記
私達は日本のクラブと姉妹クラブの関係をもつことを名誉に思っております。
貴クラブと共に本年のモットーである「ロタリアンと共に奉仕に努め、平和を築こう」を唱えましょう。
敬具

April 17, 1988

President Tadatoshi Takeishi
Chitose Rotary Club
Chitose, Japan

Dear President Takeishi:

On behalf of the Anchorage Rotary Club, I wish to extend congratulations to you and your club membership in the celebration of your club's 20th anniversary. I wish that I could be in attendance at this most auspicious celebration.

Your invitation to attend your anniversary festivities is most appreciated. Our club is happy to be represented at your anniversary celebration by the following:

Mr. Toshio "Tosh" J. Nishimura
Senior Active
Former Classification: Import/Export

Mr. James "Jim" H. Howard
Senior Active
Former Classification: Oil Products, Wholesale
Member of Club's Board of Directors

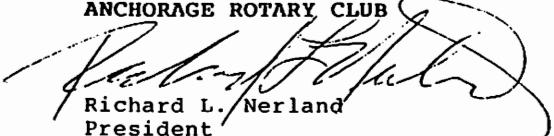
Mrs. "Annie Laurie" Howard
Wife of Mr. Jim Howard

Mrs. "Gloria" Kron
Executive Secretary of Anchorage Rotary Club

We are honored to enjoy a Rotary sister club relationship with Japan. We share with you this year's motto, "Rotarians -- United in Service -- Dedicated to Peace".

Sincerely,

ANCHORAGE ROTARY CLUB


Richard L. Nerland
President

国際ロータリー東京大会から

姉妹クラブ
アンカレジロータリークラブ

J.T. Nishimura 氏
利男西村



千歳クラブの皆様本日はおめでとうございます。
一番遠い隣組のアンカレジの250名の会員を代表いたしまして4名で昨夜着きました。

昨夜は会長様をはじめ皆様が空港にお迎え下さい、又大会前夜のお忙しいなかいろいろと心暖まる歓迎をいただきまして私共本当に嬉しく思っております。私事になりますが、私がアラスカに永住いたしまして丁度20年になります。当クラブと同じでございます。そしてアンカレジに移りまして今年で18年になります。この間事業の関係で北海道にも幾度となく来ています。御市千歳の市長様をはじめ皆様に大変お世話になり私もアンカレジにおきましてサリバン市長さんのもとでいろいろとお手伝いをさせていただきました。

そのような時に当地に立派なクラブがあると同い、私もアンカレジのクラブに所属しております行政間のおつき合いもよろしいが地域社会に奉仕しておりますロータリークラブのメンバーの方が姉妹都市と同じように姉妹関係を結んだら民間外交の一翼をはたせるんではないかと言うことで何年か千歳に参りました時に、どうでしょうアンカレジクラブと千歳クラブが縁結びをしたらどうかとの話を約10年前にはじめましてその話が実現しましたのが丁度、1979年、東京で国際ロータリー大会開催を記念いたしまして千歳から大勢の会員が私共の宿泊ホテル（ニューオータニ）にお越になり調印がされその後次の年に会長様、会員様多数がアンカレジにお見えになり我々クラブに貴重なるプレゼ

ントをいただき、又、私共も何んとか千歳とアンカレジをもっともっと隣組と言える立場にもっていかなければならないと思っていましたが、早いものでもう10年が過ぎました。そして先日、当クラブから心暖まります招待状を私共クラブにいただきまして例会で千歳クラブの20周年記念ということで私も自分のことを考えましてもう20年になったのかと、これはどんなことをしてもこの意義ある記念式典に参加しなくてはと思い今日までの恩返しのつもりで参加させていただきました。

私共4名なにも持って来ませんでしたが、素晴らしい天候でございます。この晴天が私共のプレゼントといたします。同行の3名も生まれてはじめてこのようなご歓迎を受けたと喜んでおりますのでこの機会にご報告させていただきます。千歳クラブの皆様本日は20周年記念誠におめでとうございます。

お祝いのことば



第251地区ガバナー・ミニー

大橋 康次 氏

千歳ロータリークラブ創立20周年記念式典ならびに祝賀会に私共ご招待をいただきまた私がこの席でお祝いの言葉をのべさせていただくことは大変身に余る光栄と存ずる次第であります。私が次年度の251地区のガバナーに予定されている者でございますが私がガバナー・ミニーをお引き受けいたしましたのは昨年の6月末に思いもよらないことありました。

それ以来ガバナー・ミニーとして一生懸命勉強をしてきたつもりであります。今後は251地区ロータリーのためにこん身の努力をいたしたいと存じておりますのでこの席の皆々様のご協力ご支援をお願い申し上げる次第であります。

私はご当地との関係はつい最近でありますが新渡戸稻造氏の碑がこちらの有志の方々により造られその除幕式にご招待を受け参りました。その後記念碑の設立にロータリアンの方々がおられるのを見まして感激・感謝をしたしだいで

ございます。そのように当地は国際都市として発展されています。近々には新千歳空港の開港・リニアモータカーの営業実験線の具体化・エアーカーゴ基地等の大プロジェクト構想が集中している現況であり又当クラブは国際性におきましても多くの活躍をしておられることに敬意を表するものであります。私は、2月にガバナー・ミニーといたしましてロータリー本部での国際協議会に研修にいって参りました。

その折りに次年度の国際ロータリー会長はロイスアミー氏であります。この時同氏は「ロータリーに活力を・あなたに活力を!!」を来年のテーマにすることになりました。当クラブは生き生きとしていますが次年度のテーマである活力につきまして何卒よろしくお願い申し上げまして簡単ではありますが私の挨拶とさせていただきます。どうも有難うございました。

ご挨拶



20周年記念実行委員長 村上正治

我がクラブ20周年記念行事のために千歳市長様始め多数のご来賓の方々並びに国際ロータリー第251地区ガバナー・パストガバナーの方々そして各々ロータリークラブの皆様方には 大変お忙しい処かくも多数のご臨席を賜りましたことを衷心より厚くお礼申し上げます。

お陰をもちまして記念式典も滞りなく終了させていただきました。只今からは限られた時間ではございますが時間の許す限りごゆっくりとおくつろぎ、ご歓談いただければ幸いと存じます。私達120名の会員は、今日の日を一つの節目として明日からはまた30年、50年に向かっていよいよクラブの充実、拡大と活性化に向かって努力してゆく覚悟ですので皆様方には今後とも宜しくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。終りになりましたが皆様方の益々のご健勝と各ロータリークラブの限りないご発展を心よりご祈念申し上げます。なお本日は混雑に取り紛れて何かと不行届きの点も多々あるかと存じますが何卒お許しを賜りますようお願いいたしまして甚だ簡単粗辞ですがご挨拶と致します。

感謝状

ステンドグラスの目録

千歳ロータリークラブ創立20周年にあたり、ロータリークラブの理念に添った有効な記念事業とするために創立20周年記念事業特別委員会を発足せしめました。

この委員会は2年有余を費やして草案を作り、クラブ会員の創意を得て折しも建設中でありました千歳市立図書館を利用される方々、特に次代を担う青少年の方々に美しい光の中で宇宙へ羽ばたく豊かな発想を育んで頂ければとの夢を託して当クラブ創立20周年記念事業として、ステンドグラスを寄贈いたします。

昭和63年4月17日

千歳ロータリークラブ20周年記念実行委員長
村上正治

千歳市長 梅沢健三 殿

感謝状

千歳ロータリークラブ殿

貴クラブは本市の図書館活動に深い理解を示され新千歳市立図書館の建設を記念して子供達の限りない成長を願い夢あふれるステンドグラス「新しい世界へ」をご寄贈いただき本市の図書館活動の推進に寄与するところ誠に大きなものがあります。

よって開館式に当たりここに深甚なる感謝の意を表します。

昭和63年4月17日

千歳市長 梅沢 健三

感謝をこめて

札幌ロータリークラブ殿

貴クラブには、昭和43年当クラブ創設にあたり、スポンサークラブとして適切なるご指導とご協力をたまわり、おかげをもちまして今日創立20周年を迎えることが出来ました。ここに記念式典を挙行するにあたり深甚なる感謝の意を表します。

昭和63年4月17日

国際ロータリー第251地区
千歳ロータリークラブ会長 武石 忠俊

感謝をこめて

高橋泰殿
三上裕子殿
上野憲男殿

あなたは千歳市立図書館に設置された「翔」「新しい世界」のステンドグラス制作にあたり私共に共鳴せられ立派に成しとげられました。ここに創立20周年記念式典を機に深甚なる感謝の意を表します。

昭和63年4月17日

千歳ロータリークラブ会長 武石忠俊

感 謝 状

高 原 恒 子 殿

あなたは、千歳ロータリークラブ事務局員として永年にわたり個性豊かな歴代会長、幹事によく仕えクラブ発展に大きな力となりました。

ここに創立20周年を迎えるにあたり、その功績を讃え記念品を贈り感謝の意を表します。

昭和63年4月17日

千歳ロータリークラブ会長 武石忠俊



感 謝 を こ め て

会長経験者

1971～1972年度会長	千葉	正 殿
1972～1973年度会長	新沼	武 雄 殿
1974～1975年度会長	近川	宗 信 殿
1975～1976年度会長	小原	正 男 殿
1977～1978年度会長	谷本	和 夫 殿
1978～1979年度会長	浅利	作 造 殿
1979～1980年度会長	倉内	清 殿
1980～1981年度会長	藤川	昭 三 殿
1981～1982年度会長	斎藤	弘 殿
1982～1983年度会長	村上	正 治 殿
1983～1984年度会長	中浦	忠 男 殿
1984～1985年度会長	丹治	秀 一 殿
1985～1986年度会長	高田	昭 治 殿
1986～1987年度会長	斎藤	公 彦 殿

此の度創立20周年を迎える事が出来ました事は先輩会員の暖かい御支援の賜と心より感謝申し上げます。

千歳市の輝かしい発展と共に千歳ロータリークラブも現在120名の会員を擁するクラブに成長いたしました。私共会員は先輩諸兄の御労苦に敬意をはらいつつ20年間培われた歴史と伝統を守り奉仕の輪を広げていく所存であります。本日の記念式典を挙げるにあたり、レリーフを贈り感謝の意を表します。

1988年（昭和63年4月17日）

千歳ロータリークラブ会長 武石忠俊

千歳RC創立20周年記念式典 並に祝賀パーティ

1988年4月17日、第999回例会は1968年4月26日に設立、R I に正式加盟が承認されて以来満20周年を迎え、記念式典は千歳市民文化センター、祝賀パーティは会場を移動、ホテル日航千歳で盛大に催された。

R I 251地区より参加クラブ、10クラブ、97名、千歳RCクラブ119名、会員家族17名をはじめ、千歳市長梅沢健三氏、第251地区ガバナー坂本忠氏、ガバナーノミニー大橋康次氏、パストガバナー竹山涼一氏、河邨文一郎氏、三浦祐昌氏、アンカレジロータリークラブ、J. H. Howard氏、札幌ロータリークラブ会長西条正博氏、創立特別代表夫人、秋山喜代様、第7分区代理、坂田義和氏、其の他市内ご来賓多数の参列を頂き武石忠俊会長は過去20年のあゆみを回顧し、創立当時の労苦と現在までの発展の経緯にふれ、此の輝かしい伝統を保持しながら地域社会に密着した奉仕活動の裡に、ロータリー精神の原点に返り、人類の幸福のために今後一層の努力を誓う事を力強く挨拶の後、ご来賓参加クラブ及び千歳ローターアクトクラブ設立準備委員会紹介、当クラブの有力メンバーとして活躍された物故会員12名のスライド上映後、御靈に默祷を捧げ心からご冥福を祈った。

スポンサークラブ札幌RC会長西条正博氏に感謝状と記念品を贈呈。谷本和夫記念事業委員長はステンドグラス制作者、高橋泰殿、三上裕子殿、上野憲男殿に感謝状と記念品贈呈。武石会長は歴代会長一人一人に感謝状と記念品を渡された。村上正治実行委員長は記念事業として本年2月に新設された千歳市立図書館の開館を機に次代を担う青少年に「夢と希望の宇宙、新しい世界へ」をテーマとしたドーム一面の大ステンドグラスの寄贈目録を千歳市長梅沢健三氏に贈呈

ご来賓の祝辞を251地区ガバナー坂本忠殿、千歳市長梅沢健三殿、スポンサークラブ札幌RC会長、西条正博殿、姉妹クラブアンカレジRC代表 J. T. Nishimura殿より頂いた後祝電の披露、千歳RC 20年の歩み のスライド上映、閉会のことばを田中達昭エレクトより申上げ式典を閉じ、全員バスに分乗千歳市立図書館へドーム一面の大ステンドグラスを見学、15：45より前座、千歳少女太鼓に始まり、千歳RC副会長伊藤常正による開会のことば、ロータリーソング「我等の生業」齊唱。村上正治20周年実行委員長は今日の日を一つの節目として明日からは30年、50年に向かって、いよいよクラブの充実と拡大と活性化に向かって努力する覚悟と力強い挨拶。大橋康次251地区ガバナーノミニーは次年度のR I 会長はロイスアミー氏で、来年度のテーマは「ロータリーに活力を、あなたに活力を!!」がありました。次年度の活力についてご協力をと挨拶。16：30、愈々祝賀パーティに移る。祝宴は山崎武、千歳商工会議所会頭の乾杯に始まり、聖月流千歳支部、支部長、後藤会員による、吟詠と剣詩舞

宮原南郊作	水化花	詩	加藤輝月
石川丈山作	富士山	詩 舞	三浦照道
青山五平作	会津魂	剣詩舞	可児月翠
			佐藤月暁
島田金也作	白虎隊	剣詩舞	加藤輝月
			本村心月

札幌歌謡友の会、歌謡ショウ
千恵っ子よされ 笹木春江
望郷じょんがら 倉野奈緒美、真由美
津軽じょんがら流れ鳥 "
イヨマンテの夜 森谷 勉
オーソレミヨ "

アラスカ州歌

Mr. ジェイムス・ハワード氏、Mrs. アニー・
ハワード氏、Mrs. グロリア、クロン氏、 Mr.
ジョセフ、ニシムラ氏

第7分区 5クラブ対抗、カラオケ大会

苫小牧クラブ	川田憲秀	海峡
白老クラブ	伊東 稔	祝船
恵庭クラブ	阿部 功	川
北広島クラブ	安宅昌彦	想い出迷い子
苫小牧北クラブ	阿部光一	そしてめぐり逢

華やかにアトラクションの雾吹きは弥益々昂まる中、武石会長より謝辞があり、坂田義和第7分区代理の万歳三唱の後「手に手つないで」の大合唱に続き丹治祝賀委員長より閉会挨拶を以て、盛大な式典、祝賀のプログラムを滞りなく終了した。

▼スポンサークラブへ記念品贈呈



歴代会長へ記念写真贈呈風景

千歳ロータリークラブ 創立までの経過

1967年 昭和42年7月7日 第350地区の小畠信愛ガバナーは、ロータリーの拡大に新千歳クラブを結成に当り、スポンサークラブ札幌ロータリークラブとし、札幌RC秋山康之進氏を特別代表として、新クラブ結成に、千歳ロータリークラブ設置を任命された。秋山特別代表は、千歳ロータリークラブ設立準備委員の構成は第4分区の6クラブから各1名を選択して、千歳ロータリークラブ設立を任命された。

特別代表は千歳ロータリークラブの会員構成に5ヶ月におよぶメンバーの同意に行動を起こし、昭和42年12月15日スポンサークラブ札幌グランドホテルに於て第一回準備委員会を招集し、秋山、真崎、多田、白井、山下、椿原、6氏で、新クラブの区域限界を千歳市及び恵庭市の行政上の境界と表示し、規定による処置を行なった。永久に存続するクラブを結成する有望な千歳と意見が一致して決議された。

昭和43年1月22日18時からグランドホテルに於て第2回準備委員会を招集する。

秋山、真崎、折内、多田、山下、椿原、中田、7氏による協議事項は1. 新千歳クラブの結成を成功に導く計画を立てる 2. 初期のプログラムを計画する 3. ロータリー運動の出来るよう具体的に発足する方針について決議をスポンサークラブ理事会に報告する。

昭和43年2月19日18時グランドホテルに於て第3回準備委員会を招集し、7氏によって協議に先立ち秋山特別代表が新クラブ結成について、地域の予定ロータリアン、仮クラブとして発足する予定場所等について準備委員会に報告された。準備委員は、1. 仮クラブ定款 2. 地元千歳の発起人推せん 3. 最小限40の職業分類を作成 4. 仮クラブ発足、場所等について決議された。地元発起人の内定、吉田信一、山崎

満、牛田勝之、右近久雄、内藤詩郎、服部康治。
1968年 昭和43年2月21日 秋山特別代表は準備委員会の現在までの経緯を鑑み報告事項の連絡をされました。

千歳ロータリークラブ結成準備委員会

スポンサークラブ、札幌ロータリークラブ

特別代表 秋山康之進 札幌

準備委員 折内 義道 江別

準備委員 勝木 郁郎 札幌

準備委員 白木 秀雄 札幌東

準備委員 椿原 奉雄 札幌南

準備委員 多田 久志 札幌南

準備委員 山下 博 札幌西

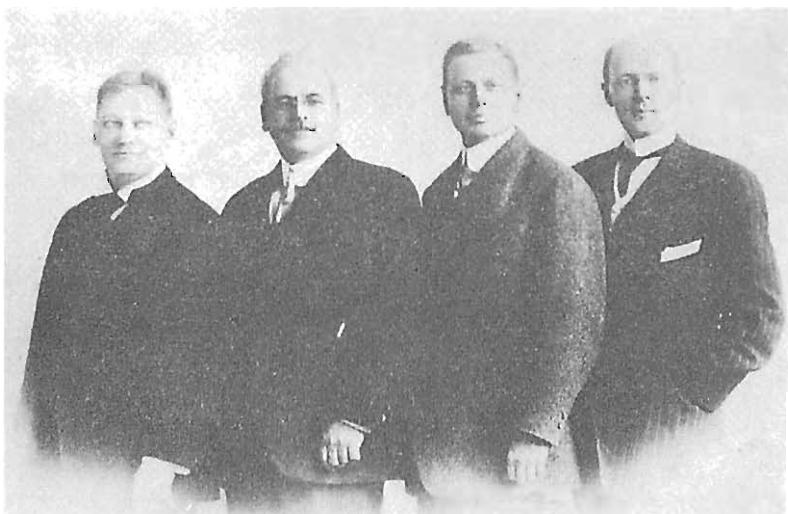
秋山特別代表、自ら以上のメンバーで、千歳にクラブ結成の斡旋に当たる。

1968年 昭和43年3月9日 秋山特別代表から地元の発起人推せんが指名される。

吉田信一、山崎 満、牛田勝之

右近久雄、内藤詩郎、服部康治

年 表



20年の例会記録

1968年

4月26日 総立総会 18:00より千歳市内レストラン・マナベに於て、千歳ロータリー仮クラブの創立総会を、創立会員22名中13名出席、秋山康之進特別代表司会で開催。スポンサークラブ、札幌RCのロータリアンと折内準備委員が出席され、定款細則の承認、役員、理事の選出を行い仮クラブを結成した。

チャーターメンバー22名

浅利作造・千葉正・服部康治・岩崎豊治・川原田省三・毛内利夫・中沢啓治・宮崎登志夫・森本吉雄・内藤詩郎・新沼武雄・小原正男・大橋良夫・押見哲脩・高慶繁次郎・谷本和夫・辻

本昭三・右近久雄・牛田勝之・山口正路・山崎満・吉田信一

5月2日……仮クラブ第1回例会
5月9日……仮クラブ第2回例会
5月16日……仮クラブ第3回例会
5月23日……仮クラブ第4回例会
5月30日……仮クラブ第5回例会
6月6日……仮クラブ第6回例会
6月13日……仮クラブ第7回例会
6月20日……仮クラブ第8回例会
6月27日……仮クラブ第9回例会

1968～1969（昭43～44）

7月4日……仮クラブ第10回例会

＜卓話＞千葉正会員：民芸木工について

7月11日……第11回例会

国際ロータリー加盟承認の日。秋山特別代表より1968年（昭和43年）6月20日付、R.I理事はR.I第350地区第4分区内に、千歳ロータリークラブのR.I加盟を認められた。R.I会長ルーサーH.ホッジス、R.I事務総長ジョージR.ミーンズ、及び第350地区ガバナー小畠信愛3氏の署名がされて、加盟認証状が中央事務局からクラブへ発行された。

7月18日……第12回例会

＜卓話＞羽馬聞正会員：自由と平等

7月25日……第13回例会

＜卓話＞浅利作造会員：タイガーバーム、ガーデン

8月1日……第14回例会

＜卓話＞服部康治会員：診療雑感

8月8日……第15回例会

＜卓話＞川原田省三会員：浜中チャーターナイトの感想

8月15日……第16回例会

＜卓話＞佐々木分区代理：ロータリーについて

8月22日……第17回例会

＜卓話＞ガバナー・ミニー秋山康之進氏、リーダーシップ、フォーラム、連合年次大会、国際大会

8月29日……第18回例会

- 右近久雄・山崎満・浅利作造、リーダーシップ
フォーラム、ロータリーをより良く向上させる
為に
- 9月5日……第19回例会
チャーターナイトの準備会議
- 9月12日……第20回例会
チャーターナイトの準備会議、千歳市に記念品
贈呈の件
- 9月19日……第21回例会
チャーターナイト準備説明
- 9月22日……第22回例会
国際ロータリー加盟認証状伝達式、千歳市民会
館。来賓25名、来訪クラブ17クラブ・124名、
チャーターナイトメンバー33名、秋山康之進特
別代表よりR.I加盟承認の祝辞に会員一同、
正式加盟の喜びを分ち合う。
- 9月26日……第23回例会
チャーターナイトの反省報告
- 10月3日……第24回例会
<卓話>内藤詩郎会員：ロータリー運動入門
- 10月17日……第25回例会
地区大会参加報告 山崎・千葉・内藤各氏
- 10月24日……第26回例会
<卓話>辻本昭三会員：種苗について
- 10月31日……第27回例会
<卓話>地崎宇三郎氏：現在の日本における問
題点
- 11月7日……第28回例会
<卓話>荒川涉氏：朝日新聞の奉仕活動の詳細
- 11月14日……第29回例会
<卓話>北部隊第1特科團長：日本の防衛につ
いて
- 11月21日……第30回例会
<卓話>近川宗信会員：文房具に対しての認識
- 11月28日……第31回例会
<卓話>川原田省三会員：銀行での資金問題の
考え方
- 12月5日……第32回例会
<卓話>千歳商工会議所専務理事西村喜夫氏：
労働問題と雇用条件
- 12月12日……第33回例会
クリスマス家族会、移動例会、ベニス
- .12月19日……第34回例会
クラブアッセンブリー、右近副会長
- 12月26日……第35回例会
<卓話>苫小牧RC藤田会長：ガバナー公式訪
問に際しての体験と心構え
- 1月9日……第36回例会
<卓話>佐々木第4分区代理：千歳RCの新年
にのぞんでの心構え
- 1月16日……第37回例会
新年交礼会、家族会、吉田会長年頭所感
- 1月30日……第38回例会
第350地区島本融ガバナー公式訪問
- 2月6日……第39回例会
次年度副会長、理事の選出について
- 2月13日……第40回例会
ゲストスピーチ、秋山特別代表
- 2月20日……第41回例会
<卓話>齊藤第7師団長：日本は貿易立国であ
る。無防備中立こそ最大の防衛手段である。
- 2月27日……第42回例会
<卓話>江別RC、木村会長：ロータリーの権
- 3月6日……第43回例会
<卓話>川原田省三会員：職業を通じて個々が
奉仕するロータリーを解く
- 3月13日……第44回例会
<プログラム>来年度クラブ運営理事の選出に
ついて総会
- 3月20日……第45回例会
<卓話>岩崎豊次会員：日常なにげなく使って
いる電話のかげの力
- 3月27日……第46回例会
<卓話>内藤詩郎幹事：インターシティ・ゼネ
ラル・フォーラムとは
- 4月3日……第47回例会
<卓話>松嶋健一会員：医は仁術
- 4月10日……第48回例会
<卓話>長野県岡林市・林氏：繊維壁について
次年度、役員、委員長発表

4月17日……第49回例会
＜卓話＞土屋正造会員：教育の難しさ

4月24日……第50回例会
＜卓話＞岩崎豊次会員：飲み上手・遊び上手の手ほどき

5月1日……第51回例会
＜卓話＞浅利作造会員：職業奉仕とは

5月8日……第52回例会
＜卓話＞中沢啓次会員：選挙問題に関して

5月15日……第53回例会
＜卓話＞北岡体一会員：千歳の今昔

5月22日……第54回例会
＜卓話＞吉田信一会長：米国みたまま

5月29日……第55回例会
＜卓話＞日本電子専門学校事務長・吾孫子勝富氏：電子計算機について

6月5日……第56回例会
＜卓話＞川原田省三会員：道内の経済状態の展望

6月12日……第57回例会
＜卓話＞遠藤正一会員：カラー写真の実状

6月19日……第58回例会
＜プログラム＞次年度役員、委員長の抱負

6月26日……第59回例会
＜プログラム＞本年度各委員長、事業結果報告
吉田会長、退任挨拶

1969～1970（昭44～45）

7月3日……第60回例会
＜プログラム＞右近会長就任挨拶、新年度各委員長計画発表

7月10日……第61回例会
＜プログラム＞第350地区ガバナー秋山康之進氏公式訪問

7月17日……第62回例会
＜プログラム＞ガバナー公式訪問、講話の中のロータリーとは、右近会長

7月24日……第63回例会
＜卓話＞北海道相互銀行千歳支店長・水谷敬紀会員：第7分区美幌ロータリークラブに所属していた当時の想い出

7月31日……第64回例会
＜卓話＞新沼武雄社会奉仕委員長：青少年健全育成の塔について

8月7日……第65回例会
＜卓話＞近川宗信国際奉仕委員長

8月14日……第66回例会
＜卓話＞鷲見吉正職業奉仕委員長

8月21日……第67回例会
話>千歳市長・米田忠雄氏：全国総合開発に於ける本道の役割

8月28日……第68回例会
＜プログラム＞夜間移動例会、ファイヤーサイドミーティングと懇親会、ベニス

9月4日……第69回例会
＜卓話＞三井秀一会員：自己紹介、薬壳

9月11日……第70回例会
＜卓話＞小原正男会員：人生経験

9月18日……第71回例会
＜卓話＞バスガイド・赤堀さん：阿寒国立公園、国広さん：函館山

9月25日……第72回例会
＜卓話＞金井正道会員：紙と金網

10月2日……第72回例会
＜プログラム＞地区大会報告、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕部門報告

10月9日……第74回例会
＜プログラム＞地区大会報告、クラブ奉仕部門

10月16日……第75回例会
＜プログラム＞慶弔内規について、クラブアンブリーセンブリー

10月23日……第76回例会
＜卓話＞北岡体一会員：根室市に於て、全道社会福祉大会に出席して北方領土問題についての

感想

10月30日……第77回例会

<プログラム>夜間例会、カクテル教室

11月 6 日……第78回例会

<卓話>千歳市民部長・富永正氏：市民の日常生活と直結する窓口、保健衛生、社会福祉について

11月13日……第79回例会

<卓話>第一生命千歳出張所長・工藤宏氏：年金制度について

11月20日……第80回例会

<卓話>千歳市税務課長・芦沢繁雄氏：市税について

11月27日……第81回例会

<卓話>北洋相互銀行千歳支店長・金子末太郎氏：歳末景気、江差の近況

12月 4 日……第82回例会

<卓話>千歳郵便局・有賀局長：年末郵便事情について

12月11日……第83回例会

<卓話>千歳保健所・桑山予防課長：救ライ協会について

12月18日……第84回例会

<プログラム>クリスマス家族会、夜間例会
千歳市長代理（東峰元次助役）を招き、千歳市の「青少年育成都市宣言」塔が建立完成、右近会長から千歳市に贈呈した。

12月25日……第85回例会

<プログラム>右近会長年末挨拶

1月 8 日……第86回例会

<卓話>千歳市総務部長・岩瀬正人氏：千歳市次期開発計画の方向

1月22日……第87回例会

<卓話>グリコ相模ハム常務・川口小太郎氏：藤沢ロータリークラブ紹介と会社紹介

1月29日……第88回例会

<プログラム>クラブアッセンブリー

2月 5 日……第89回例会

<プログラム>後期三大奉仕部門計画説明

2月12日……第90回例会

<プログラム>後期クラブサービス部門各委員長：計画説明

2月19日……第91回例会

<卓話>小原正男会員：台湾・ホンコン感想

2月26日……第92回例会

<プログラム>2月23日創立記念日、新年会を兼ねて夜間例会

3月 5 日……第93回例会

<卓話>右近会長：奉仕活動について改めて目的を知ろう

3月12日……第94回例会

<プログラム>三大奉仕部門、合同協議会

3月19日……第95回例会

<卓話>浅利作造会員：スキーと札幌五輪

3月26日……第96回例会

<プログラム>恵庭ロータリークラブ・西村副会長：恵庭ロータリークラブ誕生について

4月 2 日……第97回例会

<卓話>北千歳部隊副團長・田内精一氏：話し方について、心理学的話術の重要さ

4月 9 日……第98回例会

<卓話>千歳電報電話局・菊地局長：電話あれこれ

4月16日……第99回例会

<プログラム>インターナショナルフォーラム報告

4月23日……第100回例会

<卓話>千歳市青少年・鈴木室長：青少年の非行防止のため青少年健全育成運動について

4月30日……第101回例会

<プログラム>ロータリーの歌の練習

5月 7 日……第102回例会

<プログラム>4月16日に引き続きインターナショナルフォーラム、義務出席者の感想発表

5月14日……第103回例会

<プログラム>ロータークト・クラブ設立の是非

5月21日……第104回例会

5月28日……第105回例会

<プログラム>創立2周年、観桜会を兼ね夜間例会、ベニス

6月4日……第106回例会

<卓話>苫小牧北クラブ副会長・山崎正寿氏：チャーターナイトへのさそい

6月11日……第107回例会

<プログラム>小樽市民会館にて350地区とし

ては最後の2分割される。地区協議会に出席報告

6月18日……第108回例会

<プログラム>本年さよなら夜間例会

6月25日……第109回例会

<プログラム>会長、役員退任挨拶

1970～1971（昭45～46）

7月2日……第110回例会

<プログラム>新年度、会長・幹事・三大奉仕部門事業計画発表

7月9日……第111回例会

<プログラム>クラブ奉仕・各委員長事業計画発表

7月16日……第112回例会

<卓話>千歳警察署防犯課長・慶架松太郎氏：最近の犯罪動向について

7月23日……第113回例会

<卓話>佐藤空港長：大量輸送時代と千歳空港

7月30日……第114回例会

<卓話>浅利作造会員：この一年間を回顧して

8月6日……第115回例会

<卓話>川原田省三会員：ある木曜の昼下がり

8月13日……第116回例会

<プログラム>河野通正ガバナー公式訪問

8月20日……第117回例会

<卓話>毛内利夫会員：ロータリー財団委員について

8月27日……第118回例会

<卓話>航自第3高射群長・遠山一佐：ナイキについて

9月3日……第119回例会

<卓話>秋山パストガバナー：ロータリーについて

9月10日……第120回例会

<卓話>北岡体一会員：老人対策計画

9月17日……第121回例会

夜間例会

9月24日……第122回例会

<プログラム>第350・351地区連合年次大会
札幌東RC、9月20日、会長・三大奉仕部門報告

10月1日……第123回例会

<プログラム>連合年次大会：クラブ奉仕担当各委員長報告

10月8日……第124回例会

<卓話>千歳警察署・上田交通部長：交通安全について

10月15日……第125回例会

<プログラム>日本ロータリー創立50周年記念日祝賀会を兼ねて、ファイヤーサイドミーティング

10月22日……第126回例会

<卓話>毛内利夫会員：身辺雑話

10月29日……第127回例会

<プログラム>クラブアッセンブリー、会員増強

11月12日……第128回例会

<プログラム>11月8日、浦河RC、第5分区第1回インターナショナルフォーラム報告

11月19日……第129回例会

夜間例会、自由時間を楽しむ会

11月26日……第130回例会

<卓話>社会奉仕委員会：雪道の交通安全対策

12月3日……第131回例会

<卓話>井上正雄会員：職業奉仕を通じての奉

仕

- 12月10日……第132回例会
＜卓話＞倉内清会員：奉仕活動と自己予盾
- 12月17日……第133回例会
＜プログラム＞クリスマス家族会
- 12月24日……第134回例会
＜卓話＞田中節雄会員：ロータリーへ入会しての感想
- 12月31日……第135回例会
＜プログラム＞会長年末挨拶、総会
- 1月7日……第136回例会
＜プログラム＞会長新年挨拶と後半期に向けて計画の完成を
- 1月14日……第137回例会
＜プログラム＞三大奉仕部門：下期活動計画発表
- 1月21日……第138回例会
＜プログラム＞クラブ奉仕担当各委員長：下期活動計画発表
- 1月28日……第139回例会
＜卓話＞千歳市中小企業相談所長・芳賀慶之氏：71年の転機に立つ中小企業の展望と労務管理
- 2月4日……第140回例会
＜卓話＞加藤忠男会員：陶器の歴史
- 2月11日……第141回例会
＜卓話＞北岡体一会員：大阪東RCにメークアップの感想
- 2月18日……第142回例会
＜卓話＞中沢啓次会員：日本のRCの現勢
- 2月24日……第143回例会
＜卓話＞谷本和夫会員：幹事雑考
- 3月4日……第144回例会
年次総会
- 3月11日……第145回例会
- ＜卓話＞小原正男会員：老眼
3月18日……第146回例会
- ＜卓話＞山崎満会員：活動写真の今昔
3月25日……第147回例会
- 夜間例会、交通安全映画上映
- 4月1日……第148回例会
＜プログラム＞クラブフォーラム：会員の親睦を強めるために
- 4月8日……第149回例会
＜卓話＞黒田完治会員：最近の金融事情
- 4月15日……第150回例会
＜卓話＞中沢啓次会員：世界社会奉仕とは
- 4月22日……第151回例会
＜プログラム＞市民会館に於て会員全員の体力テスト実施
- 4月29日……第152回例会
＜プログラム＞北進小中学校校庭に白樺植樹
- 5月6日……第153回例会
＜卓話＞千歳市東峰元次助役：予算案について
- 5月20日……第154回例会
夜間例会、ファイヤーサイドミーティング
- 5月27日……第155回例会
＜プログラム＞クラブフォーラム：右近情報委員長
- 6月3日……第156回例会
＜卓話＞亀山松三会員：生花の話
- 6月10日……第157回例会
＜卓話＞秋場千歳孵化支場長：千歳川のサケ・マスについて
- 6月17日……第158回例会
＜プログラム＞地区協議会、岩見沢RC、8部門、分科会報告
- 6月24日……第159回例会
夜間移動例会、林東公園、会長・役員退任挨拶

1971～1972（昭46～47）

7月1日……第160回例会
＜プログラム＞本年度活動方針、千葉会長、三

大奉仕委員長
7月8日……第161回例会

- <卓話>ポーラ化粧品・古屋一枝さん：最近の
男性化粧品
- 7月15日……第162回例会
夜間例会、自由懇親会
- 7月22日……第163回例会
<卓話>千歳市総務部長・岩瀬正人氏：大規模
住宅団地と商店街
- 7月29日……第164回例会
<卓話>藤川昭三会員：飛行場づくりと私
- 8月5日……第165回例会
<卓話>小原正男会員：買物公園について
- 8月12日……第166回例会
<プログラム>富田恭ガバナー公式訪問
- 8月19日……第167回例会
夜間例会
- 8月26日……第168回例会
<卓話>小西清五郎会員：買物公園の成果
- 9月2日……第169回例会
<卓話>拓銀本店経営相談所長・上田忠氏：円
切上げと本道経済
- 9月9日……第170回例会
<卓話>千葉会長：8月20日実施の千歳川清掃
行事に参加しての感想
- 9月16日……第171回例会
夜間例会、ファイヤーサイドミーティング
- 9月23日……第172回例会
<卓話>谷本和夫会員：世界理解週間について
- 9月30日……第173回例会
<プログラム>9月24日、函館RC地区年次大
会報告
- 10月7日……第174回例会
<卓話>第7師団長・平林克己陸将：比島戦線
の思い出
- 10月14日……第175回例会
<卓話>服部康治会員：ロータリー財団活動に
ついて
- 10月21日……第176回例会
夜間例会、ファイヤーサイドミーティング
- 10月28日……第177回例会
<卓話>千歳少年院・白井忠義氏：青少年問題
- 11月4日……第178回例会
<卓話>苦小牧市企画部開発課長・福田氏：苦
小牧東部開発について
- 11月11日……第179回例会
<プログラム>夜間例会、歌の練習、奉仕の理
想外
- 11月25日……第180回例会
<卓話>日本自然食品協会・谷口理事：健康と
自然食
- 12月1日……第181回例会
<卓話>千歳市社会福祉事務所長・木村孝助氏：
市内住宅困窮者の実態
- 12月9日……第182回例会
<プログラム>I.C.G.Fの研究
- 12月16日……第183回例会
夜間例会、クリスマス家族会、忘年親睦会
- 12月25日……第184回例会
<プログラム>12月12日苦小牧RC.I.C.
G.F三大奉仕部門報告
- 12月30日……第185回例会
<プログラム>千葉会長：上半期活動方針の回
顧と下半期の計画の協力について
- 1月6日……第186回例会
<プログラム>新年交礼会、うえはら
- 1月13日……第187回例会
<卓話>浅利作造会員：オリンピックあれこれ
(1)
- 1月20日……第188回例会
<卓話>いづみ学園・滝園長：精神薄弱児とは
- 1月27日……第189回例会
<卓話>浅利作造会員：オリンピックあれこれ
(2)
- 2月2日……第190回例会
<卓話>千歳市河野教育委員長：教育問題につ
いて
- 2月10日……第191回例会
<卓話>サントリー㈱千歳プラント・志村工場
長：ウイスキーのすべて
- 2月17日……第192回例会
夜間例会

- 2月24日**……第193回例会
 <卓話>千葉会長：ロータリーの誕生とその成長
- 3月2日**……第194回例会
 <プログラム>クラブ総会、新役員選挙
- 3月9日**……第195回例会
 <卓話>サントリー㈱千歳プラント・志村工場長：洋酒あれこれ
- 3月16日**……第196回例会
 夜間例会
- 3月23日**……第197回例会
 <卓話>千歳中学校・佐々木繁信先生：最近の青少年の非行化
- 3月30日**……第198回例会
 <卓話>千歳市長・米田忠雄氏：新年度予算と市民生活
- 4月6日**……第199回例会
 <卓話>彦坂忠人氏：アメリカ農業
- 4月13日**……第200回例会
 <卓話>千歳市総務部長・岩瀬正人氏：新年度予算
- 4月20日**……第201回例会
 <プログラム>千歳RC創立記念パーティー
- 4月27日**……第202回例会
- <卓話>橋本志造会員：別府・京都でバナー交換でロータリーを感じた感想
- 5月4日**……第203回例会
 <卓話>田中義男会員：測量について
- 5月11日**……第204回例会
 <卓話>千歳市社会福祉事務所保護課長・今井功氏：児童福祉について
- 5月18日**……第205回例会
 夜間例会、ファイヤーサイドミーティング
- 5月25日**……第206回例会
 <卓話>亀山松三会員：二度と戦争を起こしてもらいたくない
- 6月1日**……第207回例会
 <卓話>中浦忠男会員：終戦当時の樺太
- 6月8日**……第208回例会
 <卓話>新沼武雄会員：南九州・志摩・孫浦・白浜旅行記
- 6月15日**……第209回例会
 夜間例会、お別れパーティー
- 6月22日**……第210回例会
 <プログラム>本年1年を省りみて各委員長退任挨拶
- 6月29日**……第211回例会
 <プログラム>会長外退任挨拶

1972～1973（昭47～48）

- 7月6日**……第212回例会
 <プログラム>会長・三大奉仕委員長、新年度計画運営方針
- 7月13日**……第213回例会
 <プログラム>クラブサービス各委員長、新年度計画運営方針
- 7月20日**……第214回例会
 夜間例会、自由懇親会
- 7月27日**……第215回例会
 <卓話>大和証券札幌支店長・安藤岩男氏：今后の株価と経済見通し
- 8月3日**……第216回例会
- <卓話>千歳警察署・植村交通課長：最近の交通事故
- 8月10日**……第217回例会
 <卓話>高田伊佐男会員：新聞の読み方、見方
- 8月17日**……第218回例会
 <卓話>岩崎豊次会員：食品衛生
- 8月24日**……第219回例会
 <卓話>加藤光三会員：第2回千歳川まつりに参加して
- 8月31日**……第220回例会
 <プログラム>塩谷猛ガバナー公式訪問
- 9月7日**……第221回例会

- <卓話>毎日新聞札幌支社・竹内報道部長：日本をめぐる外交問題
9月14日……第222回例会
- <卓話>加藤光三会員：魚釣りあれこれ
9月21日……第223回例会
- <プログラム>ポロピナイキャンプ場周辺湖の清掃奉仕、夜間例会
9月28日……第224回例会
- <プログラム>9月23日～24日札幌西RC、第350・351地区、北海道ロータリー40周年を記念して、連合年次大会、国際奉仕部門報告、北岡体一会员
10月5日……第225回例会
- <プログラム>連合年次大会報告、村上正治会員
10月12日……第226回例会
- <プログラム>連合年次大会報告、藤川昭三会員・土屋正造会員・千葉正会員
10月19日……第227回例会
 夜間例会
10月26日……第228回例会
- <プログラム>千歳市第1第2霊園にベンチ10脚を千歳市に贈り据付作業
11月2日……第229回例会
- <卓話>千歳警察署・村瀬防犯課長：交通事故絶滅
11月9日……第230回例会
- <プログラム>連合年次大会報告、近川宗信会員・田中義男会員・加藤光三会員
11月16日……第231回例会
 夜間例会
11月30日……第232回例会
- <卓話>千歳消防署長・須川正直氏：消防について
12月7日……第233回例会
- <プログラム>クラブアッセンブリー
12月14日……第234回例会
- <プログラム>日米親善家族会、移動夜間例会、米軍基地
12月21日……第235回例会
- <プログラム>クリスマス家族会
12月28日……第236回例会
- <プログラム>新沼会長：年末挨拶
1月4日……第237回例会
- <プログラム>新年交礼会、うえはら
1月11日……第238回例会
- <卓話>札幌RC・坂田義晴氏：ロータリーでなさねばならぬ青少年問題
1月18日……第239回例会
- <卓話>佐々木治雄会員：スリップ事故について
1月25日……第240回例会
- <プログラム>1月21日、ホスト千歳、参加クラブ9、出席総数218名、インターナショナルフォーラム、ホストを果して
2月1日……第241回例会
- <卓話>工藤会員：電話・電報の情況
2月8日……第242回例会
- <卓話>高塚興正氏：日本ジャンボリーについて
2月15日……第243回例会
 夜間例会、ファイヤーサイドミーティング
2月22日……第244回例会
- <卓話>薬学部長・石館守三氏：アカデミー運動
3月1日……第245回例会
- <卓話>苫小牧港管理組合総務部長・栗原氏：苫小牧東部開発について
3月8日……第246回例会
- <スピーチ>ロータリー財団奨学生・清水孝一君：奨学生となった経過と抱負
3月15日……第247回例会
- <卓話>千歳市役所企画係長・東川孝氏：国鉄千歳線高架について
3月22日……第248回例会
- <プログラム>総会
3月29日……第249回例会
- <卓話>滝沢栄八氏：スポーツ振興基金について
4月5日……第250回例会

<卓話>黒田完治会員：アンカレジ友好使節団に参加して

4月12日……第251回例会

<卓話>千歳電報電話局・千葉業務課長：ピンク電話機について

4月19日……第252回例会

<卓話>千歳市役所・山岡金治郎氏：緑化条件について

4月26日……第253回例会

<プログラム>創立5周年記念行事、祝賀懇親会、来賓11名、会員54名。記念事業として、千歳市アンカレジの森造成基金に金一封、スポーツ振興基金に金一封を東峰助役に手渡す。

5月10日……第254回例会

<卓話>創立5周年記念・右近久雄特別委員長：5周年のあゆみあれこれ

5月17日……第255回例会

<卓話>佐々木治雄会員：自動車の排出ガス防止対策

5月24日……第256回例会

<卓話>土屋正造会員：職業奉仕委員会の任務

5月31日……第257回例会

<卓話>野沢氏：石油製品の現況

6月7日……第258回例会

<卓話>平石千歳電信電話局長：電話の歴史

6月14日……第259回例会

<プログラム>6月3日札幌RCに於て、地区協議会報告：北岡次期会長

6月21日……第260回例会

<プログラム>お別れ夜間例会、本年一年を省りみて

6月28日……第261回例会

<プログラム>新沼会長外退任挨拶

1973～1974（昭48～49）

7月5日……第262回例会

<プログラム>北岡会長就任挨拶、後総会と切替、定款改訂の件、当クラブ定款、第5条について、クラブ協議会

7月12日……第263回例会

<プログラム>新役員、各委員長本年度計画発表、社会奉仕委員会は敬老の日に千歳市内寝たきり老人45人に見舞品・見舞状を贈った旨報告

7月19日……第264回例会

夜間例会、自由懇親会

7月26日……第265回例会

<プログラム>柿本恒一ガバナー公式訪問

8月2日……第266回例会

<プログラム>クラブ協議会

8月9日……第267回例会

<卓話>千歳防衛施設事務所長・槙秀雄氏：防衛施設庁の任務

8月16日……第268回例会

夜間例会

8月23日……第269回例会

<卓話>平石会員：結婚30年を記念して

8月30日……第270回例会

<卓話>玉置雅敏氏：染料と公害について

9月6日……第271回例会

<卓話>運輸省東京航空局千歳空港所長・大塚正敏氏：軍民共有空港の運用について

9月13日……第272回例会

<卓話>右近久雄会員：ロータリー財団について

9月20日……第273回例会

夜間例会、8月20日全市あげて川清掃に参加報告

9月27日……第274回例会

<卓話>秋山康之進パストガバナー：小さな親切運動

10月4日……第275回例会

10月11日……第276回例会

<プログラム>ホスト岩見沢RC、地区年次大会報告、各部門別
10月18日……第277回例会
<プログラム>クラブ協議会、クラブ奉仕
10月25日……第278回例会
<卓話>斎藤公彦会員：公設卸売市場の仕組
11月1日……第279回例会
<卓話>山崎満会員：仙台連合年次大会に参加、感想
11月8日……第280回例会
<卓話>千歳市長・米田忠雄氏：欧米8ヶ国を歴訪帰朝土産話
11月15日……第281回例会
夜間例会
11月22日……第282回例会
<プログラム>新沼情報委員長、財団週間、スライド上映
11月29日……第283回例会
<卓話>斎藤弘会員：肥満体について
12月6日……第284回例会
<卓話>岸田邦典会員：アメリカ旅行雑記
12月13日……第285回例会
<卓話>倉内清会員：11月25日滝川RCにてインタークト年次大会に参加して、インタークト歴史
12月20日……第286回例会
<プログラム>夜間例会、クリスマス家族会
12月27日……第287回例会
<卓話>北岡会長：上半期をふりかえって
1月3日……第288回例会
<プログラム>会長、年頭の辞、新年交礼会
1月10日……第289回例会
夜間例会、自由懇親
1月17日……第290回例会
<卓話>第7師団長・井出陸将：石油と防衛
1月24日……第291回例会
<卓話>北千歳駐屯地司令・沢山正明氏：今後の自衛隊
1月31日……第292回例会
<卓話>加藤弘行会員：最近の経済金融情勢

2月7日……第293回例会
<卓話>第2航空団司令・池上洋吉空将補：戦前・戦後の飛行機
2月14日……第294回例会
<プログラム>I.C.G.F打合せ
2月21日……第295回例会
夜間例会、ファイヤーサイドミーティング
2月28日……第296回例会
<卓話>第1高射団長・矢嶋陸将補：第1高射団現況
3月7日……第297回例会
<プログラム>I.C.G.F報告、職業奉仕部門
3月14日……第298回例会
<卓話>千歳警察署・高橋防犯課長：最近の商店街不審火について
3月21日……第299回例会
夜間例会、年次総会
3月28日……第300回例会
<プログラム>I.C.G.F報告、国際奉仕部門
4月4日……第301回例会
<卓話>平野博会員：大型輸送機時代を迎えて
4月11日……第302回例会
<卓話>山崎満会員：会員家族の例会参観日、ロータリーとは
4月18日……第303回例会
<プログラム>I.C.G.F報告、社会奉仕部門
4月25日……第304回例会
<卓話>高塚興正氏：8月開催の第6回日本ジャンボリーを控て、ボイスカウトについて
5月2日……第305回例会
<卓話>千歳商工会議所専務理事・芳賀慶之氏：商店街の近代化のシステム
5月9日……第306回例会
<卓話>千歳保健所・松田衛生課長：行政面から見た公害、大気汚染・工場排水・騒音・悪臭等について
5月16日……第307回例会

<卓話>三崎富重会員：観光レジャー産業の現状と将来の展望

5月23日……第308回例会

<プログラム>社会奉仕委員会による、北進小中学校に白樺植樹

5月30日……第309回例会

<卓話>中浦忠男氏：清流と緑を守る市民運動について

6月6日……第310回例会

<プログラム>次年度計画、クラブ協議会

6月13日……第311回例会

<プログラム>次年度実施計画発表

6月20日……第312回例会

夜間例会、お別れパーティー

6月27日……第313回例会

<プログラム>会長外退任挨拶

1974～1975（昭49～50）

7月4日……第314回例会

<プログラム>近川会長外役員新任挨拶

7月11日……第315回例会

<卓話>高橋泰賢氏：日本ジャンボリーの生い立ち

7月18日……第316回例会

夜間例会

7月25日……第317回例会

<卓話>金沢東RC・柴田三郎氏：ロータリー精神をふるい起せ

8月1日……第318回例会

<卓話>川名二郎会員：缶詰産業の沿革と現況

8月8日……第319回例会

夜間例会

8月15日……第320回例会

<卓話>愛知瀬戸RC・早川寅次郎氏：ボーイスカウトの誓いの規則

8月22日……第321回例会

<卓話>同和火災海上保険㈱苦小牧所長・古谷忠雄氏：損害保険について

8月29日……第322回例会

<卓話>千歳市総務部長・岩瀬正人氏：泉沢開発計画

9月5日……第323回例会

<プログラム>森松定男ガバナー公式訪問

9月12日……第324回例会

<卓話>志村好夫会員：洋酒の歴史

9月19日……第325回例会

<プログラム>日米親善友好移動例会、クマ基地

9月26日……第236回例会

<卓話>千歳市教育長・半田景明氏：現代の青少年教育はどうあるべきか。

10月3日……第327回例会

<卓話>千歳市議會議員・赤間重昭氏：北海道開拓と軍事

10月17日……第328回例会

<プログラム>オーストラリア研修グループ・ハリーグレイブ氏外6名の方々と支笏湖翠明閣に於て移動夜間例会

10月24日……第329回例会

<プログラム>10月27日第5分区I.C.G.Fをホスト様似開催、提出議題の協議会

10月31日……第330回例会

<プログラム>10月27日開催のホスト様似I.G.Fの報告

11月7日……第331回例会

<卓話>青木貞夫会員：ロータリー財団週間にについて

11月14日……第332回例会

<卓話>田中達昭会員：欧州ヨーロッパ旅行記

11月21日……第333回例会

<卓話>久高喜好氏：謡曲について

11月27日……第334回例会

<プログラム>恵庭・千歳両クラブ合同夜間例

- 会、恵庭まつうら
12月 5日……第335回例会
 <卓話>浅利作造会員：69歳のロータリーを考える
12月12日……第336回例会
 <プログラム>臨時総会
12月19日……第337回例会
 <プログラム>クリスマスチャリティ、家族夜間例会、チャリティ益金7万円を市内肢体不自由児のため機能回復の運動器具購入の一助として寄贈
12月26日……第338回例会
 <プログラム>近川会長：上半期を終えて
1月 9日……第339回例会
 <プログラム>近川会長外役員・委員長年頭所感
1月16日……第340回例会
 <卓話>斎藤弘会員：禁煙と健康管理
1月23日……第341回例会
 <卓話>戸田泰介氏：青少年とアンカレジ訪問について
1月30日……第342回例会
 <卓話>千歳郵便局長：千歳市民と郵便事業
2月 6日……第343回例会
 <プログラム>クラブフォーラム、規約改正について
2月13日……第344回例会
 <プログラム>総会
2月20日……第345回例会
 <プログラム>70周年記念、夜間例会
2月27日……第346回例会
 <卓話>遠藤正一会員：東南アジア旅行記
3月 6日……第347回例会
 <卓話>北海道銀行頭取・森岡武芳氏：日本経済を語る
3月13日……第348回例会
 <卓話>土屋正造会員：川柳について
3月20日……第349回例会
 夜間例会、フォーラム、クラブ奉仕活動
3月27日……第350回例会
 <卓話>岸田邦典会員：音楽教室について
4月 3日……第351回例会
 <卓話>櫛玉屋社長・深林氏：お金と金と宝石
4月10日……第352回例会
 <卓話>北岡体一会員：50年前の千歳の風俗と飛行場の発祥
4月17日……第353回例会
 夜間例会
4月24日……第354回例会
 <卓話>苦小牧RC板谷氏：石油化学について
5月 1日……第355回例会
 <プログラム>次年度、会長・幹事研修会の報告
5月 8日……第356回例会
 <卓話>須藤文夫会員：千歳のハイタク業界の概況
5月15日……第357回例会
 <卓話>毛内利夫会員：フグについて
5月22日……第358回例会
 <プログラム>恵庭・千歳合同夜間例会、ホリス司令官お別れ会
5月29日……第359回例会
 <卓話>斎藤弘会員：煙草の害について
6月 5日……第360回例会
 <卓話>千歳警察署・時田交通課長：交通事故の実体
6月12日……第361回例会
 <卓話>千歳市長・東峰元次氏：市政について
6月19日……第362回例会
 <プログラム>一年を省りみて、近川会長所感
6月26日……第363回例会
 <プログラム>夜間例会、会長外退任挨拶

1975～1976（昭50～51）

- 7月3日……第364回例会
＜プログラム＞小原会長外、就任挨拶
- 7月10日……第365回例会
＜プログラム＞新年度活動方針、各委員長報告
- 7月17日……第366回例会
夜間例会 斎藤弘会員：禁煙のすすめ
- 7月24日……第367回例会
＜プログラム＞総会、本年度予算案
- 7月31日……第368回例会
＜卓話＞大隈保和会員：キリンレモンの出来るまで
- 8月7日……第369回例会
＜卓話＞千歳市役所・芹沢環境部長：千歳の環境問題
- 8月14日……第370回例会
＜卓話＞千歳青年会議所理事長・八杉一博氏：千歳川まつりについて
- 8月21日……第371回例会
夜間例会 昨日行なわれた千歳川まつり参加報告
- 8月28日……第372回例会
＜卓話＞平野博会員：新千歳空港問題について
- 9月4日……第373回例会
＜卓話＞千歳公民館長・狩野氏：公民館はいかに機能すべきか
- 9月11日……第374回例会
＜卓話＞公明党北海道本部長・斎藤実氏：日本政治と経済
- 9月18日……第375回例会
＜卓話＞北岡体一会員：千歳川の由緒
- 9月25日……第376回例会
＜卓話＞野村証券・前田栄一氏：効果的資金運用とこれからの経営
- 10月2日……第377回例会
＜プログラム＞9月21日ホスト函館RC、地区年次大会報告、遠藤正一会員、村上会員、須藤会員
- 10月9日……第378回例会
＜プログラム＞地区年次大会報告、加藤光三会員、加藤武仁会員、新沼武雄会員
- 10月16日……第379回例会
＜プログラム＞青木一雄ガバナー公式訪問
- 10月23日……第380回例会
＜卓話＞星野信夫会員：電話サービスの仕組と電話事業の現状
- 10月30日……第381回例会
＜卓話＞新沼武雄会員：東荻RCを訪問しての感想
- 11月6日……第382回例会
＜卓話＞倉内清会員：原市八木町の商店街再開発
- 11月13日……第383回例会
＜卓話＞千歳市青少年課・佐々木繁信氏：青少年問題
- 11月20日……第384回例会
夜間例会
- 11月27日……第385回例会
＜卓話＞千歳市議会産経常任委員長・園田七五三一氏：農業問題
- 12月4日……第386回例会
＜卓話＞千歳商工会議所専務理事・芳賀慶之氏：商店街を市民の心のふるさとに
- 12月11日……第387回例会
＜卓話＞千歳市福祉事務所長・山野辺茂氏：福祉について考える
- 12月18日……第388回例会
＜プログラム＞総会
- 12月25日……第389回例会
＜プログラム＞クリスマス家族会
- 1月8日……第390回例会
＜プログラム＞恵庭RC・千歳RC合同新年交歓会
- 1月22日……第391回例会
＜プログラム＞会長、理事の新年の挨拶と下半

期の抱負

1月29日……第392回例会

＜卓話＞千歳保健所・松田衛生課長：最近の食品衛生について

2月5日……第393回例会

＜卓話＞奥野文蔵会員：千歳市建設の夢

2月12日……第394回例会

＜プログラム＞2月8日三石RCで行なわれた I.C.G.Fに参加された7名の方々より各部門別報告

2月19日……第395回例会

＜プログラム＞夜間例会

2月26日第396回例会

＜卓話＞内藤詩郎会員：アルコール中毒について

3月4日……第397回例会

＜卓話＞土屋正造会員：道内他クラブへ訪問しての感想

3月11日……第398回例会

＜卓話＞浅利作造会員：私のボケーション

3月18日……第399回例会

＜プログラム＞夜間例会

3月25日……第400回例会

＜卓話＞高間善蔵会員：バリ島よもやま話

4月1日……第401回例会

＜卓話＞第7師団長・加藤誠一氏：インドに駐在して

4月8日……第402回例会

＜卓話＞中浦忠男会員：プロパンガスの概要

4月14日……第403回例会

＜プログラム＞ 恵庭RC300回例会を記念して 恵庭・千歳合同例会

4月22日……第404回例会

＜卓話＞千歳市商工観光課長・東川孝氏：支笏湖とその周辺について

5月4日……第405回例会

＜プログラム＞フィリップ方式の討議、家庭とロータリアン、ディスカッション

5月13日……第406回例会

＜卓話＞千歳市企画部長・菅原文弥氏：千歳市将来の都市構成

5月20日……第407回例会

＜プログラム＞支笏湖公園線清掃奉仕、支笏湖観光ホテルにて移動夜間例会

5月27日……第408回例会

＜卓話＞北栄小学校高木良一氏：情緒障害児について

6月3日……第409回例会

＜プログラム＞ロータリーパッチについて全員デスカッション

6月10日……第410回例会

＜卓話＞黒崎武志会員：原子力発電について

6月17日……第411回例会

＜プログラム＞本年一年を省みて 会長挨拶

6月24日……第412回例会

＜プログラム＞年度さよなら懇親会

1976～1977（昭51～52）

7月1日……第413回例会

＜卓話＞米国領事館主席領事・ローレンスF. フアラー氏：米国建国200年祭について

7月8日……第414回例会

＜プログラム＞会長外就任挨拶、地区協議会報告

7月15日……第415回例会

＜卓話＞田中達昭会員：米国における建築の印

象

7月22日……第416回例会

＜卓話＞北海少年院・山岡院長：少年問題

7月29日……第417回例会

＜卓話＞田中達昭会員：アメリカの土産話し

8月5日……第418回例会

＜プログラム＞大野和夫ガバナー公式訪問

8月12日……第419回例会

- <卓話>札幌RC深林広吉氏：ニューオリンズの四方山話し
8月19日……第420回例会
 夜間例会
8月26日……第421回例会
 <卓話>奥野文蔵会員：アンカレジ四方山話し
9月2日……第422回例会
 <卓話>西口末松会員：千歳自動車学校の紹介
9月9日……第423回例会
 <卓話>糀山会員：カメラについて
9月16日……第424回例会
 移動夜間例会・パシフィック・カントリークラブ
9月30日……第425回例会
 <卓話>中根速記学校長・中根正雄氏：速記について
10月7日……第426回例会
 <卓話>浅利作造会員・室蘭市で行なわれた第351地区ローターアクト年次大会の感想
10月14日……第427回例会
 <卓話>伊藤照正会員：支笏湖観光ホテルの紹介
10月21日……第428回例会
 <プログラム>恵庭RC、千歳RC合同夜間例会
10月28日……第429回例会
 <卓話>三崎富重会員：アメリカRCを訪問して
11月4日……第430回例会
 <プログラム>I.G.Fの報告会
 千葉会員、浅利会員、齊藤弘会員
11月11日……第431回例会
 <卓話>第1高射団長南部陸将補：北海道の防空のあらまし
11月18日……第432回例会
 <卓話>北岡体一会員：ユネスコについて
 夜間例会
11月25日……第433回例会
 <卓話>盛大会員：デノミネーションについて
12月2日……第434回例会
- <卓話>伊藤常正会員：建築塗装について
12月9日……第435回例会
 <プログラム>総会
12月16日……第436回例会
 <卓話>帰山荘一会員：女房長持の法(スライド)
12月23日……第437回例会
 <プログラム>クリスマス家族会
12月28日……第438回例会
 <プログラム>上半期を省みて 会長外
1月6日……第439回例会
 <プログラム>新年交礼会、下半期に向けて会長抱負
1月13日……第440回例会
 <卓話>藤川昭三会員：入会時と現在千歳RCの相違と希望
1月27日……第441回例会
 <卓話>奥野文蔵会員：昭和52年に千歳市がやらなければならない事業
2月3日……第442回例会
 <卓話>岸田邦典会員：1億人の小さな心づかいが、エネルギーの節減
2月10日……第443回例会
 <卓話>加藤光三会員：雑誌週間について
2月17日……第444回例会
 夜間例会
2月24日……第445回例会
 <卓話>北岡体一会員：調停委員の仕事の内容
3月3日……第446回例会
 <卓話>ラフィク・ハルン氏：国際ロータリー創立にちなんで
3月10日……第447回例会
 <卓話>土屋正造会員：画の見方と買い方
3月17日……第448回例会
 <卓話>遠藤正一会員：少年少女スキー大会の支援
3月24日……第449回例会
 <卓話>村上光輝会員：韓国旅行記
3月31日……第450回例会
 <卓話>大隈保和会員：キリンビールの経営方針

4月7日……第451回例会
＜プログラム＞千歳RC、恵庭RC合同夜間例会
4月14日……第452回例会
＜卓話＞黒崎武志会員：電力事情について
4月21日……第453回例会
＜卓話＞斎藤公彦会員：200海里の諸問題
4月28日……第454回例会
＜プログラム＞浅利作造会員、立入亨会員：市議立起の抱負
5月12日……第455回例会
＜卓話＞高瀬俊明会員：道内経済の見通し
5月19日……第456回例会
＜卓話＞北岡体一会員：米山週間について
5月26日……第457回例会
＜プログラム＞クラブ協議会

6月2日……第458回例会
＜卓話＞小池文夫会員：市議当選の謝礼と白生会紹介
6月9日……第459回例会
＜プログラム＞谷本次年度会長：次年度クラブ計画目標の要約
6月16日……第460回例会
＜プログラム＞支笏湖公園線道路清掃、夜間例会
6月23日……第461回例会
＜卓話＞谷本和夫会員：RI年次大会に参加して（国際感の実感）
6月30日……第462回例会
＜プログラム＞本年一年を省みて会長以下退任挨拶

1977～1978（昭52～53）

7月7日……第463回例会
＜プログラム＞谷本会長外就任挨拶
7月14日……第464回例会
＜プログラム＞本年度各委員長：事業計画発表
7月21日……第465回例会
＜プログラム＞夜間例会、谷本会長：サンフランシスコ国際大会に参加して
7月28日……第466回例会
＜プログラム＞クラブアッセンブリー
8月4日……第467回例会
＜卓話＞倉内清会員：青少年問題
8月11日……第468回例会
＜プログラム＞斎藤元彦君、土岐一利君：チミケップ国際キャンプ体験談
8月18日……第469回例会
＜プログラム＞クラブフォーラム：10周年記念行事について
8月25日……第470回例会
＜プログラム＞1975年財団奨学生・林美枝子さん：アメリカの小学校教育について

9月1日……第471回例会
＜卓話＞千歳市教育委員会・佐々木主査：青少年問題
9月8日……第472回例会
＜卓話＞第2航空団司令・中西空将補：防衛について
9月22日……第473回例会
＜プログラム＞恵庭RC、千歳RC：合同夜間例会（パシフィックカントリークラブ）
9月29日……第474回例会
＜卓話＞須藤文夫会員：世界理解週間について
10月6日……第475回例会
＜プログラム＞第251地区年次大会：小樽RCにて開催の報告 千葉正会員
10月13日……第476回例会
＜卓話＞千歳警察署・後藤芳則署長：青少年活動にちなんで管内の青少年非行に想う
10月20日……第477回例会
＜プログラム＞クラブフォーラム：10周年記念委員会

- 10月27日**……第478回例会
 <卓話>仲村長市会員：住まいと設備
- 11月10日**……第479回例会
 <卓話>千歳市助役岩瀬正人氏：泉沢問題について
- 11月17日**……第480回例会
 <卓話>加藤武仁会員：永年勤続優良従業員の表彰について
- 11月24日**……第481回例会
 <卓話>中条千歳空港長：千歳空港の現況
- 12月1日**……第482回例会
 <卓話>伊藤照正会員：中南米旅行土産話し
- 12月8日**……第483回例会
 <卓話>第7師団幕僚長・清水一佐：東南アジア情勢
- 12月15日**……第484回例会
 <卓話>内藤詩郎会員：国際ロータリー基本方針
- 12月22日**……第485回例会
 <プログラム>クリスマス家族会
- 1月5日**……第486回例会
 <プログラム>新年交礼会、クラブ協議会
- 1月12日**……第487回例会
 <プログラム>251地区伊藤義郎ガバナー公式訪問
- 1月19日**……第488回例会
 <卓話>札幌教育大・伊藤隆一先生：「色」について
- 1月26日**……第489回例会
 <卓話>丹治秀一会員：林業経営について
- 2月2日**……第490回例会
 <卓話>安田晃次会員：民間航空について
- 2月9日**……第491回例会
 <卓話>内藤詩郎会員：RI創立記念日（ポールハリスの生い立ち）
- 2月16日**……第492回例会
 <プログラム>夜間例会（歌の練習）
- 2月23日**……第493回例会
 <プログラム>2月18日苫小牧RCホストで開催、第5分区I.G.F報告職業奉仕加藤会員、
- 国際奉仕須藤会員**
3月2日……第494回例会
 <プログラム>I.G.F報告、社会奉仕高間会員、クラブ奉仕浅利会員
- 3月9日**……第495回例会
 <卓話>千歳市田中哲広聴課長：中国東北地区を視察して
- 3月16日**……第496回例会
 <プログラム>夜間例会・クラブフォーラム：10周年記念行事について
- 3月23日**……第497回例会
 <卓話>斎藤公彦会員：公設卸売市場から見た消費生活
- 3月30日**……第498回例会
 <プログラム>クラブアッセンブリー：10周年行事について
- 4月6日**……第499回例会
 <プログラム>移動夜間家族会、サントリー株式会社千歳工場
- 4月13日**……第500回例会
 <プログラム>クラブフォーラム：式典部会、祝賀会部会
- 4月20日**……第501回例会
 <プログラム>クラブフォーラム：実行委員会、広報、会報委員会
- 4月27日**……第502回例会
 <プログラム>千歳RC10周年記念式典、祝賀会
- 5月4日**……第503回例会
 <卓話>伊藤照正会員：常識のウソ
- 5月11日**……第504回例会
 <卓話>札幌RC深林広吉氏：遇番上等兵
- 5月18日**……第505回例会
 <プログラム>支笏湖公園線清掃奉仕、支笏湖観光ホテルにて夜間例会
- 5月25日**……第506回例会
 <卓話>千葉正会員：1978年国際ロータリー東京大会に参加しての感想
- 6月1日**……第507回例会
 <卓話>高間善造会員：紳士服販売を通じて

6月8日……第508回例会
<プログラム>6月3日札幌パークホテルにて開催、地区協議会に出席報告 内藤会員

6月15日……第509回例会
<プログラム>会長、3大奉仕部門本年一年の結果報告

6月22日……第510回例会
<プログラム>クラブサービス部門各委員長より活動報告

6月29日……第511回例会
<プログラム>会長外退任挨拶（10周年記念スライド上映）

1978～1979（昭53～54）

7月6日……第512回例会
<プログラム>新年会長、役員の抱負

7月13日……第513回例会
<プログラム>新年度各委員長：計画と抱負

7月20日……第514回例会
<プログラム>夜間例会

7月27日……第515回例会
<プログラム>251地区富田嘉市ガバナー公式訪問

8月3日……第516回例会
<プログラム>浅利会長、ガバナー訪問、クラブ協議会感想

8月10日……第517回例会
<卓話>土屋正造会員：交通安全標語あれこれ

8月17日……第518回例会
<プログラム>夜間例会：フイリッピンへの水産加工援助（スライド上映）

8月24日……第519回例会
<卓話>千葉大児氏：人間それぞれの生き方

8月31日……第520回例会
<プログラム>伊藤清美さん：チニケップキャンプに参加して

9月7日……第521回例会
<卓話>越原誠会員：ビール雑学

9月14日……第522回例会
<卓話>文学博士山上八郎氏：歴史の教訓

9月21日……第523回例会
<プログラム>恵庭RC、千歳RC：合同職場移動夜間例会、全日空出発ロビー

9月28日……第524回例会

<卓話>千歳市教育委員会・佐々木繁信先生：青少年活動週間にちなんで

10月5日……第525回例会
<プログラム>室蘭RC：第251地区年次大会の報告 浅利会長

10月12日……第526回例会
<卓話>千歳空港長中条新三氏：千歳空港国際化について

10月19日……第527回例会
<プログラム>夜間例会

10月26日……第528回例会
<卓話>布施弘次会員：電信電話記念日について

11月2日……第529回例会
<卓話>鎌田武二郎会員：北海道の電力事情

11月9日……第530回例会
<卓話>平野博会員：千歳空港の近況

11月16日……第531回例会
<プログラム>夜間例会

11月30日……第532回例会
<卓話>国際教育開発KK・堀田正明課長：エンサイクロ・テベイヤ・ブリタニカについて

12月7日……第533回例会
<卓話>千歳警察署・上山国隆交通課長：新道路交通法

12月14日……第534回例会
<卓話>平塚鎮男会員：やきもの鑑賞の秘決

12月21日……第535回例会
<プログラム>クリスマス家族会

12月28日……第536回例会

<プログラム>総会、次年度役員理事選出

1月4日……第537回例会

<プログラム>会長外新年の挨拶

1月11日……第538回例会

<卓話>東京工学院機械科設計・伊藤小一先生：本年度の展望

1月18日……第539回例会

<卓話>今井武会員：調理士について

1月25日……第540回例会

<卓話>浅利作造会長：ファイヤサイド・ミーティングについて

1月19日～23日 アジア大会開催（韓国ソウルにて）略称 I・C・G・Fを IGFに統一

2月1日……第541回例会

<卓話>齊藤公彦会員：職業を通じて海産、果実問屋あれこれ

2月8日……第542回例会

<卓話>土屋正造会員：美術、浮世絵、版画

2月15日……第543回例会

<プログラム>クラブフォーラム

2月22日……第544回例会

<プログラム>千歳RC、恵庭RC：合同夜間例会

3月1日……第545回例会

<卓話>第7師団長・渡辺勉氏：防衛シリーズ

3月8日……第546回例会

<卓話>第1特科団長：今田敏之氏：日本の防空の現況

3月15日……第547回例会

<プログラム>夜間例会

3月22日……第548回例会

<卓話>第2航空団司令・稲葉陸将補：ミグ25の話し

3月29日……第549回例会

<卓話>千歳市長・東峰元次氏：オルリードゴール空港見学記

4月5日……第550回例会

<卓話>拓殖銀行調査部次長・松本祐光氏：最近の景気の動向

4月12日……第551回例会

<卓話>平塚鎮男会員：千歳の文化財が国の重要文化財に

4月19日……第552回例会

<卓話>内藤詩郎会員：最近の第251地区の現況

4月26日……第553回例会

<卓話>北海道相互銀行企画室長・川西徹氏：外食産業の現況と展望

5月10日……第554回例会

<卓話>谷本和夫会員：第965地区交換学生ポール・リックス君をお世話して

5月17日……第555回例会

<プログラム>夜間例会、次期理事・委員長発表

5月24日……第556回例会

<卓話>齊藤弘会員：喫煙と肺ガンについて

5月31日……第557回例会

<卓話>鎌田武二郎会員：原子力発電の事故について スリーマイル・アイランド原発事故の経過

6月7日……第558回例会

<プログラム>クラブフォーラム：交換学生について

6月14日……第559回例会

<卓話>田代智彦会員：武運つたなくノモハン事件参戦回想

6月21日……第560回例会

<プログラム>青葉公園に芝張り、草刈り奉仕夜間例会

6月28日……第561回例会

<プログラム>会長外退任挨拶

1979～1980（昭54～55）

7月5日……第562回例会

＜プログラム＞会長 倉内清：就任に当って
副会長・藤川昭三：楽しい例会にするクラブに

7月12日……第563回例会

＜卓話＞野村証券外国株式部次長岩井正幸氏：
石油問題と各国の対応

7月19日……第564回例会

＜卓話＞半田景明先生：中国視察の一員として
中国の感想と実態

7月26日……第565回例会

＜プログラム＞夜間例会、交換学生教師として
藤田先生

8月2日……第566回例会

＜卓話＞千歳市役所・土井享氏：GSF帰還報
告（スライド上映）

8月9日……第567回例会

＜卓話＞千歳空港長・林国夫氏：新しい観点か
らこれから空港、航空について

8月16日……第568回例会

＜卓話＞藤川純子さん：チミケップ国際中学キャ
ンプ帰還報告

8月23日……第569回例会

＜卓話＞角谷八郎サントリー千歳工場長：東京、
大阪、北海道の経営の違い

8月30日……第570回例会

＜卓話＞環境庁公園事務所長岡田氏：自然との
ふれあい

9月6日……第571回例会

＜プログラム＞ポール君：オーストラリアを紹
介する映画上映

9月13日……第572回例会

＜卓話＞大宮勇蔵会員：千歳国際ホテル日航の
紹介

9月20日……第573回例会

＜プログラム＞恵庭RC、千歳RC合同夜間例
会

9月27日……第574回例会

＜卓話＞斎藤征義会員：読書について

10月4日……第575回例会

＜卓話＞斎藤 弘会員：地区大会、並にアンカ
レジ訪問（スライド上映）

10月11日……第576回例会

＜プログラム＞移動職場例会、サントリーKK
千歳プラント：国際理解のため、ロータリー財
團教育活動研究グループ交換の歓迎会

10月18日……第577回例会

＜卓話＞布施弘次会員：電信電話記念日の由来

10月25日……第578回例会

＜プログラム＞クラブ協議会：年次計画の推移

11月1日……第559回例会

＜プログラム＞251地区ガバナー太宰六郎ガバ
ナー公式訪問

11月8日……第580回例会

＜卓話＞加藤安彦会員：最近の家庭内暴力、職
場暴力

11月15日……第581回例会

＜プログラム＞夜間例会、自由親睦

11月22日……第582回例会

＜卓話＞千葉 正会員：ロータリー青少年活動
週間

11月29日……第583回例会

＜卓話＞種村貞敏会員：最近の航空情勢

12月6日……第584回例会

＜卓話＞岸田邦典会員：有楽通商店街振興組合
アーケード事業について

12月13日……第585回例会

＜卓話＞真鍋辰夫氏：戦争時における人生経験

12月20日……第586回例会

＜プログラム＞クリスマス家族会、交換学生ポー
ル・リックス君のサヨナラパーティ

12月27日……第587回例会

＜卓話＞倉内会員：3Hプログラムとは

1月10日……第588回例会

＜卓話＞近川宗信会員：郷土意識の高揚につい

て

- 1月24日……第589回例会
＜プログラム＞クラブフォーラム、出席について
- 1月31日……第590回例会
＜卓話＞千歳市役所企画部長・菅原文弥氏：道央ベルト地帯の中の千歳
- 2月1日……第591回例会
＜卓話＞千歳市役所企画部長・菅原文弥氏：交通体系からみる千歳市の都市環境
- 2月7日……第592回例会
＜卓話＞千歳市役所企画部長・菅原文弥氏：新千歳空港の建設促進
- 2月21日……第593回例会
＜卓話＞矢吹一佐：コンピューターと電卓の今昔
- 2月28日……第594回例会
＜卓話＞千歳市役所企画部長・菅原文弥氏：千歳空港の国際化
- 3月6日……第595回例会
＜プログラム＞クラブフォーラム、出席向上
- 3月13日……第596回例会
＜卓話＞伊藤弘二氏：千歳ライオンズクラブの現況
- 3月27日……第597回例会
＜卓話＞金田光司氏：省エネとソーラーシステム
- 4月3日……第598回例会
＜卓話＞千歳市経済部長・東川孝氏：千歳市内の内陸工業
- 4月10日……第599回例会
＜卓話＞千歳市経済部長・東川孝氏：千歳市の

観光と開発(1)

- 4月17日……第600回例会
＜プログラム＞夜間例会、佐々木雅寿君：交換学生報告
- 4月24日……第601回例会
＜卓話＞千歳市建設部長・高師貞吉氏：千歳市の都市計画
- 5月1日……第602回例会
＜卓話＞千歳市経済部長・東川孝氏：千歳市の観光と開発(2)
- 5月8日……第603回例会
＜プログラム＞えりもRCで行なわれたI.G.F報告、倉内会長外
- 5月15日……第604回例会
＜プログラム＞支笏湖公園線道路清掃後夜間移動例会、支笏湖観光ホテル
- 5月22日……第605回例会
＜卓話＞千歳市建設部長・高師貞吉氏：鉄道高架と都市機能
- 5月29日……第606回例会
＜卓話＞千歳市都市開発課長・梶浦康弘氏：中心商店街再開発
- 6月5日……第607回例会
＜卓話＞天野晴美会員：北電、原子力発電について
- 6月12日……第608回例会
＜プログラム＞クラブ協議会、次年度活動計画
- 6月19日 第609回例会
＜プログラム＞本年度お別れ夜間例会
- 6月26日……第610回例会
＜プログラム＞地区協議会報告、藤川次期会長、倉内会長外退任あいさつ

1980～1981（昭55～56）

- 7月3日……第611回例会
＜プログラム＞藤川会長外役員就任挨拶
- 7月10日……第612回例会
＜プログラム＞クラブ奉仕担当各委員長、活動

- 計画、就任挨拶
- 7月17日……第613回例会
＜プログラム＞夜間例会、自由懇親
- 7月24日……第614回例会

- <プログラム>クラブフォーラム、四つのテストの由来
7月31日……第615回例会
- <プログラム>クラブフォーラム、各委員会別
8月7日……第616回例会
- <卓話>小野七郎氏：最近交通事故の状況における安全運転
8月14日……第617回例会
- <卓話>東京航空局千歳空港長・林国夫氏：最近の千歳空港について
8月21日……第618回例会
- <プログラム>夜間例会、チミケップキャンプ参加者の体験発表、藤川賢治君、黒崎透子さん
8月28日……第619回例会
- <プログラム>クラブ協議会
9月4日……第620回例会
- <プログラム>国際ロータリー第251地区ガバナー小川忠一氏公式訪問
9月11日……第621回例会
- <卓話>千歳市役所梅沢環境部長：千歳市の廃棄物処理計画
9月18日……第622回例会
- <プログラム> 恵庭RC、千歳RC合同夜間例会
9月25日……第623回例会
- <プログラム>クラブ協議会、出席向上について
10月2日……第624回例会
- <卓話>東山嘉樹会員：清涼飲料
10月9日……第625回例会
- <卓話>椿輝男氏：中国語の発音講座
10月16日……第626回例会
- <プログラム>夜間例会、中国農業技術研修団招待
10月23日……第627回例会
- <プログラム>藤川会長：地区年次大会報告
10月30日……第628回例会
- <卓話>山崎建設KK社長山崎初三郎氏：中国見たまま
11月6日……第629回例会
- <卓話>下山道新支局長：日本の漢字と中国の漢字
11月13日……第630回例会
- <卓話>千歳市商工観光課消費生活相談室長：千歳市の物価の動向と消費価格
11月20日……第631回例会
- <プログラム>夜間例会、自由親睦
11月27日……第632回例会
- <プログラム>武石忠俊会員・外遊報告
12月4日……第633回例会
- <プログラム>第251地区ロータリー財団に3Hプログラム寄付金に関する報告
12月11日……第634回例会
- <卓話>千歳市消防長・須川正直氏：消防行政について
12月18日……第635回例会
- <プログラム>クリスマス家族会チャリティパーティ
12月25日……第636回例会
- <プログラム>年次総会
1月8日……第637回例会
- <プログラム>新年交礼会、夜間例会
1月22日……第638回例会
- <プログラム>クラブアッセンブリー各委員長前期活動報告
1月29日……第639回例会
- <プログラム>クラブアッセンブリー各委員長前期活動報告
2月5日……第640回例会
- <卓話>道銀相談センター所長・山本光男氏：今年の経済見直しと課題
2月12日……第641回例会
- <卓話>第5分区代理・谷守雄氏：ガバナー訪問時の感想
2月19日……第642回例会
- <プログラム>夜間例会、自由親睦
2月26日……第643回例会
- <卓話>角谷国際奉仕委員長：国際奉仕活動について
3月12日……第644回例会

- <卓話>村松克重会員：雇用保険
3月18日……第645回例会
- <プログラム>恵庭RCにて北広島、恵庭、千歳3クラブ合同夜間例会
3月26日……第646回例会
- <プログラム>地区協議会、フォーラム
4月2日……第647回例会
- <卓話>全日空種村支店長
4月9日……第648回例会
- <卓話>五十嵐宏会員：職場紹介
4月16日……第649回例会
- <プログラム>夜間例会、自由懇親
4月23日……第650回例会
- <卓話>坂口会員：職場紹介
4月30日……第651回例会
- <卓話>高慶会員、八杉会員：職場、自己紹介
5月7日……第652回例会
- <卓話>萱場会員、長岡会員：職場、自己紹介
- 5月14日**……第653回例会
- <卓話>井上会員、大沼会員：職場、自己紹介
5月21日……第654回例会
- <プログラム>支笏湖公園線道路清掃、夜間移動例会、支笏湖観光ホテル
5月28日……第655回例会
- <卓話>小川英雄会員、河崎会員：職場、自己紹介
6月4日……第656回例会
- <プログラム>クラブ協議会、各委員会活動結果報告
6月11日……第657回例会
- <プログラム>クラブ協議会、各委員会活動結果報告
6月18日……第658回例会
- <プログラム>夜間例会本年度サヨナラパーティ
6月25日……第659回例会
- <プログラム>会長外退任挨拶

1981～1982（昭56～57）

- 7月2日**……第660回例会
- <プログラム>会長、幹事新任挨拶
7月9日……第661回例会
- <プログラム>クラブ奉仕担当各委員長新任挨拶
7月16日……第662回例会
- <プログラム>夜間例会
7月23日……第663回例会
- <プログラム>クラブ討論会、RI会長の基本方針に基づいて
7月30日……第664回例会
- <プログラム>各委員会、新年度活動計画発表
8月6日……第665回例会
- <プログラム>クラブフォーラム、RI会長が提唱する基本方針に基づいて、一年間の活動計画、内容について11委員長発表
8月13日……第666回例会
- <卓話>北海少年院福井弘勝氏：再出発のバス
- ポートを手にして
8月20日……第667回例会
- <プログラム>北広島RC、恵庭RC、千歳RC合同夜間例会
8月27日……第668回例会
- <卓話>バストガバナー大宰六郎氏：職業奉仕について
9月3日……第669回例会
- <プログラム>クラブフォーラム、委員会別
9月10日……第670回例会
- <卓話>石橋会員、沼山会員：青少年週間
9月17日……第671回例会
- <プログラム>夜間例会、自由懇親
9月24日……第672回例会
- <プログラム>9月19～20日、苫小牧で行なわれた年次大会報告、斎藤会長
10月1日……第673回例会
- <卓話>佐藤秀雄会員：不動産競売について

- 10月8日……第674回例会
 <卓話>本田次義会員：私の体験
- 10月15日……第675回例会
 <プログラム>移動例会、北電豊平峡ダム
- 10月22日……第676回例会
 <卓話>第7師団長・中村守雄陸将：第7師団の装備
- 10月29日……第677回例会
 <卓話>斎藤会長：喫煙とストレス
- 11月5日……第678回例会
 <卓話>海上保安庁千歳航空基地長・薦田康氏：海難について
- 11月12日……第679回例会
 <卓話>千歳市助役・岩瀬正人氏：ヨーロッパの印象
- 11月19日……第680回例会
 <プログラム>夜間例会
- 11月26日……第681回例会
 <プログラム>第251地区、佐久間三八ガバナー公式訪問
- 12月2日……第682回例会
 <プログラム>恵庭RC、北広島RC、千歳RC：合同例会
- 12月10日……第683回例会
 <卓話>杉本健会員：電話ファックスについて
- 12月17日……第684回例会
 <プログラム>クリスマス・チャリティ家族会
- 12月24日……第685回例会
 <プログラム>年次総会
- 12月31日……休会
- 1月7日……第686回例会
 <プログラム>夜間例会、新年交礼会
- 1月14日……第687回例会
 <卓話>板橋孝雄会員：グリーンカード制度の概要
- 1月21日……第688回例会
 <プログラム>クラブアッセンブリー、前期報告
- 1月28日……第689回例会
 <プログラム>クラブアッセンブリー、上半期
- 報告
 2月4日……第690回例会
 <プログラム>クラブアッセンブリー、クラブフォーラム
- 2月11日……休会
- 2月18日……第691回例会
 <プログラム>夜間例会
- 2月25日……第692回例会
 <卓話>野村証券㈱法務部法務課・大沢明氏：商法改正
- 3月4日……第693回例会
 <卓話>パストガバナー大宰六郎氏：出席義務について
- 3月11日……第694回例会
 <卓話>岩崎豊次会員：生いたち
- 3月18日……第695回例会
 <プログラム>夜間例会
- 3月25日……第696回例会
 <卓話>千葉正会員：民芸木工時代の10年間を省みて
- 4月1日……第697回例会
 <プログラム>クラブフォーラム
- 4月8日……第698回例会
 <卓話>石橋道彦会員：日本で生産される缶詰
- 4月15日……第699回例会
 <プログラム>夜間例会
- 4月22日……第700回例会
 <卓話>大島貢会員：老後の生活と貯蓄、年金
- 5月6日……第701回例会
 <卓話>種村貞敏会員：職業のサービスに北海道の砂糖を
- 5月13日……第702回例会
 <卓話>北岡体一会員：ロータリークラブにはなぜ一業一人という掟があるのか
- 5月20日……第703回例会
 <プログラム>支笏湖公園線道路清掃奉仕、支笏湖観光ホテル、夜間例会
- 5月27日……第704回例会
 <プログラム>北広島、恵庭、千歳RC合同例会

- 6月3日**……第705回例会
 <プログラム>クラブフォーラム、四大奉仕部門
- 6月10日**……第706回例会
 <プログラム>クラブアッセンブリー
- 6月17日**……第707回例会
 <プログラム>クラブアッセンブリー
- 6月24日**……第708回例会
 <プログラム>会長外退任挨拶

1982～1983（昭57～58）

- 7月1日**……第709回例会
 <プログラム>会長就任挨拶、クラブ活動計画
- 7月8日**……第710回例会
 <プログラム>各委員長就任あいさつ
- 7月15日**……第711回例会
 <プログラム>夜間例会
- 7月22日**……第712回例会
 <卓話>後藤重治会員：邦楽にみる日本の心
- 7月29日**……第713回例会
 <卓話>渋谷晃会員：リズム、タイミングの必要性。
- 8月5日**……第714回例会
 <卓話>航空自衛隊第二航空団司令・米川忠吉氏：航空自衛隊の訓練
- 8月12日**……第715回例会
 <プログラム>クラブフォーラム、クラブ奉仕担当土屋正造会員
- 8月19日**……第716回例会
 <卓話>苦小牧公民館長・紀藤義一氏：鳥をとおして自然保護
- 8月26日**……第717回例会
 <プログラム>夜間例会
- 9月2日**……第718回例会
 <卓話>若松克人会員：銘木について
- 9月9日**……第719回例会
 <卓話>千歳市教育長・宮沢一成氏：青少年の健全育成
- 9月16日**……第720回例会
 <卓話>北陽高校校長・清水正康氏：家庭問題と学校教育
- 9月30日**……第721回例会
 <プログラム>夜間例会
- 10月7日**……第722回例会
 <卓話>千歳警察署長・南繁雄氏：千歳の治安情勢
- 10月14日**……第723回例会
 <卓話>大庭進会員：職業奉仕週間によせて
- 10月21日**……第724回例会
 <プログラム>中浦忠男会員、第251地区年次大会報告
- 10月28日**……第725回例会
 <プログラム>職場研修苫東火力発電所、夜間移動例会、全日空団体待合室
- 11月4日**……第726回例会
 <卓話>サントリー千歳工場長・高野征浩会員：ワインの紹介
- 11月11日**……第727回例会
 <卓話>千歳市消防長・須川正直氏：冬期に向っての火災予防について
- 11月18日**……第728回例会
 <卓話>谷本和夫会員：ロータリー財団の目的
- 11月25日**……第729回例会
 <プログラム>夜間例会
- 11月30日**……第730回例会
 <プログラム>第251地区ガバナー山賀勇氏公式訪問
- 12月9日**……第731回例会
 <卓話>北海少年院長・野間隆三氏：青少年問題
- 12月16日**……第732回例会
 <卓話>木村良臣氏：キリンビール千歳工場について

- 12月23日……第733回例会
 <プログラム>クリスマス（チャリティ）家族会
- 12月30日……第734回例会
 <プログラム>総会、次年度役員選出
- 1月6日……第735回例会
 <プログラム>新年交礼会、夜間例会
- 1月13日……第736回例会
 <卓話>喜多清皓会員：スポーツ用品あれこれ
- 1月20日……第737回例会
 <プログラム>クラブアッセンブリー
- 1月27日……第738回例会
 <プログラム>中浦エレクト、次年度所信表明
- 2月3日……第739回例会
 <卓話>千歳空港駅長・和田大作氏：最近の空港駅利用の動向
- 2月10日……第740回例会
 <卓話>岡田恭平会員：旅行業について
- 2月17日……第741回例会
 <プログラム>夜間例会
- 2月24日……第742回例会
 <卓話>斎藤弘会員：ロータリー78周年記念日
- 3月3日……第743回例会
 <卓話>北海道空港㈱社長・稻恒不二男氏：私の人生観
- 3月10日……第744回例会
 <卓話>千歳郵便局長・宮本義男氏：郵便事情について
- 3月17日……第745回例会
 <プログラム>夜間例会
- 3月24日……第746回例会
 <卓話>田村正男会員：運転者の育成と事故防止
- 3月31日……第747回例会
- <プログラム>千歳RC10周年記録映画上映
 4月7日……第748回例会
 <プログラム>4月3日苦小牧RCでI.G.F各分科会部門別報告
- 4月14日……第749回例会
 <卓話>千歳市企画部長・菅原文弥氏：I.J.X.D.O.Y.PLAN
- 4月21日……第750回例会
 <卓話>大宮勇蔵会員：雑誌週間について
- 4月28日……第751回例会
 <プログラム>千歳RC15周年記念祝賀会、日航ホテル
- 5月12日……第752回例会
 <プログラム>クラブフォーラム、支笏湖公園線道路清掃について
- 5月19日……第753回例会
 <プログラム>夜間例会
- 5月26日……第754回例会
 <卓話>千歳市助役・菅原文弥氏：千歳市第3期総合開発について
- 6月2日……第755回例会
 <卓話>千歳市企業管理者杉森一身氏：水道事業について
- 6月9日……第756回例会
 <プログラム>クラブフォーラム、各委員長報告
- 6月16日……第757回例会
 <プログラム>クラブフォーラム、各委員長一年間活動報告
- 6月23日……第758回例会
 <プログラム>一年間を省みて委員長活動実施情況報告
- 6月30日……第759回例会
 <プログラム>会長外退任あいさつ

1983～1984（昭58～59）

- 7月7日……第760回例会
 <プログラム>中浦新会長就任あいさつ
- 7月14日……第761回例会
 <プログラム>第251地区協議会報告

- 7月21日**……第762回例会
 <プログラム>夜間例会
- 7月28日**……第763回例会
 <プログラム>クラブフォーラム
- 8月4日**……第764回例会
 <卓話>レイノックス・パーキン氏：米国オハイオ州紹介
- 8月11日**……第765回例会
 <卓話>千歳市農協藤本組合長：最近の農業情勢と千歳市の農業
- 8月18日**……第766回例会
 <プログラム>夜間例会
- 8月25日**……第767回例会
 <卓話>千歳市企画部長・東川孝氏：千歳市当面の課題
- 9月1日**……第768回例会
 <プログラム>クラブフォーラム、クラブに対する会員の責任
- 9月8日**……第768回例会
 <卓話>平塚鎮男会員：千歳の青少年問題
- 9月22日**……第770回例会
 <プログラム>千歳RC、恵庭RC、北広島RC合同夜間例会
- 9月29日**……第771回例会
 <卓話>マイク・タンゴビッチ氏：日本に関する1人のアメリカ人の印象
- 10月6日**……第772回例会
 <卓話>八杉一博会員：出席について感じたこと
- 10月13日**……第773回例会
 <卓話>第7師団副師団長・広瀬豊彦陸将補：我が国周辺の軍事情勢
- 10月20日**……第774回例会
 <プログラム>移動夜間例会、ビートル101
- 10月27日**……第775回例会
 <プログラム>第251地区竹山涼一ガバナー公式訪問
- 11月10日**……第776回例会
 <卓話>榎原武雄会員：千歳を知る会について
- 11月17日**……第777回例会
 <プログラム>クラブアッセンブリー、夜間例会
- 11月24日**……第778回例会
 <卓話>千葉正会員：ロータリーでいう職業奉仕
- 12月1日**……第779回例会
 <卓話>黒神英男会員：千歳の印象
- 12月8日**……第780回例会
 <卓話>札幌公共職業安定所千歳出張所長・岩尾敏夫氏：雇用失業情勢
- 12月15日**……第781回例会
 <卓話>小川英雄会員：健康食品について
- 12月22日**……第782回例会
 <プログラム>クリスマスチャリティ家族会
- 12月29日**……第783回例会
 <プログラム>総会
- 1月5日**……第784回例会
 <プログラム>新年交礼会、夜間例会
- 1月12日**……第785回例会
 <卓話>第一特科団長・合原博見氏：災害派遣について
- 1月19日**……第786回例会
 <卓話>山口幸太郎氏：青年会議所について
- 1月26日**……第787回例会
 <卓話>前千歳市教育長・半田景明氏：ソ連見たまま
- 2月2日**……第788回例会
 <卓話>窪田明英会員：生命保険の昔と現在
- 2月9日**……第789回例会
 <卓話>千歳空港長・野田貢氏：新千歳空港の展望
- 2月16日**……第790回例会
 <プログラム>移動夜間例会、ビートル101
- 2月23日**……第791回例会
 <卓話>千歳警察署長・石原啓次氏：交通問題
- 3月1日**……第792回例会
 <卓話>苦小牧民報社長・炭谷肇氏：最近の苦小牧
- 3月8日**……第793回例会
 <卓話>伊藤八郎会員：木材業界の実情

3月15日……第794回例会
<プログラム>夜間例会
3月22日……第795回例会
<プログラム>世界社会奉仕に関するスライド上映
3月29日……第796回例会
<卓話>松樹亮溪氏：昭和14年千歳が一級町村に昇格時の想い出
4月5日……第797回例会
<卓話>小坂進会員：INSって何でしょう
4月12日……第798回例会
<卓話>紫明女子学院・中村正則氏：青少年女子の非行の実態
4月19日……第799回例会
<プログラム>夜間例会、I.G.F報告
4月26日……第800回例会
<卓話>古口喜大会員：国際航空事業について
5月10日……第801回例会
<卓話>田代正人会員：製缶業界

5月17日……第802回例会
<プログラム>クラブフォーラム、夜間例会
5月24日……第803回例会
<卓話>第7師団長・新井道彦氏：日本の防衛
5月31日……第804回例会
<卓話>野本哲也会員：サントリーの紹介
6月7日……第805回例会
<プログラム>三大奉仕部門各委員長、1年間を省み実施情況報告
6月14日……第806回例会
<プログラム>クラブ奉仕関連委員長、1年間の実施情況報告
6月21日……第807回例会
<プログラム>丹治秀一会員、6月17日行なわれた地区協議会報告
6月28日……第808回例会
<プログラム>夜間例会、サヨナラパーティ、会長外退任あいさつ

1984～1985（昭59～60）

7月5日……第809回例会
<プログラム>丹治会長外役員新任あいさつ
7月12日……第810回例会
<プログラム>各委員長新任あいさつ
7月19日……第811回例会
<プログラム>夜間例会
7月26日……第812回例会
<プログラム>各委員長、本年度活動計画発表
8月2日……第813回例会
<卓話>千歳警察署長・及川義信氏：シートベルト着用推進について
8月9日……第814回例会
<プログラム>クラブフォーラム、社会奉仕
8月16日……第815回例会
<卓話>オーストラリア交換留学生・佐々木雅寿君帰還報告
8月23日……第816回例会
<プログラム>クラブフォーラム、国際奉仕
8月30日……第817回例会
<プログラム>夜間移動例会、島松ゴルフ場

9月6日……第818回例会
<卓話>宮下高氏：青少年活動月間
9月13日……第819回例会
<プログラム>早朝例会、第二靈園清掃奉仕
9月20日……第820回例会
<プログラム>夜間移動例会、キリンビール婦人の集い
9月27日……第821回例会
<プログラム>9月16日苫小牧RC、地区年次大会報告
10月4日……第822回例会
<卓話>森 康会員：北海道電力の現状
10月11日……第823回例会
<卓話>仲村長市会員、職業奉仕月間
10月18日……第824回例会
<卓話>武石忠俊会員：米山財團とは
10月25日……第825回例会
<プログラム>クラブフォーラム、定款8条会員の身分の存続、アドバイザー北岡体一員
11月1日……第826回例会

- <卓話>平野博氏：ロータリー財団月間に寄せて
11月8日……第827回例会
- <卓話>千葉正会員：ガバナー公式訪問の意義
11月15日……第828回例会
- <プログラム>夜間例会
11月22日……第829回例会
- <卓話>吉本俊春会員：健康管理について
11月29日……第830回例会
- <プログラム>クラブフォーラム、会員増強
12月6日……第831回例会
- <プログラム>クラブアッセンブリー、ガバナー訪問にそなえて
12月13日……第832回例会
- <プログラム>第251地区ガバナー河村文一郎氏公式訪問
12月20日……第833回例会
- <プログラム>クリスマスチャリティ家族会
12月27日……第834回例会
- <プログラム>年次総会
1月10日……第835回例会
- <プログラム>新年交礼会
1月17日……第836回例会
- <卓話>内村ナツ氏：市民憲章について
1月24日……第837回例会
- <卓話>坂井は樹会員：衛生設備について
1月31日……第838回例会
- <卓話>札幌公共職業安定所所長・新谷勇氏：組織業務内容
2月7日：第839回例会
- <卓話>全日空航務本部運航技術部副部長・高野開氏：第4世代のジェット旅客機ボーイング767について
2月14日……第840回例会
- <プログラム>クラブフォーラム、千歳RC20周年記念事業について
2月21日……第841回例会
- <プログラム>夜間例会
2月28日……第842回例会
- <卓話>中華人民共和国駐札幌総領事・玉音氏：日中友好について
3月7日……第843回例会
- <卓話>丹治福栄会員：格安に旅行の出来るノウハウ
3月14日……第844回例会
- <プログラム>第251地区第7分区の第1回I.G.F.、ホスト苦小牧、出席分科会部門別報告
3月28日……第845回例会
- <プログラム>夜間移動例会、ビートル101
4月4日……第846回例会
- <卓話>千歳商工会議所専務理事・芳賀慶之氏：都市施設について
4月11日……第847回例会
- <プログラム>クラブフォーラム、青少年主張コンクールについて
4月18日……第848回例会
- <プログラム>夜間例会
4月25日……第849回例会
- <卓話>道新社会部次長、支局長・大竹功太郎氏：産業観光のすすめ
5月2日……第850回例会
- <プログラム>クラブフォーラム、青少年主張コンクール最終打合せ
5月11日……第851回例会
- <プログラム>青少年主張コンクール、文化センター、後夜間例会
5月16日……第852回例会
- <卓話>道銀千歳支店長・辻村直志会員：ボランティアサークル「イフ」とは
5月23日……第853回例会
- <卓話>山口幸太郎会員：職業奉仕の疑問
5月30日……第854回例会
- <プログラム>早朝例会、文化センター前に「イチイ」大木植樹、市に寄贈
6月6日……第855回例会
- <プログラム>各委員長より本年活動実施情況報告
6月13日……第856回例会
- <プログラム>各委員長より本年度活動実施情況報告
6月20日……第857回例会
- <プログラム>会長、副会長、幹事、本年度一年を省みて
6月27日……第858回例会
- <プログラム>さよならパーティ、夜間例会、丹治会長外退任挨拶

1985～1986（昭60～61）

- 7月4日……第859回例会
＜プログラム＞クラブフォーラム、高田会長外新任挨拶、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕計画発表
- 7月11日……第860回例会
＜プログラム＞クラブフォーラム、クラブ奉仕計画発表
- 7月18日……第861回例会
夜間例会
- 7月25日……第862回例会
＜プログラム＞クラブフォーラム、クラブ奉仕部門各委員長方針発表
- 8月1日……第863回例会
＜プログラム＞クラブフォーラム（ガバナー公式訪問にそなえて）
- 8月8日……第864回例会
第251地区ガバナー望月武義氏公式訪問
- 8月11日……第865回例会
夜間例会（ビートル101）
- 8月22日……第866回例会
＜卓話＞千歳警察署長・及川義信氏：最近の少年非行と家庭内しつけ教育について
- 8月29日……第867回例会
＜卓話＞榎原武雄会員：千歳の母なる川千歳川と支流
- 9月5日……第868回例会
＜卓話＞千歳青年会議所・土居理事長：サケの自然産卵構想について
- 9月12日……第869回例会
＜卓話＞吉田英俊会員：ビジネスマンの雑学
- 9月19日……第870回例会
夜間例会
- 9月25日……第871回例会
広島、恵庭、千歳3RC合同例会、恵庭まつうら平安閣
- 10月3日……第872回例会
地区年次大会報告、会長、クラブ奉仕分科会、職業奉仕分科会報告
- 10月17日……第873回例会
夜間移動例会（サントリー）
- 10月24日……第874回例会
職業奉仕委員会、職業奉仕月間について
- 10月30日……第875回例会
＜卓話＞山本一夫会員：通信機器の今昔について
- 11月7日……第876回例会
＜卓話＞札幌南税務署長・慶松幹也氏：税を知る週間
- 11月14日……第877回例会
＜卓話＞五十嵐実会員：ロータリー財団とは
- 11月21日……第878回例会
＜卓話＞千歳市助役・菅原文弥氏：21世紀に向けた広域的役割の千歳
- 11月28日……第879回例会
夜間例会
- 12月5日……第880回例会
＜卓話＞ブリヂストンタイヤ取締役販売促進部長・雨宮照己氏：スタッフレスタイヤを理解いただくために
- 12月12日……第881回例会
＜プログラム＞クラブフォーラム、会員増強について
- 12月19日……第882回例会
夜間例会、クリスマス家族会
- 12月26日……第883回例会
年次総会
- 1月9日……第884回例会
新年交礼会、夜間例会
- 1月16日……第885回例会
＜卓話＞若松克人会員：会員増強について
- 1月23日……第886回例会
＜卓話＞北海道銀行情報調査室長・下川哲央氏：今年の経済展望と課題
- 1月30日……第887回例会
I.G.Fフォーラム
- 2月6日……第888回例会

- <卓話>山三ふじや社長・渡部茂氏：雪を耕す
2月13日……第889回例会
- I.C.G.F フォーラム、3月2日 I.G.
 Fに向けて
2月20日……第890回例会
- 夜間例会、ロータリー創立記念日23日
2月27日……第891回例会
- <卓話>第7師団長・狩野泰輔氏：第7師団の現況
3月6日……第892回例会
- <卓話>小川岩雄会員：世界理解週間について
3月13日……第893回例会
- <卓話>㈱日本ダイナースクラブ札幌支店長・高須賀秀朗氏：クレジットカードの歴史
3月20日……第894回例会
- 夜間例会
3月27日……第895回例会
- <卓話>千葉正分区代理：職業奉仕四つの反省
4月3日……第896回例会
- <卓話>島倉充平氏：教育とは
4月10日……第897回例会
- <卓話>高橋清雲氏：日本人の生活の中の漢語
4月17日……第898回例会
- 夜間移動例会、空港
- 4月24日**……第899回例会
 クラブフォーラム、青少年担当委員会
- 5月1日**……第900回例会
- <卓話>北海道赤十字血液センター所長・浜中栄一氏：血漿分画
5月8日……第901回例会
- <卓話>千歳市助役・菅原文弥氏：千歳の現況
5月15日……第902回例会
- クラブフォーラム、青少年主張コンクールの準備
5月24日……第903回例会
- <プログラム>青少年主張コンクール（文化センター）
5月29日……第904回例会
- <卓話>千歳市公園緑化協会常務理事・加藤敏秋氏：緑化協会設立について
6月5日……第905回例会
- 早朝例会、青葉公園清掃
6月12日……第906回例会
- クラブフォーラム、クラブ奉仕活動報告
6月19日……第907回例会
- クラブフォーラム、三大奉仕部門活動報告
6月26日……第908回例会
- <プログラム>高田会長外役員、委員長退任挨拶

1986～1987（昭61～62）

- 7月3日**……第909回例会
<プログラム>斎藤公彦会長、新年度クラブ運営方針と目標
7月10日……第910回例会
<プログラム>クラブ奉仕部門、各委員長本年度活動計画発表
7月17日……第911回例会
<プログラム>夜間例会
7月24日……第912回例会
<プログラム>クラブ奉仕部門、各委員長本年度活動方針発表
7月31日……第913回例会
- <卓話>千歳警察署長・岩間信行氏：交通事故について
8月7日……第914回例会
- <プログラム>早朝例会、千歳川清流に芝桜植栽
8月14日……第915回例会
- <卓話>岡山博保会員：北海道電力の現状
8月21日……第916回例会
- <プログラム>北広島、恵庭、千歳3RC合同例会、ちとせインターゴルフ場
8月28日……第917回例会
- <卓話>北岡体一会員：千歳のうつり変りと鉄道、飛行場60年

- 9月4日……第918回例会
 <プログラム>青少年委員会、中2小川英里さんミニケップキャンプの感想
- 9月11日……第919回例会
 <卓話>千歳市助役・菅原文弥氏：千歳市サモンパーク基本（案）について
- 9月18日……第920回例会
 <プログラム>夜間例会
- 9月25日……第921回例会
 <卓話>千歳商工会議所専務理事・芳賀慶之氏：商法の改正
- 10月2日……第922回例会
 <卓話>千葉正会員：職業奉仕に関して
- 10月9日……第923回例会
 <プログラム>クラブフォーラム、第251地区三浦祐昌ガバナー訪問にむけて
- 10月16日……第924回例会
 <プログラム>夜間移動例会、キリンビール千歳工場
- 10月23日……第925回例会
 <プログラム>第251地区ガバナー三浦祐昌氏公式訪問
- 10月30日……第926回例会
 <プログラム>地区年次大会報告、各部門別
- 11月6日……第927回例会
 <卓話>サントリー千歳工場長・高橋義治会員：千歳に於ける酒事情
- 11月13日……第928回例会
 <卓話>河邱パストガバナー：ボリオ・プラスについて
- 11月20日……第929回例会
 <卓話>中村堅次会員：ロータリー財団について。
- 11月27日……第930回例会
 <プログラム>夜間例会
- 12月4日……第931回例会
 <卓話>藤井実氏：鮨商の実情
- 12月11日……第932回例会
 <卓話>NTT千歳電報電話局長・岩橋博氏：最近における、中・高校生の電話利用実態
- 12月18日……第933回例会
 <プログラム>クリスマスチャリティ家族会
- 12月25日……第934回例会
 <プログラム>年次総会
- 1月8日……第935回例会
 <プログラム>新年交礼会
- 1月15日……休会
- 1月22日……第936回例会
 <卓話>全日空航務本部主席部員・高野開氏：雪と飛行機
- 1月29日……第937回例会
 <卓話>千歳市建設部長・高師貞吉氏：当市の除雪状況
- 2月5日……第938回例会
 <卓話>千歳市立高台小学校長・伊藤修先生：アフリカ日本人学校での体験談
- 2月12日……第939回例会
 <卓話>道相銀千歳支店長・倉本清司会員：富良野の四季
- 2月19日……第940回例会
 <プログラム>夜間例会
- 2月26日……第941回例会
 <プログラム>22日開催のI.G.F報告、第1、第4分科会
- 3月5日……第942回例会
 <プログラム>I.G.F報告、第2、第3分科会
- 3月12日……第943回例会
 <卓話>岸田邦典氏：航空博物館について
- 3月19日……第944回例会
 <プログラム>夜間例会
- 3月26日……第945回例会
 <プログラム>クラブアッセンブリー、アデショナルクラブ設立準備委員会
- 4月2日……第946回例会
 <卓話>吉田英俊会員：エアポートホテルアネックスの紹介
- 4月9日……第947回例会
 <卓話>JTB北海道営業本部海外担当セールス部長・川原直行氏：最近の海外旅行事情
- 4月16日……第948回例会
 <プログラム>夜間例会

4月23日……第949回例会
＜卓話＞浅利作造会員：昭和43年4月26日設立
千歳RCの思い出
4月30日……第950回例会
＜卓話＞足立勝二会員：大金・アールエム㈱自
社紹介
5月7日……第951回例会
＜卓話＞横田義弘会員：呉服について
5月14日……第952回例会
＜卓話＞第7師団・源川幸夫氏：防衛について
5月16日……第953回例会
＜プログラム＞青少年主張コンクール（文化セ
ンター、振替夜間例会）
5月28日……第954回例会

＜プログラム＞早朝例会、千歳川岸、芝桜補植
雑草手入れ
6月4日……第955回例会
＜プログラム＞第251地区協議会報告、青少年
主張コンクール報告、苫小牧RC30周年報告
6月11日……第956回例会
＜プログラム＞クラブフォーラム、三大奉仕部
門一年を反省し活動報告
6月18日……第957回例会
＜プログラム＞クラブフォーラム、クラブ奉仕
各委員長、一年間活動実施報告
6月25日……第958回例会
＜プログラム＞サヨナラ夜間例会、会長、役員、
理事、退任挨拶

1987～1988（昭62～昭63）

7月2日……第959回例会
＜プログラム＞会長、四大奉仕委員長、年度計
画発表
7月9日……第960回例会
＜プログラム＞クラブ奉仕部門、各委員長、年
度計画発表(1)
7月16日……第961回例会
＜プログラム＞クラブ奉仕部門、各委員長、年
度計画発表(2)
7月23日……第962回例会
＜プログラム＞北広島RC、恵庭RC、千歳R
C3クラブ合同例会、会場北広島
7月30日……第963回例会
＜卓話＞千歳市長・梅沢健三氏：市長就任挨拶
8月6日……第964回例会
＜卓話＞小田喜一会員：行政書士業務のあらま
し
8月13日……第965回例会
＜卓話＞札幌RC幹事・岩崎輝明氏：成人病予
防と食養生
8月20日……第966回例会
＜プログラム＞早朝例会、グリーンベルトの清

掃奉仕
8月27日……第967回例会
＜プログラム＞夜間例会、恵庭よりオーストラ
リア交換学生、コイリー・パークさん自國紹介
9月3日……第968回例会
＜プログラム＞青少年フォーラム、末広会員、
ゲスト国際ロータリー第251地区、1987～88ロー
ターアクトクラブ、地区代表、常盤美恵子さん、
ロータークラブとは
9月10日……第969回例会
＜卓話＞千歳市日の出小教諭・稻垣修先生：日
本とインドネシアの結び付き
9月17日……第970回例会
＜プログラム＞夜間移動例会、エアポートホテ
ルアネックス
9月24日……第971回例会
＜卓話＞安達洋会員、川下京三郎会員、奥本清
会員：自己紹介と自店営業紹介
10月1日……第972回例会
＜卓話＞吉本俊春会員：ダンスによる健康法
10月8日……第973回例会
＜卓話＞千歳市田中経済部長：北海道は千歳を

- 中心に、交通機関、経済の飛躍
- 10月15日……第974回例会
 <プログラム>夜間例会、自由懇親
- 10月22日……第975回例会
 <プログラム>クラブ協議会、ガバナー訪問にそなえて
- 10月29日……第976回例会
 <プログラム>第251地区坂本忠ガバナー公式訪問
- 11月5日……第977回例会
 <卓話>長島キリンビール千歳工場長：ビールの醸造、ビールの今昔
- 11月12日……第978回例会
 <卓話>札幌北RC交換学生オーストラリア、レーテル・ウォーカーさん：日本の印象
- 11月19日……第979回例会
 <プログラム>夜間例会、臨時総会、次期役員選出について
- 11月26日……第980回例会
 <卓話>細見会員：自己紹介、自社営業紹介
- 12月3日……第981回例会
 <卓話>佐々木昭会員：北海道農業の今昔
- 12月10日……第982回例会
 <卓話>第2航空団・朝倉範夫司令：航空自衛隊のパイロットについて
- 12月17日……第983回例会
 <プログラム>夜間例会、クリスマス家族会
- 12月24日……第984回例会
 <プログラム>12時30分年次総会、12時より12月31日の繰り上げ例会、市立図書館に千歳市へステンドグラス、仮贈呈式
- 1月7日……第985回例会
 <プログラム>夜間例会、新年交礼会、ビートル 101
- 1月14日……第986回例会
 <卓話>後藤護会員：互助会制度について
- 1月21日……第987回例会
 <卓話>千歳モーターサイクル会長・坂勉氏：日ソ平和友好バイクの旅
- 1月28日……第988回例会
- <卓話>千歳市教育長・宮沢一成氏：いま学校で。
- 2月4日……第989回例会
 <卓話>札幌アメリカン館長・ティモシー・スマス氏：今後の日米関係、北海道とは
- 2月11日……法定休日
- 2月18日……第990回例会
 <プログラム>夜間例会、20周年記念事業委員会、記念行事PRのため近隣クラブ訪問、訪問先割当
- 2月25日……第991回例会
 <プログラム><卓話>千歳市長・梅沢健三氏：千歳市政について
- 3月3日……第992回例会
 <プログラム><卓話>千歳市総合開発研究協会理事長・岩瀬正人氏：千歳市総合開発の実行手法
- 3月10日……第993回例会
 <プログラム><卓話>社団法人北海道ウタリ協会理事長・野村義一氏：旧土人保護法の見直しについて
- 3月17日……第994回例会
 <プログラム>夜間例会、合唱サークル、千歳ラックエトワール、曲目、浜辺の歌、いい日旅立ち外数曲
- 3月24日……第995回例会
 <プログラム><卓話>平栗ソフィア・ルミコさん：北海道大学大学院法学研究科修士課程を経て
- 3月31日……第996回例会
 <プログラム><卓話>千歳警察署交通課長・吉田裕氏：交通行政について
- 4月7日……第997回例会
 <プログラム><卓話>住吉保育園理事・岡村歌子さん：人生記録
- 4月14日……第998回例会
 <プログラム>創立20周年記念準備フォーラム
- 4月17日……第999回例会
 <プログラム>創立20周年記念式典並に祝賀会を繰上げ実施、400名余のご来賓と各クラブよ

りご出席を頂き盛大に20周年を祝う

4月28日……第1000回例会

<プログラム>創立20周年記念式典並に祝賀会

報告：村上実行委員長、八杉総務委員長、中浦

祝典委員長、丹治祝賀委員長、倉内編纂委員長

5月5日……法定休日

5月12日……第1001回例会

<プログラム>次年度役員、理事、委員発表、

ローターアクトメンバー紹介、会員卓話、中央

旅行サービス千歳営業所長・南口忠光会員、北

海道銀行千歳支店長・竹川勝雄会員

5月19日……第1002回例会

<プログラム>夜間例会20周年記念式典を終えて自由懇親会

5月26日……第1003回例会

<プログラム>第7後方支援連隊長・土井義尚

氏：スウェーデン事情について

6月2日……第1004回例会

<プログラム>早朝例会、千歳川両岸に植栽後の芝桜手入れ

6月11日……第1005回例会

<プログラム>6月9日例会の振替例会、千歳ローターアクトクラブ結成、証明書伝達式

6月16日……第1006回例会

<プログラム>クラブ活動報告、職業奉仕委員長、国際奉仕委員長、社会奉仕委員長

6月23日……第1007回例会

<プログラム>クラブ活動報告、クラブ奉仕各委員長

6月30日……第1008回例会

<プログラム>夜間例会、会長外役員退任挨拶、サヨナラパーティ

20年のあゆみ

R I 会長
地区ガバナー
〃分区代理
クラブ会長
〃幹事
公式訪問日
会長運営方針

● 1968—69 年度

R I 会長 東ヶ崎 潔（日本）
第350地区ガバナー 島本 融（札幌）
第4分区代理 椿原 春雄（札幌幌南）
千歳クラブ会長 吉田 信一
” 幹事 内藤 詩郎
島本 融ガバナー公式訪問

（1969年1月30日）

初代会長運営方針

R・I 東ヶ崎会長、350 地区島本ガバナーの方針を体して活動を推進したいと考えますが、当クラブは1968.4.26創立総会を挙行し、1968.6.20 R・I に加盟承認を得たばかりであります。会員に対してロータリー教育を行い、一人一人にロータリーを身につけることが先決問題であり、外部に対する奉仕活動は、隨時とりあげることにしたいと思います。

従って本年度は、基礎づくりの年としてクラブサービス部門の委員会の活動に重点を置く考えであります。

(1) 例会を楽しみものにすること。

よい卓話をとり入れる様に努力する。

(2) 出席の如何に必要であるかを徹底すること。

(3) 理事会、役員会を数多く開催し、会の運営に万全を期すること。

(4) assembly, Fire Side Meeting を数多く開催して、ロータリーを勉強すると共に友情を深めること。

(5) ロータリー文献

The Rotarian

ロータリーの友

等を読み必要な問題を例会にて発表する。

(6) 会員の増加につとめること。

● 1969—70 年度

R I 会長 ジェームス・コンウェイ
James F. Conway
(米国)

第350地区ガバナー 秋山康之進（札幌）
第4分区代理 佐々木貴士児（札幌南）
千歳クラブ会長 右近 久雄
” 幹事 浅利 作造
秋山康之進ガバナー公式訪問

（1970年7月10日）

第2期会長運営方針

R I コンウェイ氏、第350地区ガバナー秋山康之進氏の方針に基づきロータリー原理の実践にまいしんする積りです。

秋山ガバナーの特別代表によって誕生した当クラブも二年目を迎え、ようやく軌道にのった所ですが、まだまだ種々の諸問題をかゝえ苦しい年でもあります。然し、ようやく、当クラブのロータリアン諸君もやる気になって頑張ってまいりました。立派に一人立ちとは申せませんが、自主独立をモットーに一步一步前進しております。

過去一年間は、入会退会を問わず各人は、大変むづかしいものゝ様に考えられているロータリーを楽しく明るいものにしようと次の諸点に重点を置く考えであります。

(1) 例会を楽しいものにする

クラブサービスに重点をおき、各ロータリアンの親交を深めるため、ファイヤーサイドミーティングを大いに奨励する。出席率の向上に役立つと思います。

(2) ロータリー教育の徹底

ロータリーの何であるかを未だ知らぬ人が多いため、再教育する。ロータリー情報を例会毎に3分間行う。

(3) R I 会員5%増強方針は勿論申すまでもないが、当クラブとしては、30~40%増強を考えている。

-
- (4) 千歳ロータリークラブの広報活動を深め市民に理解してもらう。
 - (5) 近隣都市、恵庭町にロータリークラブが出来る様運動する。
-

● 1970—71年度

R I 会長 ウィリアム E ウォーク ジュニア
William E. walk Jr.
(米国)

第351地区ガバナー 河野 通正(深川)

第5分区代理 大張 光吉(浦河)

千歳クラブ会長 山崎 満

“ 幹事 谷本 和夫

河野通正ガバナー公式訪問

(1971年8月12日)

第3期会長運営方針

R I ウィリアム E ・ ウォーク会長、第351地区ガバナー河野通正氏の御方針にもとづき、ロータリー理念の徹底を会員及び地域社会に拡める活動をめざしたいものと考えます。

当クラブは誕生後3年目を迎えました。誠に「3つ児のたましい100までも」とありますように本年は吾がロータリークラブ基盤確立の歳であろうと思います。それがためには過去2年間の尊い実践と経験から生ずる反省の中から将来にむかってのその緒を見出すようにつとめるつもりです。また会員各位がロータリー活動に確信を持ち得るためにクラブ定款の熟知を要望します。そして、会員相互間の協調・融和を強めて委員会の活動活発化を図り「隔りを取り除こう」の大方針をクラブ内からクラブ外へその輪を大きく大きく広げるように努力いたす所存です。

● 1971—72年度

R I 会長 アンスト G ・ ブライトホルツ
Ernst G. Breitholtz
(スウェーデン)

第351地区ガバナー 富田 恭(函館東)

第5分区代理 藤井 信造(苫小牧)

千歳クラブ会長 千葉 正

“ 幹事 毛内 利夫

富田 恭ガバナー公式訪問

(1972年8月12日)

第4期会長運営方針

クラブ創立以来4年目を迎えてこれに相応した実力の養成に努めたい。

1. 善意は先ず貴方からを態度と行動に示めそう。
2. 例会を充実しよう。
3. 今年度の新会員増強目標12名。

● 1972—73年度

R I 会長 ローイ D ・ ヒックマン
Roy D. Hickman
(米国)

第351地区ガバナー 塩谷 猛(札幌西)

第5分区代理 山崎 満(千歳)

千歳クラブ会長 新沼 武雄

“ 幹事 倉内 清

塩谷 猛ガバナー公式訪問

(1973年8月31日)

第5期会長運営方針

クラブ創立5周年を迎えるに当たり、国際ロータリー手続要覧の標準定款及び細則を初心にかえって再勉強し、ロータリークラブの綱領を正しく理解すると共に、地域の特殊性を定款細則に適応せしめるため。

1. もう一度見直そう。ターゲットを基本として会員相互間の人間尊重を再認識し、良識ある

親和を図りたい。

2. 三大奉仕部門の奉仕活動の実践に当っては、全会員は勿論出来得る限り地域社会の人々の参加協力を求めながら奉仕の理想を拡大したい。

● 1973—74年度

R I 会長 ウィリアム C・カーター
William C. Carter
(英国)

第351地区ガバナー 柿本 恒一 (岩見沢)
第 5 分 区 代 理 横張 旭 (苫小牧北)
千歳クラブ会長 北岡 体一
〃 幹事 田中 義男
柿本恒一ガバナー公式訪問

(1974年8月2日)

第 6 期 会 長 運 営 方 針

R・I 会長は本年度の目標を「今こそ、行動の時」と定められました。

前年度の「もう一度見直そう」の後を受けてクラブとして、又ロータリーアンとしての活発な活動を期待されるターゲットであると理解されます。

千歳クラブとしても役員又、委員であるとを問わず55名全員の行動の足跡を残すべき時であると考えます。

1. 三大奉仕、クラブ奉仕を通じて委員長の独断専行、委員長に任せっきりなどがおきがちであるが、55名総行動の意味に於て本年度はこれらを避けるよう心がけたい。
2. クラブ協議会、小規模合同委員会、各種委員会などを数多く開き、55名総行動の原動力としたい。
3. 監督を通じS A A、出席、親睦活動、プログラム、情報、音楽などクラブサービス各委員会の活発な活動を促して例会を充実したい。
4. 例会充実の一手段として開会30分前の集合を励行して開会までの時間を諸準備、意見交

換、懇談、ロータリーソングの練習の場などとしたい。

● 1974—75年度

R I 会長 ウィリアム R・ロビンズ
William R. Robbins
(米国)

第351地区ガバナー 森松 定男 (札幌西)
第 5 分 区 代 理 武岡 春雄 (様似)
千歳クラブ会長 近川 宗信
〃 幹事 加藤 忠男
森松定男ガバナー公式訪問

(1975年9月5日)

第 7 期 会 長 運 営 方 針

国際ロータリー会長の指針の7項目を強調し、呼びかけております。これをクラブに照らして積極的に取り入れ実践したい。

※ガバナーの指導目標

ロータリーを楽しみ
ロータリーに親しみ
ロータリーを知り
ロータリーをひろめ
ロータリーを行動に移して

ロータリー創立70年を迎えるに当り、理解と友情のロータリーの理念のもとに「親睦と融和」をおし進める様御協力を願いたい。

● 1975—76年度

R I 会長 エルネスト・インパッサイ・デ・メロ
Ernesto De Mello
(ブラジル)

第351地区ガバナー 青木 一雄 (小樽)
第 5 分 区 代 理 佐々木初之助 (三石)
千歳クラブ会長 小原 正男
〃 幹事 立入 亨
青木一雄ガバナー公式訪問(1976年10月16日)

第8期会長運営方針

- ① クラブの運営を「友情と親睦」を目標として参りました。各委員会の御努力に依り多数の新会員の入会を見、友の輪を広める事が出来ました。
 - ② 楽しい友垣は、出席の向上を促し、出席率の上昇となってあらわれました。
 - ③ 出席の上昇は、相互理解に役立ち、職業、国際、社会の各奉仕事業を円滑に行なう事が出来ました。
 - ④ 皆様の思いやりの精神は、各委員会の自主的な活動を助け合い、クラブ全体が見事なチームワークとなって会長の助言を要さず運営が出来ました。
 - ⑤ 全体のチームワークの良さは、財政面にも大きく寄与し、予想以上の積立金を10周年に向けて残す事が出来ました。
- 結び：皆様の御努力の賜で私も会長として無事、次期会長に引継ぐ事が出来ました。厚く御礼申し上げます。10周年、20周年を目指して、私も健康で、ロータリアンとして今後も皆様と共に進みたいと存じます。

●1976-77年度

R I 会長 ロバート・A・マン彻スター II
Robert A. Manchester II
(米国)

第351地区ガバナー 大野 和男（札幌）
第5分区代理 落合 敏博（静内）
千歳クラブ会長 内藤 詩郎
〃 幹事 中浦 忠男
大野和男ガバナー公式訪問

(1977年8月5日)

第9期会長運営方針

重責を痛感し、非力乍ら全力を投入したい。
まことに優秀な役員、理事、各委員の皆様に改めて御協力、御指導をお願い申し上げます。

スマイルアンドウォームハンド（微笑と温い

手）を以て「親睦と奉仕」をクラブモットーに掲げたい。

今年は特に、① 例会をより楽しいものに充実させるためのプログラム。② クラブ10周年記念事業の基礎づくり。③ アンカレジR・Cとの姉妹提携。④ ロータリー財団振興に1,500%を、以上の4点に重点をおきたい。

●1977-78年度

R I 会長 W・ジャック・デービス
W. Jack Davis
(バーミューダ)

第251地区ガバナー 伊藤 義郎（札幌）
第5分区代理 佐藤 玄一（苫小牧）
千歳クラブ会長 谷本 和夫
〃 幹事 三崎 富重
伊藤義郎ガバナー公式訪問

(1978年1月12日)

第10期会長運営方針

ロータリーの歯車は単体では作動しないものですが、一枚一枚の歯が相手方に確実に伝導する能力を有しているものです。この歯は国際的に設計されていて、綿密に作られているからです。しかし、機械で画一的に作られた歯ではないが、毎年一枚の歯にポジションが与えられ、それに全力を投入するのがクラブのならわしであります。私の場合、会長というポジションにあたるわけですが、与えられた役割をスムーズに伝導したいと思っているものです。そしてロータリーの歯車が過去から未来に力強く回転を続ける接点として、本年は更に努力して参りたいと思います。更に本年は会創立10周年的記念すべき年度であります。ロータリーの理念を地域に更に更に浸透せしむべく、全員参加を合いごとばに、事業を推進して参りたいと存じます。

どうか皆様よろしくお願い申し上げます。

● 1978-79年度

R I 会長 クレム・レスフ
Clem Renouf
(オーストラリア)

第251地区ガバナー 富田 嘉市（室蘭）

第5分区代理 内藤 詩郎（千歳）

千歳クラブ会長 浅利 作造

” 幹事 村上 正治

富田嘉市ガバナー公式訪問

（1979年7月27日）

第11期会長運営方針

吾がクラブが創立以来10年の一節を会員相互、夫々模索しながらの“ロータリー研究、でこゝまで育ってきたわけですが、過去の実績等については夫々解釈・評価によって異なりますが、曲りなりにも自主独立でこゝまできた事は成功と云えるでしょう。

10人10いろの社会的説明からは、約70名の現状を考える時、会員間のヒューマンリレーションやコンセンサスは益々大切な事になってまいります。

さて問題は、これから20年に向けての千歳クラブのビジョンであります。

本年度は、その第一年、第一歩として如何にあるべきか、クラブの発展、成功させるためには何をなすべきか、であります。

結果的結論から申しますと、皆で例会、灯辺談話、社会奉仕、その他の奉仕に参加することにより、そのビジョンを見出す事が出来るのではないかと考えております。

内においては、例会やクラブサービスは会員間の勉強の場であり、やすらぎの場であり、社交の場であります。

外に対しては、例年の通り奉仕、友好を続けていく事になります。

しかし、内に於いても、外に向っても会員皆様のすばらしいバイタリティを結集して“ポートフォリオ、で実行していきたいと考えてお

ります。

皆様の御協力をお願ひいたします。

● 1979-80年度

R I 会長 ジェーズム・L.ボーマー
James L. Bomar Jr.
(米国)

第251地区ガバナー 大宰 六郎（函館）

第5分区代理 西川 周三（えりも）

千歳クラブ会長 倉内 清

” 幹事 遠藤 正一

大宰六郎ガバナー公式訪問

（1980年11月1日）

第12期会長運営方針

R I 会長のテーマ、“レツ・サービス・ライト・ザ・ウェイ、の精神を体し75年にわたりよりよき生活の道を照らして友好と理解の奉仕活動を受け継いで来た事を、ロータリーの原点にかえって一人一人のロータリアンが職業分類を代表している事を見直して、それぞれ異った立場、関心、能力と云うものが一つになるという意味をかみしめて近代社会が分極化、専門化、多様化していく傾向の中で現今最も必要とされているのが多様性の中の一一致であるといわれて居ります。

ロータリークラブは、それ自体体質的にこの路線を進んで来たのであります。ロータリー参加の意義も発展の秘訣もここにある事を再確認し協力と一致の原理を地域社会に示し得る様なクラブとして伸長して行きたいと念願しているものです。

会員が仲良く楽しい雰囲気で活発に委員会活動に参加する事を益々伸長したい。原動力として（知りあう事）に力をそそぎ、アッセンブリー・ファイヤーサイドミーティングを数多く取り入れロータリーを理解して頂く機会を増やしたい。

本年はロータリー創立75周年を迎える年であ

り理解と友情のロータリーの理念のもとに（協力と一致）親睦を第一に推し進める様有力な理事さん、幹事さん、各委員長さん方に支えられながら実り多き年度となります様、会員皆様方の御協力をお願い致します。

● 1980—81年度

R I 会長 ロルフ・J・クラリッヒ
Rolf J. V. Klarch
(フィンランド)

第251地区ガバナー 小川 忠一 (札幌東)

第5分区代理 谷 守雄 (浦河)

千歳クラブ会長 藤川 昭三
“ 幹事 武石 忠俊

小川忠一ガバナー公式訪問

(1981年9月4日)

第13期会長運営方針

人生は一回しかない。しかも、それは百年ではない。

そうだとすると、ロータリーに入会して「ロータリーとは何か」「奉仕の理想とは何か」その本質は何であるのか、我がクラブも国際ロータリーより認証されて12年になりますが、これらでもう一度原点に還り、じっくりと考えてみる必要があると思います。

三大奉仕のクラブ奉仕についても奉仕活動のやり方は色々あると思いますが、奉仕は出席から始まるといわれています。

今年は特に出席率の向上に力を入れたいと思います。

まず、毎週の例会の100%出席率達成、少なくとも月一回目標を定める。それから社会奉仕委員会活動の出席、親睦委員会活動の出席、できますことならば全員参加で奉仕活動が出来得るようにお願いしたい。

ロータリーの理念である奉仕は、出席から始まり会員相互の親睦をモットーに、各理事さん、各委員長さん、会員の皆さんと共にこの一年を

実りのある年度となりますように御協力をお願い致します。

● 1981—82年度

R I 会長 スタンレー E・マッキャフリー
Stanley E. McCaffrey
(米国)

第251地区ガバナー 佐久間三八 (苫小牧)

第5分区代理 伊藤 繁博 (様似)

千歳クラブ会長 斎藤 弘
“ 幹事 長嶺 覚

佐久間三八ガバナー公式訪問

(1982年11月26日)

第14期会長運営方針

「誠意をもって、積極的に

クラブの発展向上に努めよう」

我がクラブは、地域のすぐれた実業人と専門職業人から構成されておりますが、相互に切磋琢磨し、欠けるところは補い合い、一層の向上を心掛けようではありませんか。個人のロータリアンの向上は、クラブの向上をも意味し、ロータリークラブに対する地域住民の深い尊敬と信頼を得ることになります。このことは、職業奉仕、社会奉仕の実績を上げる為にも大切な条件になると思います。

私、ロータリーの目的とは、三大部門を通じての奉仕活動に在ると信じております。その目的のためには、先づ、クラブの会合、プロジェクトに積極的に参加し、会員間の親睦増進を図ることが、クラブの活力を増し、大きな奉仕活動に連るものと考えます。

その意図からも昨年度藤川会長のもとで達成された100%出席率の維持継続を図るよう各会員の努力と協力を切望いたします。

又、親睦活動委員会においては、適切にして、かつ、積極的な活動計画を実行してこそ、会員間の潤滑油となり奉仕活動を昂めます。それ故「好意と友情を深めるか」のモットーを考慮し

つつ活発なる活動を望みます。

今年度会長として、特に望むことは、未充填の職業分類に対し、人格、識見、能力に秀でた人材を見出し、会員として推挙して戴くことです。先輩が培ったクラブの良き伝統を継承し更に、向上発展させるために資する会員を多く求めるため、会員増強、職業分類、会員選考委員会の格段の努力をお願いします。会員間の相互信頼、友情に障壁を及ぼしたり、クラブの品位を落すことがないように慎重な配慮と積極的な活動を望みます。

● 1982—83年度

R I 会長 向笠 広次
(日本)

第251地区ガバナー 山賀 勇 (小樽)

第5分区代理 山崎 正寿 (苫小牧)

千歳クラブ会長 村上 正治

" 幹事 斎藤 公彦

山賀 勇ガバナー公式訪問

(1983年11月30日)

第15期会長運営方針

先輩皆さん方の御努力により、輝かしい伝統を誇る千歳ロータリークラブの会長として、就任するに当たりまして、誠にその責任の重大さを痛感致すものであります。

特に本年度は、クラブ創立15周年を迎える訳であります。この15年の歴史の一頁を汚す事の無い様に微力ではありますが、誠心誠意努めさせて戴きます。

幸い斎藤幹事さん始め、それぞれ立派な理事、役員、委員長さん方が、選出されて居りまして、大変心強く思って居ります。会員皆様におかれましても、これから的一年間、特段の御協力を賜わりますよう心からお願い申し上げます。

1. 協調と融和

◎各委員会間及会員間の協調と融和

当クラブは5年間に68名の方が入会され40

名の方が転出等で入れ替っている。又、年令も71歳から40歳迄と31歳もの差がある。これからも1番大切なことは会員間の協調と融和であると考えました。

◎地域社会との協調と融和

ロータリーは金とヒマのある人の集まりだとか、善意の押し売り団体だとか、単なる寄付団体だとかと思われぬよう、職業を通じた社会への奉仕を致したいものだと思います。

2. 今一度考え方

◎クラブとして

良い伝統は、守り続けなければならないが、日々都市型して行く当市の地域性に合ったクラブ及クラブ活動を考えて行かなければならぬのではないでしょうか。251地区の殆どのクラブの方が考えているようです。良い伝統を守りながらマンネリ化を排除しつつ、勇気をもって改革するものはしてゆこうという佐久間ガバナーの教え通り実行してゆきたい。

◎個人として

「あなたは、ロータリアンですか。それとも唯の会員ですか?」の問い合わせに考えて見ましょう。自分も反省してみて唯の会員でした。皆んなが眞のロータリアンとして自肅自戒してゆかねばならないと思います。

※ 全体としてクラブの集いは、なごやかで楽しい雰囲気になる様に致し度いと思います。

● 1983—84年度

R I 会長 ウィリアムE・スケルトン

William E. Skelton

(米国)

第251地区ガバナー 竹山 涼一 (札幌南)

第5分区代理 永野 滋之 (静内)

千歳クラブ会長 中浦 忠男

" 幹事 五十嵐 実

竹山涼一ガバナー公式訪問

(1984年10月27日)

第16期会長運営方針

本年度のウイリアムE・スケルトンR I会長は、メッセージとしてSHARE ROTARY「みんなにロータリーを」SERVE PEOPLE「みんなに奉仕を」提示されました。ロータリークラブの奉仕活動は外面向の奉仕、みせる為の奉仕であってはいけないので、心から奉仕活動するところに正しい精神があると思います。R I会長のメッセージをよく吟味し、クラブに反映して行きたいと思います。

更にまた、竹山新ガバナーの指示の内で〔お互いの欠点、欠陥を許し合う寛容の精神と友愛〕が、もっとも大切であると強調されました。私達のクラブも会員数も増加して参りましたが、本年度はR I会長及び竹山ガバナーの意を体し非常にきびしい経済下の今日ではありますが、理事諸君と協調し次の方針で会の運営を図りたいと存じます。

1. 誠意と融和

2. 楽しい例会と全員参加の奉仕活動

3. 地域社会に密着したロータリーを

(1) 多人数になると、とかく相互間の理解、心のふれ合いが少なくなる恐れが出て来るものです。身分や体質でなく、裸でつき合う真の和と友情を一層強力に推進して行きたいと思います。

(2) 楽しい例会は友情あふれるクラブにすることだと考えます。ロータリーは奉仕の理想の元に生まれた団体であり、他の奉仕団体とことなる魅力があります。全員参加し奉仕することに真の意義があります。

(3) 地域に密着した奉仕。それは思いやりであり、助け合いの精神であり、地域社会の発展に寄与することは勿論、特に身障者、高令者、交通遺児、精神的問題を抱えた青少年等々に奉仕の機会を拡めたい。

皆様、誠意と融和、思いやりと助け合いの心をもって奉仕の実践に邁進しようではありませんか。

● 1984-85年度

R I会長 カルロス・カンセコ

Carlos Canseco

(メキシコ)

第251地区ガバナー 河邨文一郎(札幌西)

第5分区代理 宮崎 善夫(苫小牧)

千歳クラブ会長 丹治 秀一

” 幹事 沼山佐太郎

河邨文一郎ガバナー公式訪問

(1985年12月13日)

第17期会長運営方針

本年度国際ロータリーカルロス・カンセコ会長のメッセージ〔見つけよう、奉仕の新生面〕河邨地区ガバナーの重点目標（われらの今日の目的）〔共に奉仕するわれらの年度〕と方向を定められました。

251地区千歳クラブも、R I会長、地区ガバナーのニーズに応えるため（1984~85年）に向ってスタートを切りました。発足17年目の先輩が築いた輝しい歴史の足跡をけがす事なく、90名の会員が一致協力して、地域社会の発展に、職業奉仕活動の充実、世界の平和を求め乍ら、国際親善の奉仕活動に手に手をつないでつくる友の輪の奉仕活動にいたしましょう。

R C会長の重点目標

〔千歳市民に慕われるロータリアンに

なりましょう〕

1. 手短かに家庭と会員同志の信頼を深め、魅力あるクラブ運営に重点を置きたい。
2. 多くを望まず、目標に向って実り多い年度にして頂きたい。
3. 市民に正しくロータリーを理解して頂くために、会員一同、日々活動の中に真実の輪を広げましょう。
4. 会員増強に力点を置きたい。

ロータリーの理念である奉仕は、出席する事から始まり、会員相互の親睦をモットーに役員、理事、各委員長、各委員会の皆様方と共に奉仕

の新生面を見つけて、この一年を実りのある年度となりますよう努力致しますので、宜しく御協力をお願い致します。

● 1985—86 年度

R I 会長 エドワード F. カドマン
Edward F. Cadman
(米国)

第251地区ガバナー 望月 武義 (岩見沢)

第 5 分区代理 千葉 正 (千歳)

千歳クラブ会長 高田 昭治

" 幹事 浦部 聖

望月武義ガバナー公式訪問

(1986年8月8日)

第18期会長運営方針

国際ロータリー会長、エドワードF. ガンマン氏は、1985~86年度のテーマを「あなたが鍵です」(You are the key)とロータリー精神を分かち合える人々にあなたのクラブの扉を開いて下さい。共に親睦を楽しみ、報われることの多い貴重な奉仕に参加しましょう。地域社会に新ロータリークラブを結成することによってロータリーのよさを広げて下さい。職業奉仕の扉を開いて下さい。社会奉仕の扉を開いて下さい。世界に扉を開いて下さい……と四つの奉仕を掲げております。

第251地区ガバナー望月武義氏は「地域に奉仕の扉を開こう」と、①ロータリアンに、ルールとロータリー情報活動を重点目標として、②クラブ単位の地域社会と共に歩む奉仕、③会員の増強に最大の努力をする、④青少年活動は一層の活性化を図る、⑤R I 重点施策である国際奉仕関係のプロジェクト推進について積極的に協力すると述べています。

我がクラブは地区望月ガバナーと共に「地域社会と共に歩む奉仕活動」として、ロータリーの奉仕は先ずロータリーを知ることから始まるとの申します。全委員長にガバナー月信を配布し

てロータリー意識を一步前進に役立てたい。

1985~86年度の第251地区年次大会は、岩見沢に於て会長、幹事、9月20日(金) 21日(土) 8:00登録、本大会には1人でも多く参加を願います。

地区の親睦ソフトボール大会が、8月11日(日) 千歳クラブのホストで意義ある健康と体力向上に全員参加で楽しい夜間例会として協力し、任務を果す。

第7分区、第2回I.G.F.の開催は千歳RCホストで、我がクラブの名誉ある分区代理、千葉正氏のリーダーを基に千歳クラブの全員の総意で、道徳的に格調高い、実りある会にホストの務めを果す。

四大奉仕委員始めとし各委員会が年度の活動計画に、ロータリアンの皆さん自らが奉仕に参加ご協力下さい。

最後になりましたが、当クラブ創立20周年記念事業資金準備と、ロータリーの拡大に就いて、地域社会に新ロータリークラブを、市内に結成の準備の計画を致したく、絶大なご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

● 1986—87 年度

R I 会長 M・A・T・カパラス
M. A. T. Caparas
(フィリピン)

第251地区ガバナー 三浦 祐晶 (札幌北)

第7分区代理 清水 進 (恵庭)

千歳クラブ会長 斎藤 公彦

" 幹事 佐藤 秀雄

三浦祐晶ガバナー公式訪問

(1987年10月23日)

第19期会長運営方針

本年度のR I 会長M. A. T. カパラス氏は国際協議会に於いてのメッセージで、「ロータリーは希望をもたらす」をテーマ発表、提示されました。そしてその時のスピーチの中で「希望と

は」よりよいものへの期待であり人を動かす光であります。ロータリーはこれまで非常に多くの人々に対して奉仕し希望をもたらしてきました。ロータリーを通じて生涯人生そして平和な世界をと力強く呼びかけられました。又、三浦 251 地区ガバナーはロータリーの奉仕活動は奉仕精神によって種が播かれ花が開き実行により実を結び、実践の実績こそロータリーを知ることになる、と提言されました。私はR・I 会長並びに 251 地区ガバナーの意を体し当クラブのテーマとして「地域社会のふれあいは聞法の心で」と言う標題を提示し各役員・理事・各委員長・会員各位の理解の中で強調、融和し次の方針で会の運営を図りたいと存じます。

- (1) ロータリアンとしての自覚、夢と誇りを持って職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕を拡大しましょう。
- (2) 青少年育成の責務として将来インタークト・ロータークトの結成のための布石として、青少年主張コンクールを実践しましょう。
- (3) 高齢者人口が急速に増加しつつある現在、私は例会で援助を必要とする高齢者に色々の形の中で職業・社会奉仕の理念にのっとり、高齢者対策事業に協力するよう P R する。
- (4) ロータリー奉仕活動で本年より実行するポリオ・プラス計画については、全面的に協力し発展途上国の子供に希望をもたらす。
- (5) アデショナルクラブ準備委員会を設置し、準備特別委員会は設立迄の委員会とする。
- (6) 20周年記念事業実行委員会を設置する。尚、委員は20周年記念事業終了迄とする。
- (7) クラブ細則改訂の委員会を設置する。

● 1987—88年度

R I 会長 チャールズ・C. ケラー

Charles C. Keller

(米国)

第251地区ガバナー 坂本 忠（札幌）

第7分区代理 坂田 義和（北広島）

千歳クラブ会長 武石 忠俊

〃 幹事 山田 瞳雄

坂本 忠ガバナー公式訪問

(1988年10月29日)

第20期会長運営方針

ロータリークラブは、無限に奉仕が可能なロータリアン個々に対して、奉仕の支援する最大の機関でなければなりません。ロータリークラブは、会員に奉仕のための情報提供しなければなりません。そして、又、討論をする機会を沢山つくらなければなりません。又、親睦を深め、友情を高め、奉仕に対する勇気を与えなければなりません。そして、現状を分析し、研究し、把握し、そして、認め、現実に毒されず理想を追求しなければならないと思うのであります。

前会長の斎藤氏は、「聞法の心で」をモットーに立派に会を運営されました。

私は、今年「思いやりと心遣いを」大きな柱として運営して参りたいと存じます。そして20周年記念事業、式典、祝賀会を立派に遂行し、ポリオ・プラス計画を大いに盛り上げ、会員増強を慎重に且つ勇気と挑戦の心を持って望まなければなりません。

特に、会員増強の持つ意味は、ロータリークラブは、とうてい浸透することが出来ない人々に新会員を通じて新会員が、係わりを持つ業界の人々に地域の人々、友人にロータリーの精神をお伝えすることができるからであります。

歴代会長の思い出

クラブへ提言

第四期会長 千葉 正

1. 創立当時、会長当時

私が入会の勧誘を受けたのは、クラブ創立総会の数日前、クラブ設立発起人の1人であった内藤先生からでした。千歳に参りまして、未だ半年も経過していない時期でしたので、地域の皆さんとお近づき願えると思い、翌日早速入会のご返事を致しました。ロータリーについては何もわからぬのに、初代の国際奉仕委員長を仰せつかって、理事会のメンバーではありますし、とにかく大変でした。幸い内藤会員がロータリーについて猛烈な勉強を始めましたので、私も色々教えていただきました。

私が会長の年、8月、千歳JCが「人間と自然の調和」を求め、千歳川清掃（川まつり）を打ち出しました。これこそ、ロータリーの社会奉仕のモデルなのに、千歳JCが周到に検討、企画の上、実施に踏み切られたことには、全く敬服致しました。私の代の毛内幹事さんは、熱心、しかも積極的に会務を進めてくれましたので、私は本当に楽をさせてもらいました。余り苦労が無かったものですから、印象に残っていることもあまりございません。

2. 千歳ロータリークラブの将来

千歳クラブの将来について考えますと、先ず第1には、やはり千歳という地域の特性を生かして行く方向に向うべきではないか、と思います。即ち国際奉仕委員会活動の強化、第2には、この度のローターアクトクラブの設立で、当クラブの青少年活動に大きなはずみがついたわけですので、今後は益々青少年奉仕活動委員会の発展が望まれるところであります。第3には、アデショナルクラブの問題でありますが、これは、アデショナルクラブ特別委員会を中心に、クラブとして十分に検討を重ねた上で、会員の合意の上で進める必要があると思います。

3. 千歳ロータリークラブの運営

さきほど、本年度の会員増強の実績が話題に

出たようですが、本年度は武石会長が会員増強は純増20名という目標を出されたわけで、沼山増強委員長はじめ私ども委員会一同大いに頑張りましたし、多くの会員の方々からご協力をいただいて、目標を達成することが出来ました。かくなりました上は、私共は新しい会員の人達に対して、努めて接する機会を作り、早くお互に知り合うことが出来るように、勿論、情報委員会としての積極的対応、それに推薦者の方々が責任をもってお世話をする、もう一つは、所属する委員会の皆さん的心配り等が特に望まれるところであると思います。

第五期会長 新沼 武雄

今から20年前の昭和43年4月初めの或る朝、千歳の名士で、LCの御方が、今度千歳にRCを設立すると言う事で入会をすすめに来られたのでした。その頃、自分としてはLCもRCも考えた事も無いと言うより、只何となく上流社会の方々の社交クラブで、我々庶民にはあまり係わりのない団体だと思っていましたが、進めて来られた方の説明で、LC、RC、共に社会を明るくするための奉仕団体である事が分かりました。

然し、当時の私としては経済的に、また時間的にもどこ迄ついて行けるかと自信がなかった事もあり、また、4月一杯は出られない事情もあって、せっかくお出で頂いた方への顔立ての気持で5月からの入会を約束した訳です。

幸い、5月2日が千歳RCの第一回目の例会だったので、それに出席したのが、私のロータリーの始まりでした。

その日は第一回目と言う事もあってか秋山特別代表始め江別と苫小牧のRCの方々が大勢来訪され、大変賑やかな例会だった事が記憶に残って居ります。なかでも江別RCの折内幹事さんは、2年ほど前まで千歳保健所の所長さんで、私は特に職業上でお世話になった方で大変懐かしく思い、ロータリーに入会して何か友情の輪

が広がる思いで胸が一杯になりました。

その日の例会で秋山特別代表のロータリーについての講話のなかで、ロータリーは例会に出席する事がロータリアンとして最低限度の奉仕であると言われたことで、私もロータリアンとして、せめてこの最低限度だけは守り通したいと感じた事が昨日の事のように心に残って居ります。

第七期会長 近川宗信

私は43年7月に創立27番目の会長として千歳クラブに小原会員のスポンサーに依り厳しい会員選挙を経て入会した。

入会当時は誰もが経験した事であろうが新たな組織体で自分自身に対しての不安感があった。勿論入会した目的は自己練成のためであったが、生来不出来で無知なるが故に会員諸氏に多大の迷惑をかけた事と思う。勿論9月22日のチャーターナイトに出席して受付を担当した記憶がある。

第3期 山崎満会長のおり、ガバナーの公式訪問のおり、会報委員長であった私が当時の委員の高田昭治会員と会報の打合せをしておったのだが、つい声が大きくなってしまったので、河野ガバナーより私語について大変なお叱りを頂き、皆様に申訳なく退会を決意した事があり一誠にお恥しい限りで、その時一度欠席ただけでした。結局撫慰されて今日に至ったのではあるが…………

第7期 74-75年度

会長を指名され加藤忠男名幹事と組ませて貰った、今から考えると大変忙しい年であった。

先ずオーストラリアからの交換グループGSEの受入で小樽ロータリークラブまで迎えにバスを利用した、9月15日である。支笏湖水明閣に於ての歓迎レセプションには名譽会員ホリス司令官の出席を得て国際親善の実をあげた事など、特に入会日浅くにもかかわらず、大変な働

きをして下さった三崎富重会員には感謝の念で一杯である。またこの年は8月1日から6日迄千歳原に於て行われたボイスカウト第6回ジャンボリーに協力態勢を整えて、ジャンボリーの意を深めた事である。随員として来千した多数のロータリアンを例会に招いて親睦を深めた。

9月19日 当時の国際奉仕委員長の齊藤弘氏のお骨折で名譽会員である米軍司令官の好意により基地内のレストランを開放され、親睦夜間例会を催した記憶は今も尚大変なつかしい限りです。

11月27日 第1回合同例会を恵庭クラブとホールマツウラにて実施、近隣クラブとの親睦交流を深めて以来、広島クラブでも合同例会を開催した経緯がある。（年度末会員54名）

第10期 77年-78年度

谷本和夫会長のおり、クラブ創立10周年記念が行われたが、柄にもなく特別委員長を仰せつかったが、会員諸氏の情熱の結集にて盛会裡に完了した事に対し衷心より感謝申し上げる次第である。また、10年誌編集に当っては資料不足にかかわらず立派なものに仕上げて下さった高田昭治会員外委員の諸氏に改めて御礼申し上げる次第である。

20年を振り返って見るに楽しかった事など数々の思い出が脳裡をかすめる。失敗した時の事は終生忘れないでしょう。

クラブ創立以来沢山の方が入会しました途中止むなく退会された方が居りますが、皆今日迄の記録に残されており、物故会員に対しては深く冥福をお祈りしたい。

今年度後半に於てローターアクトの結成を見る事が出来たが、理事会と担当の委員会の健闘に賛意を表したい。今後の育成には充分に留意して貰いたい。

どの組織体も同じであるが、年度頭初計画を立て、それを年度内に執行するのであるが、ロータリークラブも理事会がこれに當る訳で、役員選挙以外は権限を与えられているが、方向にそれず定款細則を遵守して貰いたい。

第十一期会長 浅利 作造

ひと昔過ぎた我がクラブ

20数人のメンバーによる創立総会で発足した我がクラブであるが、最初から多難の連続であり人の出入りの激しいクラブであった。

昨日入会今日退会の如きもあった。何せ初代の幹事の内藤君（故人）も一年で退会したのだから（但し彼は3、4年たってから再び入会したが、心境の変化か……）

クラブ発足の初めの年は、千歳クラブを作るために尽力した特別代表の秋山氏（薬問屋の秋山愛生館社長。故人）が入会手続きやら年度目標のための計画書等々全部ととのえて下さったが、2年目となるとそうはいかない。自立自営である。元々ロータリーの理念に共鳴し奉仕の理想を掲げて入会したわけではなく、私の友人でもあり拓銀千歳支店長だった川原田君に懇請されて入ったわけで、ロータリーの理念及びきびしい手続きなど知る由もなかった。

拓銀の川原田君に至っては今までライオンズに籍を置いていた。本店の命令によって秋山氏に協力しロータリー創立に奔走させられていたのである。ともあれ君しか居ないと皆に勧てられ君が一番若いのだからと云いくるめられ、とうとう引き受けてしまった。知らないと云う事は恐ろしい事だと思った。担当してみると種々の手続き又規則というものが大変ややっこしいのである。持ち前の負けん気が無かったらとっくの昔に退会していただろう。

ロータリーの勉強のため、又書類作成のために毎週何回かは札幌のロータリー合同事務所に通った。その頃札幌にはRCが5クラブあり合同事務所を持っていた。事務員が5人居て幹事が入りして居た。羨しい限りであった。

その頃の札幌各クラブの幹事には、福山醸造の現社長や、サッポロビール工場長の藤田氏（故人）等が居た。随分と懇意にしてもらった。

さて想い出やらこれからビジョン等二、三

述べて見よう。

1. ロータリーに入会するには、先ず自分のボケーションに励み、そして行動する事で奉仕するのが理想であったが、時代の流れからか何んでもお金でけりをつけるようになってしまった。特にガバナーが医師の年度にはお金のかかる事を引き受けて来るようだ。年々会費は上るのは好ましくない。多くの人に入会してもらうためにも会費はなるべく抑ええた方が良い。
2. 20数名で発足したが現在は100名を超えた。大変嬉しい事だが、それによって職業分類等の関係で二つのクラブが考えられた。私の知つて居るシカゴクラブ（ロータリー発祥の地である）は会員数が600名を超える。一度訪問したいものだ。どのように運営しているかを。
3. 何んでも幹事の我がクラブである。これは私が幹事の時代から続いているようだ。果してこれで良いのか。考えた事があったがこれが続いる間は千歳クラブは安泰なのかも知れない。小生は別として歴代幹事は、それなりの人が担当している様だ。人はロータリーを作った。ロータリーは人を作る。

昨今入会された方々もロータリーの表面のみを知り、すぐに幻滅を感じたりせず、ゆっくり時間を掛けて理解してもらいたいものです。

ロータリーの理念は、方向を誤まなければ永遠であろう。その哲学は無限の可能性を秘めている。これからも歴代会長のバイタリティ溢れる英知と、行動力で進まれん事を祈念している。

第十二期会長 倉内 清

1970年3月入会。1972～1973年度新沼武雄内閣の幹事。1973年4月、5周年記念式典、5周年記念誌編纂委員長、10周年記念誌編纂委員長。1979～1980年度会長。新任第一回例会では自然

と顔に血が昇って来てどうする事も出来なく例会でどのようなご挨拶、お話しをして例会が終ったのか覚えていない。

1980年5月14日、東京ニューオータニに於てアンカレジロータリークラブと姉妹クラブとして仮調印。1981年9月10日開基100年千歳号に便乗アンカレジへ、9月12日アンカレジロータリークラブ例会に千歳RC会員10名と共に出席、英語と日本語の姉妹クラブ提携同意書をお互いに交換、記念品を交換、親善を深めて参りました。

10月11日・12日・13日、米国789地区コネチカット州、マサチュセッツ州西部ロータリークラブより推薦された研究交換グループ(GSE)6名、国際奉仕委員会の皆さん大変ご苦労様でした。

4月30日支笏湖公園線清掃奉仕。会員のご協力により公園線は綺麗になった。車の窓からポイ捨てはやめて戴きたい。

5月17日ロータリー75周年を記念して向陽台入口公園・ロータリーの森に桜80本、レンゲツツジ160本植樹。毎年見事な花を付けています。思えば未だ書き足りない事が多々ありますが会員各位のご協力と役員各位のご努力により年度期間大過なくクラブ運営が出来、その責務を果たしたことは何ものにもまさる喜びで深く感謝申し上げる次第でございます。

15周年記念式典実行委員長、創立20周年記念誌編纂委員長等お引受致しましたが極めて世情にうとく表現力にもとぼしい欠点の多い自分だけに役員各位に種々ご迷惑をおかけ致しましたが常に友情のもとにご寛容を戴きましたことに深くお礼申し上げます。

クラブへの提言

最近特に会員の数が増えて来ました。執行部は強い力で引きづって行くべきであると言う一つの問題があります。それはロータリーのルールがあります。R I 手続要覧、クラブ定款細則等、ルールの上に立って行くべきであります。理事会が執行に関する一切の権限をもって

居りますが、あくまでも会員の意志を反映するという行き方が大切であると思われます。

現在会員数119名ですと、会員1名は119分の1の責任しか持たないと言う傾向になりがちであります。今後当クラブの大きな課題ではないでしょうか。

クラブの運営は理事会でやって行きますが、それはあくまで総会で決められた範囲内で運営して行くのであって、突然起る重要事項もありましょうが。その中のいくつかは総会に諮らねばならない問題もあるのではないかと思われますが、現在の情況ではそれは殆ど行われていませんね。この様では、従って行けないと言う会員の声も時にふれ聞きます。この点について執行部に今一度考えて見て頂きたいと思うのであります。

アデショナルクラブについては3年前より会員100名を超えた時点で考えようと、週に3回委員会を開き、またアンケートを取り議論して参りました。今回20周年記念式典も終えた今日119名という大所帯になりました。二分割問題について考える時期かなあとと思われますが、千歳のように狭い都市では、1つのチームのまとまりを維持して行くにはどの程度の会員数が最も良いのか、自づと限界があると思います。

ローター・アクトクラブも発足した事もあります、2つに分けた場合、どのクラブが面倒を見るのか、クラブ二分割、結構なことですが何分にも財政的な問題もついて廻ることあります。

クラブ二分割は慎重に考えてやらねばと私は思うのであります。

第十三期会長 藤川昭三

10年一昔とはよく言われることであるが、わがクラブも認証20年と言うことになると、二昔立つことになる。

私が入会した昭和44年頃は会員も40名前後で

その頃はロータリーに詳しい会員も少なかったので試行錯誤というか手さぐりの状況であったが、当時としてはそれなりに真剣で、よくグループで討論し深夜まで及ぶことも珍らしくなかった。

奉仕活動も全員参加という盛況で特記しておきたいのは、ポロピナイキャンプ場の清掃であった。6月の最高の暑さの日、集めたゴミを焼くので汗ビッショリ。キャンプ場に到着した時にはこのゴミをこれだけの人員で、どうしようと思った。しかしやれば出来る、見違えるように綺麗になった。終って懇談会でのビールのうまかったこと、今だに忘れられない。

ガバナーにもなかなかのサムライがおられて、公式訪問時の講評中「そこで、こそぞ話をしているのは誰だ。名前を云え」と指差して怒鳴られてビックリしたものだった。

私が会長に就任したのは昭和55年、当時各クラブの出席競争が盛んで、出席委員も「奉仕はまず出席から」との掛け声のもと各委員分担して欠席常習者に対し夜討朝駆といった具合に出席確認や督励をしたといって会員より大分苦情を頂いた。お蔭で当クラブの歴史に残るような百パーセント出席が数回あったように記憶している。まさに画期的なことがらで、やれば出来るという言葉を身をもって痛感した次第。それだけ百パーセント出席は至難で重みのあることだった。今後も、30年40年と歴史は綴られるであろうが、本当に想い出として残るような日々の積み重ねこそ平凡ではあるが大切なことだと日々感ぜられる齡になった。

第十四期会長 斎藤 弘

S46年入会時の思い出：結成3年目の若いクラブで会員数40～50名程度の時で、先輩も後輩もよく勉強していた。会員間の交流、親睦は密であり折にふれてロータリー談議に花を咲かせたものでした。現在、会員数120名の大クラブ

と発展しその当時とは隔世の感あります。「數は力なり」と言いますので、友情と相互理解のもとに力を結集すれば、クラブの大きな発展に繋がるが、百家争鳴となれば、会員の友情は損われクラブ運営に支障を来たすことになります。今年20才の成人式を迎えた我がクラブは、会長のリーダーシップの下に更に一段と大きな発展を遂げて欲しい。更に、我がクラブ創設に尽力を惜しまなかった秋山康之進特別代表とスポンサークラブに対し感謝の思いで、アディショナルクラブ新設の為努力しなければならないと思います。これは「ロータリーの拡大」「奉仕の機会の拡大」に繋がる事だと思います。現在、特別委員会でアディショナルクラブ結成に関しての議論が交されています。困難な問題がいくつか提起されております。解決が困難なる事を理由に努力を怠ってはいけない。時間をかけ、120名の会員の英知をもって実現に努力すれば、必ずや近い将来、アディショナルクラブを誕生させる事が可能でしょう。

第十五期会長 村上正治

私は、昭和46年10月、他のロータリークラブで約8年間の会員としての経験を持って、千歳ロータリークラブに入会させて戴きましたが、その当時の印象としましては、たいへん厳格なクラブという感じが致しました。それは、ロータリー情報と、色々な事を決めて行く時の討議の模様でした。その後、浅利会長の下で幹事、そして、日本から向笠R I会長が就任された年度の当クラブとしても節目の15代目会長を務めさせて戴きました。就任に当って、当クラブは比較的会員の出入りが多く、年令差も30才以上も離れている為に、会員相互の親睦と融和を図り、各委員会間の協調を図って行きたいと考えました。

クラブの重点活動目標として、青少年健全育成を目標とした活動を主体として、実施致しま

した。

丁度、校内暴力等で、青少年の非行の問題が世間を賑わしていた時期でもありましたので、15周年記念事業としても、実行して行きたいと、特に青少年委員会には、北陽高校の校長先生でありました清水会員以下強力な若手メンバーで積極的に活動して下さいました。

主な事業としては、

1. 1982年12月4日千歳市内の中学校4校と高校2校の父母、教師、生徒の代表者約30名と地元市教委、教育長、石狩教育局の指導班主任の助言を得ながらロータリアン12名をまじえ「青少年健全育成」を目標として、3者の意見交換会を行い、その内容を集録しロータリアン全員、市内小・中・高のPTAに配布し、今後の青少年の健全育成のための参考にしてもらいました。
2. 1983年3月3日と17日「ロータリーの友」読後感想文コンクールを市内2校の高校生を対象に行いました。
3. 1983年4月28日、15周年事業として、千歳市内中学校7校と高校2校から出場を依頼し「青少年の主張コンクール」を行い、青少年の健全育成に資するために実施し、中学生10名、高校生9名、計19名の出場者の意見を聞き、400名以上にのぼる参観者がありました。
4. 1982年の後半から、毎月北海少年院を訪問し、千歳ロータリーの会員が院生に1回、1時間以上の講演、卓話を行い、院生を激励する事を始めました。

特に青少年主張コンクールは、教育関係の方々ばかりではなく、多くの市民の方々からたいへん好評を得て感謝されました。これも全会員が青少年健全育成の主旨を良く理解されて、忙しい中をご協力願った賜の結果であると深く感謝致しております。

当クラブも120名の多勢なクラブとして、今後会員相互間の融和をどの様に図って行くかと云う事が大切な事であろうと思います。そして真のロータリアンとして、思いやりの心を第一

として職業を通じて地域社会に対して奉仕活動をして行きたいものだと、20周年を期として考えを新にするものであり、今後クラブの限りない発展を願って止みません。

第十六期会長 中浦忠男

今は亡き（故人）北岡体一さん、加藤光三さん（退会者）に入会の来訪を受けること三度、もうこれまでと、ロータリーのロの字も分からずのままに「キリの良いところで」入会したのが昭和47年1月であった。新年早々でもあったが千両寿司の二階で異動例会で盆踊り太鼓を叩いて、ハシャイダのが今だに忘れられない。

入会後早々に5周年記念式典で受付をやれと云うので101ビルの4階で受付をやった。ロータリーのロを少々覚えた頃もある。

無我無中で地区協議会、地区大会、そして近隣クラブの周期の式典に出席している内に、当クラブも10周年を迎えるに至った。岩崎豊次様が式典委員長で私が副ということであったが岩崎様は体調をくずしており、私が曲りなりにも進めさせて貰った。市民会館を会場とした小規模の記念式典であった。

ロータリー入会11年目にして会長という大役が廻って来た「シマッター」と思ったが受けざるを得ない。1年は勉強期間があるからと（タカをくくった）が見事にはずれ、他の勉強で1年が過ぎて終った。ロータリーは常々勉強だと思ったのはこの時である。何れ皆さんすべて候補者であり定款・細則ぐらいは目を通して置くべきだと思う。

今回当クラブ20周年に当り図らずもまたまた私が式典委員長という大役を引受けるに至った、10周年当時の会員（50名程度）と、今回の会員120名では自づと規模は勿論会場も異なる、従って予算の面もさること乍ら企画等についても困却したものだが各委員がそれぞれ優秀で特に副委員長にはすべてをまかせきった感じで敬意を

表したい気持で一ぱいである。何れにしてもすべてが万々歳で終了したと思うのは私一人ではないと信ずる。

今や会員120名を超えて20周年に向けて会員の増強を図る強い磁気により引きつけた会員はかなりの数にのぼる。増えるのも結構だが会員相互の理解と心のふれ合いが必要だと思う。ロータリーは会員の増強は強化ではなく充実であってほしいと思う。

『入会のすすめを受けた事のないロータリアンは唯一人ポール・ハリスだけ』

第十七期会長 丹 治 秀 一

私が入会させて頂いた頃から会員数も二倍以上の会員を擁し、251地区の有数のRCに成長して参りました。これもひとえに多勢の諸先輩並びに私共の運動に深いご理解を示して下さった、市民の皆様方並びに各関係諸団体の暖かいご支援のお蔭と感謝申し上げ乍ら、1988年4月武石会長のもとで、記念事業の祝賀委員長を務めさせて頂き、沼山氏、長嶺氏各担当委員会の皆様方とキリンビール、サントリー、キッコーマン工場三社の多大なる品々の御寄贈を賜りまして、盛大に行なう事が出来得ました。心からお礼を申し上げる次第であります。

振り返って1984年～85年千歳RC会長職を心ならずも拝命した時は、エレクトの土屋氏が急に事情が出来、お辞になり、副会長の丹治が受けるべきだと、先輩のパスト会長さん方から強い進めにより、全員が会長職を取られた考え方であればと申し渡しを致して、会員の皆々様方の友情に支えられ乍らスタート致しました。副会長の三崎氏、幹事の沼山氏を始め、理事及び委員の大変な行動力旺盛な方々に恵まれて「千歳市民に慕れるロータリアンになります」を目標に各委員会の年度計画を出して頂く時に、平塚氏から会長今年度の目玉は何にするんですかと聞かれ、青少年の健全育成と、ロータリー

会員の夫人の積極的参加を進める事と、グリーンベルト地帯にロータリーの庭でも作れない物でしょうかと申しました所、会長1本で良いから大木を植えたいねとヒントを頂いて丁度国際森林年の年もあり、あやかりながら青少年の健全育成のお役になればと考えまして、職業奉仕委員長の仲村長市氏が、当市の教育委員会とコンタクトを取られて、文化センター前に早朝例会で植栽して、国際ロータリー千歳クラブが千歳市に贈りました。教育長から、千歳市の青少年健全育成のシンボルとして立派に育てますと感謝状が贈られ、会員御一同の御協力に感謝の意を表しお礼の言葉と致します。ありがとうございました。

今年度発足される、ローターアクトRCの御発展をお誓い申し上げます。

第十八期会長 高 田 昭 治

私はロータリークラブと云うことをまったく知らずに45年1月入会をいたし、昭和45年4月5日第351地区第4分区のインターナショナル・ゼラネル・フォーラムを始め、1970年～71年（昭和45年）9月19日・20日、国際ロータリー創立65周年・日本ロータリー50周年の記念すべき年に、第350地区・第351地区連合年次大会に参加し、R I 会長代理松方三郎氏特別記念講演、東芝社長土光敏夫氏の講演に感銘を受け、入会後年輪を増す毎にロータリークラブを理解ができるようになりました。

私のような者が1985～86年度のクラブ会長を務めさせて戴き、その一年間には第7分区のI・G・Fホストの役割と国際奉仕で、フィリピン・ミンダナオ島の貧窮者に中古衣料品400点余寄贈、G・S・E国際ロータリー第715地区の研究グループ・バートン団長外5名を苫小牧RCより引継ぎ、支笏湖畔ホテル翠明閣で昼食懇談後洞爺湖RCまでお送りいたしました。

計画以外のメキシコ大地震とコロンビアの火

山噴火による災害義援金を会員全員に過分なる負担にご協力を戴き感謝致しているところであります。

又、この年度には非常に残念な事であります。が、クラブ公式訪問当日今井武氏（65歳）を亡くしたのを始め、蔵谷博氏（45歳）、仲村長市氏（65歳）の3氏を失うことになったのは悲しみ深いことでした。

当クラブは今まで会員増強に力を傾けてまいりましたが、今後はロータリー拡大に全会員で新クラブの結成にプログラムを推進致すことを希望致します。

第十九期会長 齊藤 公彦

昭和45年入会。ロータリーとは、何もわからない内に創立5周年。まったくつんば枝敷。

しかし創立10周年を迎えた頃は何かロータリーを曲りなりにも理解出来るようになり協力体制の心構えが出来た。10周年記念式典は大盛況であった。その中で祝賀会は手作りで白浪五人男の一員として練習に練習。当日は近隣のロータリークラブ会員迄が自分達の演ずる白浪五人男の踊りに感激し歓喜して下さった。

創立15周年は私の幹事の時で、村上会長の良き理解と倉内実行委員長の指導により記念事業「青少年の主張コンクール」は市民会館にあふれるばかりの市民の方々が参考され極めて盛会裡に行うことが出来ました。祝賀会は質素の中でも内容のあるものであった。特に恵庭ロータリークラブの幹事平中さんの協力により恵庭ロータリークラブは全員登録と言うご協力には非常に幹事としては心が弾んだものです。

第19期会長として、闇法の心で、創立20周年の下準備、記念事業行事委員長谷本和夫さんを始めとして委員の皆さんの協力により決定を戴いた。千歳市のシンボルにしようと考えて、新築図書館に我々のクラブから「ステンドグラス」製作寄贈は私の人生の中でロータリアンでよかっ

たとしみじみ思うものであります。

振り返って見ますと、製作にあたり種々ご協力、アドバイスを戴きました会員皆さんに厚くお礼申し上げます。

四つのテストこそ我々ロータリアンの鏡として今後も理解し、後世のロータリアンに伝え残すことを誓うものであります。

第二十期会長 武石 忠俊

20周年という、大きな節目に会長の大役を受け、誠に光栄に思いますと共に、大変恐縮する次第であります。

幸い20周年の記念事業式典、祝賀も会員全員の御協力により大変立派に挙行され、多くの参加者の皆様により、祝福と賛美のお言葉を頂きました。素直に受けとめ、会員の皆様と共に喜びをわかつ合いたいと存じます。

今年度は、ボリオ・プラス計画始め、会員の増強、ロータークトの創立等20周年事業以外にも多くの事業を消化推進致しました。

これも一重に20周年を機に特段の御協力を頂きましたものと思います、と共に、先輩各位が20周年に渡って培われた御苦労の賜と、深基なる敬意を表わす次第であります。

当クラブも歴史を重ねると共に、老若の年令差が42歳に達しました。会員の増強については、新会員のニュース源は、段々と若手会員層に移って参りました。会員増強の成果を得る為には、若い会員への信頼と勇気を与えなければならぬと思います。今年の成果は、その辺の御理解が頂けたものと思うであります。

奉仕の理想は、世代を越えた協調にあります。

今年、千歳ロータリークラブは、ロータークトの創立に挑戦し、設立致しました。

先輩は、若者に対する信頼と英知を、若者は無限のエネルギーを提供する事によって、不可能を可能にする要素を持つと思うのであります。

千歳ロータリークラブは、42歳の異なる世代

の調和に挑戦し、成果を上げました。これからは、更に18歳から28歳の世代が加わります。

新たなる調和への挑戦であり、奉仕の理想への試みであります。

次年度会長 田中 達昭

パスト会長の皆さんのお話を振り返っての御苦心の数々のお話と、又次年度への御指導を賜りましたことを深く敬意を表し心から御礼を申し上げます。

私は昭和45年7月に入会させていただき以来18年間ロータリーを少しづつ勉強させていただいて参りましたが、本年度意義深い20周年記念式典が盛大に行われて、只今その尊い歴史と伝統の重みをしみじみ感じているところでございます。特に本年は20周年の節目を期して一挙に会員20%の増強とローター・アクトクラブの創立を見たわけですが、このローター・アクトクラブの創立は次の30周年、又将来に向って非常に大きな意義を持つ快挙であったと思います。

私は次期会長としてこの大いなる快挙と20年の尊い伝統を汚すことなく心して過去の蓄積を踏まえ、会員相互の親睦と友情を広め活気あるクラブの活動と発展のために努力を重ねて参りたいと思っておりますので、今後共パスト会長の皆さんの暖かい御指導と御支援を賜りますようお願い申し上げる次第でございます。

次年度R.I.のロイス・アビー会長は、『ロータリーに活力を－あなたの活力を』をテーマにおかれ、12項目の課題を提唱されておられます。又大橋ガバナー・ノミニーは、この課題のひとつである青少年問題に特に意を注ぐよう呼びかけておられます。

次年度はこの意を体し、誕生したローター・アクトクラブの育成を柱に、両クラブ全員参加のプログラムを進め、若いフレッシュなエネルギーを育て乍ら、当クラブの活性化にも役立ちたいと考えております。又アクト会員が、アクト会

員になった事に於てのみ享授できる企業を代表する方々との交流が、やがて職場での、又地域社会の指導者としての資質を高めるために、役立つ機会となるような、我々クラブの役割を果して参りたいと思います。

又一度に増強された新会員との同化については、先程から色々お話がありましたが、この問題はロータリーの拡大と、会員の親睦融和という、車の両輪の如き問題で、永遠に続く問題であり、地味な課題ですが、常にクラブの事業の目玉として捉え、チャレンジして行かなければならぬと思います。

この事について効果をあげるために、スポンサーの方には、1年間位は常に新会員に対し、スポンサーシップを持って心くばりをしていただく様にお願いして参りますと同時に、ロータリー情報委員を次年度増員いたしましたのも、ローター・アクトクラブの育成と、特に新会員に対し、有意義な情報の提供を機会ある毎にお願いしたいからであります。

会員増強については、今日、日本の産業構造が大きく変化する中にあって、本道でも人口の激減する都市と、人口の増加を見る都市がありますが、千歳は幸いにも後者の都市であります。従ってこれからも、新しい企業も増え、市民も増えてくると思いますが、この時に千歳ロータリークラブとして足踏みをして止どまることなく、勇気を持ってロータリーの拡大を目指し、奉仕の理想を広め、暖かい人間愛が、地域に広がるための活動を続ける心構えが必要であると思います。

本年度の武石会長は、「思いやりと心くばり」を指針とされ、その温厚な人格をもって、素晴らしいクラブの運営を果たしてこられました。

又、アラスカアンカレジ姉妹クラブとの交流も、心に残る大きな成果をあげられました。

私は次年度も、この心を継承し、「善意の理解で」をモットーとし、自然流の心構えで、会員皆様と共に仲よく活動して参りたいと思っておりますので、どうかよろしく御協力下さいます様お願いいたします。

記念事業

満 5 年
満 10 年
満 15 年
満 20 年

記念事業



満5周年記念事業

1973年（昭和48年）4月26日千歳ロータリークラブ創立満5周年の記念事業として、千歳市で計画された「緑に囲まれた都市づくり」に満腔の賛意を表し、新設のグリーンバンクに10万円の預託を致しました。預託金の引き出しには、千歳市の計画である「アンカレッジの森」造成の基金に充当されるよう申添え、亦スポーツ振興基金として5万円を千歳市体育協会あて贈呈致しました。

千歳ロータリークラブ

会長 新沼武雄

満10周年記念事業

1978年（昭和54年）4月26日千歳ロータリークラブ創立満10周年の記念事業として新装なった千歳市スポーツセンターに

ブロンズ像 一 基
演 壇 一 セット

を寄贈し、スポーツ宣言都市としての市民へ拡くアッピールを致しました

更に10周年記念詩の発刊

当クラブの発展の足跡と楽しい思い出の貴重な記録であります。

千歳ロータリークラブ

会長 谷本和夫



満15周年記念事業

1983年（昭和58年）4月28日千歳ロータリークラブ創立満15周年の記念事業として社会奉仕委員会、清水正康青少年担当委員長は昨今青少年の非行がマスコミをにぎわし、大きな社会問題になって居りますが、これらの若者は学校に於いても家庭にあっても、ごくごく少数の一握りの者の行動であって大方の青少年はそれなりに立派な生活意識、目標をもち努力している現実も我々大人の立場で認めてやる姿勢が必要で有ります。そのような事から青少年の主張コンクールを実施致しました。

当日は市民開館一杯に市民の方々が参集され極めて盛会裡でありました。当日演壇で日頃考えている事を主張した生徒は生涯この青少年主張コンクールの事を忘れる事がないでしょうし、どんなにか彼等の今後の生活に励みになり、自信になり、また自分の云った事に対しての責任をもち行動する事と思います。

千歳ロータリークラブ

会長 村上正治



演 壇



審査委員

「青少年の主張」コンクール結果

出場者氏名	演題
-------	----

〈中学校の部〉

最優秀賞 浅野 貴子	働くことの大切さ
優秀賞 小森 政英	未来のある人に
優秀賞 樋田 泰文	僕の体験
優秀賞 吉田 恵	健康の大切さ
優秀賞 田原 美和子	転校
努力賞 小林 夕岐子	私と文化委員会
努力賞 渡辺 美保	小さな親切
努力賞 小山内 英世	千歳空港と私たち
努力賞 君田 恵美	私の考え方
努力賞 山口 由紀江	十二才をふりかえって

〈高校の部〉

最優秀賞 成田 七七	私の生き方
優秀賞 佐々木由紀子	私はこう生きたい
優秀賞 長山 康彦	悩める十代
優秀賞 神山 敦子	私の青春
努力賞 加藤 節子	自己を見つめて
努力賞 下瀬 千春	私の高校生活
努力賞 原田 恵理	私の青春（高校生活）
努力賞 千葉 宏美	私・16才に思うこと
努力賞 鍵谷 智夏	私はこう生きたい

青少年の生張ワノクール

〈高校の部〉

—(11)—



最優秀賞

「私の生き方」

成田 七七さん

千歳北陽高校二年

私は今、天使の園という養護施設にいます。そこには両親がいないとか、また家庭の事情でどうしても施設に入らなくてはいけないような人がたくさんいて、みんな一緒に生活しています。世の中には親のいない子供がたくさんいます。私が三歳のとき、母は私と父の元を去つて行きました。私の上にもう一人同じ母のお腹から生まれた姉がいました。けれど、また会ったことがありません。父の話では、わが夫の所へ遊びに行つて帰つて来た時、急遽お母さんが亡くなりました。そして小学校へ進んで幸せになりました。

先生になりました。赤と黒のランドセルの中に私のピンクのランドセルがひどい立っていました。そのピンクのランドセルは父が買ってくれたのです。私は買ってくれたもの好きのランドセルがとても好きになります。

「お父さん、私は校に入らない」と言つたことがあります。父と言つたことがあります。私は田のやさしさを知りました。赤と黒のランドセルの中に私のピンクのランドセルがひどい立っていました。その補助車はいつかは、はまました。そんなある日、私は父と言つたことがあります。

「お父さん、私は校に入らない」と言つたことがあります。私は田のやさしさを知りました。赤と黒のランドセルの中に私のピンクのランドセルがひどい立っていました。その補助車はいつかは、はまました。そんなある日、私は父と言つたことがあります。

私は中学を卒業したら働くことになりました。天使の園の仲間たちは中学を卒業するところんどんど働いていたのです。でも私の父は、「私も高校に行け」と言いました。父は高校を卒業した後、「高校へ行け」と言いました。父は高校を卒業したら、「だれに友達が助けてくれました。でも友達が助けてくれました。だから自分で生きていきたければいけないのです。

私は中学を卒業したら働くことになりました。赤と黒のランドセルの中に私のピンクのランドセルがひどい立っていました。その補助車はいつかは、はまました。そんなある日、私は父と言つたことがあります。

私は田のやさしさを知りました。赤と黒のランドセルの中に私のピンクのランドセルがひどい立っていました。その補助車はいつかは、はまました。そんなある日、私は父と言つたことがあります。

私は田のやさしさを知りました。赤と黒のランドセルの中に私のピンクのランドセルがひどい立っていました。その補助車はいつかは、はまました。そんなある日、私は父と言つたことがあります。

青少年の主張シンクール

〈中学校の部〉

—①—

北海道千歳市東丘、児生三十五頭、銅頭數七十頭、作面積四十ヘクタール。その広大な大自然の中で、私の家は畠屋を経営しています。北海道へ渡つて來しながらもう一年自分が過ぎましたとしています。

私の両親は畠屋をするために、北海道へ渡つて来たのです。私は兄弟三人は、小さい頃から家の仕事を手伝わねば、ほんとうに農家はたいへんだ、といつも思つていました。例えば家で作っているヒート一つ取つてみてもわかるように、ほんとうに大変なのです。この他一つ取つてみても、雪がまたとけていなし、三月の下旬かにも小麦、小豆、大豆、豆類、ソトコーン、牧草や麦からのこんばななどを同時にうのまびきをして五月のゴールデンウィークには、畑にヒート仕事も並行してやつて、かなづけはならないのです。牛舎の仕事は朝、昼、晩と一日三回あります。朝は飼料やり、草取りをします。時には授乳、子牛にミルクをのせます。尾は牛小屋のそじや農業をやつらもします。そして秋を過ぎた十月份の終わり乾草ねわらなどを作り、夜は



「働くことの大切さ」

東千歳中学校三年

浅野 貴子さん

から十一月にかけて、やつとピートの収穫ができるのです。現在は機械が発達したとはいえ、細かな機械のいる手作業の仕事がたくさんあります。

だから十一月にかけて、やつとピートの収穫ができるのです。現在は機械が発達したことをさせて終わらます。母は特に家の中の仕事もやさしくてはなりません。食事の用意です。べんきょうたつてあるの

す。しかし、高学年になると誰も手伝つてないのに、いやだなあ。いつももそう思つてました。小学生四年生の頃まで私は機械が発達したことをさせて終わらます。母は特に家の中の仕事もやさしくてはなりません。食事の用意です。べんきょうたつてあるの

ていいやつていたので

いました。ところがその時間の長いことといったら、あります。しかし、高学年になると誰も手伝つてないのに、いやだなあ。いつももそう思つてました。こんな生活はませんでした。こんな生活は

ければなりません。一緒に仕事をする中でとても重要な、大切な仕事をしなければなりません。こんな家庭にもよくあることがあります。母は毎日規則正しく研、特に家の中の仕事もやさしくてはなりません。食事の用意です。べんきょうたつてあるの

ていいやつていたので

いました。ところがその時間の長いことといったら、あります。しかし、高学年になると誰も手伝つてないのに、いやだなあ。いつももそう思つてました。こんな生活はければなりません。一緒に仕事をする中でとても重要な、大切な仕事をしなければなりません。こんな家庭にもよくあることがあります。母は毎日規則正しく研、特に家の中の仕事もやさしくてはなりません。食事の用意です。べんきょうたつてあるの

ていいやつていたので

ました。これが、今日は元旦だから、朝のうちから庭の仕事をしなが向でもやつてくわ、私は何も仕事をしなければきつと、自分自身あまたれた人間になつてしまつようつた気がしました。

その点私は両親に感謝しなければなりません。一緒に仕事をする中でとても重要な、大切な仕事をしなければなりません。こんな家庭にもよくあることがあります。母は毎日規則正しく研、特に家の中の仕事もやさしくてはなりません。食事の用意です。べんきょうたつてあるの

ていいやつていたので

ました。これが、今日は元旦だから、朝のうちから庭の仕事をしなが向でもやつてくわ、私は何も仕事をしなければきつと、自分自身あまたれた人間になつてしまつようつた気がしました。

その点私は両親に感謝しなければなりません。一緒に仕事をする中でとても重要な、大切な仕事をしなければなりません。こんな家庭にもよくあることがあります。母は毎日規則正しく研、特に家の中の仕事もやさしくてはなりません。食事の用意です。べんきょうたつてあるの

ていいやつていたので

ました。これが、今日は元旦だから、朝のうちから庭の仕事をしなが向でもやつてくわ、私は何も仕事をしなければきつと、自分自身あまたれた人間になつてしまつようつた気がしました。

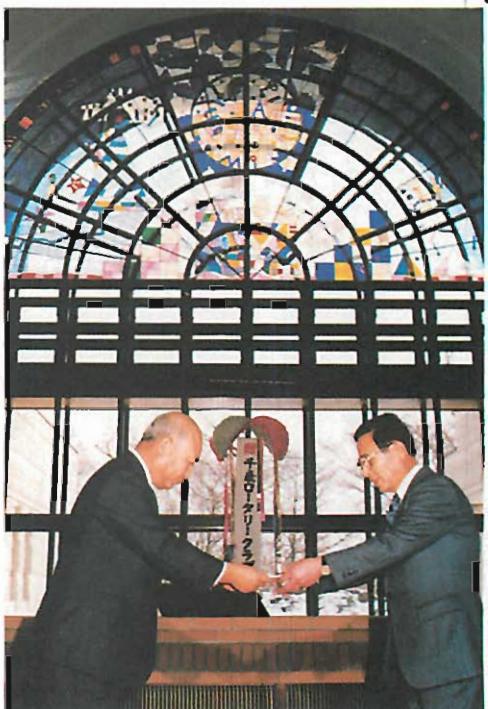
満20周年記念事業

1988年（昭和63年）4月17日千歳ロータリークラブ創立満20周年記念事業として、本年2月に新設となった千歳市立図書館の開館を機に次代を担う青少年に「夢と希望の宇宙、新しい世界」をテーマとしたドーム一面の大ステンドグラスを寄贈致しました。

20周年誌編纂、過ぎた20年を基として一屆クラブの発展を期するうえにも大切な一コマ一コマを確実に留めおきたく編纂委員鋭意編集致しました。

千歳ロータリークラブ

会長 武石 忠俊





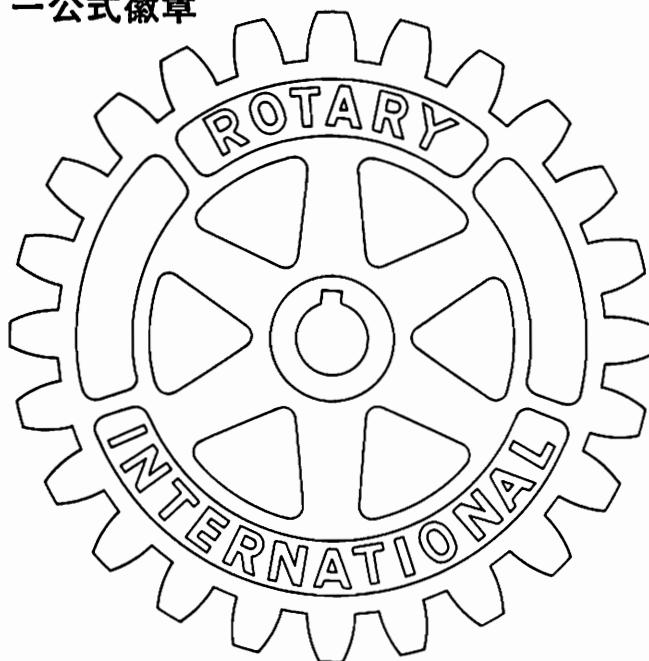
ステンドグラスデザイン説明

「翔く」

千歳市は北海道いや日本の北の玄関であります。千歳市から将来は、世界へ宇宙へ、翔く事が出来る街だと思われます。この街で将来ある多くの青少年達がこの図書館で、一段一段着実に階段を登りピラミッドのように大地に足をおろし、千歳の街から世界へ、そして果てしなく広がっている空間即ち、世界へ翔く夢を育んでほしいものです。

このデザインは向って左側に千歳市全域の地図を配し、千歳市の木として代表される白樺と桂、花では山つつじと花しょうぶ、鳥はキジとヤマセミを入れました。半円の中心下部は地球をあらわし、その上部に宇宙を、左側中央部には上野画伯のモチーフであります「雪の中の少女」を配してデザインの遠近感をあらわし、宇宙空間の北の冬の夜空で良く見る事の多いオリオン星座群を浮きださせてあります。

国際ロータリー公式徽章



歯車の正確な設計の比例

全体の直径61
中心から輪歯の基部まで26
輪縁の幅(内端)から輪歯の基部まで8 1/2
こしきの直径12
軸の直径 7
幅 輪縁と合する点に於ける幅 5
軸の中心における幅 7

数字は単位	
楔穴の垂直断面 幅 1 1/4
深さ 7/8
輪歯 基部の幅 4 1/4
先端の幅 2 1/4
高さ 4 1/2
文字 窪みの幅 5 1/2
文字の高さ 4

国際ロータリーの公式徽章は、6本の幅と24の輪歯及び一つの楔穴のある歯車である。1個の輪歯が各幅の中心線上にあり、幅と幅との中间には3個の輪歯がある。歯車は次表に示す寸法の比例で造られている。“Rotary International”の二つの文字は輪縁のくぼんだ処にある。輪を縁で立てて見ると、“Rotary”的文字は上部の窪みに輪歯5個分の長さに現われ、“International”的文字は下部の窪みに輪歯約9個半の長さに見える。両側にこの二つの窪みの間に位置して文字のない窪みがある。これら四つの窪みの内、どの二つの間隔も下記比例に従って2単位であり、又、窪みと内外の輪線との間隔は1/2単位である。幅は先細で断面は梢円形である。輪が“Rotary”的文字を

上にして立っている時は、向い合った二つの幅の中心線は輪の総の直径を形造り、回転最高所に達した楔穴を両断することになる。輪歯の両側面は外側に稍々ふくれている。従って、輪歯と輪歯の間の空間は略々機械的に正確である。

ロータリーの色は徽章の中に次のように取り入れられなければならない。即ち輪全体として金色でなければならぬが、輪縁の四つの窪みの部分はローヤルブルーとする。窪みの“Rotary”と“International”的文字は金色で表わし、中心と楔穴は空白のまま残しておくものである。

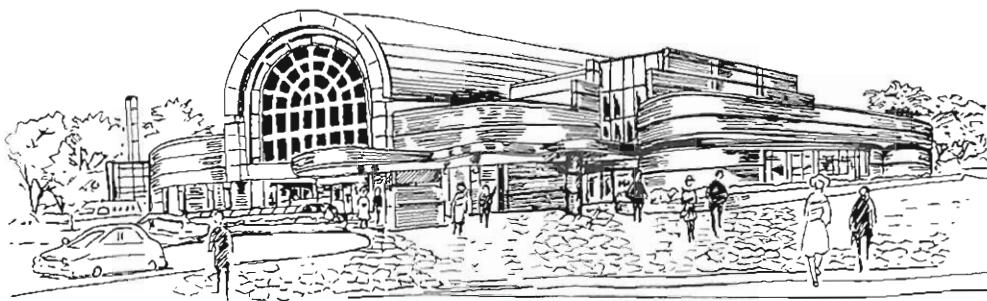
(ダラス国際大会決議29-12)〔手帳要覧・名称および徽章より(1970年度版・132~133頁)〕

奉仕活動

社会奉仕委員会

国際奉仕委員会

職業奉仕委員会



社会奉仕委員会

20周年を通じ委員会の実施した事項を各年度ごとに記載した。

1968~69 委員長 高 慶 繁次郎

1969~70 委員長 新 沼 武 雄

第1回の活動として5月20日千歳・アンカレジ姉妹都市都市提携調印の一周年を記念して、国際奉仕と合同でロータリー会員多数の協力を得て労力奉仕による記念植樹を実施した。その他にも国際ロータリーから示された奉仕活動として、社会福祉の事業、公共諸団体への援助、都市の安全、身体障害児童の救済、インタークト、ローターアクト、都市農村の親睦奨励、表彰及び学生貸費、招待学生、青少年問題等々社会奉仕部門で取り上げ実施。

1970~71 委員長 北 岡 体 一

精神薄弱少年を収容している、いずみ学園の児童生徒（園生教師等54名参加）の支笏湖キャンプ生活に西瓜を贈って西瓜割りの遊びに役立てて喜ばれた。

千歳市主催の敬老会に当って400名の老人にお菓子を贈って長寿を祝し労を慰めた。

北海道救ライ協会の主旨活動に協賛して例会参加者に呼び掛け募金の協力を求めた。この募金函を千歳保健所に持参して、所長・千歳民報社の立会のもとで開函して内容の11,000円を保健所を通じて協会に贈った後で、校瀬協会から感謝の礼状が届いた。

札幌第一高等学校で開かれた北海道インタークト連合年次大会に2名が参加出席して、10校の高等学校のインタークトクラブの教師や生徒をはじめて話し合い研修して認識も深めた。

函館インタークトクラブが10年来実施しているカレンダーによる世界社会奉仕に協賛してカレンダーの蒐集を行った。18社のカレンダーが集まった。これを函館の同クラブに送り同クラブは自校で集めたものに千歳クラブ外全道各

クラブから集まつたものを合せ200社の大層となり荷造りして世界38ヶ国に向け送られた。受けた外国ではこれが換金されて奨学金等になって役に立つという。

千歳交通安全協会から小野講師を招いて、昨年8月20日以降に改正された交通法規の説明を受け続いて凄惨な事故現状病院の手術の模様等の8ミリ映画の上映によって会員の交通安全に対する研修を行った。

会員21名の参加を得て植樹を行った、泉沢の市有地から白樺の13年生の苗木を掘り取り、これを運んで市内北栄の特殊学校北進小中学校庭に植え、校長外一同から感謝された。又、昨年アンカレジ市との姉妹提携を記念して植えられた白樺が枯れたもの痛められたものがあるのでこれの補修も行った。校庭に植えたもの100本、補植6本。

昨年度建てられて千歳市に贈呈された青少年健全育成の塔の基礎部分の整地を実施し、文字塗装等の塗り替え、棚の設置を行ってこの健全育成塔の二年がかり事業が完成した。

1971~72 委員長 加 藤 光 三

- ・第16回全道薄弱者福祉大会（会場：千歳）
- 特殊学級北進小中学校バレーボール及びユニホーム
- ・ガールスカウト31団（千歳）北海道ガールスカウト、キャンプ大会（会場：美笛）
- ・千歳川清掃（川まつり）
- ・老人の日、敬老会の抽選会景品70才以上400名
- ・9/28、会員による老人の無料健康診断65才以上173名
- ・いずみ学園（精薄者収容援護更生施設）
　　園生30名（男22名・女8名）の散髪無料奉仕
　　第2回上記の散髪奉仕
- ・歳末助け合い運動
　　（いずみ学園クリスマスプレゼント）
- ・ニコニコBOXへ2,720円
- ・インタークト援助（函館ラサール高校）
　　カレンダー31kg

- ・青少年対策（ボーイスカウト・ガールスカウト）へ急救箱4ヶ
 - ・北海道救ライ協会援助
 - ・第3回いづみ学園散髪（会員の奉仕）
 - ・北進小中学校白樺補植会員23名、25本
 - ・精薄児童収容施設援助（野球帽子・運動ぐつ）
 - ・青少年健全育成の塔の塗り替え作業
 - ・北進小中学校の庭にRC植樹記念標示看板2本
 - ・交通安全協会より事故防止の為8mm映画を見せる。
- (千歳高校カークラブ30名)

1972~73 委員長 毛 内 利 夫

委員会において、年度活動計画の内容を前年度委員とともに研究し、活動方針を確認する。清流と緑を守る市民の会の運動に参加、クラブ会員にて千歳川の清掃を実施。

支笏湖ポロピナイ地区に於いて野外ゴミ清掃をクラブ全員で実施。

千歳市青少年スポーツ振興基金に協力、5万円を寄贈。

千歳市蓋園公園にコンクリート製ベンチ10台を寄贈（ベンチはクラブ全員の奉仕作業で作製する）

交通安全運動に対する協力として千歳高校に於いて学生を対象に交通安全教室を開催。

函館ラサール高校インタークト活動に協力、カレンダーを送付する。

千歳市の成人式行事に協力。

千歳市緑化条例に協力、市内北進小中学校々庭に白樺の植樹を行う。（全員参加）

市内福祉施設千寿園の御老人に菓子を寄贈。（ダンボール箱25ヶ分）

1973~74 委員長 村 上 正 治

- ①イ 清流と緑を守る市民の運動に全会員が参加し、千歳川の清掃奉仕を行いました。
□ この運動に参加した小・中学生に記念品を贈った。
- ② 心身精薄児（北進小中学校）へ運動用具

（ブランコ一基）を贈った。

- ③ 函館インタークトクラブへ全会員によるカレンダーを収集して送りました。
- ④ ボーイスカウト・ガールスカウトの活動に協力しました。
- ⑤ 北進小中学校グランドに白樺の植樹を行い、補植をしました。
- ⑥ 交通遺児を励ますチャリティーセールを行い、全会員家族の協力参加を戴き、遺児11名に記念品を贈りました。
- ⑦ 市内の寝たきり老人45名に慰問品を贈り、市の開催する敬老会に協力いたしました。
- ⑧ 青少年健全育成の塔を塗り替えました。
- ⑨ 蓋園ベンチの補修を行いました。

1974~75 委員長 中 浦 忠 男

清流と緑を守る市民の会の運動に参加
ボーイスカウト日本ジャンボリーへの協力
身体障害児に対する施設資金への援助
寝たきり老人に対する慰問、90名分
老人ホームに対する慰問（老人の日）
北海少年院々生に対する慰問
千歳少年院々生に対し一日里親実施
北進小中学校植樹と補植の実施
千歳市蓋園公園のベンチ塗装

1975~76 委員長 遠 藤 正 一

清流と緑を守る市民の会の運動に参加したが、我がロータリークラブより会員7名の参加があった。

北海少年院の運動会に参加をした。
函館インタークトへ協力し、カレンダーを送った。

我がロータリー会員の釣り大会をし、北海少年院へ釣り魚を魚箱に15箱プレゼントした。院生には大変感謝された。

道々支笏湖線の清掃奉仕でしたが、全会員の協力により充分な効果が上ったように思います。



1976~77 委員長 亀山松三

- ・青少年健全育成の塔の清掃
- ・北海少年院へ「罪を憎んで人を憎まず」の精神でお菓子を寄贈
- ・いずみ学園（精薄者収容援護更生施設）へお菓子寄贈
- ・市の敬老会に金一封寄贈
- ・歳末助け合い運動にチャリティーショー（クリスマスパーティー）の一部お金寄贈
- ・空港ロビーに四つのテスト入り（例会日記入）して掲示する。
- ・千歳市のスポーツ、スキー大会に金一封寄贈
- ・野外清掃、支笏湖にて行う

1977~78 委員長 中浦忠男

- 開基千歳100年祭に（1979年度中）千歳ロータリーの森を作る。
新設暢寿園（寝たきり老人）に花壇を作る。
春、秋交通安全運動に全員参加を呼びかける。
少年院々生に慰問と運動会行事に参加する。
肢体不自由児訓練施設の慰問（キャンプに参加）
青葉公園周辺の環境浄化（清掃）
青少年健全育成の塔及び千歳公園ベンチ補修、
清掃

千歳空港例会日掲示板の設置（継続事業）

1978~79 委員長 中浦忠男

1979~80 委員長 蔵谷博

- ・千歳少年院々生慰問、激励（魚類の提供）

親睦委員会の協力で魚釣会を実施し、その収穫約50kgを千歳少年院に提供、慰問、激励した。

・青少年健全育成の協力

お盆をひかえた千歳公園のベンチの塗装および周辺の清掃を実施した。

・青少年健全育成の協力

青少年健全育成宣言都市の掲示板の清掃実施

千歳市の掲示板の字句（歳）の補修実施

青少年健全育成掲示板基礎ベンキ清掃

・交通安全運動に対する協力

秋の交通安全運動の一環として実施された市内パレードに参加した。

・開基100年祭に千歳ロータリーの森

面積325m²のロータリーの森にサクラ40本、ツツジ80本を植樹した。

・クリスマス家族会（チャリティー）

クリスマスチャリティーを実施し、収益金の一部を関係機関および施設に寄贈した。（千歳社会福祉協議会 150,000、千歳少年院 20,000 ミカン15箱）

・交通安全運動に対する協力

朝7時30分～8時30分、夕方17時～18時の2回街頭3ヶ所で、シートベルトの着用およびその他の指導を実施した。

・支笏湖通りの清掃

会員35名の協力により予定どおり支笏湖通りの清掃作業（協力奉仕）を実施した。



・開基100年祭に千歳ロータリーの森

第1回（54年10月26日）の植樹に引き続き、
第2回の植樹を5月17日会員の協力を得てサ
クラ40本、ツツジ80本の植樹を終り予定のサ
クラ80本、ツツジ160本の植樹を全部完了し
た。

1980~81 委員長 須 藤 文 夫

- ・青少年健全育成に協力する。
- ・千歳市の環境保全に協力する。
- ・交通安全運動に協力する。
- ・独居老人に対する奉仕。
- ・社会福祉に対する奉仕。
- ・支笏湖通り清掃奉仕。



・千歳空港内に各ロータリークラブの例会日掲示板設置（継続）

1981~82 委員長 藤 田 美 治

千歳空港内に例会日掲示板の設置につきましては伊藤委員が担当、種々計画、設計又見積と努力いたしましたが、先方の事情もいろいろありまして今回到着ビル出入口の中央柱にライオンズクラブと協同掲示ということで決定、近日中に完成、掲示されることになりました。

支笏湖通り清掃につきましては長岡委員が担当、村上副委員長の絶大なるご努力もありまして、去る5月20日会員始め家族の皆様、又従業員の皆様の計80名のご協力を賜わり、市の実施いたしました5月30日空き缶0の日より先んじて完了、各方面より多大なる感謝を寄せられました。



市立図書館に会員蔵書の寄贈がありますが、これは石橋委員が担当され、去る2月4日に約80冊の図書を寄贈、大変感謝されております。

地域社会への奉仕につきましては小西委員が担当され、昨年10月25日、第一回千歳市主催空き缶0の日運動に参加。

4月6日、春季交通安全街頭啓蒙運動に朝夕15名の会員の皆様が参加いたしました。

その他、7月22日には、会員による魚釣りの漁獲カレイ・アブラコ等約30kgを少年院に寄贈、大変喜ばれました。

千歳中学校女子ソフトボールチームと親善試合を行い、終了後同校図書室にて昼食、そのあと教師を交えて全員でロータリーについて千葉会員より卓話ををしていただき、有意義なひとときを過ごしました。

9月10日の例会日に8月の風水害被災者に見舞金を募金計55,000円を市対策本部に寄贈いたしました。

9月11日少年院々生とソフトボール試合を実施、終了後、院生にジュース120本を寄贈、院生の各室に別れて会員と懇談会を実施いたしました。

クリスマスチャリティー家族大会を親睦委員会と共に開催しオークションの売上金より10万円を市愛情銀行を通じて身障者に寄贈いたしました。

12月24日、クリスマスイブに少年院を訪問、クリスマスプレゼントとして菓子140袋を贈り喜ばれました。

佐久間ガバナーより要請のあった3月の浦河

沖地震の見舞金として、会員1人1,000円の寄附をいただき計8万円を送金いたしました。

5月初旬、3年前に当クラブで作りました支笏湖道路の空き缶投げ捨て防止の看板が銷びていましたが、伊藤会員が職業奉仕でペンキを塗り直し現在美しくなっております。

支笏湖公園線の清掃奉仕

昭和50年5月20日、社会奉仕委員会を中心となり、道々支笏湖公園線周辺の清掃奉仕を昭和56年5月21日迄7年間にわたり全会員の協力により実施。昭和57年よりは、千歳市が毎年クリーン作戦と称し全市的に実施するようになり千歳RCは便乗して奉仕活動を続けている。

1982~83 委員長 岩切三郎

- ・交通遺児家庭へ慰問奉仕活動を行う。
- ・少年院々生に慰問と運動活動行事に参加する。
- ・千歳市街地環境整備（市事業）連携。
- ・千歳市立図書館ロータリークラブ図書管理。
- ・開基100年記念千歳ロータリーの森の保全管理。
- ・千歳空港内例会日掲示板の管理。
- ・その他地域社会奉仕活動、交通安全に協力。
- ・青少年主張コンクール実施。

1983~84 委員長 岩切三郎

- ・地域社会に対する奉仕活動を積極的に協力した。
- ・交通遺児に対する奉仕活動は交通遺児の意志を尊重し、交通安全指導に積極的に努めた。
- ・少年院々生との部活動、運動競技参加、公開意見発表会、婦人に多数呼びかけ意義があった。
- ・市街地整備、市事業と連携し、町内会への積極的参加をした。
- ・市立図書館、ロータリー図書管理、市要請に基づき3分の1の予算で寄贈。
- ・ロータリーの森の保全管理委員会で整備清掃。
- ・千歳空港内例会日掲示板の管理、期半毎点検。
- ・その他地域社会奉仕と交通安全、新年牧伸二

招待（千寿園）、交通安全運動、四考に基づくテープを作成し企業へ配布。

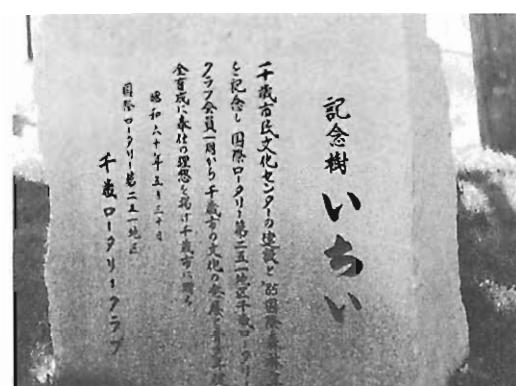
- ・青少年主張コンクール大会。

1984~85 委員長 佐藤秀雄

- ・靈園の清掃

- ・千歳市民文化センター前の植樹

活動目標の一環として千歳市の文化の発展と青少年の健全育成に奉仕の理想を掲げ、イチイの大木を千歳市に寄贈。樹齢350年、高13メートル、直径62センチ



- ・心身障害児を支笏湖招待

- ・青少年主張コンクール実施

1985~86 委員長 村 松 克 重

- ・交通安全運動に参加
- ・青少年主張コンクール第4回大会

1986~87 委員長 早 坂 義 人

- ・交通安全運動への参加と指導
- ・クリスマスチャリティーの益金を社会福祉協議会への寄贈

これはせり人の喜多会員のうまさは言うに及ばず、会員、家族の皆様のご協力により過去最高の売上金を上げることが出来ました。

- ・千歳空港内例会日掲示板の管理

- ・クラブ早朝例会の実施

.8月7日と5月28日の2回実施

8月7日には、千歳橋から仲の橋までの千歳川両岸約800mに芝ざくらの植栽を雷雨の中行い、街を美しくするための一環として大変有意義なことでなかったと思います。

- ・老人クラブ等との交流の実施

これは今年度会長方針により、高令者に対する奉仕、PRを行うと言うことからその一環として、ロータリークラブ杯ゲートボール大会を9月7日の日曜日に、27チーム約200人の参加を得て行い、参加者から大変喜ばれました。

- ・青少年主張コンクール第5回大会

1987~88 委員長 高 慶 繁 博

- ・交通安全運動への参加と指導

春と秋に毎年行われています交通安全に関するイベントには、毎回ロータリークラブ会員多数参加。

62年秋の交通安全週間は3日間にわたり街頭啓発に多数の会員が参加、63年春の交通安全週間は車両による市中パレードに会員多数が参加、交通安全運動に協力しました。

- ・早朝例会の実施

62年8月、エスピラザデパート前に早朝6時集合しましてグリーンベルトの両側4丁目を清

掃しました。

63年6月千歳川たもとの芝ざくらの植栽及び草刈を実施しました。



- ・北海少年院での講話

毎月1回、14才から19才迄の少年達にロータリー会員が少年院に出向き約1時間講話という事で会員を派遣しました。

- ・高令者に対する奉仕

62年9月、千歳ゲートボール協会主催によるゲートボール大会が開催され、当ロータリークラブが後援しました。市内のお年寄り約190名が参加、当クラブからメダルと参加賞を贈呈しました。

- ・千歳ロータリークラブ創立20周年を記念してローターアクトクラブの設立を提唱。

青少年委員会と共同で調査、研究という事でしたが、坂本地区ガバナー、宮澤地区ローターアクト委員長のご指導、ご支援と当クラブの社会奉仕、青少年委員会の熱意により千歳ローターアクトクラブを創立する事が出来ました。

- ・ボリオ・プラスに協力

千歳ローターアクト証明書伝達式に当クラブ会員全員ボリオ・プラスティレフォンカードを贈呈しました。



国際奉仕委員会

1968~69 委員長 千葉 正

1969~70 委員長 近川宗信

千歳市長米田忠雄氏と千歳駐屯米軍司令官、マックーマン大佐を本年度名譽会員に推戴しました。

ネパールの子供にBCGをおくる運動の一環として使用済の古切手を3回に分け、北海道襟裳協議会に寄託しました。総数27,201枚。

国際奉仕の指針を一部分抜粋、タイプをして会員に配布しました。

アラスカ州アンカレジ市との姉妹都市提携1周年を記念して、東雲町のグリーンベルトに「提携の森」白樺を社会奉仕委員会と協力して会員の労力奉仕により植樹を実施しました。尚、苗樹は松島会員の寄贈によるものである。

1970~71 委員長 中沢 啓次

姉妹都市アンカレジ市民との友好親善については、昨年11月渡米の米田市長一行にアンカレジ友好協力と共に児童作品を募り持参してもらった。

提携の並木、植樹奉仕は、本年5月、社会奉仕委員会との共同事業として、会員約20人が出て植樹した。

ネパール救援古切手の回収は、会員の協力により約3万枚を回収、これを救援機関に贈った。

米軍クマ基地の米軍人、家族との親善交流については、昨年7月河野ガバナー、山崎会長と共に基地を訪れ、マックーマン大佐に名譽会員書を贈り親善友好の実を上げた。

インド(315地区)カガピスナガールのロータリークラブとの姉妹クラブ提携は、クラブメッセージ千歳市紹介パンフ等を送り、引き続き交流を深めることにした。

1971~72 委員長 谷本和夫

夜間例会及び、クリスマスパーティーに親睦委員会とタイアップして在留米人を招き、理解を深めた問題点としては、会話の不足から充分な理解が得られなかった。



ネパール救援古切手の回収は、当委員会のPR不足のためか全会員に主旨が行きわたらなかつたのは残念であったが、一部の方々からは継続して寄託を頂き、感謝申し上げたい。ただ民間の方の理解を頂き、3度にわたり寄託を頂いたことに意を強くした。

R・I第597地区研究グループを受け入れ、夕食会、工場見学等を実施したが、会員の方々の深いご理解を頂き、理解と親睦を深めることができた。北海道に来て始めてリラックスした、充実した一夜を過すことが出来、感謝にたえない旨の礼状が米国から届いている。

1972~73 委員長 藤川正三

姉妹都市アンカレジ市訪問親善使節団の派遣が実施されたが、当クラブより委員長を始めとし5名の会員が参加し友好親善に努め大いに成果が上った。

ネパール救援古切手の回収は全会員の努力の結果、予定数を上まわり総数307,926枚に達しました。会員の善意がネパールの結核治療に貢献する事信じます。

米軍クマ基地との交流は更に盛んとなり、名譽会員スミス中佐は夜間例会出席、親睦ゴルフ

コンペ等に積極的に参加された。12月14日クマ基地食堂にて会員ほぼ全員参加の上、アメリカ側士官夫妻5組との親善交流の会を催すに至った。更にこのパーティーの席上に苫小牧2クラブの2名の留学生を招待した。

9月15日世界理解週間には、国際ロータリー事務局から送付された文書を紹介し、当週間の催される意義に関し会員に啓蒙した。

上記の如く、交換学生を12月14日在留米軍との懇親会、12月21日クリスマス家族パーティーの二度にわたり招待し、会員との懇親の機会をもった。

地域住民への国際理解を増進せしめるという目的に対しては、ネパール救援切手の回収に当たり会員の事業所その他に回収箱を設置し、運動の意義を広く知らしめる事により沿う事が出来たと確信する。

1973~74 委員長 斎 藤 弘

姉妹都市アンカレジ市の親善使節団が当市訪問の予定であったが明年に延期された為、親善友好を深める機会を失った事は残念であった。

ネパール結核医療救援の古切手回収事業は会員の積極的な協力のもとに総数22,294枚に達した。尚、会員の積極的な啓蒙により市民の協力の芽生えが現れた事は地域住民へ国際理解を増進せしめるという大きな目的に合致し、意義深い事である。

千歳在留外人との親善交流の推進は、充分目的を達成し得たことと信ずる。

48年8月、名誉会員のスミス中佐が転任され、後認のD.E.シュープ大尉が名誉会員に推せんされ8月23日第8回例会で紹介された。シュープ名誉会員はその後、数回にわたり例会に出席し、会員との親睦理解を深める努力を傾注した。

クリスマス家族会には、2組の米軍士官御夫妻を招待し、交通遺児救済チャリティーセールに参加してもらった。

49年4月25日第42回例会をクマ米空軍基地にて開催し、多くの米軍人の参加を得、国際色豊

かな且つ日米間の理解と友情を深める意義深い例会となった。

49年5月9日第44回例会に直前名誉会員の米軍立川基地司令官のスミス中佐が出席し会員との旧交を暖めた。

ザ・ロークリー、ガバナー月信等より、当委員会関連の記事を提供し会員の国際理解への一助とした。

1974~75 委員長 斎 藤 弘

第3回例会（夜間）において、前年度名誉会員の米空軍基地司令官D.E.シュープ大尉の帰国送別会が開催された。後任のL.D.ホリス少佐歓迎会も兼ねた。

第6回例会（夜間）新任米軍司令官L.D.ホリス少佐を当クラブの名誉会員に推挙した。オーストラリア交換研究グループ千歳空港着。この後約2ヶ月間にわたり道内各クラブ訪問に出発した。



第12回例会を米空軍クマ基地にて「日米親善例会及び世界理解週間例会」として実施した。米国側より、士官、軍属、通訳官の出席を得て、当クラブ会員との盛んな交流が行われ、日米間の理解と友情を深める有意義な例会となった。ホリス司令官は、アメリカ人の日常生活の内に迄コンピューターが深い関りを持ち、合理的な生活を営んでいるというテーマで講演を行った。

第15回例会をオーストラリア交換研究グループを組んで、支笏湖翠明閣にて開催した。ハリーグレイブス団長以下6名の一一行は、2ヶ月にわたる研修旅行にも疲れをみせず、且つ言語の不

自由を乗り越えて、各テーブル毎に、会員との交流を積極的に推進していた努力は、敬服に値する。

又、名誉会員の米軍クマ基地ホリス司令官も参列し、日・米・蒙、三国の国際色溢れる素晴らしい例会となった。

日米協会主催クリスマスパーティーに当クラブ会員が招待を受け、多数出席した。

第46回例会は、千歳・恵庭合同夜間例会と名誉会員ホリス中佐の帰国送別会を兼ねて開催された。5周年を迎えた恵庭クラブを祝う当クラブ会員の友愛の交流の中に一年間にわたり名誉会員として、多くの友情と理解を示された。ホリス中佐を送る哀惜感が漂う会となった。ホリス会員には、当クラブよりKUMA基地に因み、熊の木彫りを友情の印として贈呈した。尚、オーストラリアのキングクラブより静内クラブに留学中のSマッケルビ嬢の出席の得た。巧みな日本語によるスピーチは当例会に花を添えた。特筆すべきは、長年にわたり日米友好に貢献した千歳クラブの功績に対し、在日米軍千歳クラブが具体的な国際交流の場として、理解と友情の輪を広げることの出来た米軍クマ基地は、最終的に閉鎖された。

1975~76 委員長 岸 田 邦 典

アンカレジ市3クラブに手紙で接触を開始しましたが、アンカレジロータリークラブから折を見て訪問したい、旨の回答がありました。

又、9月21日来日のアンカレジ友好使節団一行7名の中に2名のロータリアンがおられたので、歓迎パーティーの際にバーナーと記念品をお渡しました。

ネパール結核医療救援の古切手回収は、会員の皆様の協力により、30,726枚になりました。どうもありがとうございました。

351地区の世界社会奉仕計画（フィリピン援助）に参加すべく15,000円を送金致しました。

7月に開催される、チミケップ・キャンプに4名の中学生も推薦し、参加者には合計20,000

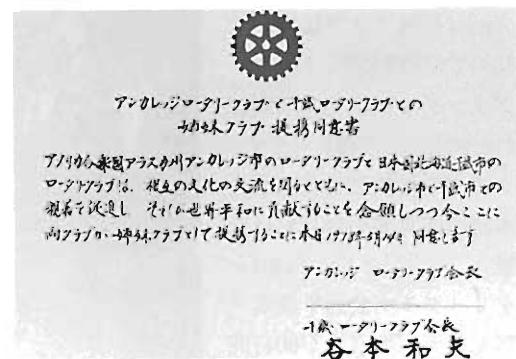
円の補助をしました。

1976~77 委員長 長 嶺 覚

アンカレジロータリークラブと姉妹クラブ提携を促進するため、千歳市内小学校児童の書画をアンカレジロータリークラブに送った。

1977~78 委員長 平 野 博

- ・ネパール医療救援の古切手並びに日本のカレンダーの収集
 - ・チミケップ青少年キャンプに協力する。
 - ・週間の充実
2月23日を含む（18日～24日）世界理解週間、9月15日を含む（10日～16日）青少年活動週間、11月15日を含む（12日～18日）ロータリー財團週間
 - ・国際理解の推進
例会を利用して適当なインフォメーションを会員に提供する。
 - ・千歳空港国際化の推進
千歳空港の国際化について積極的に協力する。
 - ・支笏湖を通じての国際親善
支笏湖にふさわしい姉妹湖を調査しその地区ロータリークラブとの友好親善を図る。
 - ・アジアロータリークラブとの親善交流
アジア大会が韓国にて開催されるを機にアジアとの親善交流を図る。
- 1978年5月14日、アンカレジロータリークラブと姉妹提携。



姉妹クラブ提携

1978年（昭和53年）5月14日

アメリカ合衆国アラスカ州アンカレジ市のロータリークラブと、日本国北海道千歳市のロータリークラブは、相互の文化の交流を図るとともに、アンカレジ市と千歳市との親善を促進し、それが世界平和に貢献することを念願しつつ、今ここに両クラブが姉妹クラブとして提携することに同意します。

アンカレジロータリークラブ
会長 ジョン・コンウェイ
千歳ロータリークラブ
会長 谷本和夫

開基100年千歳号の親善使節団に加わった千歳ロータリークラブ・倉内清会長・斎藤弘副会長・三崎富重国際奉仕委員長・伊藤照正会員・福永郷正会員・五十嵐実会員・浦部聖雄会員・角谷八郎会員。

アンカレジロータリークラブの例会に出席。昨年5月に同クラブと結んだ姉妹クラブの提携同意書・記念品を交換して交流を深めた。

クラブ同士の文化交流を図ると共にアンカレジと千歳の親善を促進。世界平和に貢献しようと東京で開かれた国際ロータリー東京大会で調印している。今回は姉妹クラブ提携以来初めての親善訪問、11日キャプテンックホテルで開かれた例会で、千歳ロータリークラブで作製した英語と日本語の同意書をお互いに交換し、記念品として千歳ロータリークラブ会員千歳窯・窯元の平塚陶哉氏が60日間かけて作りあげた、千歳100年記念大壺（子持ち壺）

をアンカレジロータリークラブのジョン・コンウェイ会長に手渡した。一方アンカレジロータリークラブから、砂金採取川の皿に見立てた盾とセイウチの骨で作った点鐘の槌が贈られ、日本とアメリカだけでなく。全世界の親善に役立つよう活動を広げていくことを誓い合った。





1978~79 委員長 平野 博

国際青少年交換学生が決まり、千歳クラブ推薦の佐々木雅寿君がオーストラリアへ3月24日出発しました。又オーストラリア第965地区推薦のポール・リックス君が1月13日米道せられ、千歳高校に通学しております。

G.S.Eグループ研究交換に千歳クラブ推薦の土井享君が決定され、第789地区コネチカット州北部マサチューセッツ州へ、4月17日35日間の予定で出発しました。

・千歳空港国際化への推進

9月21日千歳・恵庭ロータリークラブ合同例会を空港ターミナルビルゲートラウンズで開催し、中條空港長より国際化の卓話を頂き、トライスター機内を見学しました。

1979~80 委員長 三崎 富重

- ・ポール・リックス君の受入家庭について会合
- ・研究グループ交換チーム（G.S.E）帰国報告
- ・G.S.E受入に関するミーティング。参加8名
- ・ポール・リックス君の担任藤川先生、例会にてスピーチ
- ・交換学生カウンセラー、ホストファミリー会議（札幌）参加3名
- ・ポール・リックス君、チミケップ参加（7月25日～8月3日）
- ・チミケップ国際キャンプ5名参加
- ・G.S.Eメンバー土居君例会にて帰国報告
- ・チミケップ参加の5名例会に出席、藤川純子

さんスピーチ

- ・アンカレジクラブ会員アニー・マイケルセン御夫婦を空港で見送り、会長より3月10日ブラザーズクラブ訪問のメッセージを送る。
- ・ポール・リックス君例会に出席、オーストラリアの映画上映
- ・千歳クラブより10名の会員がアンカレジ・ブラザーズクラブを訪問し、千歳クラブより平塚先生作大壺を寄贈、日本文の調印書を交換し、アンカレジクラブより銅皿及び点鐘用槌の寄贈を受け、大歓迎を受けた。
- ・ソウルアジア地区大会に8名参加
- ・10月11日～14日まで研究グループ（G.S.E）を受入れた。
- ・G.S.Eチーム、サヨナラパーティー（札幌）5名参加。
- ・G.S.Eチーム出発見送り、12名参加。
- ・ポール・リックス君5分区内クラブ訪問。
 - 5月29日 苫小牧北クラブ
 - 10月11日 苫小牧クラブ
 - 11月7日 えりもクラブ
 - 11月16日 様似クラブ
 - 11月17日 三石クラブ
 - 11月20日 浦河クラブ
 - 11月21日 静内クラブ
- ・アンカレジ、ブラザーズクラブへクリスマスカード発送。
- ・ポール・リックス君サヨナラパーティー、13名参加
- ・ポール・リックス君サヨナラパーティー、国際奉仕委員会及びホストファミリー15名参加
- ・ポール・リックス君帰国送別、クラブより27名、千歳高校より35名。
- ・函館ラサール・インタークトクラブへカレンダー発送する。
- ・交換留学生、佐々木雅寿君帰国。
- ・交換留学生、佐々木雅寿君例会にて卓話。
- ・ブラザーズクラブよりアラスカの風景画の寄贈を受ける。
- ・古切手18,400枚、千歳ユネスコ協会へ寄贈す

る。

1980~81 委員長 角 谷 八 朗

- ・中国農業研修員との交流
- ・チミケップキャンプへの協力、3名参加。
- ・アンカレジスピナードクラブのイベント協力。
木彫アイヌ人形（藤川会長寄贈）送付。
- ・函館ラサールとの交換事業カレンダー送付。
- ・ニュージーランドクラブとの協力事業。
トンガの民生基金の為の古切手送付。

1981~82 委員長 浦 部 聖 雄

- ・7月26日～7月31日、5泊6日
チミケップ青少年キャンプ参加協力、北陽高校生2名参加。
- ・中国農業実習生との交流
移動例会、職場訪問、豊平峡発電所・ダム見学、そのあと懇親会。
- ・千歳、アンカレジ友好協会、第2回理事会に出席。千歳市役所、議会大会議室にて開催。
役員改選があり、斎藤弘会長、種村会員が理事に選任。
- ・日中友好交流協会主催による中国黒竜江省農業実習生送別会に出席。ホテル日航千歳で開催、ロータリーの会員も13名参加。
- ・農業実習生、千歳国際空港見送り。
- ・アンカレジロータリークラブ Robt. O. Bowen 会長宛に千歳ロータリークラブよりクリスマスカード送付。
- ・函館ラサール高校インタークト会長山本重一氏に、カレンダー送付。
会員から収集されたカレンダー本数56本。

1982~83 委員長 田 中 達 昭

- ・アンカレジの親善少年野球団の受入れに協力する。（8月13日～14日）
- ・中国農業研修生を夜間例会に招待し親善を深める。
- ・外国人教師の卓話を聞き、国際理解を深める。
(8月4日、9月29日)

- ・函館ラサール高校のカレンダー収集に協力する。
- ・チミケップ青少年キャンプに協力する。

1983~84 委員長 田 中 達 昭

青少年委員会に協力して、チミケップの青少年キャンプに1名の方をお送り致しました。

函館ラサール高校のインタークトクラブのカレンダー募集に皆様から寄せられたカレンダーを2月にお送り致しました。

8月4日・9月29日の2回に亘り、在日外国人教師をお招きして卓話を頂き、国際理解を深めました。

中国黒竜江省より来千されている農民研修生6名と、市の経済部より2名を例会にお招きし、皆様と共に親善を深め激励を致しました。

8月12日～17日までアラスカ州アンカレジ市より来られた少年野球団12名の受入れについて、田中・谷本・佐々木の3会員がそれぞれ2名づつ受入れました。

12日の夜は、受入れる子供達との対面式と歓迎パーティー、13・14日の2日間はそれぞれの家庭に受入れ、更に15日に行われた千歳市内の少年との親善野球の応援もし、16日のサヨナラパーティーには当クラブから多くの会員のご出席も頂きました。

当初計画にはありませんでしたが、ケンタッキー州メーフィルドロータリークラブより、春の国際オークションに出品をして欲しいという依頼があり、藤川会員から大変立派な日本人形のご寄贈がありましたので、1月に早速お送り致しました。

1984~85 委員長 村 上 光 輝

中国黒竜江省より、千歳に酪農実習に来ている人を夜間移動例会に招き、キリンビール工場見学等で充分目的を達成した。

千歳国際ユネスコ・チャリティーパーティーにロータリアンとして多数の参加、その席で中浦直前会長として、当クラブで収集した多教の

古切手を贈呈し、半田ユネスコ会長より感謝の言葉を頂いた。

地区世界社会奉仕の要請により、フィリピンにあるベトナム難民センターへ皆様の協力を得て援助致しました。

今年も函館ラサール高校へ、会員皆様の協力を得まして沢山のカレンダーを送りました。

中国共和国駐札幌総領事の王先生を招き、卓話をして頂きました。

日米合同演習にカリフォルニアより来千中の米軍高官と昼食をしながら、丹治会長他6名と懇談をしました。

1985～86 委員長 大宮 勇藏

W.C.Sプロジェクト№6のフィリピン・ルソン島の貧困者に対する医薬品の寄贈を実施しました。

同じくW.C.S№8のフィリピン・ミンダナオ島の貧窮者に対する中古衣料品の贈呈は、会員のご協力による400点余の衣料品を寄贈できました。

本年度も函館ラサール高校へのカレンダーの寄贈は、会員のご協力により沢山のカレンダー収集ができました。

継続して実施して参りました、アジア地区の医療救援の古切手の収集も大きな成果をおさめました。

第251地区として4週間にわたって受入しました、G.S.E国際ロータリー第715地区の研究グループ・バートン団長外団員5名を、浦部幹事をはじめ委員の各位のご理解により苦小牧ロータリークラブより車4台によりお迎えし、支笏湖畔翠明閣で昼食懇談し、洞爺湖ロータリークラブまでお送りし、地区ガバナーはじめ一行より大変感謝されました。

日米合同演習にアメリカより来千中の米軍高官のロータリアン3名と高田会長以下5名を昼食をともにして懇談し、日米親善のため大変有意義でした。

メキシコ大地震並びにコロンビアの火山噴火

による災害義援金を例会の席で会員の皆さんに協力をお願いし、立派な実績をあげることができました。

1986～87 委員長 井上 正雄

7月3日の例会に、アンカレジ市TV局取材班2名とカメラマン3名が来干し、千歳ロータリークラブの例会の取材をした。

小川英里さんと畠山弘幸君2名が、国際チミケップ青少年キャンプに参加した。

10月23日の例会にアンカレジ市南150マイルの港町ホーマーロータリークラブ会長ステープ吉田様外4名の方々が来訪され、ホーマー市を紹介されてクラブの会員と交流を図った。

12月2日アラスカ州アンカレジの3クラブにクリスマスカードを発送した。

2月5日の例会に千歳市高台小学校の伊藤先生をお招きして、アフリカ日本人学校での体験談とスライドによる卓話をして頂いた。

2月6日会員の皆様のご協力により、118本のカレンダーを函館ラサールインタークトクラブに発送し、後日礼状が参りました。

会員の皆様のご協力により古切手8,333枚を千歳ユネスコ協会に寄贈した。

1987～88 委員長 長澤 邦雄

チミケップ、キャンプ世界理解月間でのゲスト卓話では、再考の余地を残しました。

ポリオ委員長（山口幸太郎会員）より、ポリオ基金の報告並びに感謝の意を述べられました。

ロータリー財團（松村克重会員）委員長より、ポール・ハリス・フェロー並びに準フェローを通じてポリオ基金の造成に協力することができた。

米山奨学会（佐々木金治郎委員）委員長より米山奨学生の招待に感謝の意を述べられました。

交換学生紹介 受入れ



1979年（昭和54年）1月13日
派遣クラブ 国際ロータリー
オーストラリア第965地区
バリーナ・クラブ
ポール・リックス君
オーストラリア、ニューサウスウェルズ、バリーナ、ポンビューストリー

ト34

年 令 18才

学 歴 ニューサウスウェルズ大学1年
国際経済学

現 在 千歳高校2年

国語・数学・英語・書道・日本史・日本語・柔道

家 族 父50才、バリーナRCパスト会長
地区3H運動委員長、R I 財団地区委員

職 業 家庭電気器具販売業

交換学生ホスト夫人

1月13日～3月4日 内藤 久美子

3月5日～6月30日 谷本 静子

7月1日～9月30日 千葉 美代子

10月1日～10月31日 藤川 愛子

11月1日～1月14日 千葉 美代子

青少年育成と国際親善に奉仕

交換学生紹介 派 遣



1979年（昭和54年）1月13日
氏名 佐々木 雅寿
住所 北海道千歳市東雲町
5-1-8

行先 オーストラリア、ニューサウスウェルズ州、グレンイネス

年 令 16才

学 歴 札幌南高等学校2年在学中

家 族 父・佐々木繁信 48才
母・佐々木明子 37才

職 業 公務員、千歳市教育委員会

学校名 グレンイネス・ハイスクール

ホスト・ファミリー氏

1. B. オニール氏
2. D. グフティー氏
3. F. スティーブンソン氏
4. S. ノイス氏

G S E 派 遣



1979年（昭和54年）4月
氏名 土井 享
勤務先 千歳市役所環境部係長
行先 米国第789地区
コネチカット北部

研究テーマ：生活環境と地方自治

サンフランシスコ、街の情景、金門橋、シカゴ、オヘア空港、コネチカット州ハートフォード、シムスベリ州議会、学校、消防署、ヘルスセンター、コンスティテューションプラザ、廃水処理、ストー夫人の家、マーク・トーウェン生家、マサチューセッツ州スプリングフィールド市、大学……etc。41泊42日間

G S E 米 訪

1971年（昭和46年）10月3日～4日

第597地区 アイオワ州チーム

研究グループ交換受入れ

団長：クレイント・クリステンセン氏

団員：7名

10月3日小樽から千歳入りし、支笏湖観光、PM 6時30分より、ホテル翠明閣で研究グループ8名、千歳青年会議所会員7名、千歳ロータリークラブ会員17名で歓迎パーティータ食会を催した。

10月4日千歳ふ化場、サントリー千歳工場、工業団地を見学に案内。12時30分より例会に米田市長も出席。国際理解の拡大に友好的雰囲気に歓待。苫小牧クラブに引継ぐ。

1974年（昭和49年）9月15日

第265地区 オーストラリアチーム

交換研究グループ受入れ

氏名・職業

Harry Grarves

団長 50才 リズモアRC会員 元会長 牧師

Allan Bell

30才 タムワーム北RC推薦

農林省牧畜主任 羊と羊毛担当

Robin Barlow

33才 タムワーム西RC推薦

テレビ・ラジオ局のニュース編集者

William Chopman

34才 ウォルゲットRC推薦

Tony Barnett

26才 ケンブリー西RC推薦

ケンブリー高校 数学・理科担当

David Hall

32才 インバーレルRC推薦

インバーレル高校教師 農業担当教頭補佐

小樽RCにマイクロバスで出向え帰路、サントリー千歳工場、北海道民芸木工場を見学。移動夜間例会とし支笏湖翠明閣でハリー・グレイブス団長以下6名、随行員1名、名誉会員ホリス司令官、当RCより49名出席。近川会長挨拶のあと口米豪三国の国際色ある懇談会開催。

余興として（千歳少女太鼓の特別出演、しき打ち太鼓、清流・流れ太鼓）団長・団員らは少女達の演じる珍らしい日本の芸能に目を丸くして、ワンダフルを連発、心行くまで堪能した模様。

16日午前10時、グループ一行は支笏湖を眺め樽前山を見乍ら昨夜の想い出を胸に秘め札幌へ。



1979年（昭和54年）10月11日

R I 789地区 マサチューセッツ州・コネチカット州、G.S.Eチーム
研究グループ交換受入れ
ガバナー代理（团长）

Keith O. KANETA (キース カネタ) 不動産業
Governor Representative (Team Leader)
President, Amherst R. C.
Rotary District 789 GSE Committee member
団員
Larry Long BUCK

(ラリー ロング バック) 臨床細菌検査士

Age 34 - Clinical Microbiologist
M. S. UMASS - Single - North Adams R. C.

(ダニウル ロバート ハンスコム) 教師
Age 29 - Teacher/ Social Studies
B. A. Springfield College
Married - 0 children - Wilbraham R. C.

Charles Lynn HOWARD
(チャールス リン ハワード) 弁護士
Age 29 - Lawyer - J. D. U. of Virginia
Married - 0 children - Simsiury R. C.

Robert George LUTZ
(ロバート ジョージ ラッツ) YMCA主事（体育）
Age 31 - Dir of Phys Educ at YMCA
BS Springfield College
Married - 0 children - North Adams R. C.

Gobor Imre TEMESVARI

(ゴーバー イムレ テムスヴァリ)

教師 (高校・スペイン語、フランス語)

Age 35 - Teacher/ Languages - MA

Washington University

Married - 3 children - South Deerfield

10月11日（木）

P.M. 1:30 千歳市役所前到着
2:00~ 3:00 千歳市長表敬訪問
3:30~ 5:00 千歳少年院訪問
6:00~ 8:00 千歳RC歓迎会

10月12日（金）

A.M. 12:00~12:30 苦小牧RC例会出席
1:30~ 4:30 苦東工業港視察
6:10~ 8:00 千歳RC国際奉仕委員会
夕食会

10月13日（土）

A.M. 10:00~11:30 キリンビール工場見学
11:30~12:30 千歳窯見学
P.M. 1:30~ 2:30 インディアン水車見学
3:00~ 4:00 千歳孵化場見学
4:30 支笏湖観光ホテル

10月14日（日）

A.M. 10:00~11:00 支笏湖、湖上遊覧
P.M. 3:00 札幌厚生年金会館へ移動

4日間のG.S.Eホストファミリー

Larry Long BUCK

…三崎 富重会員

Daniel Robert HANSCOM

…須藤 文雄会員

Charles Lynn HOWARD

…浦部 堅雄会員

Robert George LUTZ

…三崎 富重会員

Gobor Imre TEMESVARI

…村上 正治会員

ガバナー代理（团长）

Keith O. KANETA

…千葉 正会員



職業奉仕委員会

1968～69 委員長 浅利作造

1969～70 委員長 鷲見吉正

新会員に四つのテストを額に入れ、無料配布

1970～71 委員長 小原正男

主要官公庁、会社等へ「四つのテスト」を配布

商工会議所とタイアップして永年勤続、優良従業員の表彰

1971～72 委員長 岩崎豊次

・46年11月に四つのテストを配布した。

千歳・恵庭の職業訓練校、丸市千歳魚菜市場、千歳デパート、各新入会員には額縁を付けて配布、見やすい処に置き、朝夕一度づつ読む様にする。

・11月23日、勤労感謝の日

働く青年達の為に、特に優良者を選定して記念品と表彰状を送り、新沼副会長より祝辞と激励をした。その後、千歳市長の記念講演、表彰者の記念写真等を写し配布した。

・47年1月15日、成人の日

千歳市主催の成人式記念パーティーに協力してパーティーを盛会にせしめ、会長・副会長等が出席して祝辞と経験談の発表を行った。

1972～73 委員長 土屋正造

「各企業より選抜された優良従業員等の表彰」については11月24日、伊藤木材店・レストランマナベより夫々1名を選出表彰、勤労青少年については各会員の事業所よりの該当がなく実施出来なかった。

「公的機関の職員（若手）代表を例会に招待しロータリー活動の一端を理解認識してもらう」については市役所3名、警察・消防・自衛隊夫々3名計12名を4回に亘って招待し、ロータリーの概要を説明或いは質問したりして大いに成果

をあげたと思う。特に各公的機関の人員選考段階招待後、各職場での発表が実施された。

1973～74 委員長 今井光男

私共ロータリアンは、地域社会の代表者である事を認識し、業界地域社会に職業を通じ奉仕の理念を実行して参りました。

・商工会議所とタイアップして優良従業員の表彰

・公害防止には積極的に取組み、保健所長の講演、映画による公害の実状等公害のおそろしさを会員の皆様に知って頂くと共に実践して参りました。

1974～75 委員長 高田昭治

職業奉仕として、年度当初に計画されました、永年勤続・優良従業員の表彰、「相手の身になって考えよう」「相手の身になって行動しよう」、小さな親切運動等を行い、個々の業種、職業、又人間と企業との共存共栄の理解と認識を高めました。

1975～76 委員長 斎藤公彦

1976～77 委員長 小西清五郎

例年商工会議所が行う永年勤続及び優良従業員84名が表彰されましたが、当クラブでは会員の職場の中から6名を選んで表彰致しましたが、表彰式の後祝辞に折込み、大先輩にロータリーの生立ち及び四つのテストの原理等の普及に努めて頂き、多数の従業員の皆さんに職業奉仕活動の理解度を深めたと思っております。

1977～78 委員長 三浦孝治

・雇主—従業員関係

市商工会議所が実施する優良従業員表彰に併せて会員企業従業員を表彰する。

・四つのテスト

会報に四つのテストを印刷する、四つのテストの認識を高めるため毎月最終例会に全員で朗読実施

・青年への職業情報

4月、会員企業の新人従業員を例会に招待、ロータリー奉仕の理解を高める。

・実業及び専門職業関係

会員に対して自己の職業紹介及び職業奉仕事例の卓話を依頼する。会員の職業奉仕事例、信条、自己帆等のアンケートを実施、会報に記載する。

・職場訪問

会員の職場の理解を深めるため、会員企業訪問と同職場にて例会を開催する。

・その他

「奉仕こそ我がつとめ」冊子を新入会員に配布

職業奉仕意識テスト、自己診断を実施する。

1978～79 委員長 齊藤 公彦

1979～80 委員長 仲村 長市

商工会議所にて永年勤続者3名、優良従業員9名、当クラブで表彰致しました。

永年及び優良従業員の代表2名を例会に招待し、ロータリー奉仕の理解を高めました。

最終例会の四つのテスト朗読を継続致しました。

会員の職場移動例会、工場見学は10月11日（4時～7時30分）サントリー千歳プラントに於いて会員及び夫人同伴、並びにG.S.E研究グループ6名が参加して盛大でした。

1980～81 委員長 千葉 正

「奉仕こそ我がつとめ」（小冊子）をクラブ会員に配布

額入りの「職業奉仕四つの反省」を会員に配布。なお、上記(1)(2)は今後の新入会員にも贈る。

「四つのテスト」をテーマとしてクラブフォーラムを開き討論

職業奉仕関係のゲスト卓話1回、会員卓話数回

会員各自が自分の職業奉仕について原点にかえって考えてみる一つの方法として、「職業奉

仕自己評価」アンケート。

・職業奉仕賞

商工会議所との共催によるものであるが、当クラブも参加した選考委員会により選ばれた市内事業所の優良従業員2名に対し、当クラブから職業奉仕賞を授与

1981～82 委員長 丹治秀一

四つのテストを毎週例会日に朗読し、全会員の暗記を願い、日々の行動に実践して頂いた。

・職業奉仕賞 11月21日付

商工会議所との共催によるものであるが、当クラブも参加した選考委員会による選ばれた会員事業所の優良従業員表彰者1名、市内事業所の会員以外、永年勤続従業員表彰者1名以上2名に対し、当クラブから職業奉仕賞を授与

「奉仕こそ我がつとめ」について歴代パスト会長さんに卓話ををお願いし、3月25日実施

なお、10月21日、千歳市立総合病院・佐藤総婦長殿により、人命を預かる立場での勤務の厳しさ、思いやり等、職業奉仕の尊い貴重な卓話を頂いた。

親睦委員会

国際奉仕委員会

職業奉仕委員会

以上3委員会合同で、10月15日、地区外移動例会を実施した。（北海道電力㈱千歳営業所の特段のお計らいを頂戴し、定山渓豊平峡発電所見学、スライドにて職場の理解を深めるための説明、豊平峡ダムまでも車を進めて頂き、有意義に見聞を広めました。）

1982～83 委員長 伊藤常正

・各会員自己職業の紹介、説明、PRの卓話

・職業奉仕事例報告、職業奉仕に関する専門家のゲスト卓話

・会員職場の理解を深めるため会員企業内の訪問

・四つのテストのPR、毎月第一例会日、第三例会日（夜間例会）唱和

- ・ロータリー標語、カレンダーの配布
- ・ロータリー職業奉仕事例集の研究会

1983～84 委員長 伊藤常正

例年、商工会議所が行っている永年勤続者、優良従業員の表彰は、当ロータリークラブ会員関連企業9社、従業員130名にも及び、商工会議所の要望もあり、永年勤続者2名、優良従業員2名を表彰し、中浦会長挨拶の中で、職業を通じて地域社会のため尚一層の努力をしてほしいと、ロータリー精神のPR、理解につとめました。

1984～85 委員長 仲村長市

四つのテストを月の第一例会、第三例会には全員で唱和を致しております。

永年勤続と優良従業員の表彰式を11月22日会長と共に商工会議所に於いて行って参りました。

9月20日千歳キリンビール工場にて、会員の職場見学と工場内での職場例会（夜間）、お客様として竹山パストガバナー、中国農業実習生（5名）、中国親善友好会長半田様と市役所より（2名）、恵庭クラブからカナダからの交換留学生のロンクさん、会長方針の慕われるロータリアンの奥様方（30数名）の参加を頂き盛大でした。

3月28日職場移動例会、101の榎原さん始め親睦委員並びにSAの皆さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。

5月30日早朝例会（AM 6時30分）、文化センター前にて、'85国際森林年を記念し千歳ロータリークラブ会員一同から“イチイ”的大木一本を寄贈、全員で植樹をしました。

（樹齢350年、高さ13メートル、直径62センチ）

1985～86 委員長 吉本俊春

職場訪問移動例会（夜間）工場見学、昭和60年10月17日（6時～8時まで）サントリー千歳プラントに於て、会員及び夫人同伴で盛会に終りました。

昭和61年4月17日（6時～8時まで）千歳空港ビル2F待合室。人の集まる所に情報が集まる。道内最大の交通ターミナル、千歳空港に誕生。21世紀の情報ステーション＝HAPIS。並びにボーイング767のコックピットの機能、環境、乗員の作業量の負荷、快適性や居住性についての重要なポイントを見学して参りました。

1986～87 委員長 渋田晃

千歳商工会議所主催の永年勤続者、優良従業員の表彰に千歳ロータリークラブも後援し、会長賞として賞状、記念品を授与し、又、斎藤会長の挨拶の中で職業を通じて地域社会発展のため一層の努力を促し、ロータリー精神のPR高揚に努めた。

企業内訪問例会として、キリンビール千歳工場で夜間例会を開催した。

1987～88 委員長 小川岩雄

新会員の職業を理解するため新会員の自社、事業所等の紹介による5分間卓話を例会第一週目に実施し、80%を消化することが出来ました。

会員の職場を理解するため吉田会員の協力を仰ぎ、ホテルアネックスで移動夜間例会を実施、盛会に終りました。

商工会議所が行っている優良従業員表彰に千歳ロータリークラブも参加し、会長賞を贈呈した。尚、11月21日の式典には武石会長も出席し、出席従業員に激励のことばを挨拶されました。

毎月の第一例会には職業奉仕委員会より四つのテストの唱和を実施、他の週は各委員会にお願いし四つのテストの唱和を実施致しました。

職業奉仕

■ 永年勤続従業員の表彰

年月日	会長名	職業奉仕委員長名	永年勤続従業員名	企業名
1972.11	新沼武雄	土屋正造	千葉丑藏	(株)丸伊伊藤木材店
1973.11	北岡体一	今井光男	内山義雄	千歳興業株式会社
	"	"	山家悦子	千歳印刷株式会社
	"	"	黒木孝子	千歳疏菜株式会社
1974.11	近川宗信	高田昭治	久保孝子	(株)西洋軒
	"	"	北村勉	千歳交通株式会社
1975.11	小原正男	斎藤公彦	湯沢市子	千歳印刷株式会社
	"	"	竹内由信	"
1976.11	内藤詩郎	小西清五郎	加藤林藏	東洋製罐株式会社
	"	"	渡辺録平	(株)白生舎
	"	"	守屋光利	千歳交通株式会社
1977.11	谷本和夫	加藤武仁	高原喜八郎	(株)西洋軒
	"	"	中村勝雄	(株)千歳工機
	"	"	土屋栄治	(株)白生舎
	"	"	森井善久	千歳交通株式会社
1978.11	浅利作造	三浦孝治	和賀義信	"
	"	"	川島重信	(有)近川文具店
	"	"	中田ハツエ	(有)駒里エッグファーム
1979.11	倉内清	仲村長市	村本正男	(有)新沼クリーニング
	"	"	西村義明	"
	"	"	松田実	(株)サントリー千歳プラント
1980.11	藤川昭三	千葉正	竹内由信	千歳印刷株式会社
1981.11	斎藤弘	丹治秀一	田中敏機	千歳土建株式会社
1982.11	村上正治	大庭進	谷口ヨシ	生駒商事株式会社
1983.11	中浦忠男	伊藤常正	浅野繁雄	千歳交通株式会社
	"	"	石谷純一	(株)丸伊伊藤木材店
1984.11	丹治秀一	仲村長市	岸貴子	千歳交通株式会社
1986.11	斎藤公彦	渋田晃	中村吉明	(株)白生舎
	"	"	横溝靖夫	(株)丸伊伊藤木材店
	"	"	小田栄子	(株)米本衣装店
	"	"	山本辰雄	(有)武石忠興農場
1987.11	武石忠俊	小川岩雄	土屋節弘	(株)宮崎金物店
	"	"	佐藤克美	山田木材株式会社

■ 優良従業員の表彰

年月日	会長名	職業奉仕委員長名	優良従業員名	企業名
1972.11	新沼武雄	土屋正造	上田元義	(株)レストランマナベ
1973.11	北岡体一	今井光男	井上久美子	千歳印刷株式会社
	"	"	佐藤登喜美	加藤陶器店
	"	"	佐藤義加	(有)浦瀬商店
	"	"	寺井修子	(有)石川商店
	"	"	藤原真弓	千歳興業株式会社
1974.11	近川宗信	高田昭治	沢田実	(株)浅利商店
	"	"	斎藤末子	Aoki あおき
	"	"	畠山章	(有)近川文具店
1975.11	小原正男	斎藤公彦	大塚康枝	千歳土建株式会社
	"	"	佐山加代子	(有)もりもと
	"	"	秋野一二	(株)丸市千歳魚菜市場
1976.11	内藤詩郎	小西清五郎	日野健一	(有)西洋軒
	"	"	牧山須磨雄	千歳印刷株式会社
	"	"	安部克行	(株)丸伊伊藤木材店
1977.11	谷本和夫	加藤武仁	橋場真	(有)博信堂
	"	"	浦田吉弘	(株)丸市千歳魚菜市場
	"	"	平沼美代子	千歳印刷株式会社
	"	"	森口松子	(株)今井商事
1978.11	浅利作造	三浦孝治	藤田洸	千歳印刷株式会社
	"	"	福山芳亮	(有)千歳工機
	"	"	我満トシェ	(株)丸山山本商事
1979.11	倉内清	仲村長市	岩室徳孝	(有)千歳工機
	"	"	山形道子	(有)駒里エッグファーム
	"	"	山谷タミノ	"
	"	"	谷村博美	"
	"	"	大野耕二	(株)藏谷組
	"	"	大宮忠夫	"
	"	"	大阪忠男	"
	"	"	藤坂和子	"
	"	"	浅利義紀	"
1980.11	藤川昭三	千葉正	和泉清美	(有)もりもと
1981.11	斎藤弘	丹治秀一	山崎薰	(有)近川文具店
1982.11	村上正治	大庭進	大月文隆	千歳印刷株式会社

年月日	会長名	職業奉仕委員長名	優良従業員者名	企業名
1983.11	中浦忠男	伊藤常正	斎藤栄子	(株)五味屋・山田商事
	"	"	野宮尊美	(農)道央農場
1983.11	丹治秀一	仲村長市	佐藤利明	(有)三善自工
1986.11	斎藤公彦	渋田晃	谷口佐智子	千歳商工会議所
1987.11	武石忠俊	小川岩雄	内藤信弘	(株)中央運輸
	"	"	斎藤桂子	(農)道央養鶏

社会において、人間関係の向上とロータリーの奉仕の理想の理解を深める目的を以って、会員事業所の永年勤続従業員、優良な従業員を千歳商工会議所と共に、毎年勤労感謝の日に千歳商工会議所、大会議室に招き表彰する。プログラムを1972年当時職業奉仕委員長土屋正造会員が取り上げ、1972年11月23日に第一回が実行されてより永年勤続表彰33名、優良従業員40名に職業奉仕表賞と記念品を贈り表彰している。

職業奉仕

■ 職場訪問

年月日	委員長名	訪問先	製品	会員名
1978.4.6	加藤 武仁	キリンビール千歳工場	ビール製造	大隈 保和
1978.4.6	加藤 武仁	サントリープラント千歳工場	ウイスキー	北山 太丸
1979.10.19	三浦 孝治	全日本空輸株式会社	トライスター	安田 晃次
1980.10.11	仲村 長市	サントリープラント千歳工場	ウイスキー	角谷 八朗
1982.10.15	丹治 秀一	北海道電力株式会社	豊平峡ダム	天野 晴美
1985.9.20	仲村 長市	キリンビール千歳工場	ビール製造工程	木村 良臣
1986.10.17	吉本 俊春	サントリープラント千歳工場	ウイスキー	野本 哲也
1987.4.17	吉本 俊春	千歳空港全日空ボーイング767	コックピットの機能	小林 玄
1987.10.16	渋田 晃	キリンビール千歳工場	熱帯植物園	木村 良臣

I C G F

千歳RC、ホスト、1972~1973年度第5分区、インターナショナルフォーラムが千歳市3丁目ビル、101、4Fに於て開催

フォーラム委員長	千葉 正
第351地区ガバナー	塩谷 猛
フォーラムリーダー	
第5分区代理	山崎 満
会長	新沼 武雄
アドバイザー地区ガバナー	塩谷 猛
バストガバナー	秋山 康之進
ガバナーノミニー	柿本 恒一
ガバナーノミニー	森松 定男

参加クラブ、8クラブ165名の出席。交換学生1名、千歳RC、53名の参加のもと実施



インターナシティ・ゼネラル フォーラム・ホストを果して

日 時 1973年1月21日(日)9:30~16:30
場 所 1013丁目ビル 4F
ホスト 千歳ロータリー・クラブ
アドバイザー 地区ガバナー 塩谷 猛
パストガバナー 秋山康之進
カバナーノミニー 柿本、森松
リーダー 山崎満第5分区代理

参 加 ク ラ ブ

苫小牧	38名	浦河	25名	様似	15名
苫 北	28名	三石	12名	静内	27名
えりも	12名	千歳	53名	出席	210名
ガバナー	4名	恵庭	3名	総数	118名
交換学生	1名				

フォーラム・委員会

フォーラム委員長 千葉 正 幹事 浅利

部門別リーダー

職業部門 木田佐一(浦河) 秋田仙四郎(三石)
社会部門 武田春雄(様似) 小栗 淳(苫北)

1972~73年度、フォーラム浅利幹事の開会宣言に統いて、ホスト新沼会長から、第5分区は千歳から最端のえりもまで190Kの距離で、広大な地域に8クラブが点在しているので一年に一度のフォーラムは、各クラブの相互の交流をと歓迎のことばの後、山崎分区代理は、塩谷ガバナー、秋山パストガバナー始め柿本、森松ガバナー・ノミニー各クラブを紹介の後、山崎リーダーは、新生えりもクラブ始めとし210名の出席を得て、盛会となりフォーラムに対する理解と、ロータリー活動に感謝の敬意を表す。本日の会合目的、四大奉仕はもとより、日頃クラブ運営上の疑問、さらに建設的提案等、活発な討論を望み(有効なロータリー教室であり)本年度のR・I会長の指針「もう一度見直そう、足

国際部門 宮崎善夫(苫小牧) 藤川昭三(千歳)
クラブ奉 北岡体一(千歳) 佐藤玄一(苫小牧)
ホストクラブ会長 新沼武雄、北岡、近川
" 幹事 倉内 清、 田中(義)

フォーラム特別委員会

本会議場 山崎、千葉、黒田、浅利、
田中達、新沼、倉内、土屋、毛内、斎藤公
田中義、北岡、藤川、伊藤、亀山、高田伊
長嶺、工藤、内藤、辻本、小西、山本

登録・受付

◎谷本、市川、加藤、田中義、小原、斎藤弘
案内・駐車場

◎近川、前川、今井、佐藤、宮本、坂井、
会 場

◎右近、服部、村上、鷲見、橋本、坂野、
接 待

◎岩崎、中浦、丹治、岩田、小柳、加藤光
野沢、吉田、佐々木

広報記録

◎中沢、高間、松田、遠藤、岸田、高田昭

もとから」……とし、フォーラムの重点テーマにクラブの現状と個々会員が自己を再点検する機会であります。

塩谷ガバナー挨拶(次ぎの頁に掲載)

討論 本会議に入る

職業・社会奉仕部門 提案議題の質疑応答

休憩(昼食) 新会員とガバナーの懇談会

国際・クラブの部門 提案議題の質疑応答

アドバイザーの総括とガバナーから講評

第5分区代理から次期開催ホスト苫小牧北と
決定された。

次期ホスト苫小牧北クラブ会長の挨拶につづ
き近川副会長から閉会のことばを後に懇親会に
移る。

1978～1979（昭和53年～昭和54年）

昭和54年3月3日 第351地区第5分区
インターナショナルフォーラム



第351地区第5分区
インターナショナルフォーラム

千歳RCホスト 1978～1979年度第5分区インターナショナルフォーラムがびーとる101に
於て開催 188名出席

フォーラム委員長 新沼武雄

アドバイザー地区ガバナー 富田嘉市

フォーラムリーダー

第5分区代理 内藤詩郎

会長 浅利作造

フォーラム役員名簿

講 師	第252地区パストガバナー	菅野 多利雄
フォーラムアドバイザー	第251地区パストガバナー	秋山 康之進
	第251地区元 地区幹事	西條 正博
フォーラムリダー		内藤 詩郎
フォーラム委員長		新沼 武雄
フォーラム幹事		谷本 和夫
S · A · A		高間 善蔵
副 S · A · A		長嶺 覚
会 計		菊地 一正
ソングリーダー		斎藤 弘
ホストクラブ会長	浅利 作造	副会長 倉内 清
ホストクラブ幹事	村上 正治	副幹事 遠藤 正一

ホストクラブ委員会

登録・受付	◎伊藤 照正	○小原 正男	丹治 秀一	斎藤 公彦
		加藤 武仁	盛 盛	井上 雄
		福永郷正	小川 岩雄	斎藤 征義
案内駐車場	◎仲村長市	○中浦忠男	今井光男	吉本俊春
		宮本勝	藤田美治	三浦孝治
		武石忠俊	浦部聖雄	伊藤常三
会 場	◎千葉 正	○須藤文夫	今井武輝	亀山松清
		田中達昭	村上千光	米澤清実
		小西清五郎	熊谷良雄	五十嵐
		藏谷博	西口末松	
		鎌田武二郎	平塚鎮男	
広報記録	◎三崎富重	○土屋正造	岩切三郎	近川宗信
		北岡体一	遠藤正一	高田昭治
		糀山精治	青木貞夫	高瀬俊明
		岸田邦典		
接 待	◎岩崎 豊次	○藤川昭三	小林 博	中村敏郎
		右近久雄	布施 弘次	平野博進
		山本歳雄	安田晃次	大庭成吉
		越原誠	安部敬彦	成沢新吉
		萱場幸太郎	田代智彦	
医 務	◎斎藤 弘			

特別講演 演題 「あなたにとってロータリーとは何か」

1979.3.3

本日は第5分区のICGFにお招きをいただきまして、お話をする機会を与えて下さいましたことに対し、皆様方に心から感謝申し上げます。5地区連合年次大会には、大変お世話になり厚くお礼申し上げます。

さて、苫小牧RCの佐藤玄一先生は私と同業の先輩ですし、また、合同年次大会でお世話になりました西條元地区幹事さんもおいででございます上、その他多数の先輩ロータリアンの前で、ロータリーについてお話しを致しますことは、潜越とは存じますが、畏友内藤先生のおすすめでございますので、あえてお引受けした次第でございます。何卒、一同僚ロータリアンの「ロータリー観」、或いは話題提供というようなことでお聞きいただきたいと存じます。と申しますのは、よく『ロータリーは、個々の哲学、能力で、千差万別の方法を使用して、奉仕の理想を実現するものである』といわれますので、私は私なりの手法でもって、ロータリーについて考えてみたいと思います。とくに本日は、新会員に対するインフォメーションを主とするようにとの、内藤先生のご指示でございますので、それにそいお話を申しあげたいと存じます。

さて、ロータリー活動の原点は、思いやり、助け合いにあるということは、いやというほど耳にし、ロータリアンである限り誰しも口にする言葉でございます。そして、この助け合い、思いやりは初めお互いの物質的相互扶助で出発し、やがて今日の精神的相互扶助にまで発展するにいたったこともご承知の通りでございますが、現実では、相互扶助ということは、言うは易くして、実践するには大変な困難が伴います。何故かと申しますと、私達には生来本能的な欲求、(例えば、私達には徘徊、所有、破壊、攻撃、性殖という五つの本能が生来的にあるといわれます。)がありまして、意識するにしろ、しないにしろ、いつも私達を脅かし、それを充

バストガバナーR I 環境委員 菅野 多利雄

たすためには、私達を時には盲目的、衝動的、視野狭窄にさえしてしまいがちでございます。しかし私達は、生れるや否や、自分をとりまく人々とつくる環境、即ち人間関係の中に投げこまれ、しかもそれは選択を許されない環境であります。私達は人間として生きていくためには、まず、この環境を受入れ、この環境に適応していくことが必要であります。即ち、そこに住む他人とともに仲好く生きることが、まず必要となってまいります。私達は、このようにして決して独りで生きていけるものではありませんし、また独りで生きていけるものでもございません。換言すれば他人によって生かされているという、また他人なしには生きていけないという、生存の事実を認めざるをえません。そのためには、他人と調和し、他人にとって必要な人間、他人のために役立つ存在でなければなりません。そうであればあるほど他人を知らなければなりません。この他人は自分とは全く異った人間であります。人間としては同じでも、異った環境の中でつくりあげられた人格、知性、情感をもっています。したがいまして、このお互いの相違を知ること、即ちお互いの違った心の世界を知り合うことによって、私達ははじめて、安定的に、平和に生き合うことが出来ます。お互いに相手を理解して思いやりや、助け合いの気持ちを交換することが出来ます。お互いの違いを認め、相補いあってこそ、私達はその所を得て共存しうることにより、こそにお互いへの認識、思いやり、助け合いが生まれます。ロータリーでいうところの職業分類の相違からくる助け合いが可能となってまいります。お互いが、千差万別、多種多様であるということにお互いの必要性、相互扶助が生れてくる、これがロータリーの根本思想であります。その結果、先に述べましたように、まず自分の生存を確実なるものにしたいという本能的欲求と、その反面、自

分ひとりでは生きていけないという厳然たる生存の事実との間に、すさまじい葛藤が生まれてしまいります。しばしばこれが感情的に対立しまして、強迫的ともなり、二者択一を迫り、私達を悩ませるわけでございます。私達は時には本能的、利己的な考えに支配されようとしている自分を発見して顎然としたり、また理性的、利他的になって他人のために奉仕している自分を、見出して満足したりしております。これが私達の日々の姿でございます。これを調停しまして、円滑に私達の生活が出来るにはどうすればいいかを説いているのが、ロータリー哲学といわれる決議23-34であります。このロータリー哲学は、ロータリーの目的である「Service」の理論的基盤であるとともに、ロータリアンとして行動する場合の精神的支柱、倫理的規範であることはいうまでもありません。私達は、ロータリアンとしてのみならず、人間として、その言行の出発点において、常にこのロータリー哲学への選択の決断を、自覚すると、しないとにかくわらず、迫られているのでございます。

さて、いわば利己と利他の相剋、という人間生活の現実を調整する、この「ロータリー哲学」換言すれば「奉仕の精神」は、どこにおいて、培かわれるかと申しますと、いうまでもなく、第一義的に、クラブ例会でございます。即ち、例会出席において、ロータリーの心が培かわれ、よきロータリアンとしての行動への動機づけが行われるわけで、ロータリーにおいて何が大切かと申しまして、例会や、例会出席ほど大切なものはございません。よく、「例会出席なくてはロータリーなし」といわれますが、奉仕は出席にはじまり、出席によって私達は奉仕の心を体得します。出席はロータリアンの奉仕の出発点でありますし、出席することにより、やがて親睦と友愛の心がつちかわれ、クラブ活動即ち奉仕活動が活発となってまいります。ここに出席、親睦、奉仕との間に心理的循環が形成されることになります。そのためにロータリーにおいては、この例会出席は、会費の納入とと

もに、ロータリアンとしての最低の条件になっているわけでございます。ところがこの最低の条件が、最近ややともすれば軽視され、出席を安易に考えるロータリー会員、ロータリークラブがしばしば見受けられることは寒心にたえません。いま、私はここで、「ロータリー会員」という言葉を意識的に使用いたしました。私は、クラブ例会に出席しない、甚だしい時には、会員資格の終結にも抵触しかねないような出席率しかもたない人々の場合、私は、その人々は、ゴルフクラブ、マージャンクラブなどの同好会的クラブのメンバーでしかないという意味で、そう呼んでおります。私が、ロータリアンと呼んでいる人々は、クラブ例会、——ホームクラブにしても、メークアップにしても——に出席して、自己の権利と義務とを正当に行使するメンバーをいうのであります。その人達は、そこでロータリーの心を学び、よきロータリアンとなって、奉仕活動にいそしむ人々であり、その場をクラブ例会に求めて研鑽にいそしむ人々でもございます。私は、数年前、「よきロータリアンになるための10ヶ条私案」なるものを発表しましたが、その中の一つに「ロータリー会員になることは、比較的容易なことであるが、ロータリアンになるとは努力を要することである。」と書きましたのも、そういう意味からでございます。これは、「ロータリークラブをつくることは比較的容易であるが、よきクラブにすることは努力を要することである。」と書きかえることが出来るかも知れません。事実、ポール・ハリスは「ロータリークラブでは、平均出席率が高くなっては、その重要な目的を達することが出来ない。最良のクラブとは、最高の出席率を保持するクラブである。」といって出席の重要性を強調しておりますし、「ロータリー通解」の著者である、ガイ・ガンデッカーも、「クラブが、ロータリー運動において、どのような価値を持つかは、ロータリアン達がクラブの会合に、どのくらい積極的に参加するかということにかかっている。」といっておりますが、

誠に真理をいいえていると存じます。さて、この例会出席について、もう少し、私見を述べさせていただきたいと思います。ご承知のように、例会に出席することによって、私達はよりよい自分を養成したり、また、そうした自分自身を発見することが出来ますし、更に、他のロータリアンと親睦を深めて、沢山の友人をつくり、奉仕活動をするためのエネルギーをそこに求めることも出来ます。したがって、まず、例会に出席することが、ロータリアンとしての第一歩でございます。ロータリーに入会したのは、ロータリークラブの「会員」になったのであって、「ロータリアン」になったのではありません。出場券を与えられただけ。ロータリーに入ったとたんに、目的成就とばかり、ゴルフには出るが、例会はおろそかにするということがあってはなりません。例会出席を怠ることは、そもそもロータリアンとしての資格を自ら放棄することになります。申し上げるまでもなく、出席しない会というものは、どんな種類の会にしろ、その人自身に何の意味も持ちません。出席してこそ初めて、その会は意味や価値を自分自身にもってまいります。よく、出席率を守ることが、苦痛だ、困難だという人がおりますが、それは、まだ自分の職業とロータリーとを両立させ得ないでいるからであります。両立させようと努力しないからでございます。また、出席を通じて、ロータリーから得るもの理解出来ないでいるからです。ロータリーを、出席してもしなくともいいような同業組合的団体、又は、同好会的団体位にしか考えていないからでございます。両立の問題については、私が昨年とりました調査によりますと、両立させるのに約6ヶ月かかったというのが大部分でございました。しかし、6ヶ月かかったにしてもこのように大部分の方が、両立に成功したり、高い出席率を維持していたりすることから考えますと、このことは、とくに、ロータリアンにとって困難な問題ではないと思います。例会出席で何よりも大切なことは、これが私達の日常の生活行動の中に自然

ととり入れられ、同化されることであると思います。換言しますとロータリーとの一体化、ロータリーが私達の心の中に内在化することあります。そういう過程を経て、初めてロータリーは、苦痛ではなくなり、むしろ日常生活にとり、なくてはならないものにたってまいります。ここまでにならなくては、本当のロータリアンとはいえないと思います。ロータリーは、私達が人間として、生来的に、根元的に所有しているもの、即ち「人間」を支えている心的要素を、具体的な形で表現したものにすぎません。これが他の組織と全く異なる点であります。「奉仕」と同義語である、思いやり、助け合いの心は、すべての人々の共有財産であり、天与の資質であります。それが、自覚されているか、いないか、意識的に把握されているか、いないか、身内になっているか、いないかにより、ロータリアンと、ロータリアンではない人々とが区別されるわけであります。ですから、ロータリークラブに入っていない人々でも、この思いやり、助け合いの心が自覺的水準までたかめられることによって、ロータリアンとなりうるわけでございます。したがいまして、ロータリーでよく言われる、質と量との議論は、こう考えてまいりますと、誠にとるにならない、いわんやロータリアンならば口にすべきでない暴論であると言わざるをえません。そこに、ロータリーを排他的な、貴族趣味的、特権意識的に考える危険がひそんでいると思います。ロータリーはすべての人間に共通な性質、共通な必要性から生まれた庶民の哲学であります。すべての人々は、心の中に、ロータリーの精神や活動に共感し、共鳴するものを基本的に持っているのでござります。もし、ロータリーについて、人々に協力や理解を求めることが困難である場合は、私達の努力、一そうした心の掘りおこしに対する努力が、足りないだけであると考えるべきであります。ここにロータリーの普遍性があります。即ち、人種、言語、風俗、習慣など、また国旗、国歌、国境の相違を超えて世界中に浸透していっ

た根拠があります。各クラブは、この普遍性を内蔵しつつ個別性、独立性をもったものであります。次に、ロータリーを、私達を日常生活にとり、余分な部分、そのラチ外にあるもの、として対象化している限り、ロータリーに関するすべてが苦痛となります。入会はしてみたものの、クラブ例会や奉仕活動がいつも頭の中を支配して重荷となり、それと対照し、対決しているようでは、いつまでたっても、ロータリーは、「私のもの」「我が内なる存在」とはなりません。ロータリーは、私達とは別個の存在として機能しながら、いつも私達の心の中に在るもの、内在するものであり、私達を超えてありながら、私達を離れては実体のないもの、形骸にひとしいものであり、それだけに、自分のものとして親しみをもちうるものもあります。そうでなければロータリーに対する本当の理解や所属感もなく、安定したロータリー生活もありません。いわば、国際ロータリーは、「君臨されど統治せず」というべき、あくまでも主体は、個々のロータリアン、個々のロータリークラブでございます。1922年に国際ロータリーがつくられてからは、従来の奉仕の理想の追求と、ロータリーの拡大という目的に、各クラブへの助言、協力ということが強調されてきております。例えて申しますと私達の「病気」にしても同様でございます。自分がかゝっている病気と、いつも対決し、顔をつきあわして、自分の命を脅かす相手と考えていたのでは、いつまでたってもその脅威、苦痛から解放されません。病気になったら、病気と仲好しになること、その病気を天命と思い素直に受け入れることが、脅威、不安、苦痛から解放される手がかりになります。そして安定した気持ちで療養に専念でき、日々の療養生活に平和がやってまいりますし、いつか苦痛も苦悩もやわらぎ、消えてしまうことになります。すなわち、対象にぶつかることが解決の道で、悩み、心配事にしても、それをさけて通ったり、それを単に忘れようとただけでは、いつもその悩み、心配事、苦痛は

解決されないままに残っており、時々、顔を出しては私達を苦しめます。ロータリーにしても、すんで例会に出席し、諸会合に顔を出し、奉仕活動に取組むことが、ロータリーがわかり、ロータリーが面白くなる第一歩だと思います。即ち、ロータリーといつも親しむこと、仲好くすること、ロータリーを身内に感じることが大切で、そうすることによって、ロータリーは私達の人生にとって大切なものとなり、それに伴う苦痛は和らいでしまいます。最近、永い間私達の身近にあったロータリーが、私達から何か遠いものになってしまった感じがいたしましたが、そうであればあるほど、ロータリーそのものや、例会出席、奉仕活動が苦痛になり、重荷に感じられてくるのではないかでしょうか。永い年月の間に、ロータリーの素朴さが見失われてロータリーのもつ本来の意味がぼやけ、創始者の初心が幾重ものヴェールに覆われてしまって、その形式的なもの、建前論のみが強調されているようで、それが多くのロータリアン、特に新人に窮屈になったり、面白くなったり、時には失望を味あわせる結果になっているように思われます。本来、一人一人のロータリアンの身体をつかい、頭を使っての奉仕活動であるべきなのに、金をつかっての奉仕活動とその競いあい、そしてその多寡によって奉仕活動の優劣が、おしゃかられるような風潮がないと言えましょうか？ ロータリーの目的は、ロータリアン自身の行動によって具現されるべき性質のものでありますのに、いまやその行動が失われて、坐して恵む形のものが多くなりつつあるように感じられるのは慨嘆にたえません。更に、ロータリー活動の基本になるものは、個人であり、その個人の品位と自由であります。よくロータリアンとは、「人が窮屈と思うことを窮屈と思わない人をいう」ともいわれます。即ちロータリアンは真の自由人であります。自由とは、「条件からの自由」ではなく、「条件への自由」であります。ここで初めて人はロータリーにおいて、主体性、自律性を確保出来、人間として品位、

尊厳を保つことが出来ます。ですから、ロータリーにおいても条件、即ちロータリークラブで定款、細則に対して自由な心をもつことが、まずロータリアンとして要求されることになります。即ち、自由無碍、自由自在の人間であることが望まれるわけです。そうなることにより、ロータリーが楽しくなり、毎週の例会、ファイアサイドミーティングなどが待遠しくなってまいります。やがて、出席は義務という心から、自分がロータリーの影響力を行使出来る権利であるということへの転換が行われることになります。またこのクラブ例会は、ロータリーの目的現実のための不可欠な手段でありますから、この手段の正しい活用を経てのみ、奉仕活動が可能になってまいります。ですから、手段としてのクラブ例会がいい加減であったり、クラブ例会出席を軽視するようなことがありますと、奉仕活動は正しく行われないようになり、そこには正しい意味の「ロータリーはない」といっても過言ではありません。よく日本人は、「自己管理能力」が劣っているといわれますが、ロータリークラブへの出席の常ならざる人々には、そういった型の人々が含まれているようですし、また日本人特有の「甘え」があるのではないでしょうか。認められたメークアップの可能な期間中に、どこのクラブにも出席できないということは、特別の場合をのぞいて、本当にあるでしょうか。例会出席が、私達にとり窮屈であり、自己の生活、職業にとり重荷であると感じるならば、「私にとってロータリーとは何か?」「ロータリーはどんな意味と価値とをもつものなのか」について自問自答する必要があるのでないでしょうか。

次に職業分類について申し上げてみたいと存じます。職業分類は、例会出席とともに、ロータリーを、そのスタートから支えてきた、いわば車の両輪を形成するものといわれます。私達はロータリーに入会するために、ロータリークラブが持っている職業分類の中から、自分にふさわしいものを貸与されているもので、もとも

と、これは私達の所有物ではありません。このことは、入会の際、しっかりインフォメーションすべきであり、誤って自分の専有物と考えるためにいろいろな問題がおこってまいります。私達はこれを借用してロータリークラブに入ったものであり、ロータリーの例会に出席しているのでございます。ですから例会に出席しないということは、とりもなおさず職業分類の正しい行使を行っていないことになりますし、この職業分類を通じて、ロータリーが私達に期待している役割を、果していない結果になります。即ち職業分類の私物化、濫用といわれても致し方ございません。もしそうでありますならば、この貴重な職業分類は他のよりよい有資格者に貸し与えられるべきであります。時々、この職業分類を父子相伝の権利のごとく考えているロータリアンがおります。即ち自己がシニアになっても、他の有能な資格者にゆずろうとしない会員がおります。親から子供、そして孫へと相続させようとしている方々がおりますが、誤解もはなはだしいといわざるをえません。近年同じ職業分類で5人のロータリアンが一つのクラブに在籍しうることになり、一業種一会員の鉄則が破れてしまったように考える向もあるようですが、それは形だけのことと、決して原則はくずれていないと考えます。それによって、よりよい人格を広く求めて、ロータリーの影響力を拡大し、より多くのロータリアンに奉仕の機会を与えようとするところに目的があると考えます。

私は、公式訪問中に、シニアになるのを嫌うメンバー、シニアになることに不満を表明するロータリアンがいるということを聞きましたが、私にはその方々の真意が理解出来ませんでした。その人々はシニアという名称は、ロータリーの第一線から退かせられることを意味すると考えるのだろうと思いますが、これは決して、ロータリーからの引退ではございません。いわば会社などにみられる、「代表権のある会長」というべきであります。ですから、Senior active

memberと呼ばれるのでございます。実務は社長、その他に任せて大処高所から、豊富な経験を生かして、企業のため、また財界、経済界のために活躍している、代表権をもつ会長にたとえることが出来ます。この人々こそ、ロータリーにおける経験を生かして、クラブメンバーの養成、指導にあたる重要な役目をもつメンバーであり、またクラブの正しい方向づけに貢献し、ロータリーの推進力となるべき方々であると考えます。シニアアクティブメンバーこそ、「生きたクラブ史」でございます。したがいまして、シニア・アクティブメンバーを大切にしなしくラブ、活用しないクラブは、決して内容あるクラブとはいえないと思います。またシニアメンバー自身も、ロータリーで余生を安楽に暮らすなどと、クラブ活動に消極的になったり、諸会合に欠席がちになるようなことは賛成出来ません。それではロータリーに入会している意味が失われてしましますし、そのような行動が若い会員から疎外される結果を生んでしまいます。その資格をクラブ活動に有効に駆使し、眞のロータリアンとしての姿勢を示す、良き先輩ロータリアンであってほしいと思います。さて、ロータリーは「職業を通じての奉仕」といわれるよう、ロータリーの基本、ロータリーのメインストリートは職業奉仕でございますが、このメインストリートから分かれたそれぞれのストリートが、各奉仕活動で、これらの道を立派に維持しているのが、クラブ奉仕であります。樹にたとえれば、幹が職業奉仕、その枝が各奉仕部門であり、この樹木を養う土壌や、枝、幹を覆う樹皮が、クラブ奉仕ともいえると思います。ロータリーの本流であるこの職業奉仕は、今まで申し上げました職業分類の正しい行使によって可能となるものでございます。近年、この職業分類の重要性、例会出席の意義がややともすれば軽視される傾向にあるのは寒心にたえません。もしそうでありますと、ロータリーは土台から崩れ、砂土の棲閣となってしまいます。何時、崩れるかわからない棲閣に坐して、親睦のため

の親睦にのみ浮き身をやつすならば、その親睦は、崩壊の前の虚しい酒盃を汲みかわしたことになるのではないか。どうか。

さて、ポール・ハリスは、「ロータリーの目的は何か」と問われました時に、「これは善意と友情が考えつく限りのあらゆる方法で、互いに助け合うことだ」と申しておりますし、かの有名なハーバート・テラーも、「ロータリーは、人間をつくり、友情を育てるところだ」と申しておりますが、ロータリーの目的を見事に云いつくしている金言でございます。しかし、他方においてこのような明確、単純な目的にもかかわらず、ロータリーは1905年の創立以来、その長い歴史的過程において、いろいろ迂余曲折を経て発展してきたことも事実でございます。しかし、そうした幾度かの危機ともいべき状況をくぐりぬけてまいりしたのは、ポール・ハリスの言を借りれば、「ロータリーが幾世代にわたって受けついできた無形の世襲財産ともいいうべき『寛容』という不滅の精神と、『やろう』『I Will』というシカゴ魂」であります。即ち、相手の身になって考える寛容の精神と、自分を他人に与える奉仕の行動力である『I Will』という強烈なシカゴ魂でもって、直面した難局にあたり、見事にそれを克服して、ロータリーは今日の大をなすにいたったのであります。そしてこの二つのものは、現在においてもなお私達がロータリアンとして考え、行動するときに、いつも忘れてはならない根本精神として生きていると信じます。ロータリーの行動は試行錯誤の連続であります。それは果てしない人間のいとなみであり、序曲はあっても終曲のない未完の行為であります。また、ロータリーは多種多様な人間が、千差万別の方法でもって、「奉仕」という一つの目的の実現のために、調和をつくりだしている集団であります。ロータリアンはこの「一つの目的」という、山の頂上をめざして、幾つもの登山道から登りつつある人々であります。仮にその道で、苦しみ、あえいでいる人々があったならば、それを叱り、見捨ててい

く、心なき「道づれ」ではなく、その苦しみ、悩みを共に分ち合い、許しあい、相手の身になって行動する「善意の道づれ」であります。ここに、ロータリアンの寛容があります。そして、共にいたわりあって生きよう、難局にあたって共に手をつけないでやろうという、ロータリアンの強い意志、I Will があります。私達は、ロータリアンとして考え、行動する時に、ポール・ハリスの指摘するこの二つのもの、いわばロータリー活動を支え、ロータリー的思考と行動の原理ともいるべきものをいつも忘れてはならないと考えております。ですから、ロータリアンとしての性格としましても、この二つのものが考えられるわけでございます。即ちロータリアンは、考えるロータリアンという二面性をもっているのでございます。優れたロータリアンである直木太一郎氏も指摘する如く、近頃「考えるロータリアンが少なくなってきた」とことは悲しむべきことでありますし、私はまた、「行動するロータリアン」も少くなってきてるように思われますが、如何でしょうか。このどちらが欠けても、ロータリアンとしては不充分であるといえます。行動を伴わない理論は、思弁的になってしまい、理論によって裏付けされない行動は支離滅裂になってしまいます。「理論と実践との調和」これがロータリーでございます。マンチェスター元R I 会長が、「ロータリーには、考えることと、行動することの二つがある」と述べている意味もここにあると思います。いま、ロータリークラブの現状を虚心に振り返ってみると、何か「ロータリーはこれでいいんだ」という惰性的な考えが蔓延し、もしこれに難しい疑問を投げかけるならば異端視されるような、「そんな難しいことはいわないで……」という風潮が流れているように感じられます。ポール・ハリスは1947年（昭和22年）1月27日（79才）に歿しましたが、その死の直前に、「R I がもう all right であるというならば、それはR I の終りが近づいていることである。R I は今や開拓時代に入ったばかり

りである」といっておりますが、この彼の言葉は、今なお、千金の重みをもって生き続けていよいえましょう。私達は、常に、この自発性と創意にとんだバイオニア精神を想起して、ロータリーに挑戦しなければならないと思います。先に申し上げましたように、年々ロータリーはその組織の巨大化に伴い、ロータリー創立の精神が見失われがちになり、思考方法や行動形式において、ロータリーの本質からほど遠いものになってきている面がございます。いわば、ロータリーの実像ではなく、虚像、即ち非ロータリー的なもののみが前面にでて、それに基づいて、クラブ活動やクラブ運営を行っているロータリークラブのあることも事実でございます。更に、ロータリーの日本上陸の時点で、今日、そこまで見聞きされる、非ロータリー的認識、評価の誘因となるものが存在していたことも否定できません。1920年10月20日、東京RC創立に始まる、ロータリー日本史は、当時の日本社会のタテ割構造や経済構造からくる思考、行動形成から、当然予想されますように、奉仕概念や、ロータリークラブ会員の資格などの受けとめ方に、ロータリーの本来の発想とは異なるニュアンスがあったようですし、ロータリーが一部上層階級の人々を通じて拡大された傾向がございます。それが今日なお根強く残っている、ロータリーに対する偏見、誤解、時には反感、疎外の原因になったと考えられます。ロータリーが会員増強、クラブ設立など地域社会へ働きかけをする場合に、所謂「見えざる壁」にしばしば直面している現実をみますときに、ますますこの感を深くいたします。もし、このまゝに推移いたしますならば、はたしてロータリーは20世紀の四半世紀を経て、21世紀に現在のような形でその存在を主張することが出来るでしょうか。また最近の統計によりますと、日本の人口構成は、明治生まれ9.3%、大正生まれ13.5%、昭和生まれ77.2%であり、明治、大正合わせて22.8%にすぎません。即ちロータリアン中に、昭和生まれ（77.2%）、戦後の教育を受けた会員が多

くなりつゝあるという事実に遭遇いたします。このことは、ロータリーは、昭和人に共感を受け、次代を背負う若い人々に共鳴をもって受け入れられるよう、非ロータリー的なものを排除し、その純化をはかりながら、その時代の要請に応えるべく変革されねばならないことを示唆いたしております。いま仮りに、惰性的なプログラムを終始し、画一的クラブ運営が行われ、最低のプログラムを消化して事足れりとし、奉仕活動を金銭的、物質的贈与と理解して行動を放棄し、親睦団体的会合をもってロータリークラブと解するような、没個性的、目的喪失的ロータリークラブがあり、また親睦のための親睦に身を沈め、組織の中に身を埋没させて安住し、ロータリーの初心を忘れて他を批判し、議論をもてあそぶ評論家集団となるロータリアン達がいるとしますならば、「ロータリークラブ、ロータリアンとはなにか?」という懐疑的ロータリアンがうまれないという保証はありません。そして、ロータリーの未来は、その本来の精神にかかわらず、栄光に輝くものになりえないと言えましょう。更に、ここ数年の会員の消長についてみてみると、1970年以来、3.8%、3.7%、2.6%、2.4%、1.75%、1.56%と減少しておりますし、例えば少し古くなりますが、1974~75年に、R Iに報告された世界の4分の3のRCのデータによりますと、96,928名の新入会員に対し、87,215名の退会があり、純増は僅かに9,713名がありました。10年前のクラブ、および会員増加率と、1975~76年度のそれを比較しますと、前者ではクラブ2.96%、会員3.59%であるに反し、後者では、クラブ2.4%、会員1.56%であり、1975~76年前5ヶ年の年間会員増強率は1クラブ平均0.5名がありました。これは1976~77年度は、0.382名に低落しました。世界の増強傾向についてみると、その可能性の強いのは、ASIAとCENAEMで、SACAMAはクラブもゆるやかであり、ANZAOとGB&Iは漸減、そしてUSCBは現状維持ということが出来ますが、そのうち、米国と英国は会員増強

はすでに限度に達しているといえましょう。また現在10人以下の会員をもつクラブは約100あります、その大部分はアメリカ合衆国、中南米諸国にあります。しかも、そのなかにはアメリカ合衆国ルイジアナ州、インデペンデンスRCのごときは会員数僅かに4名、そのうち1名はパストガバナーということでございます。以上のクラブのうち16クラブは、本年6月30日で会員が終結することになっておりますし、すでに本年1月31日で、アフガニスタン、キューバ、ビルマ、ラオス、ベトナムの5ヶ国にある68RCが会員資格を終結してしまいます。さらに現在革命が進行中のイランには13RC、644名の会員がいるのですが、情勢の如何によっては、将来その活動が停止するおそれがあります。

次に、参考までに、インタークト、ロータークトについてみますと、IACは1978~79年度に新クラブ189が誕生いたしましたが、その反面345クラブが解散しまして、156クラブが純滅となりました。またRACは263新設されましたが、131クラブ解散し、結局132クラブの純増をみたにすぎません。IAC発足の1962~63年以後、1977~78年までには4642クラブ設立され、1213クラブが解散していますし、RACは1967~68年以降、1977~78年までに3218クラブが生れ、299クラブが解散しています。その解散の主なる理由の中に、スポンサークラブの解散と、無関心があげられております。

以上、ロータリークラブ会員の消長、ロータークトクラブ、インタークトクラブの実情を考えますと、ロータリー全般について、真剣な検討と刷新が加えられなければならない時期の直面しているように考えられてなりません。

さて、ライシャワー教授は、「人類の将来を左右する唯一のものは教育である。私達は次の世代に世界は一つのコミュニティだということを教育していくかねばならない。これはロータリーにとっての大きな課題である。」といっております。平和的人間の共存共栄を目的とするロータリーにとって、この課題は避けて通れない道

であると思います。先程申し上げたインター・クト、ロータリー・アクトの年令層は、昭和生まれ77.2%の中、25%を占めております。この青少年層が、いろいろな形でむしばまれている現状であります。このまゝ放り出しておくことは出来ません。この年令層は、心身共に未熟、不安定な者から自尊独立心の旺盛な者がふくまれ、共に揺れ動いている時代であります。またこの青少年達は、私達の記憶にも生々しく、大学紛争、成田斗争、その他諸々の事件を通じて解りますように、社会や政治をも動かす力をもっております。放置すると、破壊的、非生産的方向に偏ってゆく危険があります。ゲーテは「青少年は刺激されることを欲している」といつておりますが、正しく方向づけてやるのがロータリーの使命であろうと考えます。私は青少年奉仕活動こそ、そういう意味で、これからロータリーの運命を賭けた価値ある投資であると考えます。価値のコペルニクス的転回をはかる時代、そして、人生第二の誕生の時期、即ち疾風怒濤の時代に生きる青少年に賭けるか、退いてナイフ・アンド・フォーク会員に甘じるか、ロータリーは決断を迫られております。ロータリアンとして私達はあえて、この冒險と挑戦に立ち向かわなければならないと考えます。

さて更に、ロータリーの現代的使命について思いをいたします時に、私達はロータリーが、「シカゴより何んの善きものかいづべき」と嘆かせた、当時の不安と荒廃にみちた末期的状況の中で生まれたことを忘れることが出来ません。我々の生きている現代、まさに1905年当時のシカゴを彷彿させるものがあります。ロータリーの今日的使命がますます強調されますときには、20世紀の初頭において、ロータリーの創始者が、その後の世界の精神的状況について、しっかりととした見通しをもったことに驚かざるをえません。

私達の歴史は、絶対的キリスト教支配下にあった中世を経まして、17世紀は、宗教改革とルネッサンスにより、漸くその暗黒の世界に、ほのぼ

のとした一條の光が差し込んできた、所謂「黎明期」でありますし、つづく18世紀は、産業革命や、フランス革命の影響を受け、人間が神の力、権威の力に頼らず、自分の理性の力によって運命を切り開いていこうと努力した所謂「理性の世紀」であります。更に19世紀は「発展の世紀」と呼ばれ、前世紀からの影響により、家内工業的生産形態から大量生産的形態へと長足の進歩発展を遂げた時代であります。ところが、20世紀に入るや否や、人間は自分の手で作りあげた文明を享受しつつも、その文明に内蔵するいろいろなひずみによりまして、その生存が不安と脅威にさらされております。所謂「不安の世紀」と呼ばれる状況の中で生活しておるわけでございます。この世紀は第一次世界大戦、世界恐慌、第二次世界大戦、そして戦後経験しました社会的、政治的、思想的、経済的混乱など、実に不安、焦燥、恐怖にみちた年月であります。まさに、高名な史学者トインピーが指摘しておりますように、「物質的豊かさの代償としての欲求不満、不幸がに巷みちみちた時代」でありますし、正に人生の価値、人間の尊厳、物の所有、そして真理さえもが、現代人にとり「悲しい錯覚」と化しまして、これが、人間の生まれながらもつ根源的不安と結びついで、ますます現代人を不幸におとし入れております。まさに彼のいう「魂の分裂と社会の崩壊」の時代というべきであります。このような不安におののく現代人は、どこに心の安定、人生の幸福をみ出すべきでありますか。「眞の幸福とは、人間の精力を物質的の富の追求から、精神的な目標の追求に転換することによって見出すことが出来るものであり、精神的目標の追求こそ、人間の活動のうちで、無限に拡大する可能性をもつ、唯一の領域である。」とトインピーが申しておりますが、彼のいう精神的目標とは、ロータリーでいいますならば、マンチェスター元R.I会長の申します、「唯一の目的」、……即ち『奉仕Service』でございます。この精神的目標の追求を、奉仕活動という、日常的実践

の場を通じて、具体化していくのが、ロータリーであり、この具体化という行為の中で、私達は自己、……ロータリアンとしての自己を育て、発見し、ロータリーそのものを体験するのであります。そして、この「ロータリー体験」により、ロータリーの内在化をはかり、私達の関係する、すべての人々に、ロータリーの影響力を行使することになります。そしてやがては、ライシャワー教授のいう「世界が一つのコミュニティ」であるというお互いのコミュニティ的結合が強固なものになります。地域社会にロータリーが滲透していくことが可能となるのでございます。ロータリーは決して、のぼりつめた人生の勲章でもなく、自己の職業のシンボルマースでもございません。勿論余生を安樂に暮らそうとする、暇をもて遊ぶ人々の道楽でもあってはなりません。マンチェスター元会長の言われるように、「ロータリーは忙しい人達の結合団体であり、忙しい時間をさいて、自分を提供する人達の集り」であります。それは積極的に人生を生きようとする人々の指標であります。人生そのものであります。そして、個々のロータリアンは、ロータリーの一般的、普遍的理念、……奉仕の理想……の実践者であります。具体的な表現者であります。そしてまた、私達の生きるこの不安の現代こそロータリーの真価を發揮出来る最適の時代でもございます。正にロータリーの正念場でございます。この正念場において期待されるのは、ロータリアン一人一人の「行動」であります。前にも申し上げましたように、もし仮に、ロータリー本来の使命を忘れて、単なる親睦にのみ沈潜するならば、言葉の正しい意味で、最早、ロータリーはそこにはなく、ロータリークラブもそこには実在しないといわざるをえません。ポール・ハリスは、「我々は知っている。河の源流が唯一の泉によるものでないことを。河とは幾百の源流の総量をいう。各々の山肌を流れ落ちて水路に注ぎ、水嵩を増して大河を形成するに至るのだ。」と申しております。あの雄大な大河も、山の奥深

く流れ出る一つ一つの小さな渓流が相集って、次第にその偉容を形成しておりますし、けんらんたる美を競いあう花園も、一本一本の花によってその美を誇っておりますように、ロータリーの偉大さ、影響力も一人一人のロータリアンの心と、行動によって支えられております。そしてロータリーの大河となって、その恩恵に浴する人々を潤していることになります。

さて、いま物質文明の極限において、魂の分裂と社会の崩壊という、まさに人類を滅亡に追いこむような現実に直面しますときに、失われた精神的風土をとりもどして、豊かなものにし、人類の未来を確実なものにするために、私達ロータリアンが何をなすべきであるか、虚心に自問自答し、決断すべき時点におかれているにではないでしょうか。のために、ロータリー誕生の原点にたちもどり、「私にとって、ロータリーとは何か」と謙虚に、静かに考えてみることが必要ではないでしょうか。ロータリーが、今後、世界がかゝえているいろいろな問題に Reach Outしようとするとき、いかなる有効性を持ちうるかは、会員一人一人の積極的で建設的な思考と行動にかかっていることを私は確信いたしております。終りにあたり、私の心に刻明に焼きつけられている「I believe in Rotary ……ロータリーを私は信奉する」という、マンチェスター元会長のあの感動的なメッセージをお贈りいたしまして、わたしの拙い話を終りたいと存じます。ご静聴ありがとうございました。

国際ロータリー第251地区 第7分区第2回 IGF

1985～1986（昭和60年～昭和61年）

昭和61年3月2日、第251地区第7分区

インターナショナルフォーラム

千歳RCホスト1985～1986年度第7分区第2回インターナショナルフォーラムが、ホテル日航千歳に於て開催

フォーラム委員長 齊藤 弘

第251地区ガバナー 望月 武義

フォーラムリーダー

第7分区代理 千葉 正

会長 高田 昭治

アドバイザー地区ガバナー 望月 武義

フォーラムアドバイザー 佐久間 三八

フォーラムアドバイザー 三浦 祐晶

参加クラブ5クラブ142名。千歳RC91名。総数233名参加のもとに、今回のフォーラムテーマ「ロータリアンは何をする人ぞ」を掲げ、大成功のうちに幕を閉じた



1985～1986 国際ロータリー第251地区第7分区第2回インターナショナルフォーラム

フォーラム役員名簿

[敬称略]

フォーラムアドバイザー	第251地区ガバナー	望月武義
	“ パストガバナー	佐久間三八
	“ ガバナーノミニー	三浦祐晶
フォーラムリーダー	“ 第7分区代理	千葉正
フォーラム委員長		斎藤弘
“ 幹事		武石忠俊
“ S A A		倉内清
“ 会計		渋田晃
部門別リーダー	クラブ奉仕部門 山崎正寿 (苦小牧北)	サブリーダー 加々見盛幸 (北広島)
“	職業奉仕部門 吉鶴松生 (苦小牧)	垣原哲司 (恵庭)
“	社会奉仕部門 大川健一 (恵庭)	村松克重 (千歳)
“	国際奉仕部門 河合浩司 (白老)	藤本芳男 (苦小牧北)
“	青少年部門 大沼三郎 (千歳)	松崎徳一 (苦小牧)
ホストクラブ会長		高田昭治
“ 次期会長		斎藤公彦
“ 副会長		平野博
“ 幹事		浦部聖雄



クラブ別出席者数

苦小牧 R C	28 名	苦小牧北 R C	33 名
白老 R C	26 名	北広島 R C	19 名
恵庭 R C	35 名	千歳 R C	91 名

来賓	3 名
合計	235 名

第251地区協議会

1981～1982年度（昭和56年・57年）

昭和56年6月21日 国際ロータリー第251地区協議会開催。

国際ロータリー第251地区協議会は昭和56年6月21日、千歳ロータリークラブがホストとなり、千歳市民会館を主会場として実施。

11月20日より地区協議会準備委員を発足すると共に各委員会の役務分担を決定。約7ヶ月の準備を経て成功裡に終了する事が出来た。

第251地区協議会プログラム 6月21日(日)

登録・受付

点 鐘	司会・ホストクラブ幹事	武石 忠俊	正
開 会	ソングリーター	千葉	
国歌斉唱			
ロータリーソング（奉仕の理想）			
歓迎のことば	ホストクラブ会長	藤川 昭三	
地区協議会役員紹介	ガバナー	小川 忠一	
参加クラブ紹介	ガバナー	小川 忠一	
ガバナー挨拶	ガバナー	小川 忠一	
ガバナーラクト講演	ガバナーラクト	佐久間 三八	
本 会 議			
次年度地区運営について	ガバナーラクト	佐久間 三八	
A 地区組織	C 地区大会		
B 地区活動			
地区財政について			
イ、本年度地区資金決算見通し	地区会計	大谷 雄一	
ロ、次年度地区資金予算	次年度資金委員長	田中 賢一	
諸事お知らせ	S・A・A	平塚 鎮男	
休憩・昼食			



分科会 (13:00~15:00)

分科会	リーダー	サブリーダー	アドバイザー
●会長部門	小川 忠一(ガバナー)	佐久間三八(ガバナーアイレクト)	山賀 勇(ガバナーノミニー) 橋本 利弘(地区副幹事)
●幹事部門	福山 達彦(地区幹事)	藤井 信造(次期地区幹事)	田中 賢一(次期地区資金委員長) 富田 恭(バストガバナー) 吉村 善晴(次期地区副幹事)
●クラブ奉仕部門	米光 徳蔵(第6分区代理)	勝木 郁郎(クラブ奉仕委員長)	太宰 六郎(バストガバナー) 滝本 庄蔵(バストガバナー) 朝倉 正吉(地区副幹事)
●社会奉仕部門	谷 守雄(第5分区代理)	神田徳次郎(第1分区代理)	河野 通正(バストガバナー) 郷 敏栄(社会奉仕委員長)
●職業奉仕部門	石黒 潤平(第2分区代理)	赤石 喜郎(第7分区代理)	富田 嘉市(バストガバナー) 深宮 正吉(職業奉仕副委員長)
●国際奉仕部門	伊藤 千秋(青少年交換委員長)	笠原 正秀(地区副幹事)	大野 和男(バストガバナー) 塙谷 猛(バストガバナー)
●会計部門	大谷 輝雄(地区会計)	近藤 重明(次期地区会計)	坂牛直太郎(バストガバナー) 松本 恒一(地区資金委員長)
●広報部門	白石 政雄(第4分区代理)	上関 敏夫(広報委員長)	森松 定男(バストガバナー) 小野 隆央(地区副幹事)

本会議 (15:20)

分科会報告（会長・幹事部門を除く）

次年度開催地決定

ガバナー 小川 忠一

次年度ホストクラブ会長挨拶

ガバナーロータリークラブ会長 畑 竜英

謝 辞

ガバナーアイレクト 佐久間 三八

所 感

ガバナー 小川 忠一

ロータリーソング (手に手つないで)

ソングリーダー 千葉 正

閉 会

ホストクラブ副会長 斎藤 弘

点 鐘

協議会概要

日 時：昭和56年6月21日 午前10時～午後4時40分

会 場：千歳市民会館、市役所地下会議室、経済センター会議室、消防署会議室。

出席義務者：●次期会長

- 次期幹事
- 次期クラブ奉仕担当理事
- 次期社会奉仕理事
- 次期職業奉仕理事
- 次期国際奉仕理事
- 次期会計
- 次期広報委員長

ホストクラブ：千歳ロークリークラブ

《諸事ご案内》

各会場について

●本会議場	千歳市民会館	(大ホール)
●分科会会場	1. 会長部門	千歳市民会館 (第1分科会場大ホール)
	2. 幹事部門	千歳市民会館 (第2分科会場一号室)
	3. クラブ奉仕部門	千歳市民会館 (第3分科会場三号室)
	4. 職業奉仕部門	千歳市役所地下会議室 (第4分科会場)
	5. 社会奉仕部門	千歳市役所地下食堂 (第5分科会場)
	6. 国際奉仕部門	経済センター会議室 (第6分科会場)
	7. 会計部門	経済センター会議室 (第7分科会場)
	8. 広報部門	消防署会議室 (第8分科会場)
●役員控室	千歳市民会館	(和室)
●ホストクラブ控室	千歳市民会館	(入口・ロビー)
●救護室	千歳市民会館	(2号室)

出席者一覧

■地区役員

ガバナー	小川 忠一（札幌東）
ガバナー・イレクト	佐久間三八（苫小牧）
バストガバナー	坂牛直太郎（小樽）
"	滝本 庄蔵（札幌西）
"	河野 通正（深川）
"	富田 恭（函館東）
"	塩谷 猛（札幌西）
"	森松 定男（札幌南）
"	大野 和男（札幌）
"	富田 嘉市（室蘭）
"	太宰 六郎（函館）
ガバー・ノミニー	山賀 勇（小樽）
地区幹事	福山 達彦（札幌東）
地区副幹事	橋本 利弘（札幌東）
"	笠原 正秀（札幌東）
"	小野 隆史（札幌東）
"	朝倉 正吉（札幌東）
地区資金委員長	松本 恒一（札幌東）
地区会計	大谷 輝雄（札幌東）
地区クラブ奉仕委員長	勝木 郁郎（札幌）
" 国際奉仕委員長	伊藤 千秋（札幌西）
" 社会奉仕委員長	郷 敏栄（札幌幌南）
" 職業奉仕委員長	深宮 正吉（札幌手稻）
" 広報委員長	上関 敏夫（札幌）

■分区代理

第1分区	神田徳次郎（小平）
第2分区	石黒 潤平（江別）
第4分区	白石 政雄（小樽南）
第5分区	谷 守雄（浦河）
第6分区	米光 徳藏（室蘭）
第7分区	赤石 喜郎（江差）

■次年度役員

次年度地区幹事	藤井 信造（苫小牧）
次年度地区副幹事	吉村 善晴（苫小牧）
"	坂 勝雄（苫小牧）
"	加藤 悟（苫小牧）
"	伊藤 太郎（札幌）
次年度地区資金委員長	田中 賢一（苫小牧）
次年度地区資金委員	井上 清（小樽）
次年度地区会計	近藤 重明（苫小牧）

■次年度分区代理

第1分区	○阿部 清晴（留萌）
第2分区	○沢田 豊治（栗沢）
第3分区	○清水 省吾（札幌西北）
第4分区	○森 杉夫（余市）
第5分区	○伊藤 繁樹（様似）
第6分区	○岩川 幸昌（洞爺湖）
第7分区	○黒沢幸太郎（函館五稜郭）

■ホストクラブ

会長	藤川 昭三（千歳）
副会長	齊藤 弘（千歳）
"	村上 正治（千歳）
幹事	武石 忠俊（千歳）
副幹事	長嶺 覚（千歳）
S·A·A	平塚 鎮男（千歳）
会計	藤原 茂盛（千歳）

出席者一覧 第251地区ロータリー

クラブ名	次期会長	次期幹事	次期クラブ奉仕担当理事	次期職業奉仕理事	次期社会奉仕理事	次期国際奉仕理事	次期会計	次期広報委員長
第1分区								
赤平	石川 豊治	大山 勝弘	竹俣 紀一	柿沼 利雄	岡田 知治	武田 昭	村中 孝一	上村 克彦
芦別	久保 邦夫	松本 公広	田中 正之	橋浦 弘	古川 敏一	大嶽 幸雄	内藤 欣治	松井 良吉
深川	渡部 晃久	後藤田隆雄	鈴木 美彦	笠松 重男	田村 幸作	吉本 煥	小山田健治	山本礼一郎
妹背牛	村上 正明	高橋 端幸	宮本 外松	江幡 一雄	夏井坂仁志	棚橋 啓一	西山 利久	大西 幹男
小平	工藤 克見	小笠原敏武	角谷 蒸司		石黒 勝己			
留萌	香城 芳磨	二宮 節雄	寺西 保博	米津 義一	宇川 正雄	平田 勝一	土田 勉	石川登喜男
砂川	阿部 博一	山下 昭治	五井 栄喜	本 久雄	犬山 猛熊	沖田比呂比	松本 実	岩田 晃
滝川	近藤良四郎	了輪 隆	吉田 守人	戸井 康堯	花摘 誠吉	柳 義文	沼田 栄二	高畑 鉄雄
羽幌	幌 中村 宏	鳥山 秀志	藤岡 和男	山沢 智	西山 久二	成沢 卓爾	福井 俊一	藤田政次郎
第2分区								
美唄	谷敷 由松	中川 広吉	小原 徳行	加藤 一郎	山上 昇治	田岡 正	東野 碧	高橋 稔
江別	岩田 雅明	佐々木義則	鍋島 清二	野村 昭松	土藏 辰馬	土谷 茂樹	計良 精二	西照夫
岩見沢	龜田 富三	菊谷 悟	河瀬 登	竹山 清雄	沢井 国光	鎌田 威	西尾 嘉樹	谷本 煥
栗沢	栗沢 松永 寅雄	西村 公希	中谷 茂	小関 昇	段坂 清吉	三沢 晶夫	土佐 稔	秋 実
栗山	小林米三郎	村上 良照	高田 正一	砂田 静夫	篠原 武	塙見 悅次	大橋 正明	北野 一義
第3分区								
恵庭	早瀬 定男	真野 克己	村上 利雄	小原 健栄	上田 俊三	宮下總一郎	宇野 達弥	
札幌	小原啓三郎	西條 正博	伊藤 太郎	久郷 昌夫	越山 文哉	橋本 俊彦	小野 純清	伊坂 重孝
札幌東	鶴山 寿丸	五十嵐義三	木村 文教	広岡 耕三	関口功四郎	青木 功喜	松井 修一	大橋 康次
札幌南	田畠 武夫	野原 俊司	齊藤 元謙	高田 隆志	伊藤 孝	坂田 義直	齊藤 博	藤林 稔充
札幌西	山下 博	八木 昌興	早見 三郎	光安偉知男	守田 利浩	吉村 欣治	横山 正雄	大和 良二
札幌幌南	相川 大助	中田 純泰	木村 利彦	吉田 彰	小田島正弘	鈴木 正之	小柳日矢満	鷹木 光雄
札幌手稻	岩瀬 一郎	中島 忠美	加藤 義男	亀掛川満男	福士 光憲	田中 良治	白崎 重夫	熊谷 猛伸
札幌北	田村 誠一	葛西 克己	高倉勤次郎	宮下 清孝	長岡 一孝	都留美都雄	山田 耕作	直木 通
札幌真駒内	片原 豊吉	佐久間龍夫	指川 健	齊藤 武逸	高橋 健一	林下 忠雄	橋本 政夫	新妻 博
札幌西北	藤林 幸廣	多米 豊	須田 清勝	齊藤 宗男	小泉 正造	増田 哲男	中西 国雄	山藤 雅弘
当別	氏家 守	福井 昭和	三宅 昌幸	岡本 春次	辻野 修	大畑 博行	増田 良二	武田 昭竜
北広島	井藤 俊信	永田 勝正	武田 武	里見 祥慈	福田 志郎	宝 恒	山根 劍	太田 亨
第4分区								
岩内	池田 正明	小杉高一郎	今井 省三	佐藤 信義	梅庭 昭寛	佐藤 哲夫	大塚小弥太	森 輝雄
俱知安	佐竹 義一	原 実	千秋 薫	大島 正徳	中野 隆司	高田 幸夫	金井 政二	名烟 輝夫
小樽	島 恵	川村 治男	阿部 健治	箕輪 正治	大本 勤	小林 義康	川又 直也	岡田 華
小樽南	烟 竜英	山田 幸男	米山 八郎	山谷 隆平	青木 高志	野村 定玄	伊藤 義美	大野 友暢
小樽銭函	太田 節郎	佐々木康使		山内 豊茂	上村 昌毅	和田 英伸	江刺家俊輔	
蘭越	川崎 謙平	金子 一憲	川島 昭義	吉崎 重仁	明上山寿朗	高橋 一郎	山田 信幸	親見 健
余市	柳田 貞夫	角井 利雄	石垣 彰一	古川 勇	北川 敏夫	安崎 次	岡田 全功	佐藤 健隆

クラブ名	次期会長	次期幹事	次期クラブ奉仕担当理事	次期敬業奉仕理事	次期社会奉仕理事	次期国際奉仕理事	次期会計	次期広報委員長
第5分区								
千歳えりも	斉藤弘富越誠也	長嶺覚佐藤幸男	村上正治坂田達	丹治秀一吉田猛	藤田美治白川福雄	浦部聖雄紺野誠一	板橋孝雄市川真一	掛田信夫西川周三
三様似静内苦小牧苦小牧北	石佐々木初之助工藤正島田政勝岡村弘章北村和也小保方一雄角野弘君島滋康	龟田淨酒井明光沢田正土屋喜一高田鉄男	村川繁樹川内勲多田米治石井清一	富永信加藤鉄二	本郷栄一見上糸松	中江弘三輪雄一	柏谷幸男浜田清一	小林幹明平野井繁
浦河	山崎昭三森田博佐藤豊明	高田鉄男	藤倉澄男	三次隆	関寺恭朗	阿部光一	若林治	西田理
	小野正也網谷敏夫	中井正幸	川越清行	古田円祥	大名康雄	小路良平	大谷幸市	
第6分区								
伊室蘭東	達宮澤久雄幸松清	楠本誠治	伊藤進一	斎藤順三	川南忠三	福田敏之	朽木健二	山岸英昭
室蘭北	中島勝彦	伊東弘	中田仁	酒井義彰	木保昭二	小川和雄	赤沢正一	内山孝次郎
室蘭北	窪寺健一	鈴木久雄	平井健治	岩倉博	高橋昭三	安田貞郎	一戸豊信	
登別	種田豊	梅田春彦	城本義光	後藤宝三	徳永普司	有路智彦	大村一博	熊谷弘夫
洞爺	藤田隆雄	森孜	梯成輝	岩田正之	石山春男	堅田勇	皆野弘司	
白老	川南明則	正津富男	阿野康春	龟田彦一	斎藤武司	小玉広	石橋昌彦	三浦昭三
	佐々木須一	杉村孝	壬生竜之介	田中富以	浅利徹	梅津喬	尾笠勇夫	
第7分区								
江西	差辻正勝	富家稔	小笠原隆	瀬野田明義	田島逸郎	前田鉄男	加藤郁夫	小笠原吉郎
函館	高野洋蔵	小泉康祐	渡辺良一	小原幸男	金子宏	田中修市		秋葉元平
函館東	松崎清	谷口重勝	日下部一博	武内宏允	山内滋	渡辺彰		戸嶋浩
函館五稜郭	池上謙一	福岡一成	福德勲	木村和己	浜田素平	飯渕至大	平田康明	斎藤東栄
函館北	岩塙陽一	松橋博	佐々木椎名	川村邦雄	田中幸市	成沢善次郎		高橋仁志
函館亀田	宮崎根	西川忠弘	松崎和夫	北原普通	松浦富男	小熊勇	時田更一	高木幹雄
松前	中川猛	長岡武久	松尾清太郎	木村豊一	福原栄市	相馬信勝		水田耕作
森	川野修	大水康和	吉田清吾	村上榮一	吉田喜一郎	上沢孝	山比隆吉	菊地忠義
七飯	藤田耕三	石田勉	中島弘雄	山崎勲	美村文雄	草野鎮照	和根崎元弘	吉村博明
長万部	張田孝男	鈴木浩	米林仁行	佐藤一雄	加藤忠助	赤塚繁雄	石川和雄	辰巳章一
会場	市民会館大ホール	市民会館1号室	市民会館3号室	市役所地下会議室	市役所食堂	経済センター大会議室		消防署2階会議室
自由参加								
函館東	戸嶋浩	武内宏允	札幌北	小田島寿清		札幌幌南	田中政士	
江別	大桃栄祐	藤原克彦	恵庭	藤井哲夫	山岸賛			
千歳	浅利作造	岩切三郎	遠藤正一	斎場幸太郎	北岡体一	斎藤征義	谷本和夫	千葉正
	青木貞夫	板橋孝雄	小原正男	加藤武仁	岸田邦典	佐藤秀雄	田中達昭	近川宗信
	天野晴美	今井武	大庭進	角谷八朗	倉内清	坂口雄一	丹治秀一	土屋正造
	伊藤常正	五十嵐宏	小川岩雄	加藤安彦	藏谷博	島田敏彦	高田昭治	中浦忠男
	伊藤照正	石橋道彦	小川英雄	掛田信夫	熊谷良雄	四方伸雄	種村貞敏	仲村長市
	井上正雄	岩崎暉久	大宮勇蔵	河崎房之輔	小西清五郎	須藤文夫	高慶繁博	長岡義一
	五十嵐実	浦部聖雄	大沼三郎	上井昭一	斎藤公彦	杉本健	高橋一志	新沼武雄
	平野博	古市幸男	村上光輝	東山嘉樹	本田次義	村松克重	沼山佐太郎	福永郷正
	三浦正徳	藤田美治	三崎富重	八杉一博	吉本俊春			

第251地区協議会実行委員会

◎ 委員長
○ 副委員長

実行委員長	◎藤川 昭三	○斎藤 弘	村上 正治		
幹 事	◎武石 忠俊	○長嶺 覚			
会 計	◎藤原 茂盛	○小川 岩雄	板橋 孝雄		
S A A	◎平塚 鎮男	○村上 光輝	井上 正雄	仲村 長市	平野 博
	本田 次義				
ソングリーダー	◎千葉 正				
総務委員会	◎倉内 清	○土屋 正造	種村 貞敏	八杉 一博	沼山佐太郎
	坂口 雄一				
登録委員会	◎千葉 正	○谷本 和夫	浅利 作造	中浦 忠男	新沼 武雄
	近川 宗信	古市 幸男	丹治 秀一	三浦 正徳	
会場委員会	◎須藤 文夫	○伊藤 常正	斎藤 公彦	岸田 邦典	岩切 三郎
	今井 武	小川 英雄	五十嵐 実		
接待及び食事委員会	◎角谷 八朗	○福永 郷正	小原 正男	大宮 勇蔵	
	萱場幸太郎	加藤 武仁	北岡 体一	小西清五郎	
記録委員会	◎三崎 富重	○掛田 信夫	島田敏彦	伊藤 照正	天野 晴美
	青木 貞夫	田中 達昭	杉本 健	東山 嘉樹	高田 昭治
	高橋 一志	藤田 美治	浦部 聖雄	大庭 進	斎藤 征義
	佐藤 秀雄	河崎房之輔	村松 克重	四方 信雄	石橋 道彦
	写真班 遠藤 正一				
交通委員会	◎藏谷 博	○熊谷 良雄	吉本 俊春	五十嵐 宏	長岡 義一
	高慶 繁博	大沼 三郎	上井 昭一		
救護委員会	◎加藤 安彦				

地区、分区、分割の変遷

1968年（昭和43年）当時、350地区、第4分区
でありました。

第4分区クラブ

札幌
札幌南
札幌東
札幌西
札幌幌南
江別
千歳 7クラブを以て第4分区

1970年1月30日、クラブ数が多くなり、地区分割を致しまして、第351地区と成り第5分区と
変更

第5分区クラブ

千歳
えりも
三石
様似
静内
苦小牧
苦小牧北
浦河 8クラブを以て第5分区

1978年7月1日ヨリ

地区番号変更となり第251地区となる。

第5分区（8クラブ）

千歳様似
えりも静内浦河
三石苦小牧苦小牧北

1984年9月15日（分区分割第251地区
第7分区となる）

北広島
恵庭
千歳
苦小牧
苦小牧北
白老 6クラブを以て第7分区

ローターアクトクラブ証明書伝達式典・祝宴プログラム

司会：千歳RCボリオプラス委員長 山口 幸太郎
千歳RC副会長 伊藤 常正

開会のことば

国家斉唱

ローターアクトの歌

来賓並びに参加RC・RAC紹介

提唱クラブ会長挨拶

設立経過報告

証明書伝達

新RAC会長紹介

新RAC会長挨拶

新RAC会員紹介

記念品贈呈

祝辞

千歳RC会長 忠孝
千歳RC青少年委員長 武末坂

第251地区ガバナー 吉伊

千歳RC青少年副委員長 五十嵐

千歳RAC会長 梅坂

千歳RAC幹事 山本澤

千歳RC幹事 中松

千歳市長 立井

第251地区ガバナー 達克

第251地区RAC委員長 勝昭

千歳RC会長エレクト 千歳RC出席委員長

千歳RC社会奉仕副委員長 上足

SAA委員長

司会：千歳RAC幹事 五十嵐

千歳RAC会長 伊藤

千歳商工会議所会頭 崎山

道議会議員 奥野

文藏

千歳RAC副会長 白木

美和子

来賓芳名

千歳市長 梅沢 健三	千歳商工会議所会頭 山崎 武	北海道議会議員 奥野 文藏	千歳中央ライオンズクラブ 第一副会長 堀勝	千歳ライオンズクラブ 第二副会長 藤井 実	千歳青年会議所理事長 佐々木 俊英	国際ロータリー第251地区ガバナー	大越宮 井 倉崎	坂本 康文	忠次哉
						国際ロータリー第251地区ガバナー	坂本 康文	忠次哉	正孔男
						国際ロータリー第251地区ガバナー	大越宮 井 倉崎	大橋山澤	和修明
						国際ロータリー第251地区ガバナー	坂本 康文	坂本 康文	樹
						国際ロータリー第251地区ガバナー	坂本 康文	忠次哉	和修明

<参加クラブ>

恵庭RC	上橋春吉	横田勇	青木定雄	山田邦昭
北広島RC	三大橋憲	迫島	藤井見沢RC	西村芳徳
札幌北RC	後藤	吉澤市	岩見沢RC	
札幌北RAC	坂本木	原海	木谷定雄	内海範仁
留萌RAC	幸水	五輪男	本浦和也	五川智佳子
赤平RAC	熊松	陽子	森浦和美	
深川拓大RAC	中高	原田	本多由美	
伊達RAC	高橋	宏親	柳沢子	
岩見沢RAC	高橋	弘子	本野恵理子	佐藤孔美
函館RAC	穴岡	幹人		

<参加ローターアクトクラブ>

札幌北RAC	高七	あゆみ	山本和也	山田邦昭
	幸水	陽子	森浦和美	西村芳徳
	熊松	五輪男	本多由美	
	中高	原田	柳沢子	内海範仁
	高橋	宏親	本野恵理子	五川智佳子
	高橋	弘子		
	穴岡	幹人		

提唱クラブ会長挨拶

武石会長挨拶

千歳ロータリークラブは、20周年を契機に結成が実現致しました千歳ローターアクトクラブの認証伝達式に御案内申し上げたところ、公私共御多忙の折りにも拘らず第251地区ガバナー坂本忠様、千歳市梅沢健三様はじめ多数の御臨席賜りました。この御芳情に感謝申し上げますと共に会員一同心よりお礼申し上げる次第であります。

ローターアクトの結成については、R I 並びに歴代ガバナーの要望でありまして、千歳ロータリークラブ創立以来の宿願がありました。今年度第251地区ガバナー坂本忠氏始め地区ローターアクト委員長宮沢正様の熱心な御指導を戴き、千歳ロータリークラブ担当委員会であります社会、青少年、両奉仕委員会の特段の御協力により、又会員全体の御理解を得まして実現の運びとなりました。千歳ロータリークラブの呼びかけに応えて積極的に参加して頂きましたローターアクトの皆様の勇気と決断に心より賞賛申し上げますと共に千歳ロータリークラブ会員一同心より歓迎申し上げたいと存ずる次第であります。

又、結成に当り地区ローターアクト委員長の常盤美恵子様、地区ローターアクトの現況として適切な御助言を戴きました。この度参加下さいましたローターアクトの皆様に御理解と勇気を与えて下さいました功績は、大なるものと思います。更に第251地区ガバナー坂本忠様はじめ多くのメンバーの方々より物心両面の御支援を戴きました。千歳ローターアクトクラブ結成に御支援下さいました多くの皆様に深甚なる敬意と感謝を申し上げる次第であります。

千歳ロータリークラブは、最年長78歳、最年少36歳であります。この20年間42歳の年代の差を相協力し、調和し数々の社会奉仕を行って参りました。年長者には多くの経験と高説な示唆を頂き、熟年者には英知と決断力を、若い方々には若々しいエネルギーと行動力を、この年代

を越えて協調し奉仕活動することが、奉仕の理想と思うであります。今日結成されましたローターアクトの皆様は、18歳～28歳の方々であります。私共千歳ロータリークラブは、更に若い年代の方々と話し合い、調和し、協力する足がかりが出来た次第であります。このローターアクトの結成を大切にし、年代を越えた連帯感を助成し、次元の高い奉仕の理想へ向かって努力する所存であります。本日結成された千歳ローターアクトクラブが、会員相互の親睦を深め社会奉仕に向かって大いに成長しますことを念じ祝いと御礼の言葉と致します。

おめでとうございました。

千歳ローターアクトクラブ会長挨拶

伊藤嘉浩

只今御紹介のありたした千歳ローターアクトクラブ会長に指名されました伊藤嘉浩です。本日は私達千歳ローターアクトクラブの証明書伝達式に坂本ガバナーはじめ、大橋ガバナーエレクト、歴代のパストガバナー、宮沢地区ローターアクト委員長をはじめとする、国際ロータリー第251地区の役員の皆様と私達がこれからの仲間となる各ローターアクトクラブの代表者の皆さんとの御出席を頂き、又、御多忙のところこの会のために御出席頂きました梅沢千歳市長、奥野北海道議会議員、山崎商工会議所会頭の皆様に厚く御礼を申し上げます。

更に私達クラブの設立に大きな御貢献を頂きました千歳ロータリークラブの皆様に対して、重ねて御礼申し上げます。私達メンバーは千歳ロータリークラブの皆様方の強い御指導を頂き、そのローターアクト精神を理解しようと集まった仲間であります。今後私達メンバーは千歳ロータリークラブを先生とし、そのロータリー精神を勉強し、これを実践活動までもっていきたいと考えております。何もわからない私達ですが、今後共御指導を頂きたくお願い申し上げる次第でございます。

最後に今日まで御指導頂きました、国際ロー

タリー第251地区坂本ガバナーをはじめ役員の皆様、千歳ロータリークラブの皆様に重ね御礼申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

記念品贈呈目録

- 1.国旗
- 1.ローターアクト旗
- 1.ローターアクト鐘
- 1.ローターアクトバッヂ
- 1.ローターアクト例会用名札
- 1.ローターアクトの歌パネル
- 1.各種印鑑一式

祝　　辞

千歳ローターアクトクラブ証明書伝達式

千歳市長 梅沢 健三

薰風かおる好季節を迎え、千歳ロータリークラブ様の念願でありました「千歳ローターアクトクラブ」の結成をみ、本日ここに証明書伝達式が挙行されますことは、誠に喜ばしく心からお祝い申し上げます。千歳ロータリークラブにおかれましては、本年4月17日創立20周年記念式典を盛大に挙行され、これを契機に未来を担う青少年に育成を目的とし、本クラブの重点事業としてローターアクトクラブの設立がなされたものであり、武石会長はじめ、251地区坂本ガバナー、宮沢地区委員長並びに関係各位のみなみならぬご尽力の賜物であり、心から敬意と感謝申しあげます。

申すまでもなく、ローターアクトは18歳から28歳までの青年を対象とし、ロータリーの根本方針であります社会奉仕と国際理解の促進のほか、高度の道徳的水準を促すことであると聞いております。本日、19名をもって結成されましたローターアクトクラブの皆さんには、まさに次代を担う方々ばかりであり、郷土ちとせの21世紀を託すにふさわしい方々と確信しているところであります。

本市は、現在人口7万7千人を超える、本道の空陸交通の拠点都市として、国際的にも大きく

飛躍が期待され、無限の開発可能性を秘めております。

21世紀を担う新千歳国際空港のオープンも7月20日にせまり、国際エアカーゴ基地、リニア・モーターカーなどの建設、さらに道央テクノポリスの年度内指定に向けて着実に進んでおります。

千歳の大きな可能性を、経済や教育文化そして福祉の面で十分活用し、市民生活の豊かさに結びつけていくことが大切な課題であります。

高齢化、情報化、国際化の諸課題を乗り越えて、21世紀に向け「大いなる千歳の時代」を皆さんとともに築き、活力あふれ、うるおいと個性豊かな「小さな国際都市」づくりを進めてまいりたいと考えており皆様方の尚一層のご支援ご協力をお願い致します。

ここに謹んでローターアクトクラブの創立をお祝いし、心からお慶び申しあげますとともに、今後なお一層のご活躍を祈念し、お祝いのことばといたします。

祝　　辞

251地区ガバナー 坂本 忠

千歳RCの皆様お久しぶりでございます。7分区の皆様ようこそおいで下さいました。新クラブが只今設立されました。本当におめでとうございます。

すばらしい若者達のスタートの証明書の伝達式が市長様をはじめ、ご来賓の方々多数のご臨席をいただき心より感謝申し上げます。誠に有難うございました。

新千歳RACの皆様おめでとうございます。種々の困難を克服して本日を迎えた訳けでございます。千歳RCの20周年に私にも参列をさせていただきました。数々の記念行事の中で、地域社会に永遠に引き継がれるステンドグラスの贈呈等会員皆様が協力して長い時間をかけての記念式典であったと思います。

その記念事業の最も素晴らしいものが未来を開く、そして未来を拓する「千歳RACの結成」

6であります。R I は青少年の問題を極めて重視しております。ガバナーに対しての指示、又は諸文書により私共が想像もできない位の関心をおもちでございました。アメリカのみでなく、日本においても青少年の問題は毎日のニュースとなっております。世界中の広い情報をもっている高名な先生が日本の青年に何が大切ですかと聞いたら、貯金通帳を持って来たといいます。韓国の青年に同じ事を聞いたら教科書と辞書を持って来たといいます。

経済のみではいけません。心の問題が問われる訳です。若いR A C の皆様に私は敬意を表します。若くしてR C の精神・哲学すなわち寛容と相手の気持を許すR C の精神を実践していただきたいのであります。地域社会に奉仕することと、それを通じ指導力を養成して立派な市民となっていただき、そして国際性豊かになれるのであります。然し、本日スタートした千歳のR A C の皆様、前途には素晴らしいことも苦しいこともありますが、かならずしもそればかりではありません。どうか「我慢と努力と勇気」をもって行動して下さい。継続は「力」なりと言われます。若々しく深い友情をもって十分に頑張って下さい。

これをもちまして私の挨拶とさせていただきます。

千歳ローターアクト設立経過報告

千歳R C 青少年委員長 末 広 孝

ローターアクトは、国際ロータリーが1968年、若い人たちにもロータリー活動への相互理解と協力の輪を広げようとローターアクトの設立を提唱したことに始まりました。

このクラブは年齢18歳から28歳までの青年で構成され、奉仕活動の修練を通じ、将来の地域社会でのリーダーになろうとする青年たちの育成を目標とするものであり、クラブの運営は会員が自主的におこなうものです。

千歳ローターアクトクラブは10年前からローターアクトクラブの設立へむけて長年にわたり研究

を重ねてまいりました。そして本年度、当クラブが創立20周年を迎えるのを機に青少年委員会と社会奉仕委員会の合同で、その設立のための具体的手法について積極的に検討しようと事業計画にかかげました。

しかしながら、その準備過程においてローターアクト会員の勧誘や拡大の問題、また資金的問題、更には設立後のフォローアップの重要性など、様々な課題に直面いたしました。

昨年8月、251地区ローターアクト委員長の井倉様を訪問しご指導をいただくと共に美幌ローターアクトクラブ会長向野（ひがの）さん、地区代表の深田さんにクラブの活動状況についてレクチャーをうけました。

その後、9月に当クラブの例会において251地区のローターアクト委員長宮沢様と地区代表の常盤様の両方の講話ををしていただき会員の勉強会をおこない、認識を深め、10月25日には札幌で開催されたローターアクト地区大会に出席し、実際の活動や運営方法に触れることができました。

そして、いよいよ本年2月より会員の募集に入り3月には5名のキーメンが入会し、その方が中心となり積極的に会員拡大に奔走いたしました。その成果として、5月には当クラブ会員の協力と相まって15名のメンバーの入会を得ることとなり、念願の設立申請の手続きをガバナーシステムに提出するにいたりました。

新千歳ローターアクト会長には伊藤君が就任することとなり、理事役員、各委員会構成もスムーズに決まり、5月22日第16回ローターアクト地区協議会において各地先輩ローターアクトの皆さんからの祝福を受けたのであります。

おかげ様をもちましてその後更に6名を加え、本日21名のチャーターメンバーをもちましてこのように盛大に証明書伝達式を挙行する運びとなりました。坂本ガバナーはじめ宮沢委員長そして関係各位の皆様に深くお礼申し上げる次第であります。

次代を担うローターアクトの若者たちに心か

らの祝意と限りない期待をおくり、また本日ご臨席賜わりましたご来賓の皆様、ロータリアン諸氏に今後一層のご支援をお願いいたしまして経過報告といたします。

ありがとうございました。

第251地区ガバナー坂本忠氏よりの
感謝状贈呈受者

千歳RC社会奉仕委員長 高慶繁博
千歳RC青少年委員長 末広孝

感謝状要旨

貴殿は先に国際RCが創設したローターアクトクラブの育成に強い関心をもたれ千歳ローターアクトクラブの設立に当たり進んでその任にあたり早期結成を図られたことは貴殿の青少年奉仕に対する情熱と卓越せる指導力によるものと深く敬意を表するものであります。今回の新クラブ設立は貴クラブはもとより当地区において誠に喜びに堪えません。ここに感謝状を贈り深甚なる謝意を表します。

祝 詞

第251地区RAC委員長 宮沢正
千歳ローターアクトクラブの皆様、本日は誠にお目出度うございます。又、千歳ロータリークラブの皆様、先日の20周年記念行事に引き続きまして長い間のご努力が実を結び、私達当251地区に10年ぶりで15番目の新クラブを誕生させて下さいました。本当にありがとうございます。私地区委員長として喜びと感激で胸が一杯であります。

昨年9月3日、千歳ロータリークラブの第951回の例会に、ローターアクトの地区代表と共にお招きをいただきました。その折、青少年のフォーラムに参加させていただき、ローターアクトのあり方、地区的状況等をお話しさせていただきました。以後5回程、千歳クラブにお邪魔させていただきましたが、武石会長さん、山田幹事さんをはじめ、高慶委員長さん、末広副委員長さん、吉田さん等、若い委員の方々の熱

心に感動し、必ず新クラブが誕生すると確信しております。

ローターアクトクラブの存続は、提唱クラブが積極的に直接参加を継続するか否かによるものであるとアクトクラブの定款に明記しております。

R I の証明書の伝達式は出発を祝う式典であります。ローターアクト諸君の年令は一番実行力に富み、企画力、判断力、統率力など人間の一生を左右する力が伸びる時代であり、伸ばさねばならない時代であります。千歳ロータリークラブの方々のご努力で創立されたアクトクラブの皆さんのが、青年の特性を活かし、地域社会に又、国際都市千歳市にふさわしい国際的分野に貢献出来る立派なクラブを築き、地区内ローターアクトに新風を吹きこんでいただきたいと思います。

ローターアクトの活動は、地味で根気と忍耐力を伴った努力を必要とするものです。何よりもクラブの例会、会合に出席することにより、立場も仕事も異った方々と親睦を重ね、友情を育てることが大切であり、会合を重ねて心が一つにとけ合わなければ、何事も実のあることは出来ません。そしてロータリークラブの方々との親交を深めることが活発な活動の原動力につながることと確信しております。

あなた方が、職場で、企業にも地域社会にも本当に役立つ職業人となるため努力すれば、周囲の方々も、アクトの活動に理解を示してくれるものと信じます。例会を充実したものとしなければ、アクトの行事は見せかけに終ります。楽しい例会が持てるようになると、会員間にも真の友情が生まれ、みんなの心も一つになり、ロータリーの心、思いやり、助け合いの心が見直されると思います。

例会出席を大切にと再度申し上げ、お祝いのことばと致します。

祝　　辞

千歳RC会長エレクト 田 中 達 昭

誕生いたしましたR A Cの実際に活動する1年目の千歳RC会長の大役をおおせつかり、いささか緊張をしております。どうかR A Cの皆様の清新な若々しさを千歳RCに与えていただき、共にRCの理念に向かって歩んで行きたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひ致します。簡単でございますが、これをもちまして祝辞とさせていただきます。本日は本当におめでとうございます。

祝　　電

国際ロータリー理事 伊 藤 義 郎 殿

国際ロータリー第251地区バストガバナー

森 松 定 男 殿

国際ロータリー第251地区幹事

越 山 文 哉 殿

岩内ロータリークラブ会長 丸 井 恵 仁 殿

滝川ロータリークラブ会長 熊 本 広 一 殿

R I 第251地区ロータリーアクト委員長

井 倉 啓 孔 殿

札幌北ローターアクトクラブ殿

函館ローターアクトクラブ殿

千歳ローターアクト会員名簿

青木 ひとみ 千歳市北栄2丁目28-1

五十嵐 桂 一 千歳市清水町1丁目22

伊藤 嘉 浩 千歳市錦町3丁目1番地

河野 裕 喜 千歳市旭ヶ丘4丁目1の1番地

木村 聰 央 千歳市朝日町5丁目

渋谷 剛 千歳市信濃4丁目6-13

白木 美和子 千歳市北斗2丁目6-13

杉村 龍 生 千歳市富士3-7-7

高田 夕 子 千歳市本町5丁目878

高慶 美 和 千歳市北光6丁目2-12

種川 まゆみ 千歳市北斗1丁目4-14

寺田 隆 徳 千歳市東美町5丁目20-3

中島 明 美 恵庭市島松町2丁目14-7

藤松 浩 司 千歳市真々地4-10-2-106

松村 義 実 千歳市北光1丁目8-1

三浦 友 恵 苫小牧市沼の端167-91

山田 茂 千歳市北斗4丁目

高畠 裕 千歳市末広2丁目4-11

渡辺 八智代 千歳市信濃4丁目



ロータリー財団

国際奉仕委員会よりロータリー財団委員会が分離したのが1969~70年度で初代委員長は、千葉正会員次いで中沢啓次会員、黒田完治会員、田中達昭会員、倉内清会員とその後を順に引き継いで、財団に対する寄附金も1980年以降急速な伸びをみせ表の通りポールハリスフェローは18名、ポールハリス準フェローは36名を擁するに至った。

ポールハリスフェロー

会員氏名	昭年月
右近 久雄	48. 3
丹治 秀一	50. 2
小原 正男	52. 3
内藤 詩郎	52. 3
近川 宗信	52. 3
岩崎 豊治	52. 7
村上 正治	54. 2
高田 昭治	52. 2
藤川 昭三	55. 9
北岡 体一	57. 7
千葉 正	58. 12
谷本 和夫	59. 6
沼山佐太郎	60. 4
中浦 忠男	60. 6
武石 忠俊	61. 4
新沼 武雄	61. 12
喜多 清皓	62. 7
長沢 邦雄	62. 7
計	18名

ポールハリス準フェロー

会員氏名	昭年月
毛内 利夫	51. 6
伊藤 照正	52. 6
今井 光男	52. 12
小池 文夫	53. 1
藏谷 博	54. 2

長嶺 覚	52. 6
浅利 作造	53. 9
三崎 富重	54. 3
加藤 武仁	55. 8
倉内 清	57. 6
斎藤 弘	57. 6
五十嵐 実	58. 1
斎藤 公彦	58. 6
高慶 繁博	58. 12
佐藤 秀雄	59. 6
村松 克重	60. 4
山口幸太郎	60. 4
岩崎 晉久	60. 5
熊谷 良雄	61. 4
岩切 三郎	61. 4
上井 昭一	61. 4
小川 英雄	61. 4
中村 堅次	61. 11
末広 孝	61. 12
田中 達昭	61. 12
山田 瞳雄	62. 7
早坂 義人	62. 11
小川 岩雄	63. 1
文屋 文稔	63. 1
坂井 是樹	63. 1
小笠原 良	63. 1
吉田 英俊	63. 1
島田 実	63. 1
木村 勝也	63. 1
伊藤 常正	63. 1
八杉 一博	63. 1
計	36名

財団法人ロータリー米山記念奨学会

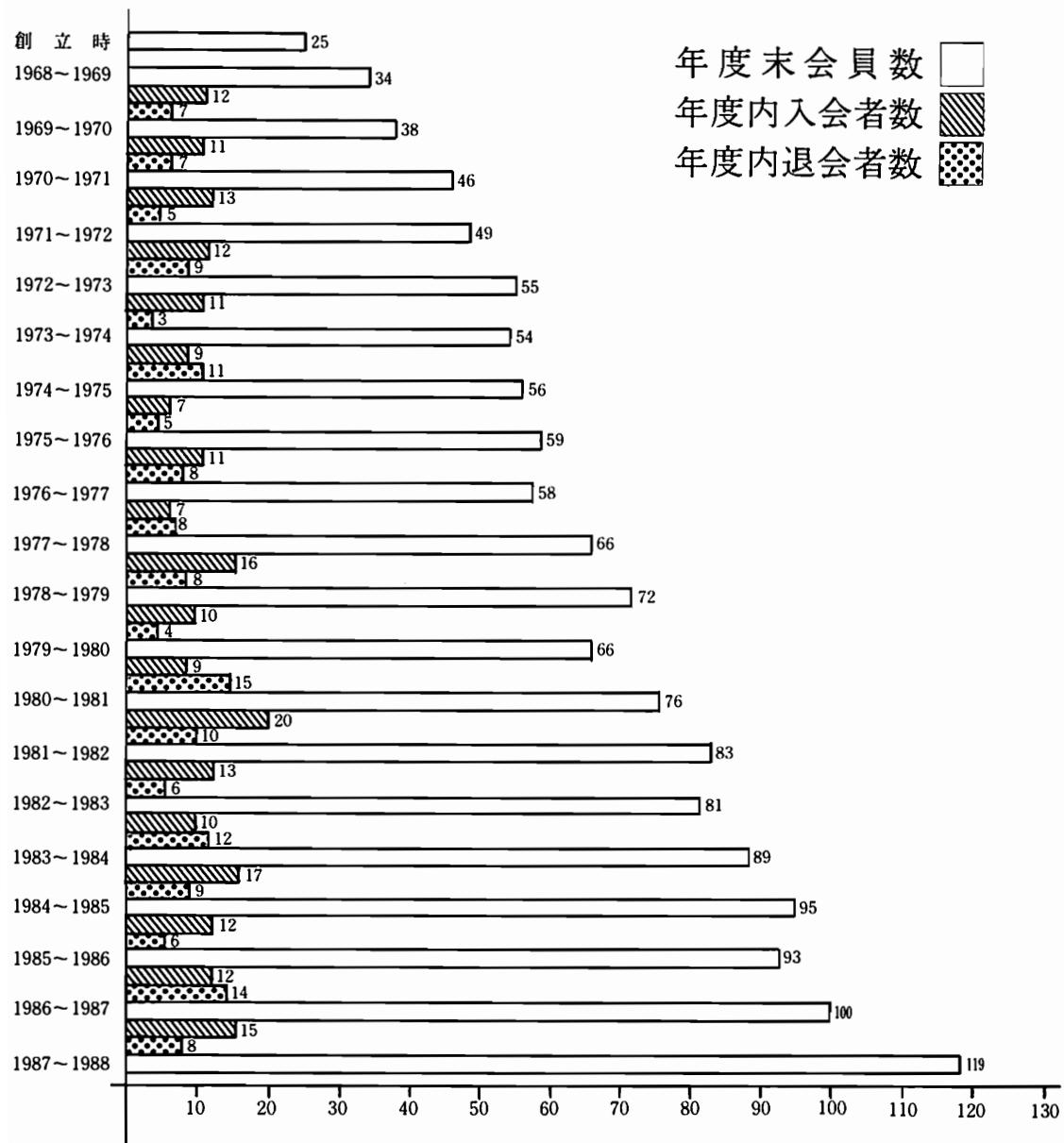
特別寄附

村上正治	1983年7月7日	300,000円
丹治秀一	1983年7月28日	300,000円
長沢邦雄	1984年11月15日	50,000円

会員数推移図表

1968（昭43）～1988（昭63）

創立より20年間



歴代役員委員長(退会者)

年 度 役 名	1967 1968 1969	1969 1970 1970	1970 1971 1971	1971 1972 1972	1972 1973 1973	1973 1974 1974	1974 1975 1975	1975 1976 1976	1976 1977 1977	1977 1978 1978	1978 1979 1979	1979 1980 1980	1980 1981 1981	1981 1982 1982	1982 1983 1983	1983 1984 1984	1984 1985 1985	1985 1986 1986	1986 1987 1987	1987 1988 1988	
ガバナー	S43~44 島本 融	S44~45 秋山康之進	S45~46 河野通正	S46~47 富田 恭	S47~48 塙谷 猛	S48~49 柿本恒一	S49~50 森松定男	S50~51 青木一雄	S51~52 大野和男	S52~53 伊藤義郎	S53~54 富田嘉市	S54~55 太宰六郎	S55~56 小川忠一	S56~57 佐久間三八	S57~58 山賀 勇	S58~59 竹山涼一	S59~60 河邨文一郎	S60~61 望月武義	S61~62 三浦祐昌	S62~63 坂本 忠	S63~64 大橋康次
会長	(吉田)	(右近)	(山崎)	千葉	新沼	(北岡)	近川	小原	(内藤)	谷本	浅利	倉内	藤川	斎藤ヒ	村上	中浦	丹治	高田	斎藤キ	武石	
会長イレクト	(右近)	(山崎)	千葉	新沼	(北岡)	近川	小原	(内藤)	谷本	浅利	倉内	藤川	斎藤ヒ	村上マ	中浦	(土屋)	高田	斎藤キ	武石	田中	
副会長			新沼	(北岡)	近川	小原	(内藤)	谷本	浅利	倉内		斎藤ヒ	村上マ	中浦	(土屋)	丹治	(三崎)	(平野)	須藤	伊藤	
幹事	(内藤)	浅利	谷本	(毛内)	倉内	(田中)	(加藤)	(立入)	中浦	(三崎)	村上マ	(遠藤)	武石	長嶺	斎藤キ	五十嵐ミ	沼山	(浦部)	佐藤	山田	
副幹事			(毛内)	倉内	(田中)	(加藤)	(立入)	中浦	(三崎)	村上マ	(遠藤)	武石	長嶺	斎藤キ	五十嵐ミ	沼山	(浦部)	佐藤	山田	八杉	
会計	(川原田)		(川原田)	浅利	(黒田)	(市川)	(加藤)	(三浦)		(帰山)	(高瀬)	(盛)	(藤原)	(板橋)	(坂口)	高橋	渋田	阿部	(辻村)	坂東	
副会計			浅利	(黒田)	(市川)	(東海林)	(三浦)	(盛)	(帰山)	(高瀬)	(中村)	(菊地)	(中村)	福永	(高橋)	渋田	阿部	(辻村)	坂東	倉本	
S A A	(岩崎)		(岩崎)	長嶺	(龟山)	(加藤)	(遠藤)	丹治	加藤	(大隈)	(高間)	(浦部)	(平塚)	井上	村上ミ	大宮	小川ヒ	高慶	後藤	上井	
副S A A			(前川)	(加藤)	谷本	丹治	加藤夕	村上	(仲村)	長嶺	(平塚)	村上ミ	(古市)	(蔵谷)	上井	上井	岩崎	横田	井原		
国際奉仕	千葉	近川	(中沢)	谷本	藤川	斎藤ヒ	斎藤ヒ	(岸田)	長嶺	須藤	(平野)	(三崎)	(角谷)	(浦部)	(古市)	田中	村上ミ	大宮	井上	長沢	
社会奉仕	(高慶)	新沼	(北岡)	(加藤)	(毛内)	村上マ	中浦	遠藤	(龟山)	(高間)	中浦	(蔵谷)	須藤	藤田	青木	岩切	佐藤	村松	早坂	高慶	
職業奉仕	浅利	(鷺見)	小原	(岩崎)	(土屋)	(今井)	高田	斎藤キ	(小西)	加藤夕	斎藤キ	(仲村)	千葉	丹治	(大庭)	伊藤	(仲村)	吉本	渋田	小川イ	
ロータリー財団			(松島)	(服部)	田中	倉内	(鷺見)	(毛内)	千葉	北岡	丹治	村上マ	加藤	小川イ	谷本	高慶	(平野)	五十嵐ミ	中村ケ	村松	
出席席	(岩崎)	(加藤)	(加藤)	(龟山)	(遠藤)	伊藤	(佐藤)	加藤夕	(高間)	斎藤ヒ	(伊藤)	(今井)	(土屋)	五十嵐ミ	(三崎)	八杉	須藤	上井	田村	坂井	
親睦	(辻本)		(松島)	藤川	長嶺	(高田)	(久高)	(加藤コ)	(佐藤)	長嶺	村上ミ	須藤	谷本	(天野)	武石	(浦部)	山田	八杉	沼山	早坂	
クラブ会報	(牛田)		近川	高田	(工藤)	(松田)	村上マ	(佐々木)	(加藤)	(土屋)	(青木)	(布施)	(三崎)	(斎藤)	沼山	小川ヒ	八杉	本田	榎原	岩切	
プログラム	(川原田)	小原	(辻本)	(中沢)	浅利	(土屋)	斎藤ヒ	長嶺	斎藤ヒ	千葉	藤川	近川	伊藤	(伊藤)	(掛田)	須藤	(大庭)	(平塚)	長沢	榎原	
広報雑誌	(吉田)		(鷺見)	小原	(中沢)	田中	谷本	(土屋)	(岩崎)	田中	斎藤ヒ	長嶺	(桜山)	(掛田)	大宮	千葉	新沼	(掛田)	八杉	鈴木	
会員増強	(押見)		近川	斎藤キ	(辻本)	(右近)	倉内	田中	(岩崎)	新沼	(土屋)	藤田	(岸田)	新沼	武石	長嶺	若松	大沼	沼山		
会員選考			(岩崎)	近川	(辻本)	中浦	小原	千葉	新沼	小原	近川	加藤	(小西)	近川	小原	高田	藤田	井上	倉内	村上マ	
職業分類	(宮崎)		(土居)	(鷺見)	(小西)	浅利	(龟山)	伊藤	高田	近川	(小西)	(北岡)	田中	(北岡)	萱場	(仲村)	(北岡)	小原	藤田	横田	
ロータリー情報	(牛田)		(右近)	(山崎)	千葉	新沼	(北岡)	近川	小原	(内藤)	谷本	浅利	倉内	藤川	斎藤ヒ	村上	中浦	丹治シ	高田	斎藤キ	
青少年担当					小原	(内藤)	谷本	浅利	倉内	熊谷	千葉	(内藤)	岩切	(清水)	佐藤	(平塚)	大沼	伊藤八	末広		
米山奨学会															谷本	武石	後藤	高慶	佐々木		
クラブ資料管理															(三崎)	村松	木村テ	山口	文屋		
創立15周年															倉内				谷本		
会計監査															浅利	千葉	斎藤ヒ	村上マ	丹治		

20年間名誉会員



1970～1971
米空軍司令官
マックマーン大佐



昭和34年4月～
昭和50年4月
千歳市長
米田忠雄



1972～1973
米空軍司令官
スミス中佐



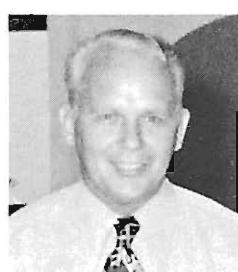
昭和50年4月～
昭和62年4月
千歳市長
東峰元次



1973～1974
米空軍司令官
D.E. シュープ大尉



昭和62年4月～
千歳市長
梅沢健三



1974～1975
米空軍司令官
L.D.ホリス少佐

20年間千歳ロータリークラブをお世話下さった方々

事務局で会長、幹事、委員長を補佐し、
お世話下さった方々

毎例会の食事をお世話下さった方々



黒坂 静子

S. 44~45



岩崎 康子



料理長
高原 喜八郎

S. 38



久保 考夫

S. 54



谷口 和吉

S. 54



小松 文男

S. 54



福原 良一

S. 55



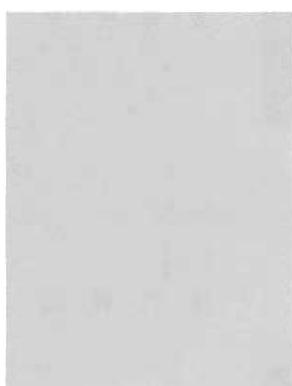
山内 政之

S. 61



岩崎 登茂子

S. 62



高橋 康子

S. 45~54



高原 恒子

S. 54~現在

20年間の物故会員

創立1968年（昭和43年）～1988年（昭和63年）の20年間に12名の会員が、ご逝去されました。ここに生前のご活躍を偲び、謹んで、ご冥福をお祈り申上げます。



小池文夫氏

昭和53年4月25日逝去

(株)白生舎 代表取締役社長



毛内利夫氏

創立会員

昭和54年1月18日逝去

(株)千両寿司 代表取締役社長



右近久雄氏

創立会員 第2期会長

昭和55年9月 日逝去

千歳木工株式会社 社長



岩崎豊次氏

創立会員

昭和56年2月23日逝去

(株)西洋軒 代表取締役社長



伊藤照正氏

昭和56年11月30日逝去

(株)支笏湖観光ホテル

代表取締役社長



今井武氏

昭和60年8月7日逝去

(株)今井商事代表取締役



藏谷博氏

昭和60年11月4日逝去

(株)藏谷組 代表取締役社長



仲村長市氏

昭和61年4月7日逝去

(株)千歳工機 代表取締役



北岡体一氏

第6期会長

昭和62年4月9日逝去

(株)北岡土地 代表取締役社長



三崎富重氏

昭和63年6月18日逝去

千歳配贈人紹介所 所長

志途中にして退会を余儀なくされ

其の後ご逝去された方



吉田信一氏

創立会員 初代会長

昭和56年12月2日逝去

(株)新吉田商店 代表取締役社長



内藤詩郎氏

創立会員 第9期会長

昭和57年12月21日逝去

内藤医院 院長



今井光男氏

昭和59年7月11日逝去

今井肉店 代表

会員名簿

1968年（昭和43年）創立会員 22名

入会順	会員氏名	役職	勤務先	入会	退会
CM	浅利 作造	社長	㈱浅利商店取締役	43・4	
"	千葉 正	社長	㈲木芸社代表取締役	43・4	
"	服部 康治	院長	千歳第一病院	43・4	48・11
"	岩崎 豊治	社長	㈱西洋軒	43・4	56・2
"	川原田 省三	支店長	北海道拓殖銀行千歳支店	43・4	45・11
"	毛内 利夫	社長	㈱千両寿司	43・4	53・1
"	宮崎 登志夫	社長	㈱宮崎金物店	43・4	44・3
"	森本 吉雄	社長	㈲もりもと	43・4	44・4
"	中沢 啓次	支社長	苦小牧民報社	43・4	48・6
"	内藤 詩郎	院長	内藤医院	亡43・4	46・6
"	新沼 武雄	取締役	㈲新沼クリーニング商会	43・4	
"	小原 正男	会長	㈱オバラ取締役	43・4	
"	大橋 良夫	社長	㈱丸大大橋食料品店	43・4	44・1
"	押見 哲脩	住職	大禪寺	43・4	45・3
"	高慶繁 次郎	社長	㈱千歳マルエイ商会	43・4	43・7
"	谷本 和夫	局長	支笏湖郵便局	43・4	
"	辻本 昭三	代表者	千歳種苗農園	亡43・4	51・8
"	右近 久雄	社長	千歳木工株式会社	43・4	55・9
"	牛田 勝之	北海道工場長	日本金鋼㈱	43・4	44・3
"	山口 正路	経営者	割烹ベニス	43・4	46・6
"	山崎 満	専務取締役	千歳興業株式会社	43・4	49・9
"	吉田 信一	社長	㈱吉田商店	亡43・4	56・12

1968年（昭和43年） 1969年（昭和44年）

23	前川 啓一	社長	㈱まえかわ	43・6	49・2
24	加藤 光三	店主	ポイント	43・6	52・6
25	上田 勇	電業技士	米国陸軍千歳基地	43・7	44・12
26	羽馬 聰正	住職	大谷派真光寺	43・7	44・8
27	近川 宗信	代表取締役	㈲近川文具店	43・7	
28	長嶺 覚	代表取締役	㈱長嶺商事	43・7	
29	驚見 吉正	経営者	石上美容室	43・8	50・11

入会順	会員氏名	役職	勤務先	入会	退会
30	山本歳雄	社長	第一精肉株式会社	43・8	44・12
31	長野太一郎	社長	㈱長野カメラ	43・9	43・11
32	比原三二	専務	㈱千歳青果	43・9	45・4
33	荒川涉	代表	朝日新聞販売店	43・9	44・10
34	中松憲	代表	月光寿司	43・9	46・7
35	尾崎二郎	副院長	伊勢病院	43・9	44・2
36	松嶋健一	院長	松嶋医院	44・2	46・12
37	北岡体一	社長	㈱北岡土地	44・2	62・6
38	土屋正造	北海道支社長	日本画センター	44・2	59・7
39	遠藤正一	代表	スター写真場	44・2	52・12
40	三井秀一	代表	三井薬店	44・4	47・5
41	金井正道	北海道工場長	日本金鋼株式会社	44・6	45・3

1969年（昭和44年） 1970年（昭和45年）

42	山本交銘	店主	ニュー東京理容院	44・9	48・12
43	小牛田実	経営者	養鶏場	44・10	45・3
44	松田一郎	店主	ニュージャパン	44・10	49・6
45	小西清五郎	社長	㈱こにし呉服店	44・10	58・2
46	藤川昭三	千歳事業所長	㈱地崎建設	44・10	48・6
47	高田昭治	社長	千歳印刷㈱代表取締役	45・1	
48	龜山松三	社長	㈱龜山生花店	45・2	55・2
49	倉内清	取締役	㈱三恵	45・3	
50	井上平八郎	代表表	井上商店	45・3	46・9
51	菊地嘉弘	局長	日本電信電話局千歳局	45・4	46・1
52	吉田正史	所長	吉田行政書士	45・9	51・2

1970年（昭和45年） 1971年（昭和46年）

53	田中達昭	社長	㈱大栄建築設計事務所	45・7	
54	宮本勝彦	店主	まるみ靴店	45・10	54・7
55	齊藤公彥	社長	㈱豊輪代表取締役	45・11	
56	田中節夫	千歳支店長	札幌信用金庫	45・11	47・1
57	田中義男	社長	㈱千歳測量	45・11	49・6
58	黒田完治	千歳支店長	北海道拓殖銀行	45・12	48・4
59	安孫子留七	社長	㈱福三屋商店	45・12	46・6
60	加藤忠男	代表	加藤陶器店	45・5	53・6

入会順	会員氏名	役職	勤務先	入会	退会
61	荒川航至	代表	朝日新聞販売所	45・5	46・6
62	今井光男	店主	今井肉店	亡45・11	55・12
63	清水茂晴	社長	㈱清水電気商会	46・2	47・6
64	工藤四郎	千歳局長	日本電信電話公社	46・2	48・6
65	伊藤常正	代表	伊藤塗工店	46・3	

1971年（昭和46年） 1972年（昭和47年）

66	市川守	千歳支店長	北海道銀行	46・8	48・12
67	小柳憲司	支配人	千歳空港カントリークラブ	46・8	48・6
68	内藤詩郎	院長	内藤医院	亡48・8	55・12
69	村上正治	社長	㈱フジ商工代表取締役	46・10	
70	橋本志造	代表	春日湯	46・12	49・12
71	中浦忠男	代表取締役社長	北栄興燃株式会社	47・1	
72	石田一生	所長	㈱岩倉商事千歳営業所	47・1	47・5
73	坂野幸吉	千歳支店長	札幌信用金庫	47・3	49・6
74	佐々木治雄	千歳支店長	㈱トーホー自工	47・3	51・6
75	佐藤英信	店主	セーターのさとう	47・4	51・4
76	坂井忠義	支部長	日本生命千歳支部	47・5	49・3
77	高間善蔵	社長	㈱丸善	47・5	56・1
78	野沢昭一	所長	㈱北日本石油千歳営業所	47・5	48・6
79	齊藤弘院	長	千歳中央外科医院	47・9	
80	高田伊佐男	所長	毎日新聞千歳中央販売所	47・9	48・10

1972年（昭和47年） 1973年（昭和48年）

81	丹治秀一	社長	㈱丹治秀工業代表取締役	47・9	
82	岩田敏男	所長	㈱北海道電力千歳営業所	47・9	50・9
83	吉田清光	社長	㈱新川砂利工業	47・9	51・2
84	岸田邦典	社長	㈱博信堂	47・11	56・2
85	立入亨	社長	㈱かねも商事	48・4	51・6
86	立石正男	千歳局長	日本電信電話公社	48・4	51・6
87	東海林外喜夫	千歳支店長	北海道拓殖銀行	48・5	51・5
88	加藤武仁	社長	㈲装苑取締役	48・6	

入会順	会員氏名	役職	勤務先	入会	退会
-----	------	----	-----	----	----

1973年（昭和48年） 1974年（昭和49年）

89	久高喜好	千歳支店長	北海道相互銀行	48・7	51・6
90	平野博	常務取締役	㈱北海道空港	48・9	61・6
91	加藤弘行	千歳支店長	北海道銀行	48・10	52・6
92	熊谷良雄	代表取締役社長	㈱北開建設興業	48・10	
93	川名二郎	千歳工場長	㈱東洋製缶	48・12	50・10
94	田野上信	千歳支部長	明治生命	48・12	50・11
95	三浦孝治	千歳支店長	札幌信用金庫	48・12	54・2
96	三崎富重	所長	千歳配贈人紹介所	49・2	63・6
97	小西清	専務理事	社団法人千歳観光連盟	49・3	49・9

1974年（昭和49年） 1975年（昭和50年）

98	高田伊佐男	所長	毎日新聞中央販売所	49・7	50・3
99	井坂由雄	社長	㈱井坂自動車	49・7	51・6
100	青木貞夫	代表	青木燃料金物	49・7	60・6
101	北村正彦	代表	サングリーン総業	49・11	51・12
102	星野信夫	千歳局長	日本電信電話公社	50・1	53・2
103	仲村長市	社長	㈲千歳工機	亡50・1	61・4
104	須藤文夫	運用部長	全ふじやグループ営業企画部	50・3	

1975年（昭和50年） 1976年（昭和51年）

105	大隈保和	千歳工場長	麒麟麦酒千歳工場	50・7	53・5
106	奥野文藏	社長	クリーン開発株式会社	50・7	52・6
107	村上光輝	代表取締役	㈱村上組	50・7	
108	黒崎武志	所長	北海道電力㈱千歳営業所	50・10	53・2
109	盛 大	千歳支店長	北海道相互銀行	51・1	54・2
110	初山精治	店主	スリーエス写真店	51・2	56・12
111	西口末松	校長	千歳自動車学校	51・2	55・10
112	米沢清世	社長	㈱三雄	51・2	56・2
113	前田重政	社長	㈱北栄自動車	51・2	52・4
114	高野安雄	千歳工場長	東洋製缶株式会社	51・4	52・6
115	帰山莊一	千歳支店長	北海道拓殖銀行	51・6	53・6
116	今井武	社長	㈱今井商事 葉山旅館	亡51・6	60・8

入会順	会員氏名	役職	勤務先	入会	退会
-----	------	----	-----	----	----

1976年（昭和51年）1977年（昭和52年）

117	藤川昭三	代表取締役 社長	千歳建設株式会社	51・7	
118	伊藤照正	社長	支笏湖観光ホテル	亡51・6	56・11
119	小池文夫	社長	㈱白生舎	亡51・7	53・4
120	北山大丸	工場長	サントリー㈱千歳ブランチ	52・1	53・6
121	ラフィック・ハルーン	店長	パキスタン・ショップ	52・1	53・6
122	高瀬俊明	千歳支店長	北海道銀行	52・1	55・2
123	安田晃次	支店長	全日本空輸㈱千歳空港	52・1	54・7

1977年（昭和52年）1978年（昭和53年）

124	藏谷博	社長	㈱藏谷組	亡52・7	60・11
125	小川岩雄	代表取締役	㈱小川ふとん店	52・7	
126	井上正雄	代表取締役	㈱井上書店	52・7	
127	大庭進	千歳工場長	㈱ミドリ十字	52・8	62・10
128	山本歳雄	社長	㈱山本商事	52・8	54・9
129	安部敬	千歳工場長	東洋製缶株式会社	52・8	55・2
130	五十嵐実	代表取締役	㈱ミノルデザイン工芸	52・9	
131	吉本俊春	教師	エリザベスダンス教習所	52・10	
132	武石忠俊	社長	駒の里ファーム	53・2	
133	布施弘次	千歳局長	日本電信電話公社	53・2	
134	浦部聖雄	営業部長	札幌東商事株式会社	53・2	61・6
135	岩切三郎	代表取締役	㈱千歳岡部電気商会	53・3	
136	鎌田武二郎	所長	㈱北海道電力千歳営業所	53・3	
137	藤田美治	代表取締役 社長	㈱北建工業	53・3	
138	福永郷正	常務取締役	㈱福永物産	53・4	63・2
139	越原誠	千歳工場長	麒麟麦酒千歳工場	53・6	54・10

1978年（昭和53年）1979年（昭和54年）

140	成沢新吉	千歳支店長	国際空港事業株式会社	53・7	54・9
141	三浦正徳	千歳支部長	第一生命相互会社	53・7	58・3
142	菊地一正	千歳支店長	北海道拓殖銀行千歳支店	53・7	55・12
143	平塚鎮男	社長	㈱千歳窯	53・10	60・9
144	萱場幸太郎	代表取締役 社長	㈱萱場左官工業	53・11	
145	田代智彦	院長	黒百合書学院	54・2	54・7

入会順	会員氏名	役職	勤務先	入会	退会
146	中村敏郎	支店長	札幌信用金庫千歳支店	54・2	56・3
147	齊藤征義	常務取締役	㈱全ふじや	54・3	57・12
148	角谷八朗	工場長	㈱サントリープラント千歳工場	54・6	56・7

1979年（昭和54年）1980年（昭和55年）

149	掛田信夫	支社長	苫小牧民報社	54・7	62・5
150	大宮勇蔵	常勤監査役	ホテル日航千歳㈱	54・7	
151	藤原茂盛	千歳支店長	北海道相互銀行	54・8	56・6
152	種村貞敏	支店長	全日本空輸㈱千歳空港	54・10	58・6
153	古市幸男	支店長	JAU札幌	54・10	57・7
154	加藤安彦	院長	加藤病院	54・9	60・1
155	小川英雄	店主	小川薬局	54・12	
156	東山嘉樹	工場長	㈱キリンビール千歳工場	54・12	57・
157	松嶋健一	院長	松嶋医院	55・1	56・5
158	天野晴美	所長	㈱北海道電力千歳営業所	55・4	58・4

1980年（昭和55年）1981年（昭和56年）

159	佐藤秀雄	司法書士	佐藤秀雄事務所	55・7	
160	板橋孝雄	千歳支店長	北海道銀行	55・7	59・4
161	今井武社	長	㈱今井商事	55・7	59・8
162	村松克重	代表	千歳行政事務代行社	55・9	
163	五十嵐宏	専務取締役	㈱五十嵐理容院	55・9	
164	島田敏彦	副社長	㈱カルストーン	55・8	56・7
165	本田次義	代表取締役社長	㈱愛生運輸	55・9	
166	河崎房之輔	社長	白光舎	55・9	58・1
167	石橋道彦	工場長	㈱東洋製缶千歳工場	55・9	58・6
168	長岡義一	店主	長岡豊店	55・9	58・12
169	沼山佐太郎	代表取締役	㈲沼山ファーム	56・1	
170	四方信義	社長	㈱千歳板金	56・1	56・6
171	八杉一博	店主	八杉商店	56・11	
172	高慶繁博	代表取締役社長	北央三菱自動車販売㈱	56・3	
173	大沼三郎	専務取締役	㈲大沼クリーニング商会	56・3	
174	上井昭一	代表取締役社長	㈱中央運輸	56・3	
175	坂口雄一	支店長	北海道拓殖銀行千歳支店	56・3	58・3
176	杉本健	局長	千歳電報電話局	56・3	59・2

入会順	会員氏名	役職	勤務先	入会	退会
177	岩崎暉久	代表取締役社長	㈱西洋軒	56・3	
178	高橋一志	千歳支店長	札幌信用金庫	56・4	60・3

1981年（昭和56年）1982年（昭和57年）

179	大島 貢	千歳支店長	北海道相互銀行	56・7	59・3
180	渋田 晃	常務理事	千歳信用組合	56・7	
181	若松克人	代表取締役	㈱若松銘木店	56・7	
182	清水正康	校長	千歳北陽高等学校	56・8	58・3
183	高野征浩	千歳工場長	㈱サントリー千歳プラント	56・9	58・7
184	山田睦雄	代表取締役社長	㈱山田木材	56・11	
185	田村正男	取締役校長	㈱千歳自動車学校	57・6	
186	喜多清皓	代表取締役	㈱千歳スポーツ	57・3	
187	後藤重治	所長	後藤重治土地家屋調査士	57・3	
188	金三千三	社長	㈱末広電気	57・4	57・7
189	谷川幸市	社長	㈱明治家製菓	57・4	59・1
190	岡田恭平	千歳営業所長	㈱中央旅行サービス	57・6	59・4
191	木村良臣	千歳工場長	㈱キリンビール	57・6	62・1

1982年（昭和57年）1983年（昭和58年）

192	木村照男	代表取締役	㈱千歳水道設備	57・8	
193	渡辺章弘	千歳支店長	国際空港事業㈱	57・9	58・6
194	中村堅次	院長	日の出歯科医院	58・1	
195	早坂義人	代表取締役	㈱早坂商店	58・1	
196	長沢邦雄	院長	長沢産婦人科医院	58・2	
197	榎原武雄	取締役営業部長	㈱合ふじや	58・4	
198	黒神英男	千歳支店長	北海道拓殖銀行	58・4	60・10
199	佐々木金治郎	代表取締役	㈱丸駒温泉旅館	58・4	
200	森康	所長	㈱北海道電力千歳営業所	58・5	59・7
201	窪田明英	千歳支部長	第一生命相互会社	58・5	61・3

1983年（昭和58年）1984年（昭和59年）

202	坂井是樹	代表取締役	㈲排水設備センターさかい	58・7	
203	小林玄	支店長	㈱全日空千歳空港	58・8	60・6
204	喜多成行	社長	㈱喜多屋	58・11	61・12

入会順	会員氏名	役職	勤務先	入会	退会
205	村山哲雄	専務取締役	前口石油株式会社	58・7	
206	古口喜大	千歳支店長	㈱国際空港事業	58・8	61・3
207	伊藤八郎	専務取締役	㈱伊藤木材店	58・8	
208	小坂進	所長	日本電信電話公社	58・8	60・2
209	野本哲也	千歳工場長	㈱サントリー千歳プラント	58・9	61・3
210	田代正人	千歳工場長	㈱東洋製缶	58・10	60・10
211	武士義治	代表表	郷土の味たけし	59・1	
212	山本茂	取締役会長	㈱博信堂	59・2	
213	山本一夫	局長	千歳電報電話局	59・3	60・1
214	阿部一郎	千歳支店長	北海道相互銀行	59・4	61・3
215	丹治福栄	所長	㈱中央旅行サービス千歳営業所	59・4	62・1
216	山口幸太郎	代表取締役	㈱三美	59・4	
217	鈴木正義	代表取締役	㈱協和建設	59・5	
218	辻村直志	千歳支店長	北海道銀行	59・5	62・3

1984年（昭和59年）1985年（昭和60年）

219	渡部淑郎	専務取締役	㈱長野カメラ	59・7
220	末広孝	代表表	続壳新聞東部専売所	59・8
221	島田実	事務長	吉田小児科医院	59・8
222	横田義弘	代表取締役	㈱よこ田	59・12
223	溝口正人	代表取締役社長	㈱千草	59・12
224	井原紀元	千歳支店長	札幌信用金庫	60・3
225	生駒昇	代表取締役	㈱生駒商事	60・5
226	中本陽三	代表取締役	㈱中本造園	60・5
227	平間和弘	専務取締役	㈱戸田ノース・スター・ツーリスト	60・5
228	中村清太郎	代表取締役	中村三商株式会社	60・5
229	吉田英俊	取締役支配人	㈱豊興産 千歳エアポートホテル	60・5
230	木村勝也	代表取締役	㈱木村物産	60・6

1985年（昭和60年）1986年（昭和61年）

231	渡辺聰	常務取締役	㈱北海道空港	60・8
232	岡山博保	所長	北海道電力㈱千歳営業所	60・9
233	足立勝二	総務課長	㈱大金・アルエム	60・11
234	坂東昇	千歳支店長	北海道拓殖銀行	60・11
235	塙原義孝	千歳営業部長	日本生命保険相互会社	61・1
				61・3

入会順	会員氏名	役職	勤務先	入会	退会
236	高橋 義治	工場長	㈱サントリー千歳プラント	61・1	
237	藤井 堅二	千歳店長	北海道ニチイ	61・2	61・9
238	岩橋 博	局長	N T T 千歳電報電話局	61・4	
239	谷川 勝己	千歳営業部長	日本生命保険相互会社	61・4	63・3
240	前橋 秀雄	千歳支社長	㈱東京海上火災保険	61・4	
241	八杉 新一	千歳支部長	第一生命保険相互会社	61・5	
242	文屋 文穏	指導員	障害者社会復帰施設	61・5	

1986年（昭和61年）1987年（昭和62年）

243	倉本 清司	千歳支店長	北海道相互銀行	61・8	63・2
245	山下 武男	千歳支店長	国際空港事業株式会社	61・8	
246	近藤 宏彦	支店長	全日本空輸㈱千歳空港	61・10	62・5
246	奥本 裕	店長	㈱北海道ニチイ千歳店	61・10	
247	菊池 精四郎	代表取締役	㈱伸盛電気工事	61・12	
248	南北 忠光	千歳営業所長	㈱中央旅行サービス	62・3	
249	小田 喜一	行政書士	小田喜一事務所長	62・3	
250	長島 善明	千歳工場長	キリンビール㈱千歳工場	62・4	
251	竹川 勝雄	千歳支店長	北海道銀行	62・4	
252	川下 京三郎	代表取締役	㈲カワシタ塗装	62・5	
253	佐藤 嘉彦	代表取締役	㈱佐藤建設工業	62・5	
254	金山 晓	専務取締役	㈱金歳堂	62・5	
255	住吉 宏志	専務取締役	㈲住吉商店	62・5	
256	安達 洋	専務取締役	㈲アダチ写真館	62・5	
257	佐々木 昭	審査役	千歳市農協	62・5	

1987年（昭和62年）1988年（昭和63年）

258	後藤 譲	代表取締役	㈲千歳平安閣旅行サービス	62・7	
259	小笠原 良一	常務取締役	㈱小笠原商店	62・7	
260	尾谷 透	院長	尾谷医院	62・7	
261	岡田 勝	代表	ホットフーズ千歳店	62・7	
262	佐藤 学	代表取締役	㈱北日本国土開発	62・7	
263	佐藤 満雄	代表取締役	㈱佐藤舗道	62・7	
264	細見 正美	代表取締役	㈱日本管財サービス	62・9	
265	藤本 敏広	代表取締役 社長	㈱フジプラ	62・9	
266	羽山 昇蔵	代表取締役	羽山石材店	62・9	

入会順	会員氏名	役職	勤務先	入会	退会
267	久山 晃	支店長	全日本空輸㈱千歳空港支店	62・9	
268	鳴海 音松	代表取締役	㈱オートセンター日の出	62・10	
269	野村 昌弘	千歳営業所長	㈱トヨタオート南札幌	63・1	
270	新川 真徳	代表取締役 社長	㈱ちとせデパート	63・1	
271	城戸 通直	代表表	シルクロード	63・1	
272	塚本 黙	代表表	北栄湯	63・1	
273	井川 欣市	院長	千歳腎センター井川医院	63・1	
274	佐藤 進	駅長	JR北海道千歳駅	63・1	
275	安田 敦	工場長	キッコーマン株式会社千歳工場	63・	
276	鶴本 正義	支店長	北海道相互銀行千歳支店	63・	
277	山家 敏保	所長	北海道電力㈱千歳営業所	63・	
278	藤谷 信弘	常務取締役	千歳土建株式会社	63・	
279	藤崎 正敏	専務取締役	長嶺損害保険事務所	63・	
280	日向 祥一	代表取締役 社長	北海道有機農材株式会社	63・	
281	田代 恵治	代表表	フォートタシロ	63・	
282	渡辺 英雄	支部長	日本生命苦小牧支社千歳営業支部	63・	

会員名簿

昭和63年6月30日現在

会員数 118名



シニア・アクチブ
支笏湖郵便局
局長
昭和43年6月
チャーターメンバー
昭和4年12月2日生

谷本和夫

写 真

職業分類

勤務先

役職名

入会年月日

生年月日



シニア・アクチブ
民芸木工
㈲木芸社
代表取締役社長
昭和43年4月
チャーターメンバー
大正5年1月30日生

千葉正



シニア・アクチブ
洋菓子販売
㈲浅利商店
取締役社長
昭和43年4月
チャーターメンバー
昭和2年6月1日生

浅利作造



シニア・アクチブ
クリーニング
㈲新沼クリーニング商会
取締役
昭和43年4月
チャーターメンバー
明治43年1月15日生

新沼武雄



シニア・アクチブ
時計・貴金属
㈲オバラ
取締役会長
昭和43年4月
チャーターメンバー
大正5年2月10日生

小原正男



シニア・アクチブ
文房具
㈲近川文具店
代表取締役
昭和43年6月
大正5年3月3日生

近川宗信



長嶺 覚

シニア・アクチブ
弁 当
㈱長嶺商事
代表取締役
昭和43年6月
昭和44年1月5日生



斎藤 公彦

シニア・アクチブ
料理・ホテル
㈱豊輪
代表取締役社長
昭和45年11月
昭和56年2月1日生



高田 昭治

シニア・アクチブ
印 刷
千歳印刷株式会社
代表取締役社長
昭和45年1月
昭和33年2月3日生



伊藤 常正

シニア・アクチブ
塗 装
伊藤塗工店
代 表
昭和46年3月
大正15年2月15日生



倉内 清

シニア・アクチブ
舞台音響・照明・CM・
イベント企画・写真・
VTR
㈱エスカ・プロダクト
取 締 役
昭和45年3月
大正5年11月5日生



斎藤 弘

シニア・アクチブ
外科医院
千歳中央外科医院
院 長
昭和47年9月
昭和9年4月14日生



田中 達昭

シニア・アクチブ
建築設計
㈱大栄建築設計事務所
代表取締役社長
昭和45年7月
昭和56年2月11日生



村上 正治

シニア・アクチブ
フジボール
フジ商工株式会社
代表取締役社長
昭和46年10月
大正14年1月14日生



中 浦 忠 男

シニア・アクチブ
燃 料
北栄興燃株式会社
代表取締役
昭和47年1月
大正11年3月8日生



須 藤 文 夫

山三ふじやグループ[®]
営業企画部
運用部長
昭和50年3月
昭和4年8月1日生



丹 治 秀 一

シニア・アクチブ
林 染
燐丹治秀工業
代表取締役社長
昭和47年9月
大正12年2月6日生



村 上 光 輝

土木請負業
燐村上組
代表取締役
昭和50年7月
昭和8年2月15日生



加 藤 武 仁

シニア・アクチブ
婦人服
燐装苑
取締役社長
昭和48年6月
大正9年8月2日生



藤 川 昭 三

総合建設工事
千歳建設株式会社
代表取締役社長
昭和51年7月
昭和3年7月5日生



熊 谷 良 雄

貨物自動車運輸
北開建設興業(燐)
代表取締役
昭和48年10月
昭和10年3月12日生



井 上 正 雄

書籍販売
燐井上書店
代表取締役
昭和52年7月
昭和15年7月31日生



寝具販売
㈲小川ふとん店
代表取締役
昭和52年7月
昭和6年9月1日生

小川 岩雄



家庭用電気機械器具
㈱千歳岡部電器商会
代表取締役
昭和53年3月
昭和11年5月8日生

岩切 三郎



室内装飾
㈱ミノル・デザイン工芸
代表取締役
昭和52年9月
昭和8年6月22日生

五十嵐 実



一般建築工事
北建工業株式会社
代表取締役社長
昭和53年3月
昭和2年1月27日生

藤田 美治



ダンス教習所
エリザベス・
ダンス教習所
教師
昭和52年10月
昭和2年7月10日生

吉本 俊春



シニア・アクチブ
左官工事
萱場左官工業株式会社
代表取締役社長
昭和53年11月
大正5年2月10日生

萱場 幸太郎



養鶏
㈲駒の里エッグファーム
代表取締役
昭和53年2月
昭和9年6月26日生

武石 忠俊



シニア・アクチブ
ホテル日航千歳㈱
常勤監査役
昭和54年7月
大正3年7月25日生

大宮 勇蔵



小川英雄

薬剤師
小川薬局
店主
昭和54年12月
昭和16年4月6日生



本田次義

航空貨物運送
㈲愛生運輸
代表取締役社長
昭和55年10月
昭和10年7月13日生



佐藤秀雄

司法書士
司法書士
佐藤秀雄事務所
所長
昭和55年7月
昭和14年1月11日生



沼山佐太郎

畜産鶏卵
㈲沼山ファーム
代表取締役
昭和56年1月
昭和11年7月13日生



五十嵐宏

理容
㈲五十嵐理容院
専務取締役
昭和55年9月
昭和14年4月16日生



八杉一博

ビール販売
杉八杉商店
店主
昭和56年11月
昭和11年8月1日生



村松克重

社会保険労務士
千歳行政事務代行社
代表
昭和55年9月
昭和11年9月14日生



大沼三郎

ドライ・クリーニング
㈲大沼クリーニング商会
専務取締役
昭和56年3月
昭和10年8月22日生



上井昭一

一般区域運送
中央運輸株式会社
代表取締役社長
昭和56年3月
昭和10年7月3日生



若松克人

銘木販売
㈱若松銘木店
代表取締役
昭和56年7月
昭和15年4月27日生



高慶繁博

自動車販売
北央三菱自動車販売
株式会社
代表取締役社長
昭和56年3月
昭和13年4月5日生



山田睦雄

建材販売
山田木材株式会社
代表取締役社長
昭和56年11月
昭和10年3月1日生



岩崎暉久

レストラン
㈱西洋軒
代表取締役社長
昭和56年3月
昭和12年2月9日生



喜多清皓

スポーツ用品
㈲千歳スポーツ
代表取締役
昭和57年3月
昭和10年6月28日生



洪田晃

信用組合
千歳信用組合
常務理事
昭和56年7月
昭和16年4月22日生



後藤重治

土地家屋調査士
後藤重治土地家屋
調査士事務所
所長
昭和57年3月
昭和13年2月1日生



自動車学校
千歳自動車総業
株式会社
取締役校長
昭和57年6月
大正14年1月3日生

田 村 正 男



産婦人科
長沢産婦人科医院
院 長
昭和58年2月
昭和16年1月28日生

長 沢 邦 雄



水道設備
千歳水道設備
代表取締役
昭和57年8月
昭和13年6月3日生

木 村 照 男



食料品販売
全ふじや
取締役営業部長
昭和58年4月
昭和4年10月18日生

黒 原 武 雄



歯 科 医
日の出歯科医院
院 長
昭和58年1月
昭和14年10月5日生

中 村 堅 次



温泉旅館
丸駒温泉旅館
代表取締役
昭和58年4月
昭和17年1月5日生

佐々木 金治郎



酒類販売
早坂商店
代表取締役
昭和58年1月
昭和16年3月28日生

早 坂 義 人



衛生設備
排水設備センター
さかい
代表取締役
昭和58年7月
昭和17年5月15日生

坂 井 是 樹



村山 哲雄

ガソリンスタンド
前口石油株式会社
専務取締役
昭和58年7月
昭和11年9月18日生



山口 幸太郎

弁当製造
㈱三美
代表取締役
昭和59年4月
昭和17年4月10日生



伊藤 八郎

製材
㈱伊藤木材店
専務取締役
昭和58年8月
昭和17年10月22日生



鈴木 正義

一般建築請負業
㈲協和建設
代表取締役
昭和59年5月
昭和3年5月1日生



武士 義治

郷土料理
郷土の味 たけし
代表取締役
昭和59年1月
昭和11年9月25日生



渡部 淑郎

カメラ販売
㈲長野カメラ
専務取締役
昭和59年7月
昭和17年1月29日生



山本 茂

シニア・アクチブ
㈱博信堂
取締役会長
昭和59年2月
昭和4年3月10日生



島田 実

病院事務
吉田小児科
事務長
昭和59年8月
昭和5年2月4日生



新聞販売
読売新聞千歳専売所
代表取締役社長
昭和59年8月
昭和17年8月15日生

末 広 孝



食品加工
生駒商事株式会社
代表取締役
昭和60年5月
昭和16年6月7日生

生 駒 昇



靴・バック販売
㈱千 草
代表取締役社長
昭和59年12月
昭和14年12月6日生

溝 口 真 人



製材販売
中村三商株式会社
代表取締役
昭和60年5月
昭和14年3月3日生

中 村 清太郎



呉服販売
㈱よこ田
代表取締役
昭和59年12月
昭和19年9月24日生

横 田 義 弘



造園業
㈱中本造園
代表取締役
昭和60年5月
昭和6年6月17日生

中 本 陽 三



信用金庫
札幌信用金庫千歳支店
支 店 長
昭和60年3月
昭和15年7月14日生

井 原 紀 元



ホ テ ル
㈱豊興産
千歳エアポートホテル
取締役支配人
昭和60年5月
昭和27年12月21日生

吉 田 英 俊



平間和弘

一般旅行業
柳戸田
ノース・スター・ツーリスト
専務取締役
昭和60年5月
昭和12年1月5日生



坂東昇

都市銀行
北海道拓殖銀行千歳支店
支店長
昭和60年11月
昭和9年11月4日生



木村勝也

青果物販売
㈲木村物産
代表取締役
昭和60年6月
昭和18年4月21日生



高橋義治

酒類製造業
サントリー㈱
千歳プラント
工場長
昭和61年1月
昭和12年2月22日生



渡辺聰

空港事業
北海道空港
常務取締役
昭和60年8月
昭和6年5月9日生



岩橋博

電気通信事業
N T T 千歳電報電話局
局長
昭和61年4月
昭和10年10月25日生



足立勝二

自動車部分品製造販売
大金・アールエム㈱
総務課長
昭和60年11月
昭和19年12月20日生



前橋秀雄

損害保険
東京海上火災保険㈱
千歳支社長
昭和61年4月
昭和18年9月3日生



八 杉 新 一

生命保険
第一生命保険
相互会社千歳支部
支 部 長
昭和61年5月
昭和20年9月30日生



菊 池 精 四 郎

電気工事
伸盛電気工事㈱
代表取締役
昭和61年12月
昭和16年12月2日生



文 屋 文 稔

指導員
障害者社会復帰施設
昭和61年5月
大正12年2月17日生



小 田 喜 一

行政書士
行政書士小田喜一事務所
所 長
昭和62年3月
昭和7年6月3日生



山 下 武 男

航空機ハンドリング
国際空港事業㈱千歳支店
支 店 長
昭和61年8月
昭和11年8月24日生



南 口 忠 光

旅行代理業
㈱中央旅行サービス
千歳営業所
所 長
昭和62年3月
昭和16年3月29日生



奥 本 裕

百貨店
㈱北海道ニチイ千歳店
店 長
昭和61年10月
昭和23年1月3日生



長 島 義 明

ビール製造業
キリンビール㈱千歳工場
工 場 長
昭和62年4月
昭和11年9月3日生



地方銀行
北海道銀行千歳支店
支 店 長
昭和62年4月
昭和19年1月11日生

竹 川 勝 雄



農業協同組合
千歳市農協
審 査 役
昭和62年5月
昭和15年1月31日生

佐々木 昭



人物写真
㈲アダチ写真場
専務取締役
昭和62年5月
昭和19年2月7日生

安 達 洋



店舗建築工事
佐藤建築工業株式会社
代表取締役
昭和62年5月
昭和20年10月4日生

佐 藤 嘉 彦



塗装工事
㈲カワシタ塗装
代表取締役
昭和62年5月
昭和8年12月10日生

川 下 京三郎



雑貨販売
㈲住吉商店
専務取締役
昭和62年5月
昭和19年8月24日生

住 吉 宏 志



洋菓子販売
㈲金歳堂
専務取締役
昭和62年5月
昭和18年11月25日生

金 山 晓



食料品販売
ホットフーズ千歳店
代 表
昭和62年7月
昭和18年5月15日生

岡 田 勝



住宅販売
北日本国土開発株式会社
代表取締役
昭和62年7月
昭和19年4月12日生

佐 藤 學



内科医
尾谷医院
院長
昭和62年7月23日
昭和14年4月27日生

尾 谷 透



アスファルト舗道
㈲佐藤舗道
代表取締役
昭和62年7月
昭和10年11月18日生

佐 藤 満 雄



石材業
羽山石材店
代表取締役
昭和62年9月
昭和26年3月7日生

羽 山 昇 蔵



式場経営
㈲千歳平安閣
旅行サービス
代表取締役
昭和62年7月
昭和18年7月31日生

後 藤 譲



給排水工事及資材販売
㈲フジプラ
代表取締役社長
昭和62年9月
昭和19年8月10日生

藤 本 敏 広



空港売店
㈲小笠原商店
常務取締役
昭和62年7月
昭和13年8月29日生

小 笠 原 良



ビル清掃管理
日本管材サービス 株式会社
代表取締役
昭和62年9月
昭和23年3月24日生

細 見 正 美



航空運輸
全日本空輸㈱
千歳空港支店
支 店 長
昭和62年9月
昭和11年6月27日生

久 山 晃



陸上運輸（鉄道輸送）
JR 北海道千歳駅
駅 長
昭和63年1月
昭和14年1月5日生

佐 藤 進



中古車販売
㈱オートセンター日の出
代表取締役
昭和62年10月
昭和5年2月19日生

鳴 海 音 松



浴 場
北 栄 湯
代 表
昭和63年1月
昭和18年11月14日生

塚 本 勲



泌尿器科（開業医）
千歳腎センター
井川医院
院 長
昭和63年1月
昭和8年5月22日生

井 川 欣 市



雑貨（マーケット）
株式会社千歳デパート
代表取締役社長
昭和63年1月
昭和13年8月23日生

新 川 真 德



リゾート及び
食堂（スナック）
シルク・ロード
代 表
昭和63年1月
昭和20年11月11日生

城 戸 通 直



自動車修理
トヨタオート南札幌
株式会社千歳営業所
昭和63年1月
昭和17年6月13日生

野 村 昌 弘



食品製造業
キッコーマン株式会社
千歳工場
工 場 長
昭和63年4月
昭和9年10月1日生

安 田 敦



火災保険
長嶺損害保険事務所
専務取締役
昭和63年4月
昭和22年4月25日生

藤 崎 正 敏



相互銀行
北海道相互銀行千歳支店
支 店 長
昭和63年3月
昭和16年8月23日生

鶴 本 正 義



肥料販売
北海道有機農材株式会社
代表取締役社長
昭和63年4月
昭和16年10月15日生

日 向 祥 一



電力事業
北海道電力㈱千歳営業所
所 長
昭和63年3月
昭和10年1月2日生

山 家 敏 保



商業写真
フォート・タシロ
代 表
昭和63年4月
昭和20年12月5日生

田 代 恵 治



土木工事
千歳土建株式会社
常務取締役
昭和63年4月
昭和11年12月13日生

藤 谷 信 弘



団体保険
日本生命保険㈱小牧
支社千歳営業支部
支 部 長
昭和63年4月
昭和27年9月18日生

渡 辺 英 雄

20周年記念誌編集を終って

千歳ロータリークラブ

創立20周年記念誌編纂委員会

委員長 倉内 清

副委員長 高田 昭治

委 員 浅利 作造 近川 宗信

谷本 和夫

岩切 三郎

沼山 佐太郎



創立20周年記念事業の一つとして記念誌の発刊が企画され、その編纂の委員長を1987年6月指名された。私は5周年誌を手掛けて、資料のないのに、ほととぎりはてた。10年誌にも委員に指名されたが、高田委員長に殆どまかせつ切りであり、高田委員長も私と同じように資料の不備に大変困難されたと聞いて居り、私に指名があった数日後これはとても出来ないと辞表、退会届を出したものである。近川パスト会長、武石会長に慰留され手掛ける事に決心し退会届を撤回8月より取扱った。

「10年のあゆみ」を読む程に、亦クラブ事務所へ毎日通い資料を探す程に引受けるべきでなかつたと思った。委員会で協議をした結果、内容の上で当クラブの10年に続く20年の歩みを一つの流れとして有機的に読めるように高田昭治前委員長のご苦心のパターンを頂くこととし、編集上で新しいレイアウトに努め、前回と異った趣きに配慮した。

5回にわたる委員会での検討を重ねて8月1日千歳印刷に下し、その後2回の校正を含め11月

20日に校了。一冊の本を纏め上げる事は大変な作業であるが、出来上っていく課程を見守る嬉しさは委員会にのみ与えられた特権であった。編纂に当たって困惑したことは各年度の資料の整備が満足すべき状態でなかった事で、21年目から30周年に向って諸報告の整備確保、諸奉仕活動に関連した写真「各年度毎に一冊のアルバムに必ず年月日を入れ何の奉仕活動か」を整備執行部が責任をもって確保しておかれるように将来のことを考え当委員会より提言致します。私共編纂委員一同誠心誠意編纂に努めましたがご満足頂けぬところもあるうかと存じますがご寛容の程お願い申し上げます。

終りに20周年誌委員会の各委員のご努力に深く感謝申し上げると共に各種ご配慮ご協力を頂きました千歳印刷(高田社長)に心から感謝致します。

創立20周年記念誌編纂

委員長 倉内 清

印 刷 昭和63年11月25日

非 売 品

発 行 昭和63年12月10日

編 集 者 千歳ロータリー・クラブ

創立20周年記念誌編纂委員会

発 行 所 千歳ロータリー・クラブ

066 千歳市千代田町1丁目

印 刷 所 千歳印刷株式会社

066 千歳市錦町3丁目
